

# テキストの使い方と学習方法

## はじめに

このテキストは、これからパソコンを始める方、挑戦したけど難しくて挫折した方に、楽しくわかりやすくパソコンを覚えていただくように考えて作られたテキストです。

1つ1つの操作に画像が付いているので、パソコン用語がわからなくても、操作できるようになっています。パソコン用語は理解できたら少しずつ覚えていきましょう。

## テキストの学習にあたって

このテキストを使っていただくために、必ず下記のことは約束してください。そうでないとせっかく今からテキストを進めていただいても、身に付かず、時間の無駄になってしまいます。

### ●「実際の操作内容」の部分だけ操作する、マークや説明をしっかり見る

「完成例」は、今から取り組む操作の確認です。

これだけを見ながら操作ができるわけではありません。このテキストでは覚えていただきたいことに、的を絞って説明していますので、テキスト中のマークや説明を最低1回は読むように心がけましょう。（テキスト内のマークの説明は次ページを参照してください。）

### ●操作は必ず順番に！ 1回は操作しましょう

生徒様の中には、ここはわかるから読み飛ばそうとされる方や、順番に書いてある操作を何個か飛ばして進めようとする方がいらっしゃいますが、途中で操作がうまくいかず、大幅にやり直すことになります。パソコンは1つボタンが違ったり、必要な操作を飛ばしたり、ひとつ違う操作をするだけで全く違う結果になることがあります。1つ1つ丁寧に操作しましょう。

### ●わからないところをそのままにしない

パソコンを覚えるということは「家づくり」に似ています。1か所でもいい加減なところがあると欠陥住宅になり、家が倒壊するかもしれません。パソコンでもいい加減なところを作らず、わからないところをそのままにしないで繰り返しやってみたり、説明を読んだり、先生に聞いたりして学習し、各章ごとにある練習問題もしっかり取り組みましょう。

## 登場人物紹介

このテキストには先生が1人と、中高年代表の生徒様が2人、若い方代表の生徒様が2人の計5人が登場します。この5人と一緒にテキストを楽しく進めていきましょう。

「私にもいろいろと作れるかなあ～。」



ウメさん

簡単なインターネットや  
メールはできるけど、そ  
れ以外は分からないウメ  
さん

「ウメさんに、負けないように私も頑張  
るぞ～！」



パパさん

子供が楽しそうにパソコン  
をしているのを見て、自分も  
チャレンジしたいパパさん



くじら先生

「生徒さんに喜んでもらう、  
満足してもらう」がモットー  
のパソコンの先生

## テキスト内で使われているマークについて

### 1. (1) ①などの見出し部分

……ここでは、これから行う操作がどういう意味を持った操作なののかを説明しています。

### 実際の操作内容

……実際に行う操作の方法を説明しています。



……間違いやすい操作や、特に注意してほしいことを説明しています。

### 余裕があれば読んでね

……パソコンの操作方法だけ覚えたい方は特に読む必要はありませんが、知っていると後々便利な情報や、役立つ情報を説明しています。

### ご参考までに

……パソコンを使っていると、「こんな画面も表示される場合がありますよ」とか、「こんな操作方法もありますよ」とか、学習に余裕があれば読んでいただければという情報を説明しています。



……くじら先生の吹き出し内は、各操作中のポイントや注意の中でも、特に読んで理解してほしい重要な箇所です。

### 補足説明タイトル

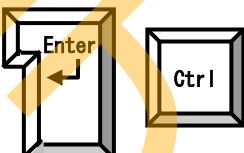
### 参照ページ

……テキストの流れには必要ありませんが、より詳しい内容の補足説明や別の操作方法を各見出しの最後に記載しています。余裕のない方は飛ばしていただいても大丈夫です。(ただし各章ごとの練習問題で使う内容も若干含まれます。)

☆☆はじめてくれば練習問題〇〇で理解度を試してください。☆☆

### カチッ

……クリックの操作を行う箇所です。



など

……該当するキーを入力する箇所です。  
[Enter] キーや [Ctrl] キー以外のキー入力もありますので、マークと操作の指示に従ってください。



……文字入力の操作を行う箇所です。

# 目 次

<b>1. パソコンとはいっていい何者？</b>	<b>1</b>
(1) パソコンとは.....	2
(2) パソコンは何でもできる.....	3
(3) パソコンを使う目的.....	4
(4) パソコンは難しい？.....	6
(5) キーボードは難しい？.....	7
(6) パソコンはデリケート？.....	8
(7) 機械の名称.....	9
●補足説明（その1）P10～P12.....	10
●P2 パソコンについての補足説明.....	10
<b>2. 電源の入れ方とマウスの動かし方</b>	<b>13</b>
(1) 電源の入れ方 .....	13
(2) 画面に映っている名前.....	16
(3) マウスのボタンと使い方.....	18
① マウスの名前 .....	18
② マウスの持ち方 .....	19
③ マウスの動かし方 .....	20
④ マウスの大切な基本操作 .....	21
⑤ ポイントしてみよう.....	22
⑥ クリックしてみよう.....	23
⑦ 右クリックしてみよう.....	24
⑧ ダブルクリックしてみよう.....	25
⑨ ドラッグしてみよう.....	27
(4) 電源の切り方 .....	30
●補足説明（その2）P33～P37.....	33
●P21 タッチパネルの基本操作.....	33
●P21 タッチパネルに関する補足説明 .....	34
●P21 タブレットモードについて .....	34
●P23 クリックの補足説明.....	36
●P25 ダブルクリックが苦手な方のために .....	36
●P29 マウス操作の補足説明.....	37
●P32 スリープで終了する方法.....	37
<b>3. パソコンを動かしてみよう</b>	<b>38</b>
(1) パソコンを動かす道具のいろいろ .....	39
(2) いろいろな道具（アプリ）を見てみよう .....	40
(3) 電卓を動かす .....	46
(4) 電卓を閉じる .....	50
<b>4. 画面（ウィンドウ）の基本操作</b>	<b>51</b>
(1) PCのウィンドウを開く .....	51
(2) 画面の名称 .....	53
(3) 画面（ウィンドウ）のサイズを変更する .....	54

① ボタンをクリックする方法.....	54
② ドラッグする方法 .....	58

## 5. マウスに慣れる練習..... 60

(1) 「ペイント 3 D」を起動する.....	61
(2) 「ペイント 3 D」を使って家を描く.....	64
① 2 D図形を描く .....	64
② 文字を描く .....	80
③ 3 D 図形を描く .....	85
④ ステッカーで装飾をする.....	91
(3) 「ペイント 3 D」から印刷をする.....	97
(4) 「ペイント 3 D」を終了する.....	103

## 6. キーボードに慣れる練習..... 105

(1) 入力方法の種類 .....	106
① ローマ字入力 .....	106
② かな入力 .....	106
③ 入力方法の比較 .....	106
(2) パソコンを操作するためのキーの配置 .....	107
(3) ローマ字かな対応表.....	108
(4) 入力システム .....	109
① ワードを起動する .....	111
② ワードを終了する .....	115
③ 入力モードを確認する .....	116
④ 入力モードの変更 .....	117
⑤ ローマ字入力、かな入力の切り替え方法.....	119
⑥ 日本語入力の準備まとめ .....	121
(5) 文字キーの説明 .....	122
① ローマ字・かな入力によるキーの違い .....	122
② 上下に文字があるキー .....	123
③ 入力できる文字の種類 .....	123
(6) ひらがなの入力 .....	124
① カーソルと画面の状態 .....	124
② ひらがなの入力 .....	125
③ いろいろなひらがなにチャレンジ .....	128
④ 入力するときに注意する文字 .....	131
(7) 改行する（行を変える）方法 .....	132
(8) カーソル（点滅している縦棒）の移動方法 .....	134
(9) 間違って入力した文字の消し方 .....	136
① Back SpaceキーとDeleteキーの使い分け .....	136
② Back Spaceキーで文字を削除する .....	137
③ Deleteキーで文字を削除する .....	138
④ 入力した文字すべてを削除する .....	139
⑤ 間違って改行してしまったら？ .....	140
⑥ 入力を漏らしてしまったら？ .....	142

(10) スペース (空白) の入力方法.....	144
① スペースの種類 .....	144
② 全角スペースと半角スペースの入力方法.....	145
③ スペースの入力 .....	145
●補足説明 (その3) P148~P155.....	148
●P114 ピン留め機能.....	148
●P115 ワードの終了についての補足説明.....	150
●P117 入力モードの切り替えの補足説明.....	150
●P120 ローマ字・かなの切り替えの補足説明.....	150
●P120 タッチキーボード.....	151
●P135 キーボード操作によるカーソル移動.....	153
●P142 挿入モードについての補足説明 .....	155
(11) 漢字の入力.....	156
(12) 間違って確定してしまった? .....	158
(13) 難しい文字の入力 .....	160
アイエムイー	
① I M Eパッドの表示方法.....	161
② 手書きで文字を検索する.....	163
●補足説明 (その4) P166 .....	166
●P160 [IMEパッド] のその他の機能.....	166
●P162 [IMEパッド] の表示方法についての補足説明.....	166
(14) カタカナの入力.....	167
① カタカナの種類 .....	167
② 全角カタカナと半角カタカナの入力方法.....	168
③ 全角カタカナの入力 .....	169
④ 半角カタカナの入力.....	170
(15) 英数字の入力.....	172
① 英数字の種類 .....	172
② 全角英数字と半角英数字の入力方法.....	173
③ 全角英字の入力 .....	174
④ 半角英字の入力 .....	176
⑤ 数字の入力 .....	178
●補足説明 (その5) P181 .....	181
●P175、P178 ローマ字入力の方にありがたい機能.....	181
(16) 特殊文字の入力.....	182
① 記号の入力 .....	182
② 特殊文字の読み方 .....	184
(17) 句読点やかっこの入力 .....	185
(18) 変則的な入力文字 .....	186
●補足説明 (その6) P186 .....	186
●P184 特殊文字の補足説明 .....	186

7. 文章の入力 .....	187
(1) 文節を変換する .....	187
●補足説明 (その7) P189 .....	189
●P189 文字の確定を省略する方法 .....	189
(2) 文章を変換する .....	190
(3) 文節の区切りを変更する .....	193

(4) 文字の入力中に誤字に気づいたら .....	197
① 変換キーを押す前の修正 .....	198
② 変換キーを押した後の修正 .....	201

## 8. 文書の作成・保存・印刷 ..... 204

(1) 文書の作成と保存 .....	204
① 文書の作成 .....	204
② 文書の保存 .....	205
(2) 保存した文書を開く .....	212
① 保存した文書の確認 .....	213
② 保存した文書を開く .....	217
(3) 開いた文書の上書き保存 .....	218
① 開いた文書を修正する .....	218
② 文書を上書き保存する .....	220
(4) 文書を印刷する .....	224
●補足説明 (その8) P227～P231 .....	227
●P206 <sup>ユーエスピー</sup> USBメモリーを差込口から抜く方法 .....	227
●P206 自動再生機能 .....	228
●P211 保存場所の補足説明 .....	229
●P221 保存方法の違い .....	231

◆次のテキストでできること ..... 232

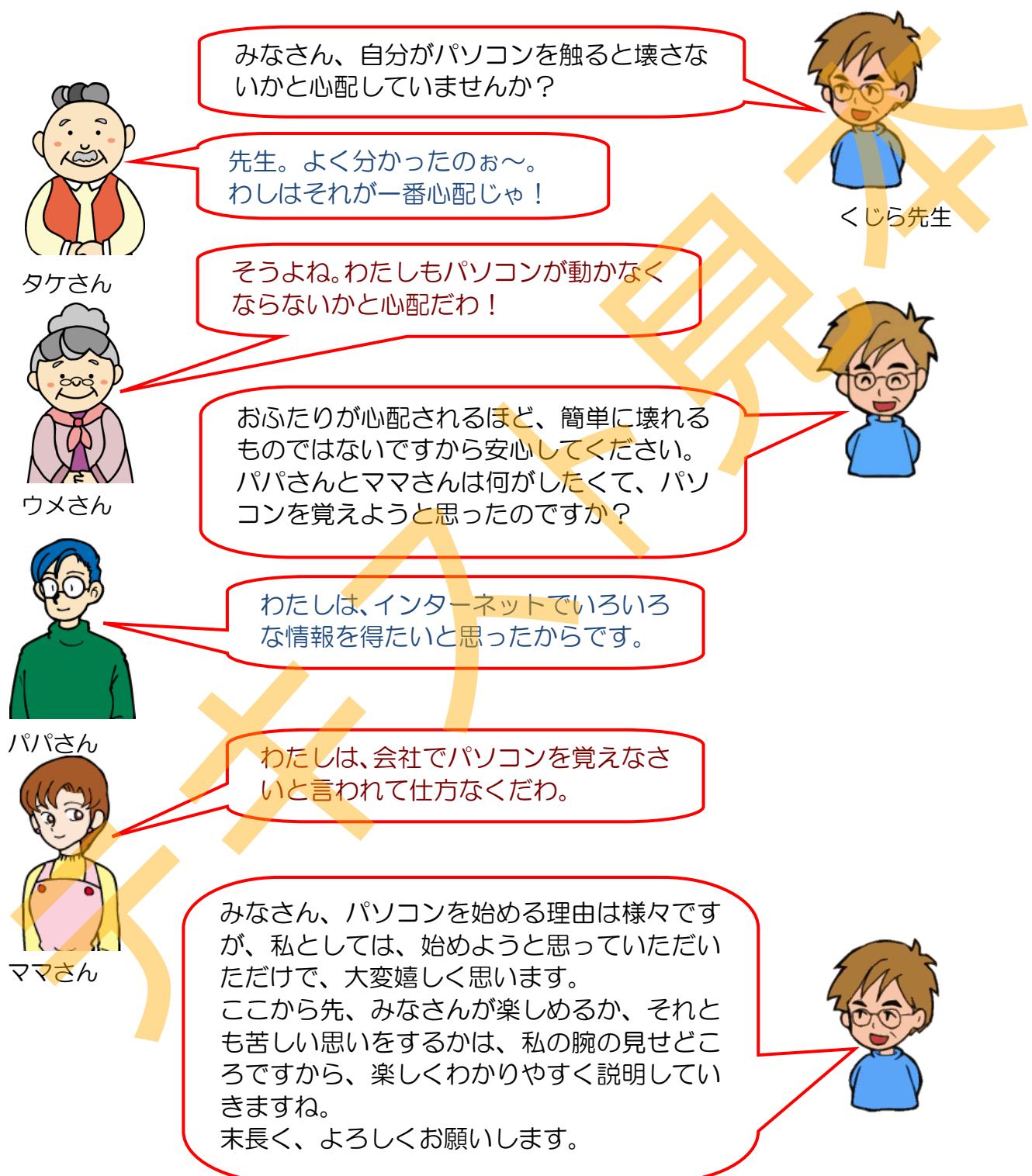
◆ファイルやフォルダー ..... 233

(1) パソコンの大きな機能 .....	234
① 計算と印刷 .....	234
② 保存とは .....	235
③ 保存の必要性 .....	236
④ 読み出し .....	236
(2) ファイルの存在を確認する .....	237
(3) フォルダーの存在を確認する .....	240
●P206 <sup>ユーエスピー</sup> USBメモリーのファイルをコピーする .....	244
(5) ファイルの削除と確認 .....	246
① ファイルの削除 .....	246
② ファイルの削除を確認する .....	248

◆索引 ..... 252

# 1. パソコンとはいっていい何者？

今からパソコンを操作していただくのですが、その前にパソコンとはいっていい何なのか？ どういうことができるのか？ そして一番大切なことですが、みなさんがパソコンで何がしたいのか？ を再確認していただきたいと思います。



## (1) パソコンとは

# パソコンとテレビはどう違うんじゃ？

タケさん「パソコンもテレビも同じように映画が見れるのに、同じじゃないのか？」

ウメさん「わたしの店員さんがテレビが見れますよって言ってたわ！」

くじら先生「今は、パソコンでテレビを見ることが可能となりました。

しかし、それはテレビチューナーが内蔵されたパソコンのことです。

パソコンはテレビが見れるだけではなく、タケさんやウメさんの今後の楽しみを増やしてくれる機械なのです。

覚えることもたくさんありますが、頭で覚えるのではなく、操作しながら感覚として覚えていきましょう。」



パソコンとは、「パーソナルコンピューター」(Personal Computer) の略で、個人ユーザー向けのコンピューターのことをいいます。

パソコンは機械（ハードウェア）と、言葉の集まり（ソフトウェア）があって初めてパソコンとして使えるようになります。機械だけあっても、言葉がないと動きませんし、言葉だけあっても、機械がないと動きません。両方が揃って初めてパソコンとしての役割を果たします。

パソコンの言葉の集まりには、パソコンを動かすための基本的なソフトウェア(オペレーティングシステム)と、パソコンをいろいろな道具として使うためのソフトウェア(アプリ)があります。

アプリには、手紙を書いたり、絵を描いたり、ゲームなどをしたりするものがあります。これらのソフトウェアをパソコン本体の中にある入れ物(ハードディスク)に入れておき、必要になったときに、呼び出して利用しています。

### ■デスクトップパソコン



### ■ノートパソコン



### ■タブレットパソコン



#### メモ

持ち運びしたいならノートパソコン、いろいろ拡張したいなら、デスクトップパソコンがお勧めです。タッチパネル操作が主であれば、タブレットパソコンがお勧めです。

パソコンについての補足説明

P10

## (2) パソコンは何でもできる

# なんでもできるって超能力みたいですね！

パパさん「本当になんでもできるのですか？」

ママさん「わたしは、パソコンで旅行の予約がしたいわ。  
なんでもできるなら、それぐらい可能よね？」



くじら先生「それぐらいのことなら、朝飯前です。

飛行機の予約やホテルの予約だって可能です。

それでは、パソコンを使ってできることを簡単にご紹介しましょう。」



パソコンは、これまであったテレビ、ビデオ、電話やFAXとは違います。いったいどこがどう違うのでしょうか？ 違いを知るために、パソコンの機能、つまりパソコンを使つたらできることを知る必要があります。洗濯機は洗濯をするため、電話機は遠くの人とおしゃべりをするため、コピー機は絵や文書を複写するためにあります。では、パソコンでは何ができるのでしょうか？

パソコンを使ってできる代表的なものに「インターネット」があります。

その他にも、アプリを利用して、ワープロや表計算の機能などを備えることができます。さらに日々の体重を入力してデータを分析したり、お気に入りの写真や画像を取り込んで印刷したり、楽器を演奏できなくても作曲して自動演奏したりするなど、実にいろいろなことを可能にしてくれます。



### (3) パソコンを使う目的

## まずは旅行の予約よね！

ママさん「最初は、やっぱり旅行の予約よね、パパ！」



パパさん「それより、テレビを買い替えるためにショッピングだろう！」

くじら先生「ママさんやパパさんのおっしゃることなら、インターネットを利用すれば、簡単にできますよ。  
タケさんやウメさんはどうでしょうか？」

タケさん「わしは、どうしても友達のように年賀状をパソコンで作りたいんじゃ、できるようになるまでは続けるつもりじゃ！」



ウメさん「わたしは、デジカメを持っているので、写真を整理したり  
アルバムを作成して印刷してみたいの！」

くじら先生「それぞれに目標をお持ちですね。その目標は必ず達成します。  
達成したら、また次の目標を考えて、それをまた達成して・・・  
小さな目標の達成を繰り返していくと、自信になってさらに面白くなっています。」



「パソコンがほしい」という人に、理由を聞いてみると、意外に動機は希薄なようで、みんなが持っているから「とにかく欲しい」というタイプの人が少なくありません。  
実は、私もそのタイプの人間でした。(\*^\_^\*)  
それでも結構です。触っているうちに何となく感覚が分かってくるはずです。

インターネットで「ゲームをしたい」、「孫とメールの交換がしたい」など、理由がなんであれ目的があれば上達はグンと早くなることでしょう。

クルマの運転を考えてみてください。免許を持っていなくても、電車や自転車を利用すれば、日常生活に何ら支障は生じませんが、あると便利な道具であることは間違ひありません。



=



パソコンもクルマと同じように、ないと日常生活に支障が生じるというものではありませんが、あるとこれほど「**便利な道具**」はありません。

日本にいながらにして世界中の情報が得られるし、経理の処理だって楽にできます。パソコンを使うとさまざまな利便性を享受することができます。

「自動車を運転したい」と思うから、自動車学校に通って、自動車の運転を習います。

「パソコンを使いたい」と思うから、このテキストを使っているという感覚でいいのではないでしょうか？

パソコンは以前から比べると、炊飯器や掃除機といった家電製品同様に、家庭に浸透しています。一家に1台から一人1台になっているのではないでしょうか？

小さな子供でもパソコンを自由自在に操ることができるのは、決して理屈が分かっているからでも、動機がはっきりしているからでもなく、「**そこにパソコンがあるから**」なのです。

#### (4) パソコンは難しい？

文字がたくさん並んでいるし、テレビのようにリモコンはないし…

ウメさん「キーボードでしたっけ、文字を入力するのは？

英字やひらがながたくさん並んで、いつも文字を探すのに時間がかかるわ！！

それにテレビのように、リモコンはないし…」



タケさん「わしら、年寄りでも理解できるんかのお～？」

くじら先生「理解できるように説明するのが私の役目です。今の時代、若者だけの道具ではなくなっています。誰だってパソコンは使えますから。」



「パソコンは難しい」という言葉には、多分に思い込みと幻想が含まれています。クルマを例に挙げますが、今や日本の全人口の2人に1人がクルマの免許を持っている時代です。パソコンは、クルマと同様で、慣れればクルマより簡単です。

パソコンの一番の難関はキーボードの操作とマウスの操作にあるといえます。誰しも最初は、片手の人差し指だけで「あ」はどこだ？ 「い」は？と、もどかしい思いをします。これも数週間から 1、2ヶ月も使い続ければ、指が自然と思った文字を指すようになり、もどかしさも消えてしまいます。



わたしたちも  
パソコンできるよ！  
タケさんやウメさん  
も大丈夫！  
安心して勉強してね。

## (5) キーボードは難しい？

# 打つ文字を探すのが大変だの～！



タケさん「1つの四角いボタンにたくさん文字が入っているし、それにどこにどの文字があるかもわからんから大変だの～！」



ウメさん「そうよね、わたしたち年寄りには、覚えるのが大変だわあ～！」

くじら先生「自動車の運転だって、最初は大変だったでしょ。それと同じで、最初はどこにどのボタンがあるかを探すのに苦労すると思います。しかし、慣れてくると運転と同じで、指が勝手に動いてしまいます。」



キーボードやマウスにどうしても馴染めないということが原因で、パソコンが嫌いだったり、敷居が高いと感じたりする人は意外に多いようです。まったくワケのわからない配列で、カナや英字が並んでおり、文字を探すのも一苦労という人も多いはずです。

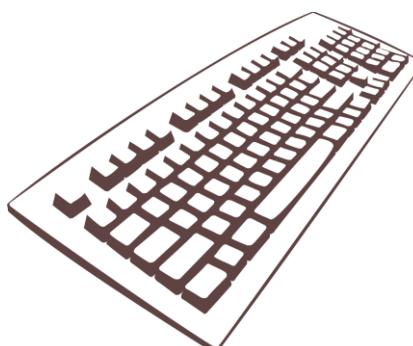
この配列はデタラメに並べているわけではありません。実は文字の使用頻度が考慮されて、キーの配置がされています。しばらく使っていると気づくことでしょう。

パソコンを操作するときに大切なことは、キーボードに慣れることです。

正しいタッチタイピングは、それなりに長い歴史の中で培われて、洗練されてきた方法なので、マスターするに越したことはありません。しかし、それはパソコンを使いこなす本質ではありません。

指1本でも、3本でもパソコンはそこそこ使えるものです。キー入力が人より遅くてもいいではありませんか。パソコン嫌いになってしまいは、気ままに打ちたいように打つことでいいと思います。

マウスも同じです。ただし、マウスの場合は、変な持ち方で覚えててしまうと、直すことが大変になります。ボタンを押すときにマウスが動いてしまうと、思ったとおりの操作ができなくなってしまいます。基本どおりの持ち方でマスターしましょう。



## (6) パソコンはデリケート？

### 友達のパソコンは買って3か月で壊れたのだけど…

ママさん「わたしの友達は、買って3か月でパソコンが壊れたのだけど、そんなに簡単に壊れるの？」

パパさん「買ったパソコンがそんなに早く壊れたら、予算の関係で液晶テレビが買えなくなってしまう！！」

くじら先生「運が悪かっただけだと思いますよ。

電化製品でもハズレのものを購入すると、新品の状態でも動かないこともありますから・・・

そんなに簡単には壊れませんから、安心してください。」

ママさん「もし壊れたら、先生が見てくれますか？」

くじら先生「パソコン内部の部品が壊れていたら、私もお手上げ状態です。

その時は、メーカーに修理を依頼するしかありません。

いずれにしても、その時は私が直せるか調べてみますから、持ってきてください！」



パソコンは、非常に精密でデリケートな機械なので、慎重の上にも慎重を重ねて取り扱わなければならぬと思っている人が多くいますが、その通りであり、そうでないとも言えます。

パソコンは高温に弱いし、湿気も大敵、タバコの煙やホコリも禁物という文面をよく見かけますが、テレビやビデオが正常に動いている環境のなかでは、それほど気を使う必要はありません。



衝撃に弱いというのも同じです。テレビやビデオも硬いコンクリートやフローリングの床の上に落としたら、壊れるかもしれません。パソコンも同じ程度の耐衝撃性を持っていると考えればいいでしょう。

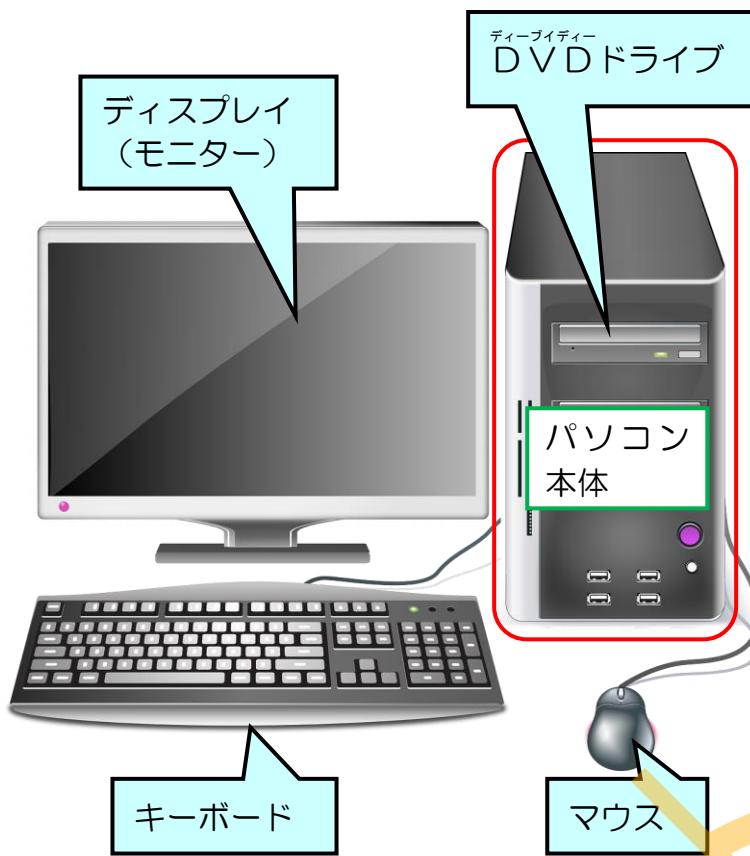


そのほかに注意してほしいことは、磁石や磁気を帯びたものをパソコンに近づけないこと。あと、電源の入っている状態のパソコンに強い衝撃を与えるとハードディスクが壊れる可能性があります。

パソコンを利用している最中にキーボードなどの操作を誤ってしまうというミスでは、壊れることはあります。

## (7) 機械の名称

パソコンはいろいろな機械で作られています。



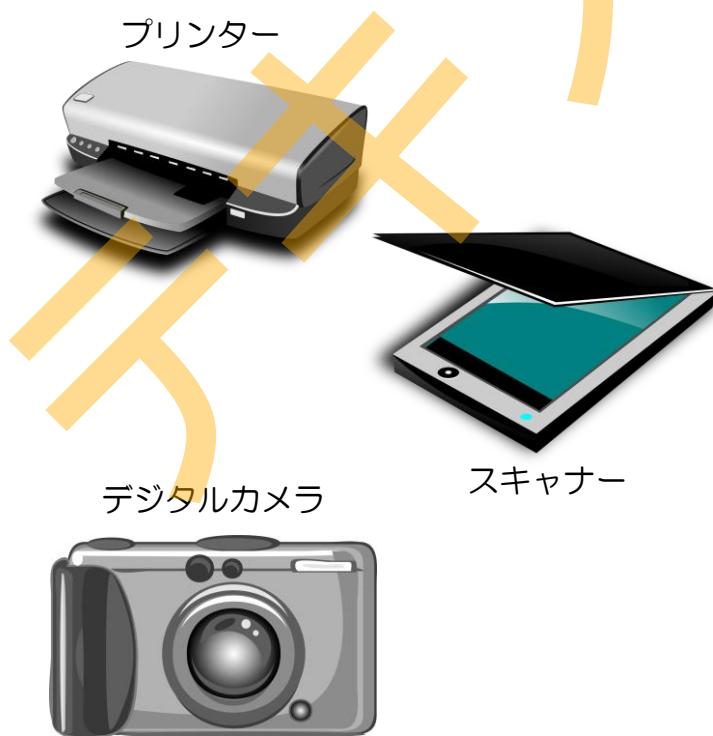
### ●本体

パソコン本体の中には、左に記載したDVD ドライブのほかにパソコンにとって重要な部品が入っています。

### ●DVD ドライブ

パソコンにプログラムを入れたり、  
CD を聞いたり、DVD を観たりするときに必要です。  
最近のパソコンには、DVD の読み書きまでできるものがあらかじめ組み込まれています。

パソコンの周辺機器には、下のようなものがあります。



### ●プリンター

文書や写真などを紙に印刷するための装置です。これからみなさんが作成する作品を紙に印刷するときに使います。最近のプリンターには、下で説明するスキャナーが一体になったものが主流になっています。

### ●スキャナー

写真や絵、雑誌や新聞など、必要なものを画像としてパソコンに取り込むことができます。

### ●デジタルカメラ

撮影した写真は、パソコンに取り込むことができます。  
パソコンに取り込むとホームページで公開したり、電子メールで友達に送ったり、印刷したりすることができます。

## ●補足説明（その1）P10～P12

### ●P2 パソコンについての補足説明

#### ●OS（基本ソフト）

Operating System（オペレーティング・システム）の略で、ハードウェアとパソコン利用者との間で、コンピューターを有効に操作、利用できるように働くソフトウェアのことです。OSの役割としては、次のようなものがあります。

- キーボード、ディスプレイ、プリンター、補助記憶装置などの働きを調整する。
- プログラムが正常に実行されるようにコントロールする。
- メモリーの割当やCPUの時間分割などにより、複数の仕事を行えるように調整する。
- ファイルの登録や削除などをコントロールする。
- ネットワーク環境を提供する。

#### ●アプリ（応用ソフト）

企画書を作成してみようとか、子供会のお知らせを作つてみようというときには、ワープロソフト（ワードや一太郎など）が必要です。また、マージャンゲームをしたければ、マージャンソフトが必要です。このようなパソコンソフトのことをアプリといいます。

#### ●ハードディスク

パソコンの補助記憶装置のひとつで、記録媒体である磁気ディスクと、それに対して読み書きを行う機械的な部分を一体化して密封した装置です。1台あたりの記録容量が大きいこと、読み書きが高速であることが特徴です。

#### ●CPU

パソコンにつながっている機械の管理やデータの処理を行っています。人間でいうと「脳」と同じです。

#### ●メモリー

アプリなどを読み込むための「作業場」です。補助記憶装置に対して主記憶装置ともいいます。

#### ●インターネット

世界中のLAN（ローカル・エリア・ネットワーク）を網の目のようにつないだネットワークのことです。

個人利用としては、プロバイダーというインターネット接続業者のコンピューターを介して一般的の電話回線、ADSL回線、光ファイバー回線を使って接続するのが一般的です。

→ 次ページに続く

## ● LAN

構内通信情報網のことで、比較的限られた地域にある複数のコンピューターシステムを結びつけ、高速でデータをやり取りするシステムです。

たとえば、会社の中で LANを取り入れると、システム間でデータのやり取り、データの共有化、出力装置の共同使用などが可能になります。

## ● 電子メール

コンピューターネットワークを利用して、パソコン同士でデータやメッセージをやり取りするシステムです。宛名の代わりに相手のメールアドレスを使い、ホストコンピューター内にあるメール保管場所（メールサーバー）に送信する。相手は自分のメールボックスにアクセスして、保管してあるメールを自分のパソコンに取り込んで内容を読むという仕組みです。

電子メールは Eメール（エレクトロニックメール）ともいいます。

## ● マルチメディア

文字・音声・画像・映像など多様な形式で表現された情報を統合的に処理することです。数字や文字だけの処理に比べて、きわめて大量のデータを高速に処理する必要があるため、ハードウェア面、ソフトウェア面でそれを可能にする性能が必要です。

## ● ハードウェア

もともとは「金物」という意味です。パソコンの分野では、装置や機械などの総称として使われるソフトウェアと対照的なことばです。具体的にいえばパソコンを構成している部品や装置のことをいいます。

## ● キーボード

パソコンで数値や文字を入力するときの入力装置のことです。

## ● マウス

2つまたは3つのボタンがある入力装置のことで、「ねずみ」に似ていることからマウスと呼びます。画面に表示された機能や命令を選択したり、移動やコピーしたりできます。

## ● タッチタイピング

キーボードから数値や文字を入力するとき、キーボードを見ずにタイピングをすることです。各指について基本位置（ホームポジション）と分担するキーが決められており、1つのキーを打った後は常に基本位置に指を戻します。また、同じキーは必ず同じ指で打つのが原則です。

→ 次ページに続く

## ●フリーズ

もともとは「凍りつく、動かなくなる」という意味です。パソコンの分野では、予期しない形でプログラムの実行が停止し、キーボードやマウスなどを操作しても何も反応しない状態をいいます。

## ●リセット

パソコンの分野では、パソコンの電源を入れた直後の状態に戻すことをリセットといいます。パソコンにはリセットボタンという専用のボタンが設けられているものもあります。

## ●アイコン

アプリを起動させたり、画面を表示させたりするための絵柄のことをいいます。

## ●マウスポインター

マウスの動作どおりに画面上を動き、現在どこを指しているかを示す目印のことをいいます。

マウスポインターにはいろいろな種類があり、自分の好みに合わせて変更することができます。また、指示する場所（マウスポインターがある場所）によって、いろいろとその形が変わります。

## ●タスクバー

デスクトップ画面下辺にある横長の棒（バー）をいいます。

コンピューターが仕事を行う時の最小単位をタスクといい、今パソコンがどんな処理を行っているかを表すバー（棒）であることから「タスクバー」といいます。

## ●タイル

アプリの通知を表示できる、起動するためのボタンです。

☆☆ここまでくれば、練習問題1で理解度を試してください。☆☆

## 2. 電源の入れ方とマウスの動かし方

どんな便利な電化製品でも、電源を入れないと利用することができないように、パソコンも本体の電源を入れないと、文書を作成したり、イラストを描いたり、インターネットをしたりすることができません。

パソコンだから電源の入れ方も難しいのでは？ そんな心配はいりません。パソコンも電化製品も同じです。「電源ボタンを押すだけ」でパソコンが動くようになっています。ここでは、パソコンの電源の入れ方とマウスの動かし方、電源の切り方を説明します。

### (1) 電源の入れ方

#### パソコンの電源を入れるだけでドキドキするわ！

ウメさん「いよいよ、パソコンの電源を入れるのね。  
何度もやっても、電源を入れるのはドキドキするわね。」

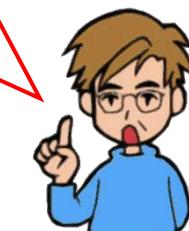
タケさん「そうじゃのお～。  
わしも初めてだから、壊してしまうんじゃないかとハラハラするわ！」

くじら先生「みなさん、自動車学校で、初めてエンジンを掛ける時と同じ思い  
でしょう。  
でも、電源を入れてしまえば、何だ、これだけ？って感じです。」

次の手順に従って実際に電源を入れてみましょう。

注意！

●ここからの操作は、左右に分かれている箇所があります。「デスクトップパソコン」の方は左側、「ノートパソコン」の方は右側の操作を行ってください。



## 「デスクトップパソコン」の方

画面下（ディスプレイ下）の電源ボタンを押します。

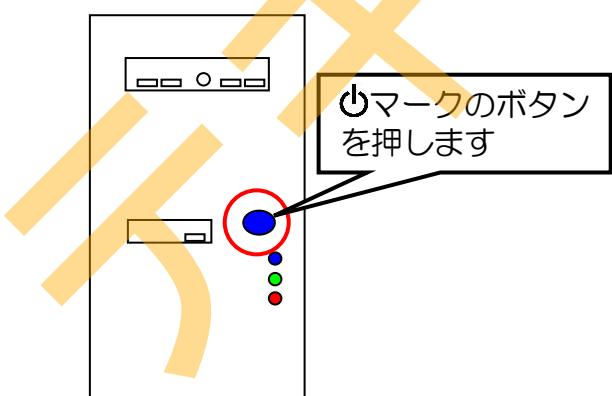


- 電源ボタン付近にあるランプが点滅または点灯していれば、電源がすでに入っているということです。そのときは、電源ボタンを押す必要はありません。

**注意!**

- パソコンによってディスプレイの電源ボタンの位置が異なります。

本体の電源ボタンを押します。



**注意!**

- パソコンによって本体の電源ボタンの位置が異なります。

## 「ノートパソコン」の方

ノートパソコンの蓋を開け、電源ボタンを押します。



- パソコンによって電源ボタンの位置が異なります。

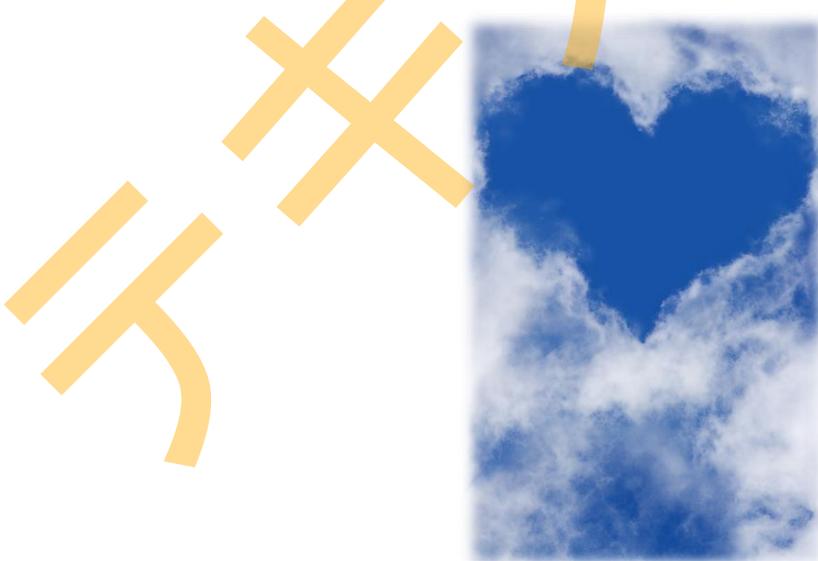
次のような模様の画面が表示されます。



●パソコンによって出てくるアプリ、広告等も異なるため、表示される画面が少し異なります。

●電源を入れただけでは、きれいな模様が画面（ディスプレイ）に表示されるだけで、動きがありません。私たちがパソコンに対して命令しないとパソコンは動かないようになっています。

上の画面が表示されても画面に表示された矢印（マウスポインター）が の状態になっている場合は、パソコンが何か処理を行っている最中です。画面に表示された矢印（マウスポインター）が になるまでもう少し待ちましょう。（「マウスポインター」という言葉は P16 で出てきて、P12、P20 で説明しています。）



## (2) 画面に映っている名前

### カタカナの名前ばかりで覚えにくいわ！

ウメさん「画面に表示された物って、すべてカタカナの名前ばかりだから、覚えにくいわねえ～。」



タケさん「わしも、人の名前を覚えるのが苦手だから、これも覚えられんわ！」

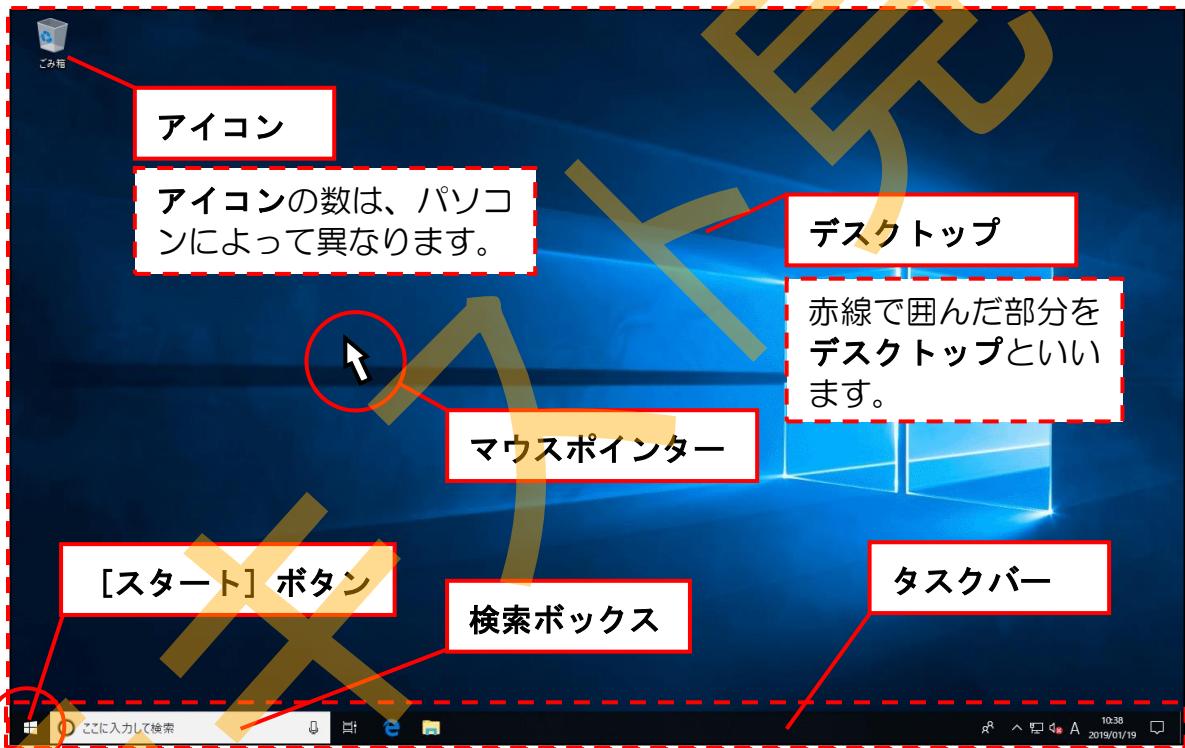
くじら先生「たくさん書いてありますが、今の段階で覚えてほしいのは、



『マウスポインター』、『[スタート] ボタン』、『タスクバー』ぐらいで、後は少しずつテキストを進んでいくうちに覚えていくので安心してください。」

画面が表示されましたが、ここでどうしても覚えてほしい名前があります。今後、テキストを進めていくうえで必要となる名前なので必ず覚えるように心がけましょう。

#### デスクトップ画面



余裕があれば読んでね

##### ●アイコン

アプリを起動させたり、画面を表示させたりするための絵柄のことをいいます。

##### ●マウスポインター

マウスの動作どおりに画面上を動き、現在どこを指しているかを示す目印のことです。マウスポインターにはいろいろな種類があり、指示する場所（マウスポインターがある場所）によって、いろいろとその形が変わります。

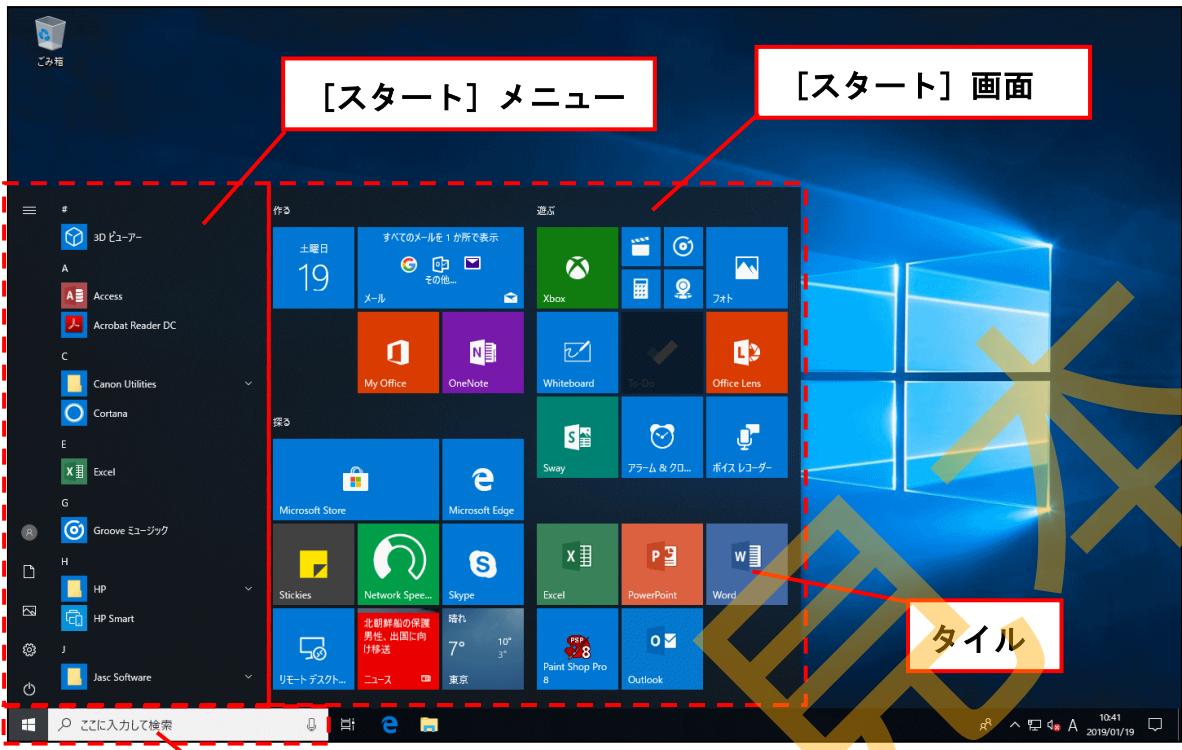
##### ●タスクバー

デスクトップ画面下辺にある横長の棒（バー）をいいます。

コンピューターが仕事を行う時の最小単位をタスクといい、今パソコンがどんな処理を行っているかを表すバー（棒）であることから「タスクバー」といいます。

## デスクトップ画面

(  [スタート] ボタンをマウスの左ボタンで押した状態)



検索ボックス

余裕があれば読んでね

### ● タイル

アプリの通知を表示できる、起動するためのボタンです。

注意!

● 上の図のような [スタート] メニューと [スタート] 画面を消すには、再度  [スタート] ボタンをマウスの左ボタンで1回押します。  
(マウスの詳しい操作は、次のページからになります。)



### (3) マウスのボタンと使い方

## たくさんボタンがあるけど、どれを使っても同じなの？

ママさん「たくさんボタンがあるわねえ～。  
どのボタンを使っても同じ結果になるの？」



パパさん「いや、確かに会社の子が左のボタンと右のボタンでは、機能が  
違うようなことを言ってたぞ！」

くじら先生「パパさんのおっしゃるとおり、左のボタンと右のボタンでは使い道が  
異なります。そのことについて、今から説明していきますね。」

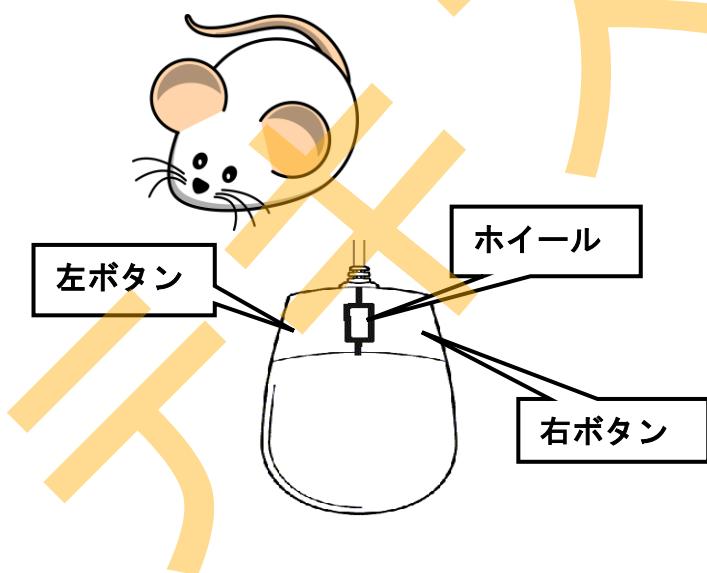


パソコンに電源が入ったところで、電源の切り方を説明したいところですが、パソコンの  
電源を切るためには、マウスの使い方を学習する必要があります。

パソコンの場合、テレビやビデオと違ってマウスを使って電源を切ります。今までマウス  
を使ったことのない方には、キーボード以上に難しく感じるかもしれません、これもク  
ルマでブレーキを踏む感覚をつかむのと同じでマウスをどれぐらい動かせばいいか、使  
て慣れるしか方法はありません。

ここではマウスを自由に動かすことと、ボタンの押し方を覚えましょう。

#### ① マウスの名前



●マウスとは、形がねずみに似ている  
ことからこの名前が付いています。  
また、マウスには通常3つのボタン  
が付いています。



●ホイールとは、左右のボタンの間に取り付けられた、円盤型のボタンのこと、指で押  
したり、回したりすることによって、画面をスクロール（一画面に表示できない場合に  
表示画面を上下左右に移動して表示する機能）することができます。

## ② マウスの持ち方

マウスを持ってみましょう。

右手の親指でマウスの左側面、薬指と小指でマウスの右側面を支えるように持ちます。

裏から見た  
状態



横から見た  
状態



上から見た  
状態



次に人差し指を左ボタンに中指を右ボタンに置きます。

上から見た  
正しい持ち方



横から見た  
正しい持ち方



横から見た誤った持ち方



マウスの裏側



●マウスを持つときのポイントは、人差し指と中指にあまり力を入れて持たないことです。軽くボタンの上に乗せるように置きます。人差し指と中指に力が入ってしまうと、ボタンを押すときにうまく押せません。

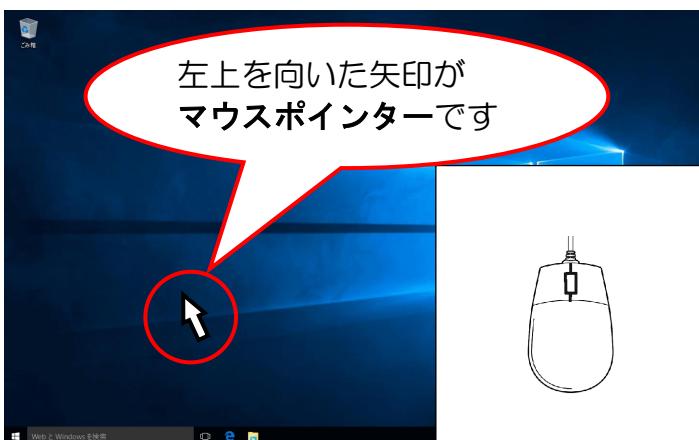
●また操作する時は、手首を机から浮かせてしまうと、うまく操作できなくないため、軽く机に置いた状態で操作するようにします。

注意!

●左ボタンも右ボタンも人差し指で押す方をたまに見かけますが、変な癖を身に付けてしまうと、直すことができなくなってしまうので、必ず最初に正しい持ち方をマスターしましょう。

### ③ マウスの動かし方

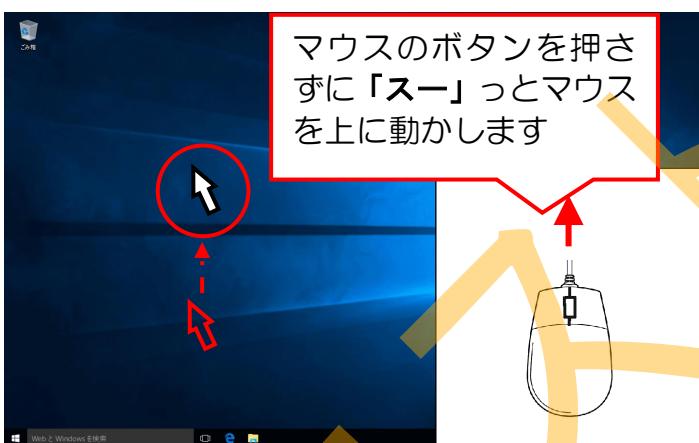
画面上で左上を向いた矢印（マウスポインター）の位置を確認します。



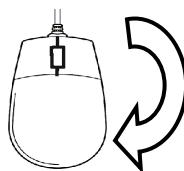
- マウスポインターは、表示される位置によって形が変わるので、いつも同じ形とは限りません。また、マウスを回しても ↓ (マウスポインター) が回るわけではありません。矢印の指している方向は同じです。



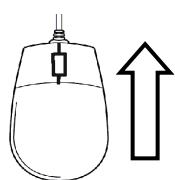
マウスを上に動かしてみましょう。



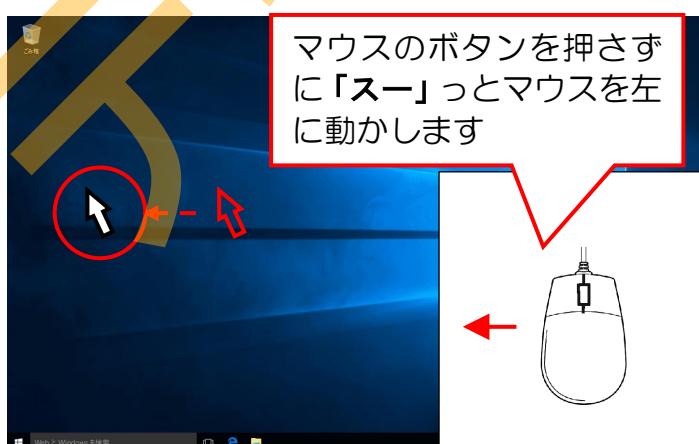
- これ以上マウスが移動できない位置まできたら一度マウスを持ち上げて、マウスを移動します。



もう一度マウスを置いて動かします。



マウスを左に動かしてみましょう。



マウスを持ち上げている時は、マウスポインターは動きません。



## ④ マウスの大切な基本操作

マウスは、パソコンを操作するうえで非常に重要な役割を持っています。パソコンに「～をしなさい」というような命令を与える場合、マウスを使う方法が一番簡単です。

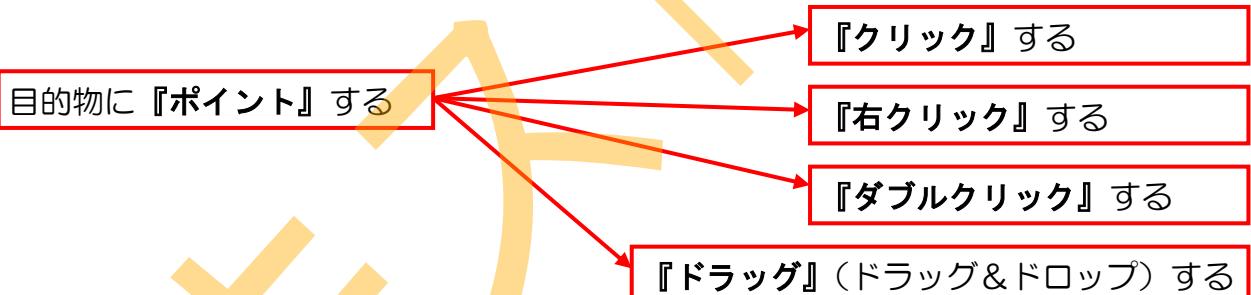
マウスの基本操作には、次のような操作があるので、下に記載した言葉とその言葉の意味をよくマスターしておきましょう。



ここは説明だけです！  
操作方法は次のページからです！！

- ポイント ..... 目的物にマウスポインターを重ね合わせる
- クリック ..... マウスの左ボタンを1回押す
- 右クリック ..... マウスの右ボタンを1回押す
- ダブルクリック ..... マウスの左ボタンをすばやく2回押す
- ドラッグ ..... マウスの左ボタンを押したまま目的の位置までマウスを動かし「パッ」と離す  
(ドラッグ＆ドロップ)

マウスを使って操作する場合、次のような流れで行うので、よく理解しておきましょう。



※…上の図でも理解できるように、まず操作の基本は目的物にマウスポインターを重ね合わせる（ポイントする）という操作から始まります。

それでは、実際にこれらの基本操作をマスターするために、次のページから操作方法を説明します。

Windows8からは、タッチパネル機能が装備されたパソコンで、指先での操作が可能になりました。

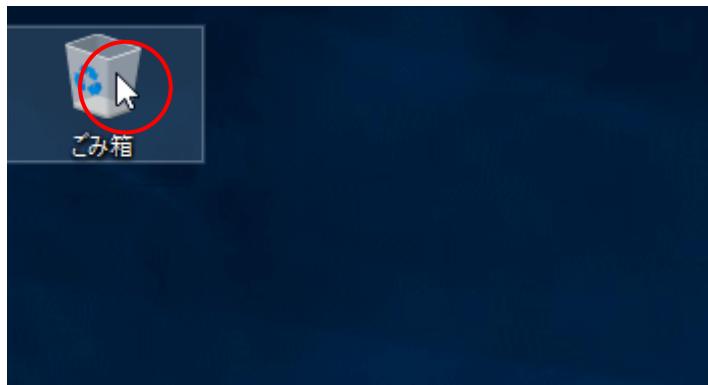
本テキストでは、マウスの操作で進んでいただくようになっています。  
タッチパネルに関しての操作は、下記を参考にしてください。

- タッチパネルの基本操作 P33
- タッチパネルに関する補足説明 P34
- タブレットモードについて P34

## ⑤ ポイントしてみよう

ポイントとは、操作する目的物に左上を向いた矢印（マウスポインター）を重ね合わせる操作をいいます。

マウスを動かして、左上を向いた矢印の先を「ごみ箱」の絵柄（アイコン）に重ね合わせます。



- よく「ポイントしてください」と言ったときに、マウスのボタンを押される方がいらっしゃいます。マウスのボタンは押しません。
- 左上を向いた矢印のことをマウスポインターと呼びます。

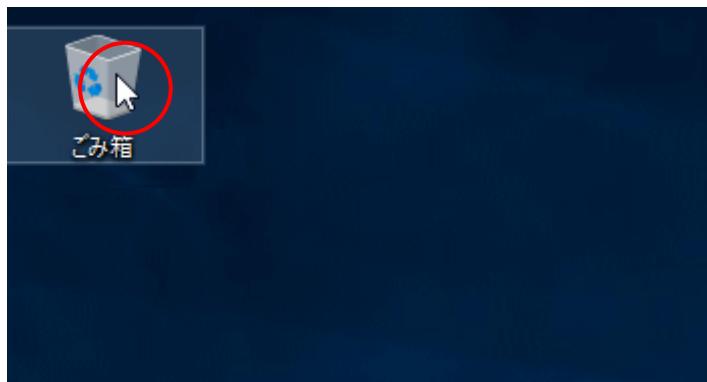
次の操作のために、マウスポインターを何もない場所へ動かしておきましょう。



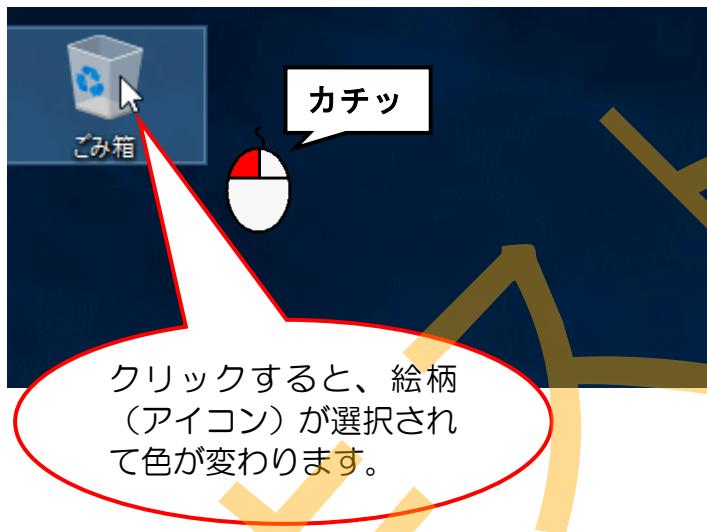
## ⑥ クリックしてみよう

マウスの左ボタンを1回押す操作をクリックといいます。

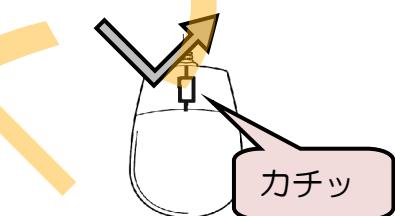
左上を向いた矢印（マウスポインター）を「ごみ箱」にポイントします。



そのままの状態で左ボタンを1回押します。



●クリックとは、「カチッと音を鳴らす」という意味です。

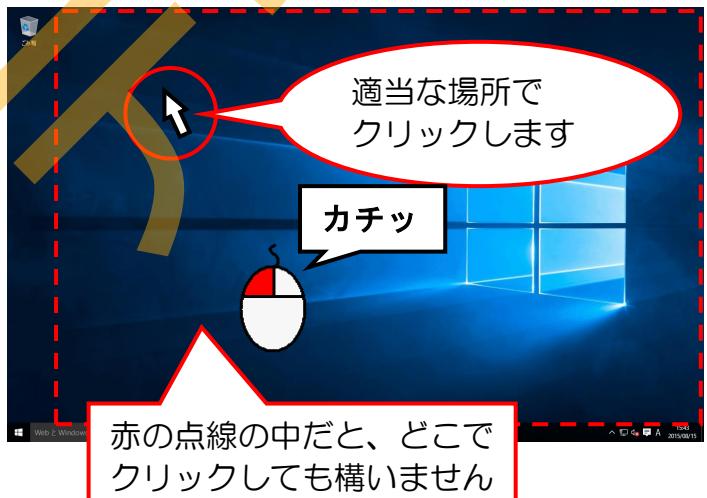


●マウスの左ボタンは、右手の人差し指で押します。

クリックの補足説明

P36

画面上の何もない場所をクリックします。



●色が変わった「ごみ箱」を元の状態に戻すため、画面上の何もない場所でクリックします。

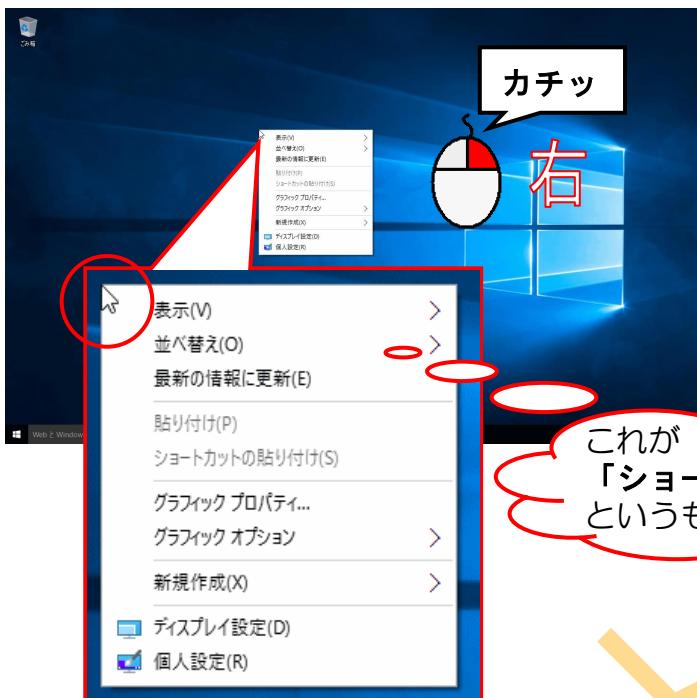


●マウス操作に慣れていないと、マウスを持った手元を見ながらクリックしてしまいますが、画面に表示されたマウスポインターを見ながらクリックする習慣をつけましょう。

## ⑦ 右クリックしてみよう

マウスの右ボタンを1回押す操作を**右クリック**といいます。

画面上（デスクトップ）で、マウスの右ボタンを1回押します。

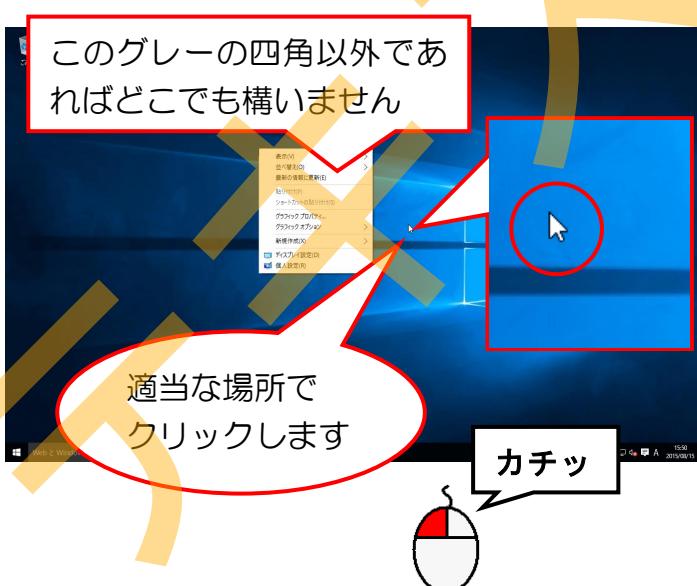


- マウスの右ボタンは、**右手の中指**で押します。



- 表示されるショートカットメニューの内容は、右クリックした場所によって異なります。

グレーの四角以外でクリックし、ショートカットメニューを消します。

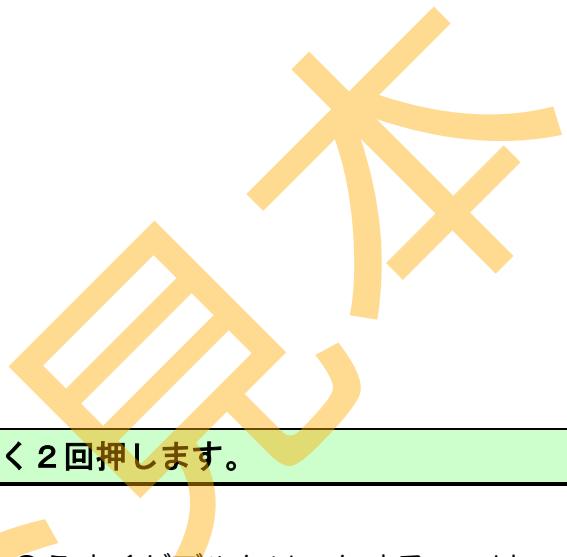


- 自分で右クリックをした覚えがないのに、グレーの四角が表示される場合があります。これは、マウスの右ボタンに指が触れてしまったために、右クリックをしたのと同じ状態になってしまったためです。右クリックをしてしまい、グレーの四角が表示されてしまった場合は、**グレーの四角以外をクリック**することで戻ります。

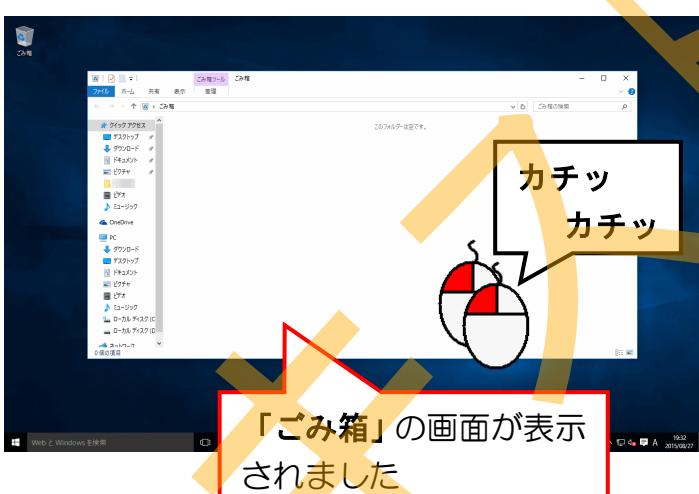
## ⑧ ダブルクリックしてみよう

マウスの左ボタンをすばやく2回押す操作をダブルクリックといいます。

マウスポインターを「ごみ箱」にポイントします。



ポイントした状態で、マウスの左ボタンをすばやく2回押します。



● うまくダブルクリックするコツは、指先に力をいれないようにしてボタンを押すことです。



● 左ボタンを押すときに、1回目と2回目の間隔が長すぎたり、1回目に押した位置と、2回目に押した位置がずれると失敗します。

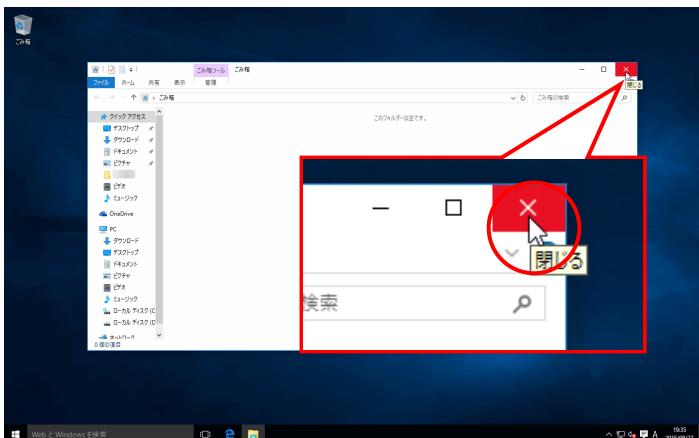
ダブルクリックが苦手な方のために

P36

● 「コンッ、コンッ」とドアをノックするような感覚でマウスの左ボタンを抑えるとうまくいきますよ！！

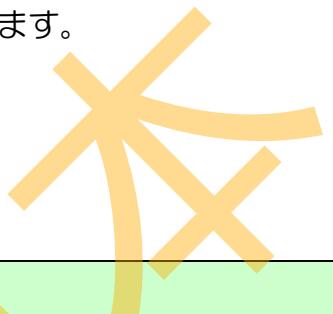


マウスポインターを画面の右上にある  [閉じる] ボタンにポイントします。

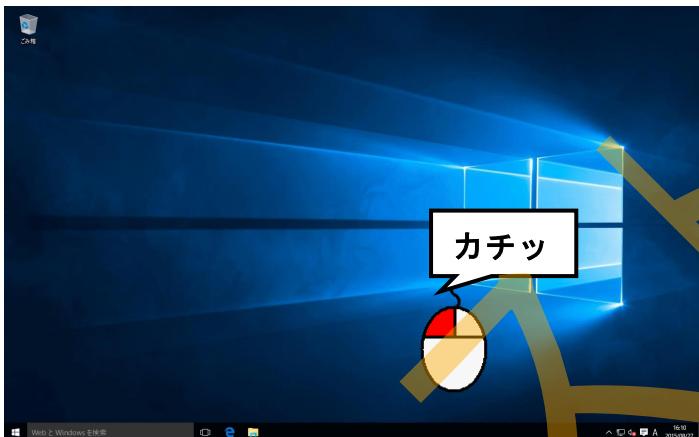


●開いた画面を閉じる場合は、  
× [閉じる] ボタンをクリックし  
ます。

● × [閉じる] ボタンにポイントす  
ると、ボタンの色が  のように  
赤色に変わります。



そのまま × [閉じる] ボタンをクリックします。



ダブルクリックという操作は、初心  
者にとってやりにくい操作のひとつ  
です。  
最初は上手にダブルクリックできなく  
て当然です。



この操作をマスターするには、  
何回も繰り返すしかありません。



## ⑨ ドラッグしてみよう

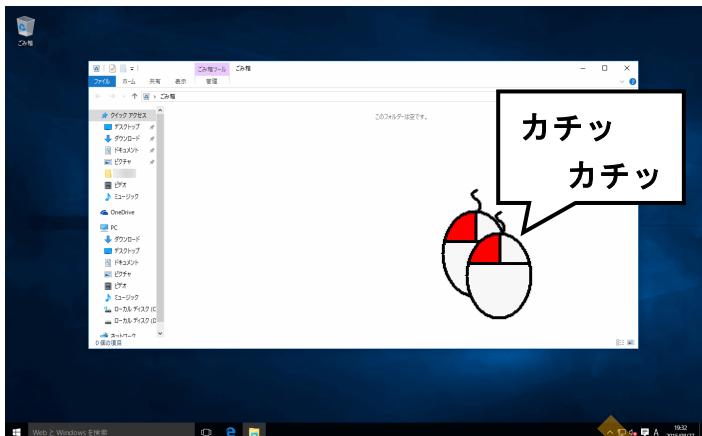
マウスの左ボタンを押したままの状態で、マウスを目的の位置まで動かし、マウスから指を離す操作のことを **ドラッグ** といいます。

正式な名称を **ドラッグ & ドロップ** といいます。

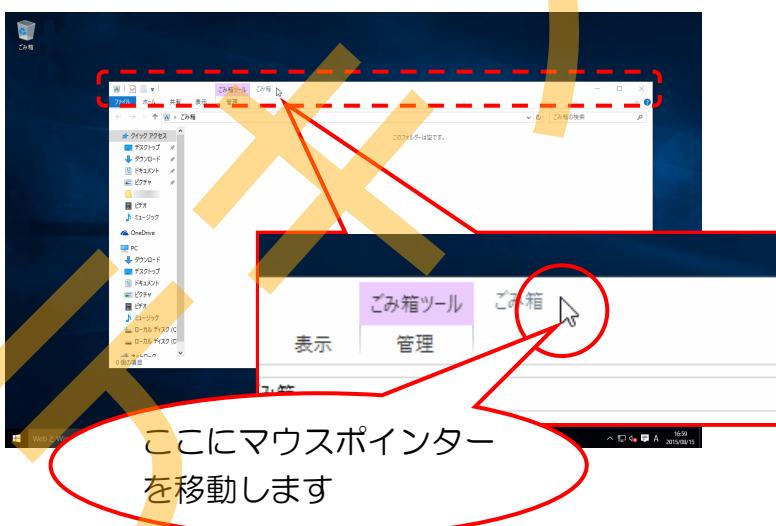
「**ドラッグ**」とは「ズルズル引きずる」、「**ドロップ**」とは「落とす」という意味です。

「**ドラッグ & ドロップ**」とは、「引きずって落とす」という意味になります。

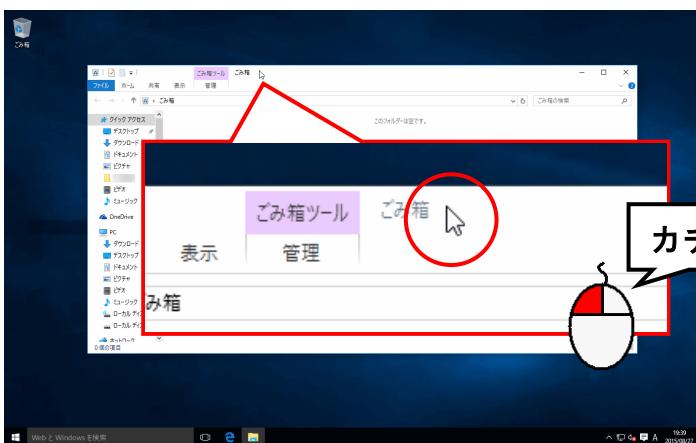
「ごみ箱」の絵柄（アイコン）をダブルクリックして、「ごみ箱」を開きましょう。



マウスポインターを、画面上に表示されたバーにポイントします。



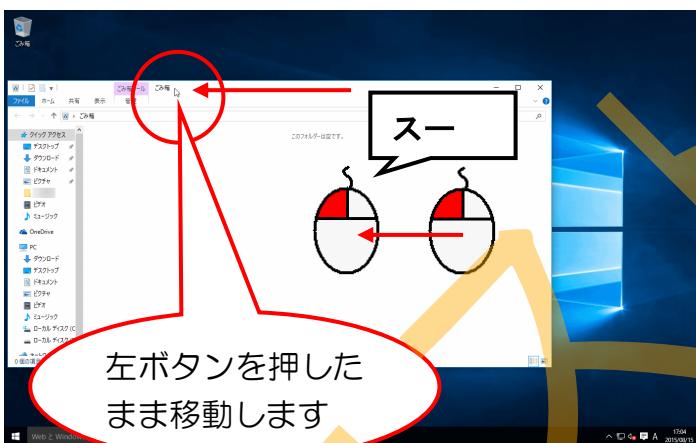
マウスの左ボタンを押したままにしておきます。



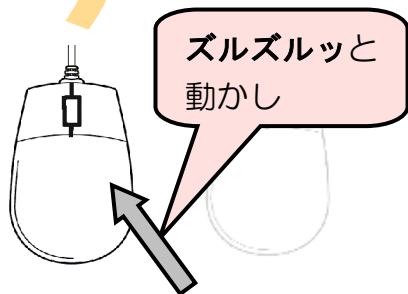
● ドラッグは、クリックと違って左ボタンを押したままの状態を保ちます。



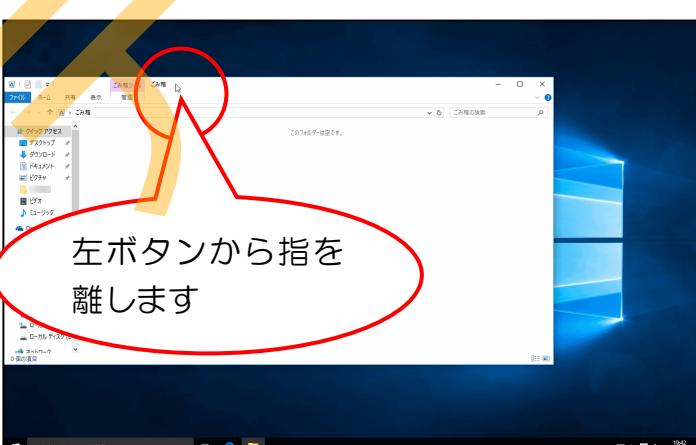
マウスの左ボタンを押したままの状態で、左に移動します。



● マウスポインターの矢印の先が、画面上に表示されたバーにないと移動しません。



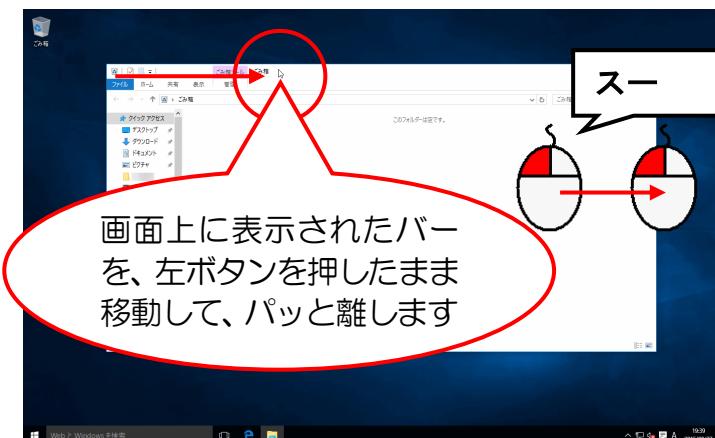
マウスの左ボタンから指を離します。



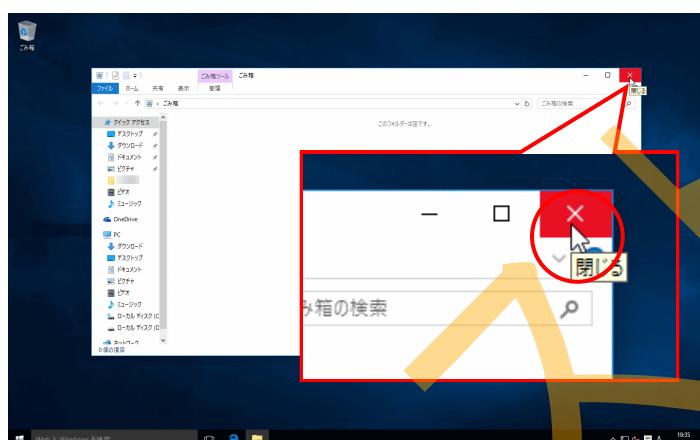
目的の位置でパッと離す



同じ要領で左に移動した画面を中央付近に戻してみましょう。

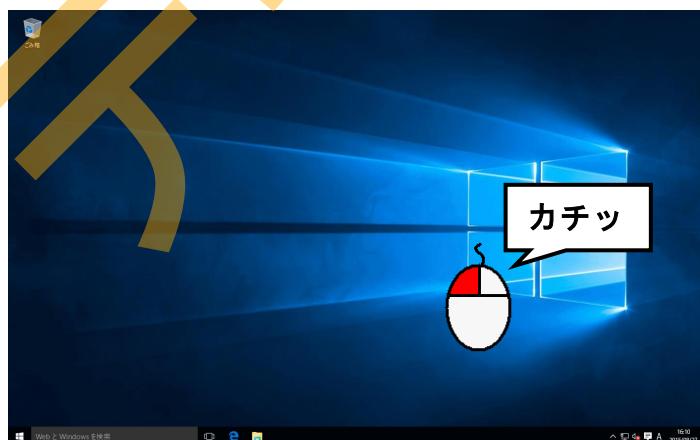


マウスポインターを、画面の右上にある [閉じる] ボタンにポイントします。



- × [閉じる] ボタンにポイントすると、ボタンの色が のように赤色に変わります。

そのまま [閉じる] ボタンをクリックします。



- たまに画面を移動しすぎて右上にある [閉じる] ボタンが画面の外にはみ出してしまう場合があります。そのときは、一度画面を [閉じる] ボタンが見える位置まで移動してから [閉じる] ボタンをクリックします。

マウス操作の補足説明

P37

#### (4) 電源の切り方

### 電源を入れる時と同じ操作をすればいいのじゃな！

タケさん「電源を入れる時と同じで、切る時も電源ボタンを押せばいいのじゃな！」



ウメさん「どんな電気機器でも、電源を入れる時と同じ操作で切れるものね。」

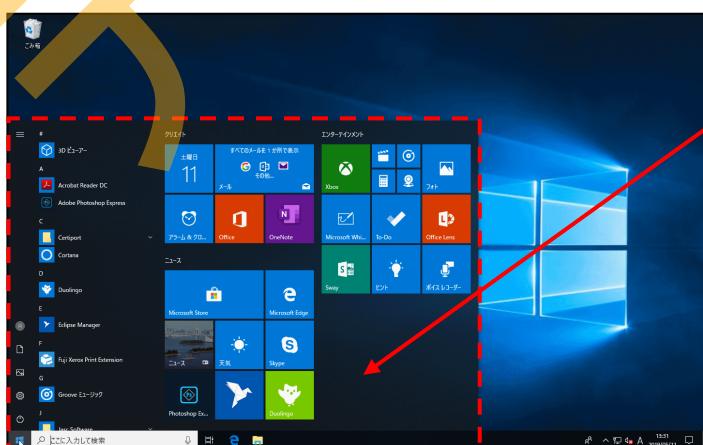
くじら先生「それがパソコンは、他の電気機器と少し違って、電源ボタンでは切らないのです！  
でも、心配はいりませんよ。簡単な操作で切ることができます。」

パソコンの電源は、電源ボタンを押して切るのではありません。マウスを使って電源を切ります。電源ボタンを押してパソコンの電源を切ると故障の原因になるので、よく覚えておきましょう。

画面の左下隅にある [スタート] ボタンにポイントし、クリックします。

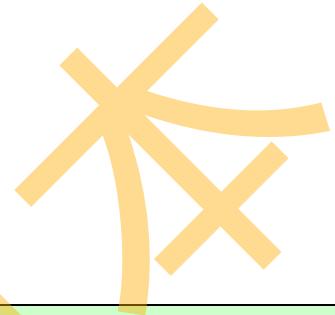


- [スタート] ボタンにポイントすると、 のように [スタート] ボタンの色が変わります。

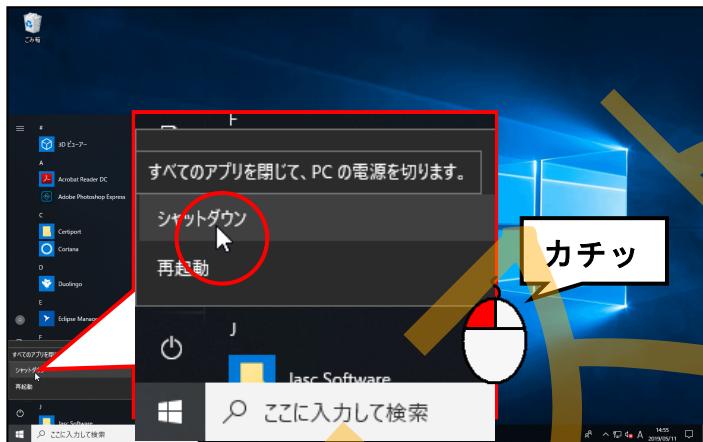


- [スタート] ボタンをクリックすると、[スタート] メニュー、[スタート] 画面が表示されます。

画面の左下にある  [電源] にポイントし、クリックします。



表示される一覧から [シャットダウン] にポイントし、クリックします。



電源を切る操作は、たったこれだけです。[シャットダウン] をクリックすると、あとは自動的に電源が切れ、画面が暗くなります。



## ●ディスプレイの電源

### 「デスクトップパソコン」の方

画面が真っ黒になったことを確認して、画面下（ディスプレイ）の電源ボタンを押します。



### 注意!

●パソコンによってディスプレイの電源ボタンの位置が異なります。

余裕があれば読んでね

●このような操作をせずに電源を切ると作成中の文書などがある場合、データは消失して、最悪の場合ハードディスクが壊れます。

●よくこのような操作をせずに電源を切る方がいらっしゃいますが、それはどうしても電源が切れないときの最終手段です。

### 「ノートパソコン」の方

画面が真っ黒になったことを確認しましよう。



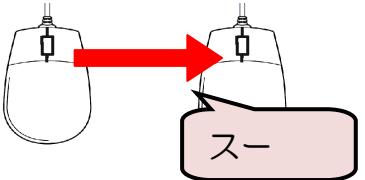
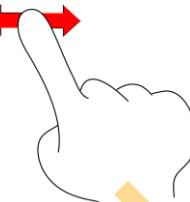
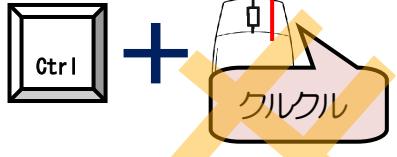
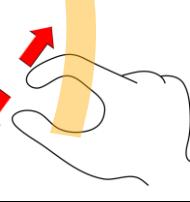
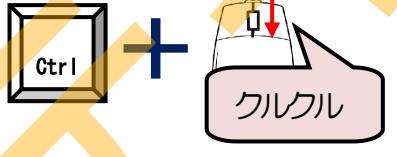
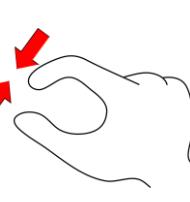
### スリープで終了する方法

P37

## ●補足説明（その2）P33～P37

### ●P21 タッチパネルの基本操作

■タッチパネルの操作において、マウスに相当する操作との対応表になります。

マウスに相当する操作	タッチパネルの操作	説明
クリック 	 <b>タップ</b>	マウス操作におけるクリックに相当し、画面を指で軽く叩く操作。
ダブルクリック 	 <b>ダブルタップ</b>	画面を指で軽く叩く「タップ」操作を2回繰り返す操作。
ドラッグ 	 <b>ドラッグ</b>	タッチしたまま、目的の場所まで指をすべらせる操作。
右クリック 	 <b>ロングタップ（長押し）</b>	長押しする操作で、長押しして指をはなすとショートカットメニューが表示されます。
[Ctrl]キー+ホイール 	 <b>ピンチアウト</b>	画面上の操作対象を広げるように2本の指を離していく、画面を拡大させる操作。
[Ctrl]キー+ホイール 	 <b>ピンチイン</b>	画面をつまむようにして2本の指を近づけ、画面を縮小させる操作。
フリックに該当するマウス操作がないため、表記していません。	 <b>フリック</b>	画面に触れた指を少しだけスライドさせる操作で、指で画面上を押してから、さっとはじくように動かす操作。

※上記のタッチパネル操作名は、様々な名称がありますが、本テキストではこの名前で表記しています。

## ●P21 タッチパネルに関する補足説明

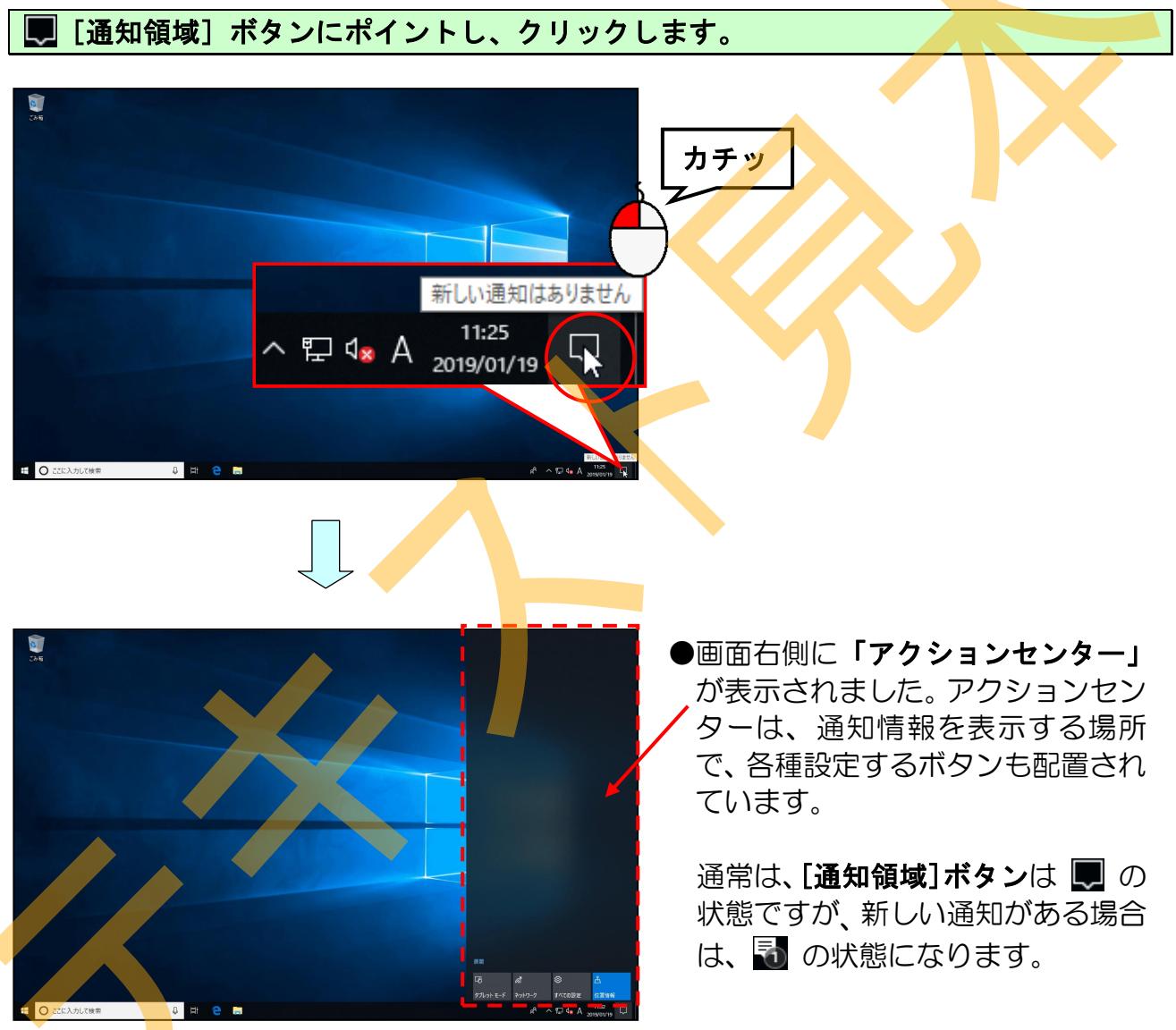
### ■タッチパネル

タッチ機能を利用するには、タッチに対応したタッチパネルを持つ、タブレット、またはディスプレイが必要となります。

## ●P21 タブレットモードについて

Windows10では、画面を指先で操作するためのタブレットモードが搭載されています。

タブレットモードとは、[スタート]メニューが全画面で表示されるモードになります。タブレットモードに切り替えるには、アクションセンターで行います。

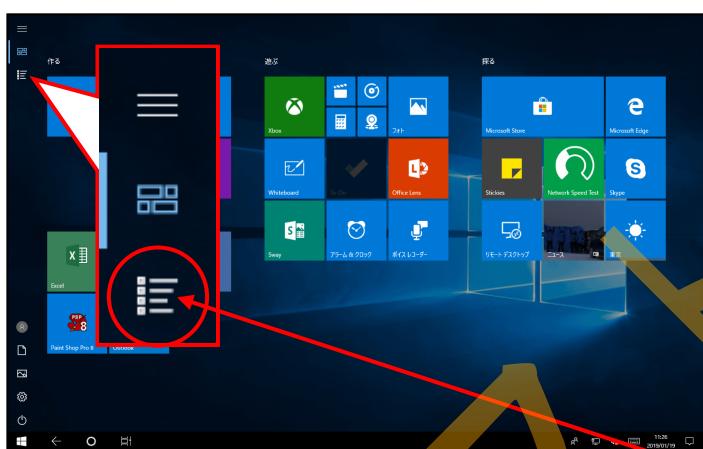
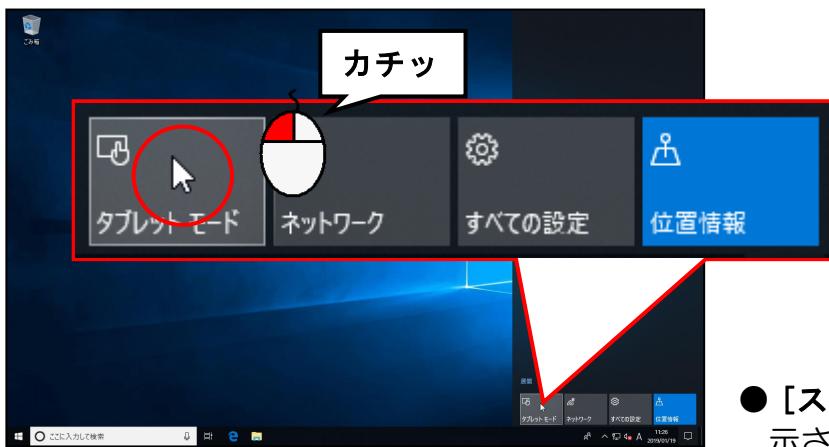


●画面右側に「アクションセンター」が表示されました。アクションセンターは、通知情報を表示する場所で、各種設定するボタンも配置されています。

通常は、[通知領域]ボタンは  の状態ですが、新しい通知がある場合は、 の状態になります。

次ページに続く

[タブレットモード] にポイントし、クリックします。



● [スタート] メニューが全画面で表示されました。

● 下の図のように、アクションセンターが右側に表示されたままの場合は、アクションセンター以外の場所をクリックし、アクションセンターの画面を閉じておきましょう。

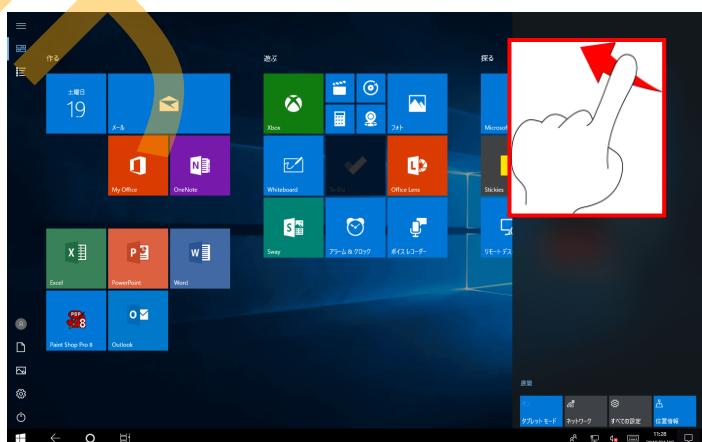


● タブレットモードですべてのアプリを表示する場合、画面左上の上から3つ目のボタンをタップすると、アプリが表示されます。



タッチパネル操作で、タブレットモードを元の状態に戻しましょう。

画面右側からフリックします。

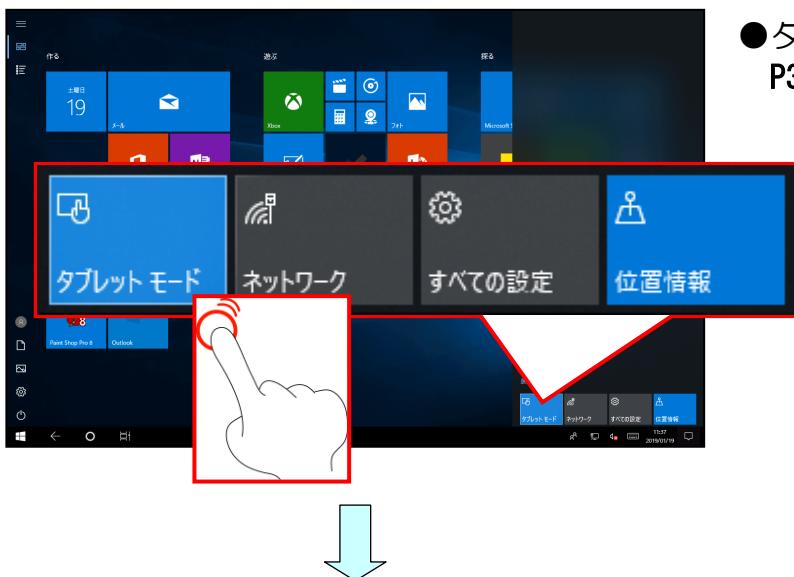


● 画面右側からフリックすると、「アクションセンター」が表示されます。

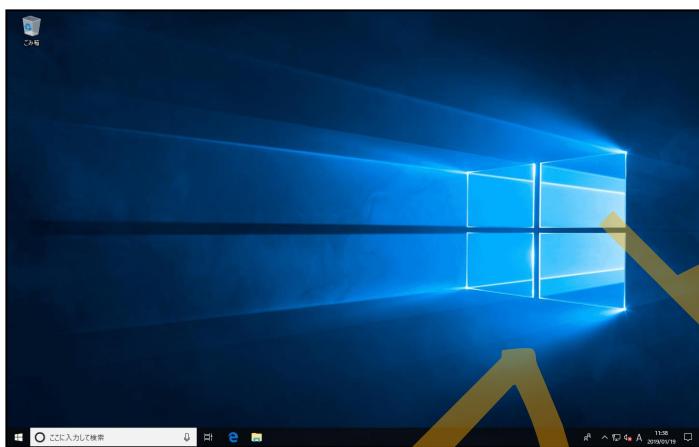
● フリックという操作を忘れた方は、P33 を参照してください。

次ページに続く

## [タブレットモード] をタップします。



●タップという操作を忘れた方は、P33 を参照してください。



●下の図のように、アクションセンターとスタート画面が表示されている場合は、アクションセンター、スタート画面以外の何もないところをクリックして閉じておきましょう。



## ●P23 クリックの補足説明

左ボタンを1回押してアイコンが開いてしまう方は、設定を変更することができます。フォルダーオプションの「クリック方法」を変更します。詳しくはインストラクターにお尋ねください。

## ●P25 ダブルクリックが苦手な方のために

ダブルクリックの苦手な方のためにパソコンが認識するダブルクリックの速度を変更することができます。

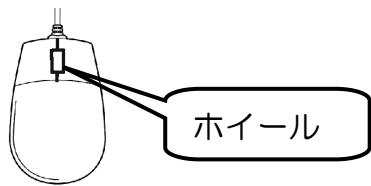
マウスのプロパティの「ダブルクリックの速度」を変更します。詳しくはインストラクターにお尋ねください。

もしくは、クリックした後に、[Enter] キーを押す方法もあります。



## ●P29 マウス操作の補足説明

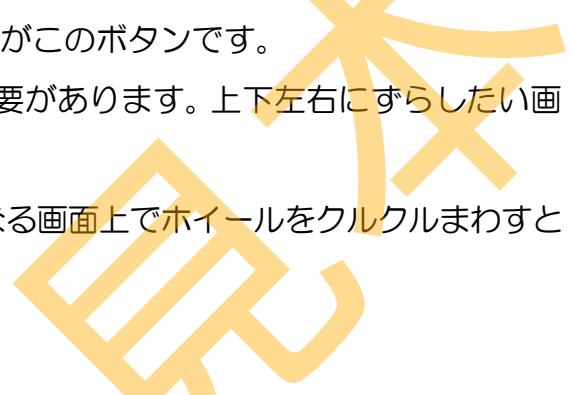
左ボタンと右ボタンの間にあるタイヤ状のボタンを  
ホイールといいます。



長い文書やメールは画面を上下に動かさないと読むことが  
できません。これは、パソコンの画面（ディスプレイ）に表  
示される文字の量や画面の高さに限界があるからです。そこ  
で、「スクロールバー」（画面右端にある▲や▼が付いた棒  
状のもの）を使うわけですが、その代わりになるのがこのボタンです。

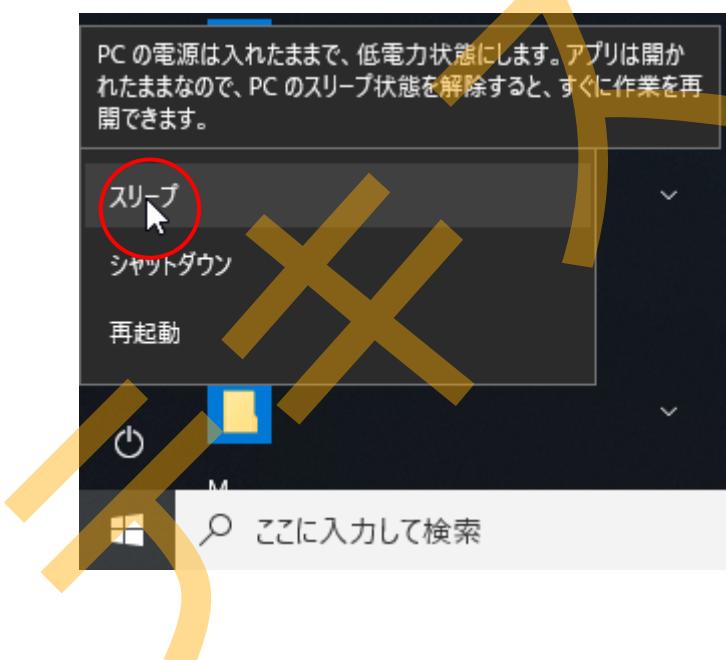
このボタンを使う時は、対象となる画面上で行う必要があります。上下左右にずらしたい画  
面の外で行ってもできないので注意が必要です。

画面をずらす操作をスクロールといいます。対象となる画面上でホイールをクルクルまわすと  
上下にスクロールすることができます。



## ●P32 スリープで終了する方法

「スリープ」は、従来の電源の切り方ではなく、すぐに起動できるように省電力の状態で待  
機することです。パソコンの作業を中断するときは、パソコンをスリープ状態にしておくと、  
作業を開始するときにすぐに復帰するので便利です。



☆☆ここまでくれば、練習問題2で理解度を試してください。☆☆

### 3. パソコンを動かしてみよう

今からがパソコンの楽しさを実感できるところですね！

ウメさん「これから、いろいろなものを画面上に表示したり、年賀状を作ったりできるのね。」

タケさん「わしは、早く年賀状を作りたいんじゃ！」

くじら先生「おふたりとも、そんなに焦らないでください。

いろいろなものを画面上に表示しますが、まだ年賀状は無理ですよ！

最初は、マウスの操作に慣れていただくために、『電卓』というものを画面上に表示してみましょう。」

タケさん「パソコンの中に『電卓』？」

くじら先生「そうです。いつもみなさんが使う電卓と同じ機能を持っています。

パソコンを使っていて、ちょっと電卓がほしいなあという時にすぐ出せて便利です。」

ウメさん「わたし、暗算が苦手だから電卓があると助かるわ～。」

くじら先生「では、電卓を使ってマウスに慣れていきましょう。」



パソコンは電源ボタンを押しただけでは、自分から勝手に動いてくれません。パソコンもテレビと同じように、自分から何かを表示してくれて勝手に動いてくれると便利なのですが、今の技術ではまだそこまでには至っておりません。

パソコンに何かをさせるためには、私たちがパソコンに「命令」を与えないといけません。また、自分が何をしたいかによって、必要な道具が異なります。パソコンに作業をさせるためには、その作業に見合った「道具」が必要なのです。

## (1) パソコンを動かす道具のいろいろ

いろいろありすぎてどれを使ったらいいいのかなあ～。

ウメさん「どれを使っても年賀状を作ることができるの？」



くじら先生「年賀状を作るためには、年賀状を作るための道具があります。  
どれでもいいというわけではありません。」

タケさん「それじゃ、さっそく何から始めればいいんじゃ？」

くじら先生「それじゃタケさん、ウメさん、さっそく始めてみましょう。  
でもまずは、マウスに慣れるために『電卓』を出してみましょう。」



パソコンを動かすためのアプリは1種類だけではなく、非常にたくさんの種類があり、また使う用途によってもいろいろと異なります。

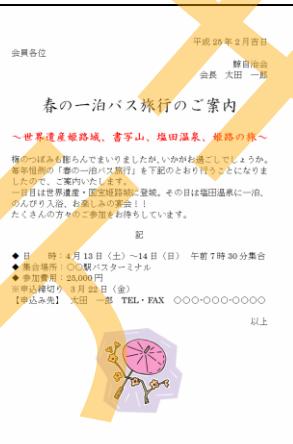
その中で、このパソコン入門で利用する文書を書くための道具を「ワード」といいます。  
そのほかに、表計算をするための道具として「エクセル」、絵を描くための道具として  
「ペイント3D」、インターネットを楽しむための道具として「Microsoft Edge」など  
があります。

### エクセル

お小遣い帳

平成25年6月					
日付	費目	摘要	収入	支出	残高
6月1日	総合旅費		17,892		17,892
6月1日	収入		30,000		47,892
6月3日	食費	昼食代		850	47,042
6月5日	図書費	雑誌代		650	46,392
6月5日	雑費	温泉入浴代		600	45,792
6月5日	食費	和菓子代		950	44,842
6月8日	衣服費	Tシャツ代		2,900	41,942
6月10日	交通費	タクシー代		3,420	38,522
6月10日	交際費	手土産代		1,260	37,262
6月20日	交通費	電車代		420	36,842
6月20日	雑費	文房具代		735	36,107
6月23日	衣服費	スラックス代		7,800	28,307
6月26日	交際費	お土産代		1,800	26,507
6月28日	雑費	温泉入浴代		600	25,907
合計				47,892	21,985

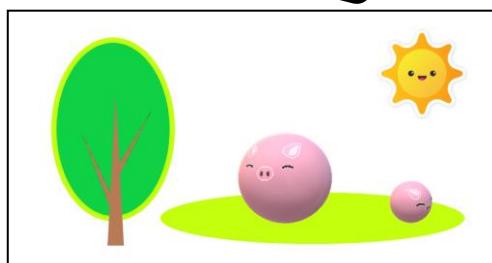
### ワード



### Microsoft Edge



### ペイント3D



## (2) いろいろな道具（アプリ）を見てみよう

### なんだかドキドキするのぉ～。

タケさん「いざ操作するとなると、ドキドキしてきたのぉ～。」



ウメさん「わたしも、こんなにドキドキすることって、  
ランドセルを買ってもらった時以来だわ！」

くじら先生「ドキドキはあとにとっておいてください。これからもっと  
たくさん感動してほしいことが出てきますから・・・。」



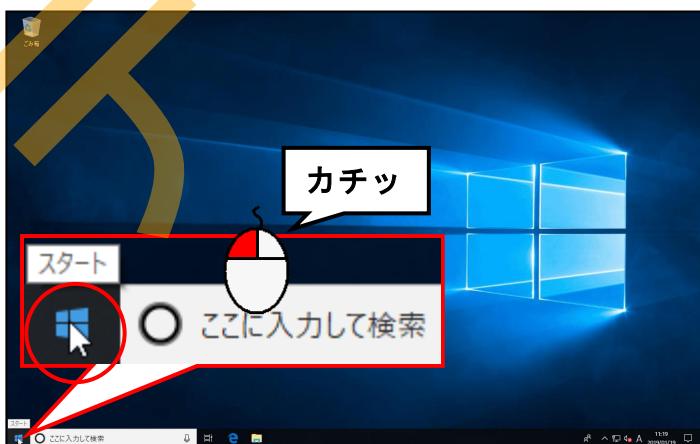
パソコンの中に入っている道具の種類を確認してみましょう。

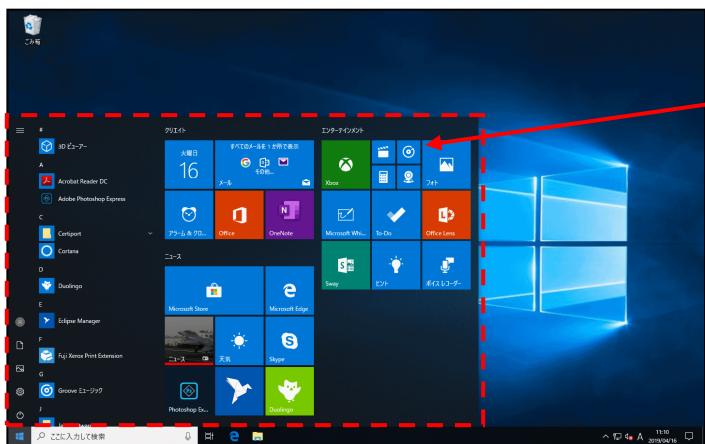
もう一度パソコンの電源を入れてパソコンを起動させましょう。



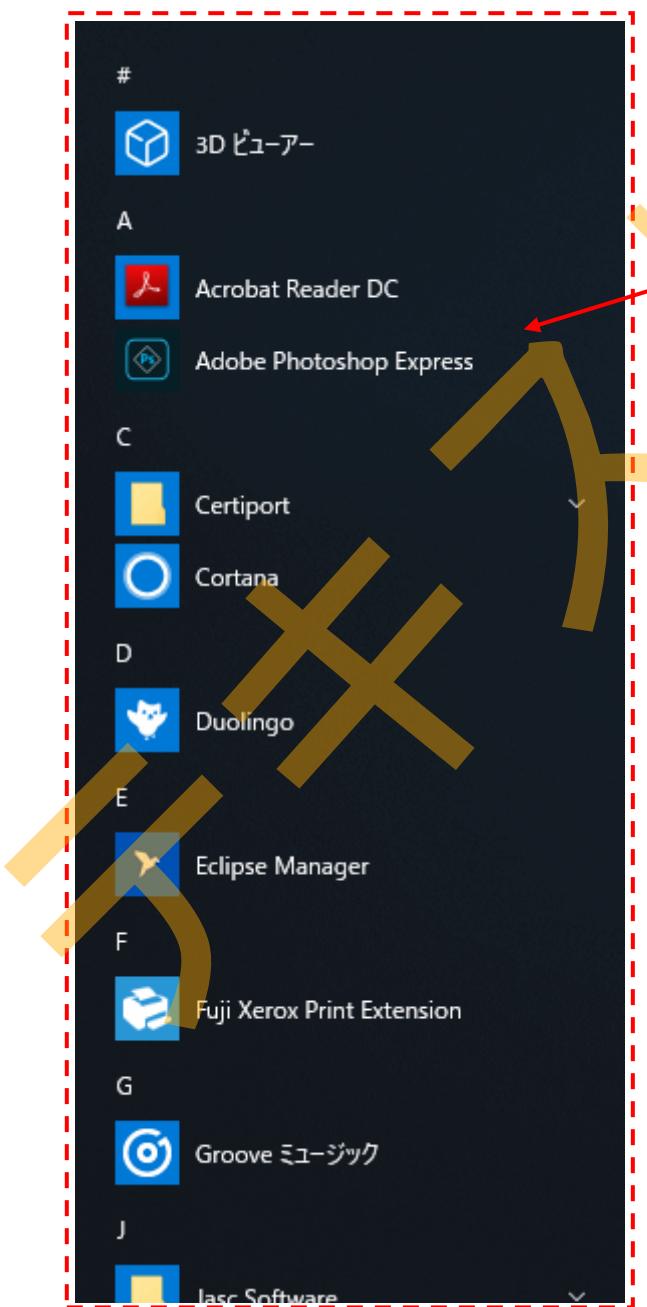
●電源の入れ方を忘れた方は、P13 を  
参照してください。

画面左下隅にある [スタート] ボタンにポイントし、クリックします。





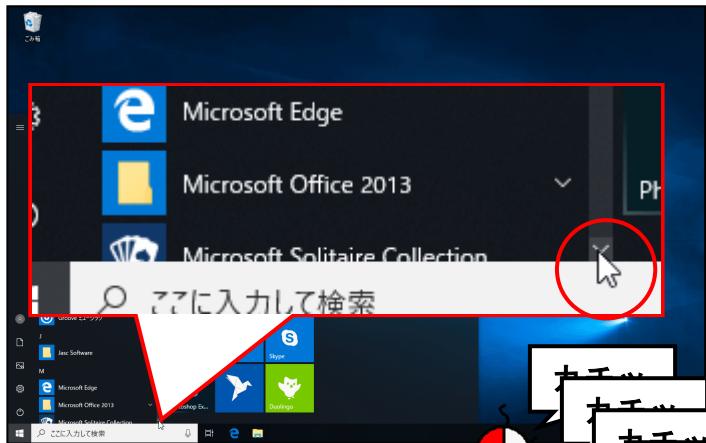
- [スタート] ボタンをクリックすると、[スタート] メニューと [スタート] 画面が表示されます。



- [スタート] メニューは、ABC 順や、50 音順にアプリの項目が表示されます。

- パソコンによって表示されるアプリの種類の数などは異なります。

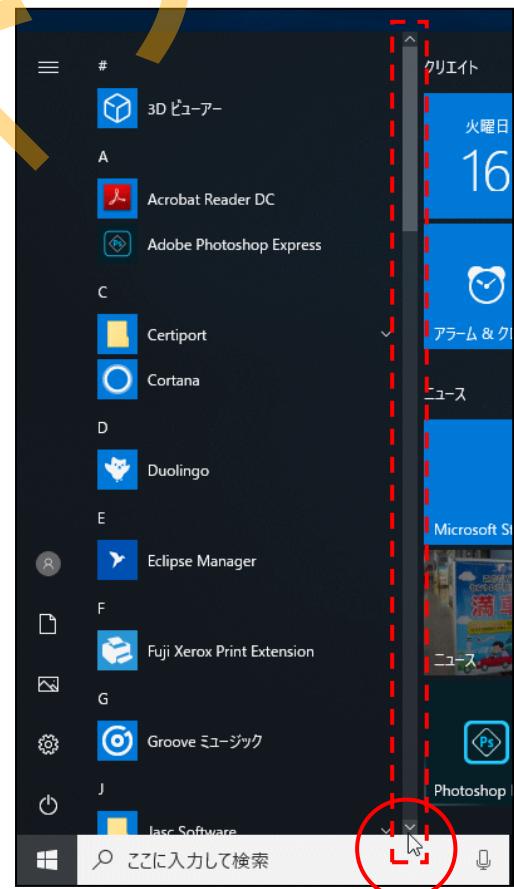
メニュー画面の右側にある ▾ や ▾ をクリックして [Microsoft Office 2013] を探し  
てみましょう。



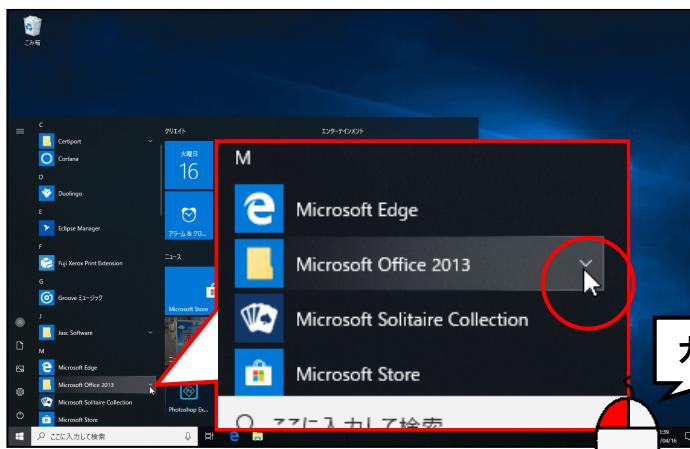
●すでに [Microsoft Office 2013]  
が表示されている方は、この操作は  
必要ありません。



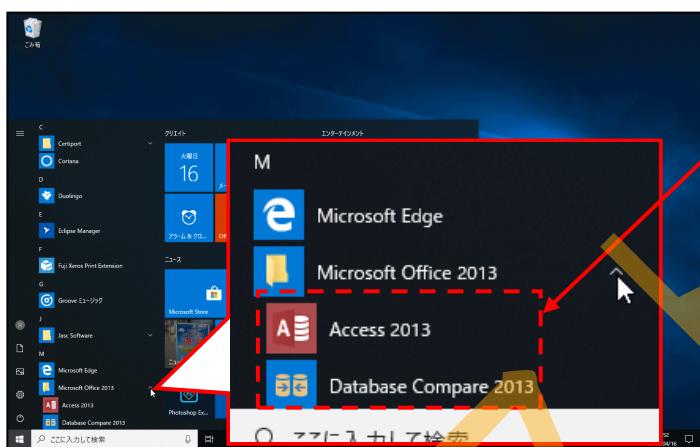
●下の図に示した赤い点線部分のス  
クロールバーは、タイルの左端にポ  
イントすると表示されます。



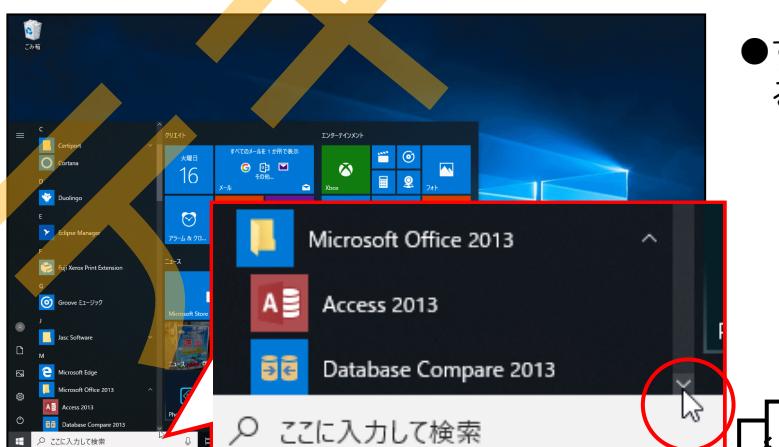
[Microsoft Office 2013] にポイントし、クリックします。



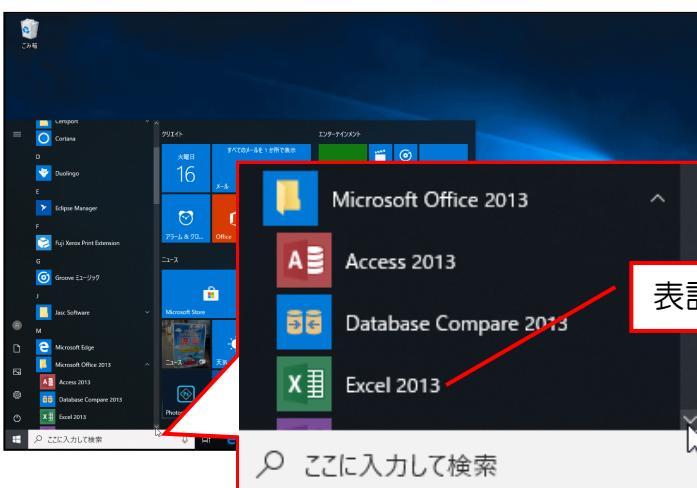
- [Microsoft Office 2013] をクリックすると、[Microsoft Office 2013] の一覧が表示されます。（ここでは一覧の一部しか表示されていません）



[Excel 2013] が表示されるまで、➡ にポイントし、クリックします。



- すでに [Excel 2013] が表示されている方は、この操作は必要ありません。

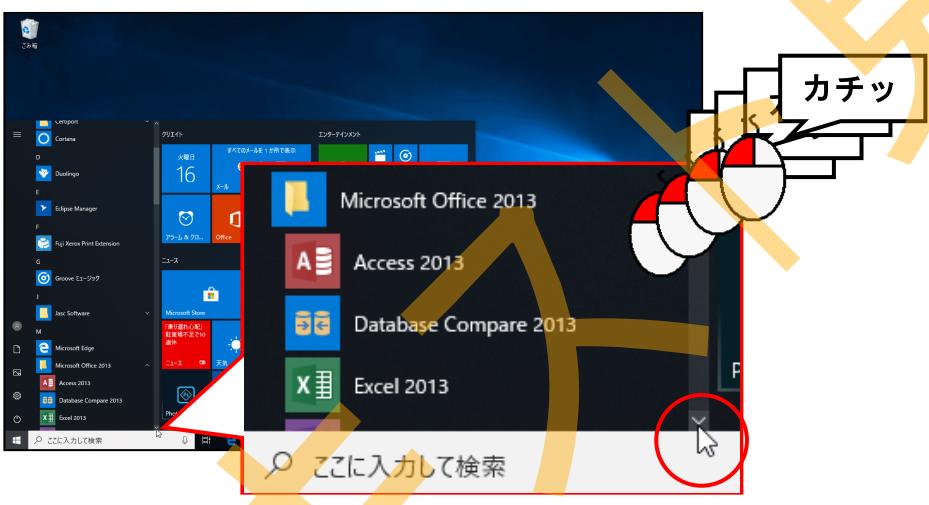


表計算のアプリ

ここに入力して検索



[Word2013] が表示されるまで、☒にポイントし、クリックします。



カチッ

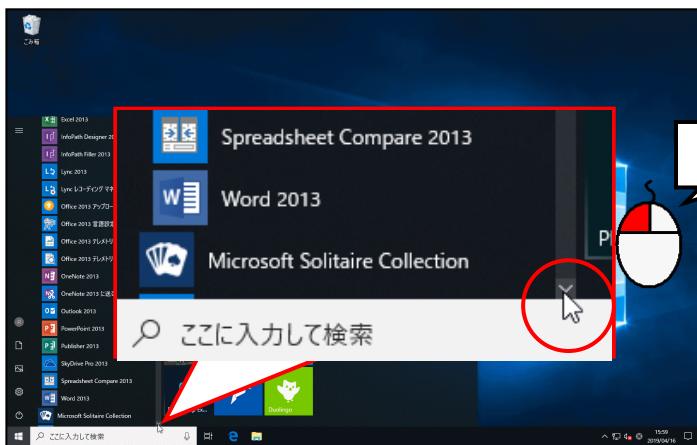
ここに入力して検索



●パソコンによって表示されるアプリの数などは異なります。

文章を書くためのアプリ

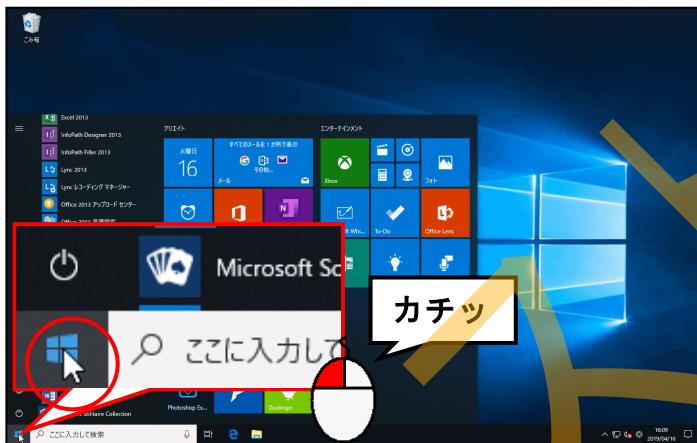
その他、どんなアプリがあるのか、 や  をクリックし、見てみましょう。



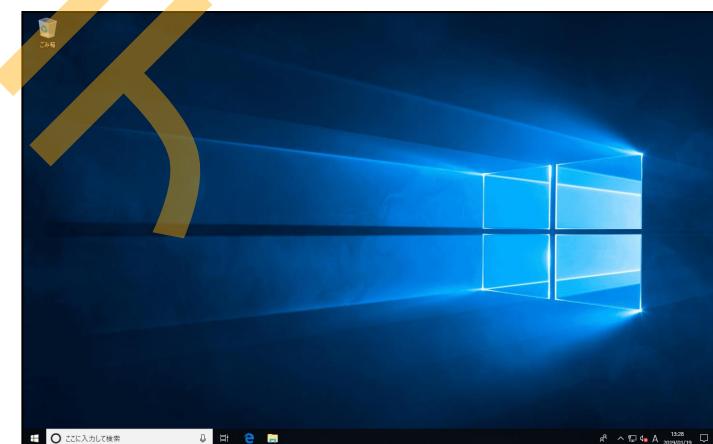
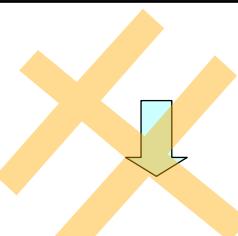
カチッ



 [スタート] ボタンをクリックしてメニューを消します。



カチッ



### (3) 電卓を動かす

## パソコンで電卓？

ウメさん「電卓って、私がお小遣い帳をつけたりするときに使うあれ??」



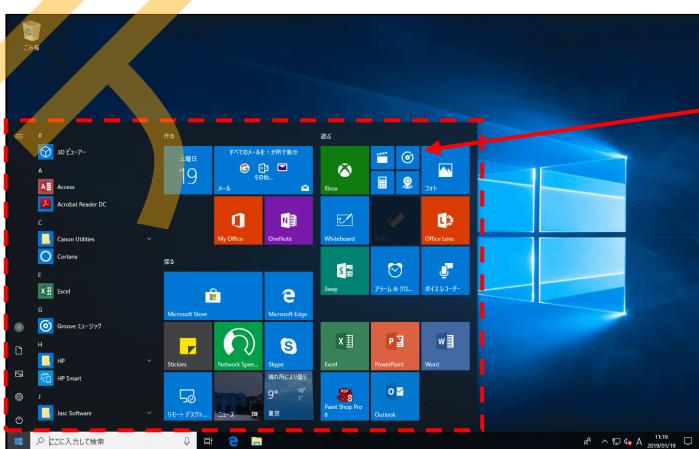
タケさん「そんなの、パソコンで使えるんかのう。」

くじら先生「もちろんですよ。ただ、ここではマウス操作に慣れていただければと思いますので、簡単な計算をするだけにしましょう。」



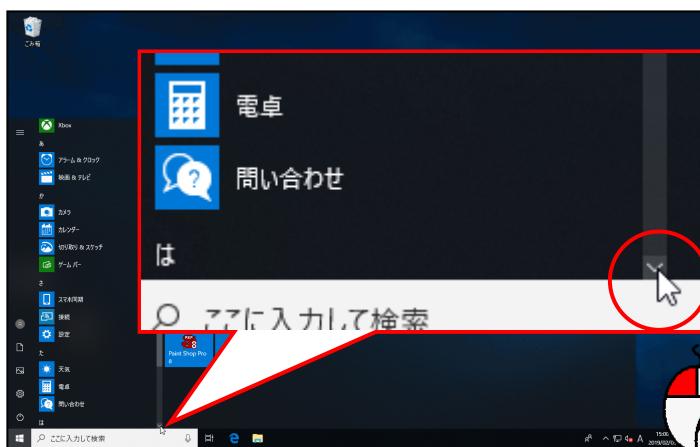
数字を計算する道具（アプリ）である**電卓**を動かしてみましょう。  
パソコンの用語では、アプリを始める事を「起動」するといいます。

画面左下隅にある [スタート] ボタンにポイントし、クリックします。

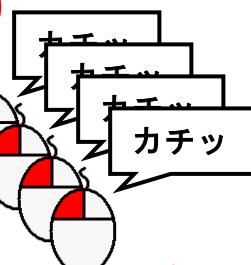


● [スタート] ボタンをクリックすると、[スタート] メニューと [スタート] 画面が表示されます。

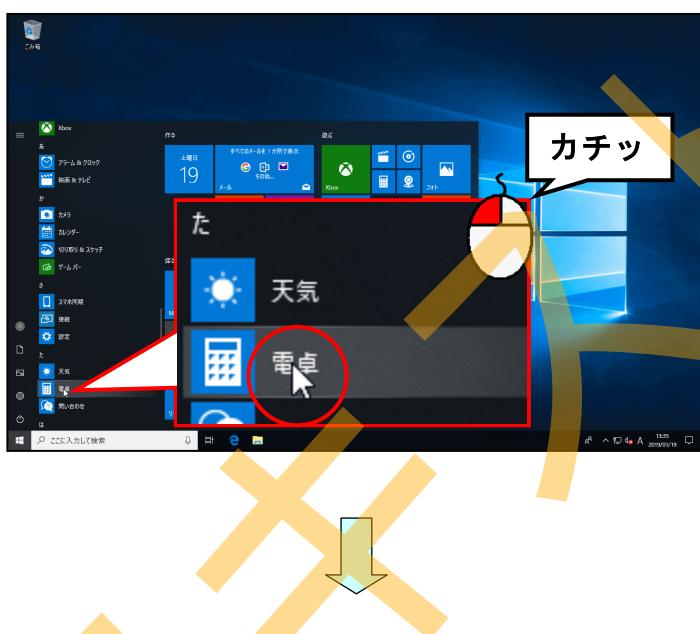
⇨ にポイントし、[電卓] が表示されるまでクリックします。



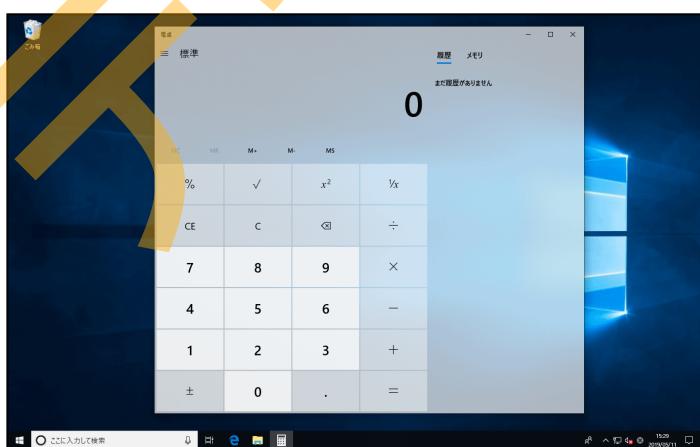
● [電卓] の頭文字「た」を見つけてから探します。



[電卓] にポイントし、クリックします。



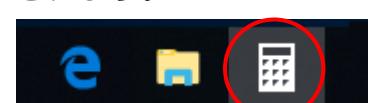
カチッ



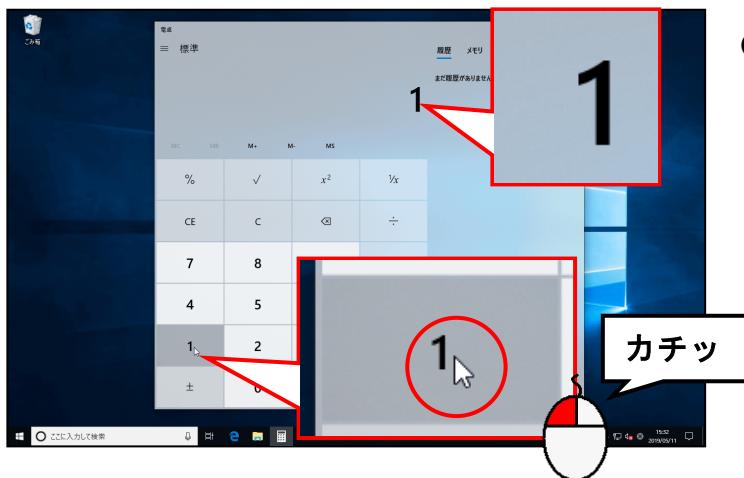
● [電卓] が起動して、電卓の画面が表示されます。

● お使いのパソコンによって、画面の大きさや表示内容が違うかもしれません、そのまま進めましょう。

● タスクバーに電卓のボタンが表示されます。

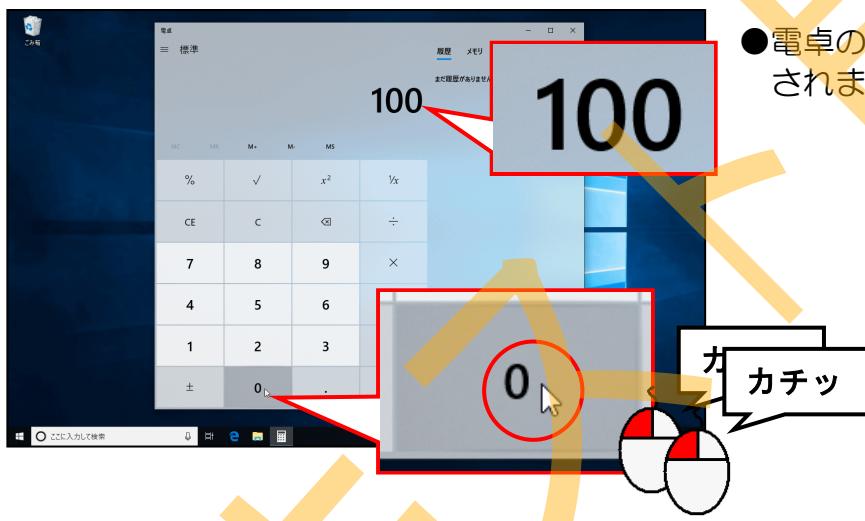


[電卓] の画面の中にある [1] の数字にポイントし、クリックします。



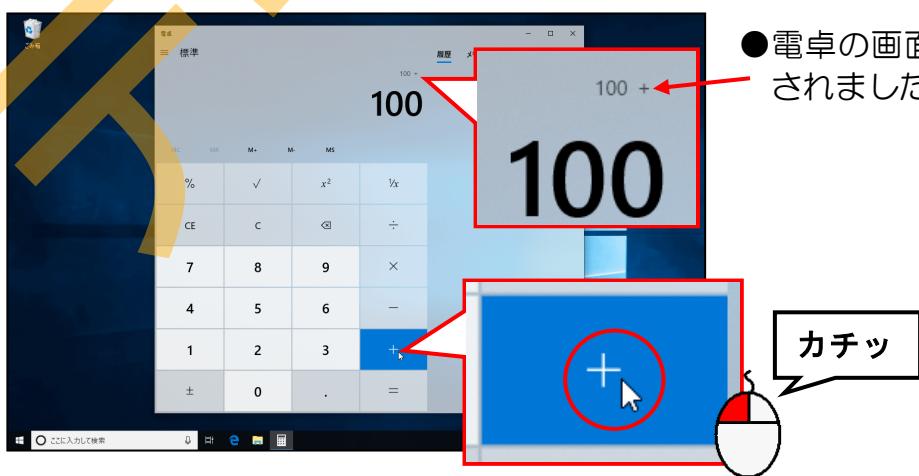
●電卓の画面に「1」の数字が表示されました。

同じようにして [0] を2回クリックします。



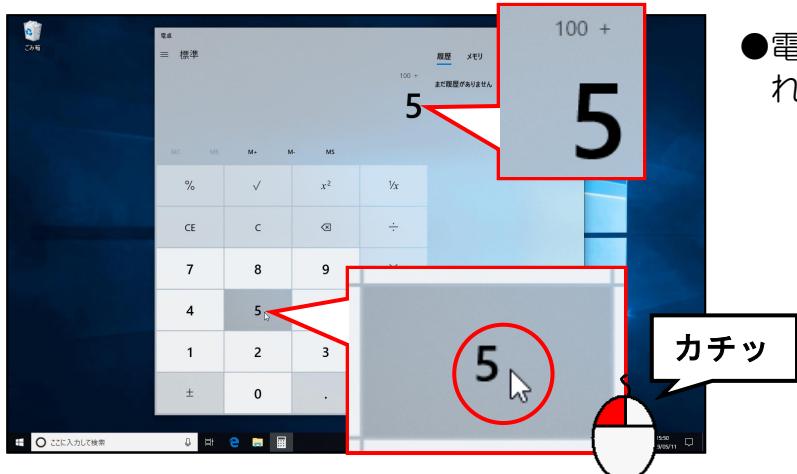
●電卓の画面に「100」の数字が表示されました。

[電卓] の画面の中にある [+] にポイントし、クリックします。



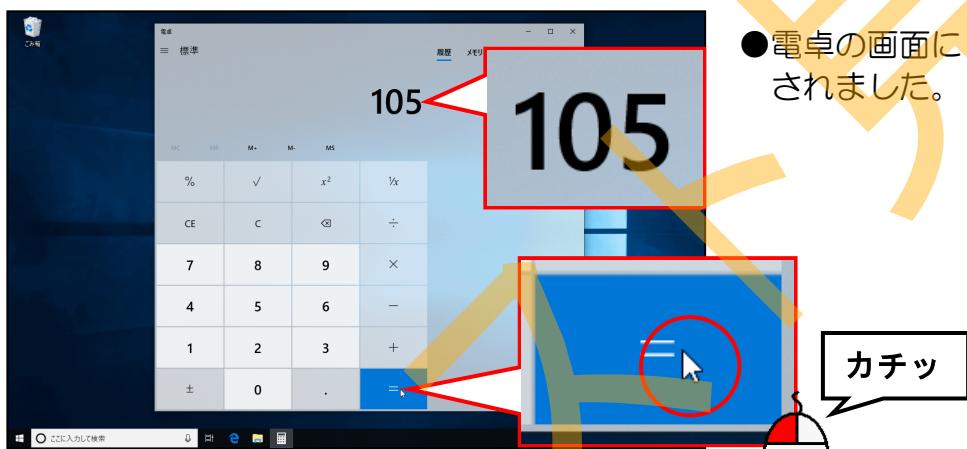
●電卓の画面に「+」の記号が表示されました。

[電卓] の画面の中にある [5] にポイントし、クリックします。



●電卓の画面に「5」の数字が表示されました。

合計を出すために [=] をクリックします。



●電卓の画面に「105」の数字が表示されました。

## (4) 電卓を閉じる

せっかく動いたのに、もう閉じるの？



ウメさん「せっかく電卓が使えたのに、もう閉じちゃうの？」

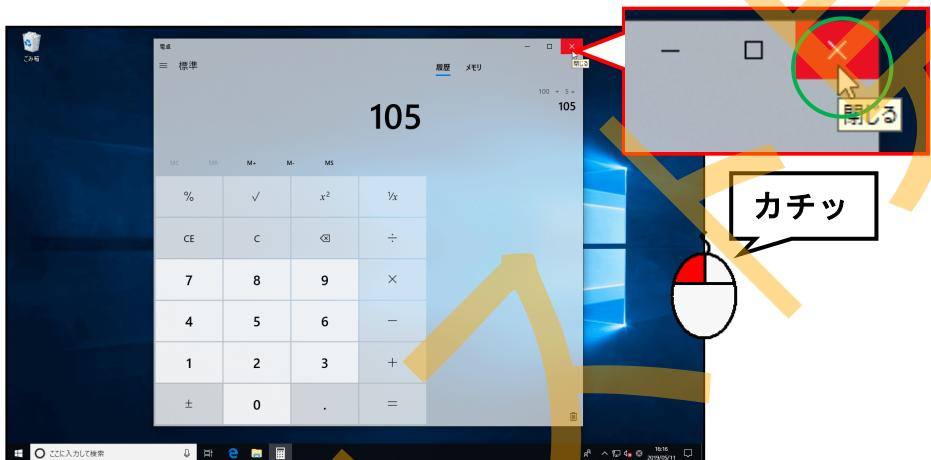
くじら先生「すみません。ここでは、操作の説明ですから、開いたり、閉じたりを繰り返して、覚えていただいた方がいいと思います。」



画面上に開いた電卓を閉じてみましょう。

パソコンの用語では、アプリを閉じることを「終了」するといいます。

電卓の画面（ウィンドウ）の右上にある **×** [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



- **×** [閉じる] ボタンをクリックすると、左のように「電卓」の画面が消えました。

## 4. 画面（ウィンドウ）の基本操作

### 画面の基本操作って、今、開いたり、閉じたりしたじゃない、後何があるの？

ウメさん「今、電卓を開いて、閉じたじゃない。あと、どんな操作があるの？」



くじら先生「パソコンを使っているうちに、思わぬ操作をしてしまったために、画面が小さく切り替わってしまうときがあります。

そのような場合に、再度大きくしたり、小さくなったりした画面を移動したりする操作を覚えていきましょう。」



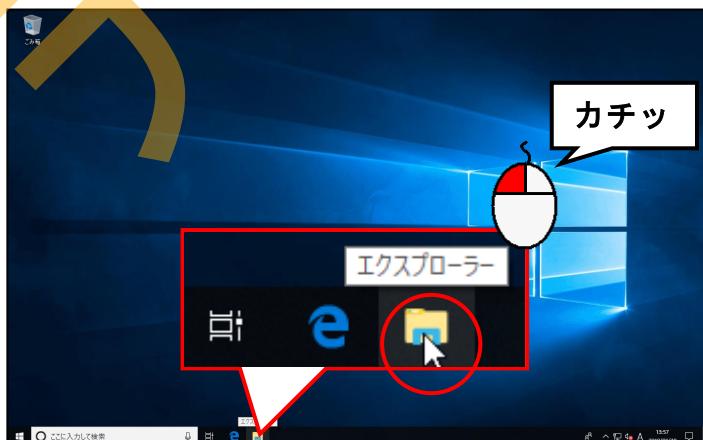
ウィンドウとは、画面上に表示される、四角い枠で囲まれた作業領域のことです。いろいろなウィンドウがありますが、基本的な操作はすべて共通しています。ここでは、[PC] のウィンドウを使って、基本的な操作方法をマスターすることにしましょう。

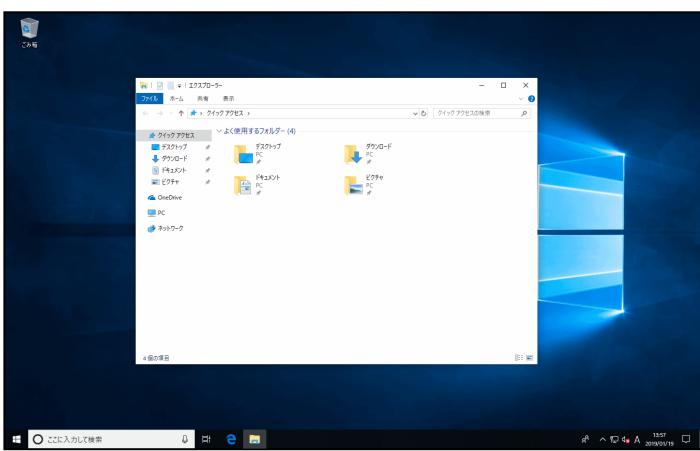
[PC] のウィンドウを開くには、まず [エクスプローラー] を開いてから操作します。

「エクスプローラー」とは、パソコンの中の、ファイル、フォルダー（ファイルやフォルダーについては、P233 の参考資料を参照してください。）をわかりやすく管理するためのプログラムのことをいいます。

#### (1) PC のウィンドウを開く

画面下中央付近にある [エクスプローラー] にポイントし、クリックします。





[PC] にポイントし、クリックします。

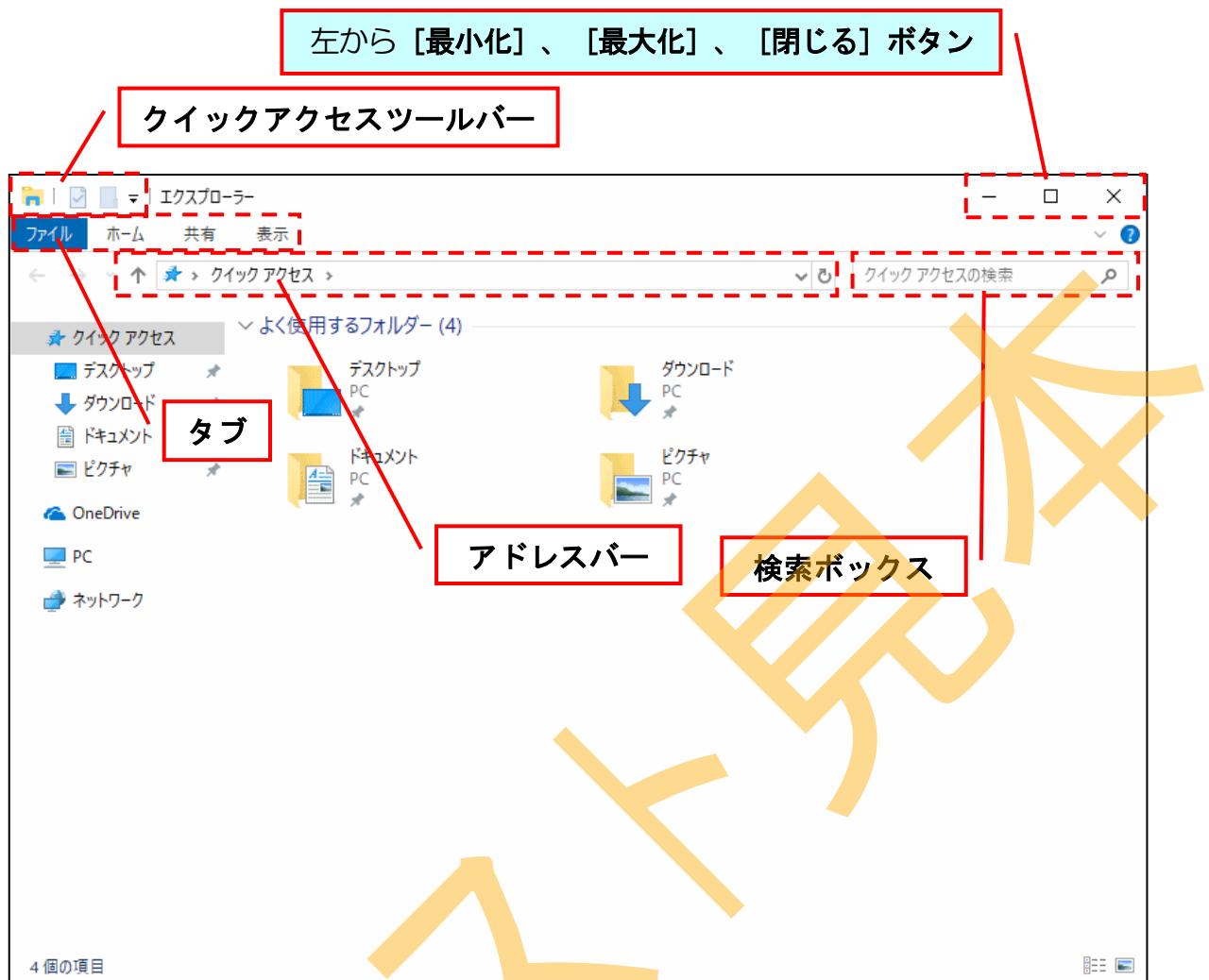


●左のように [PC] の画面（ウィンドウ）が表示されます。

●表示される画面（ウィンドウ）の  
サイズや表示されるアイコンの数  
は、パソコンによってそれぞれ異な  
ります。

## (2) 画面の名称

ウィンドウの名前を覚えましょう。



\*   の部分は必ず覚えておきましょう。

**注意!**

Windowsで操作を行うにあたり、アプリの種類はたくさんありますが、ほとんど共通の画面構成なのでここでしっかりと名前を覚えることが大切です。

余裕があれば読んでね

### ● アドレスバー

現在画面に表示している内容の所在地情報を表す棒状のスペースをいいます。

### ● クイックアクセスツールバー

よく使用するボタンを多々集めたもので、常に表示されています。

### ● タブ

画面を切り替えるための見出しのようなもののことといいます。

### (3) 画面（ウィンドウ）のサイズを変更する

画面（ウィンドウ）が小さすぎて作業しにくい時や、2つの画面（ウィンドウ）を並べて表示したい時には、画面（ウィンドウ）の大きさを変更すると便利です。

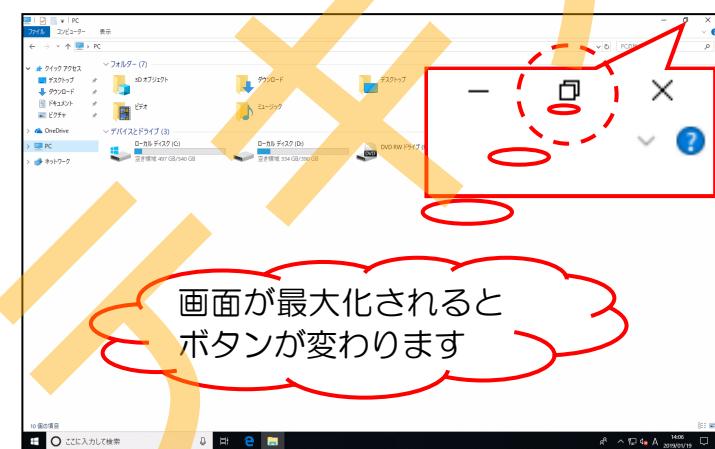
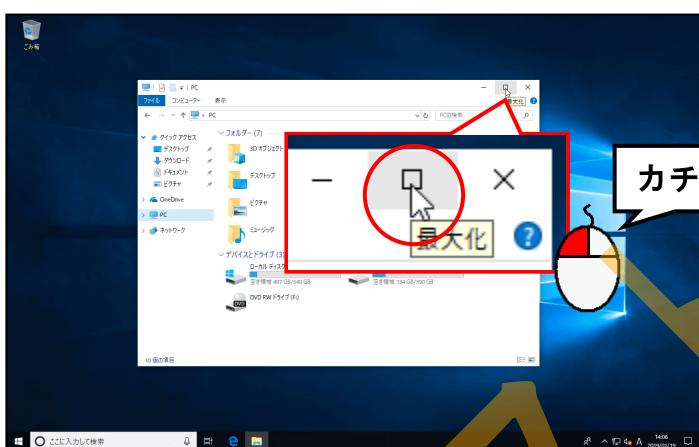
パソコンを使っていると、画面が大きく表示されたり、小さく表示されたりすることがあります、自分が使いたい大きさに調整することができます。

画面の大きさを変えるには、「ボタンをクリックする方法」と「マウスでドラッグする方法」の2つの方法があります。

#### ① ボタンをクリックする方法

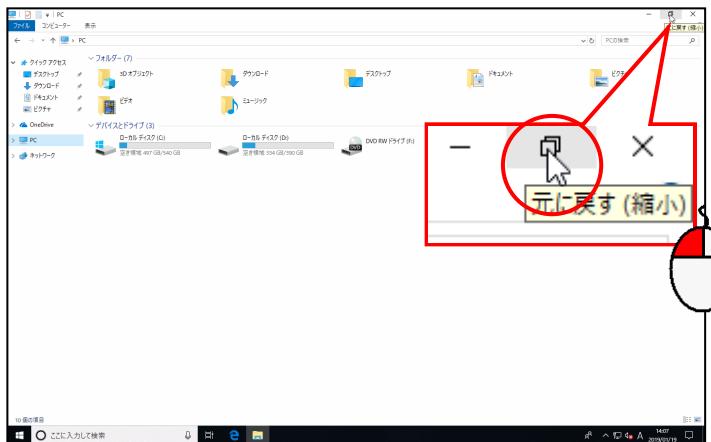
##### ● [最大化] ボタン／[元に戻す(縮小)]ボタン

画面右上にある□ [最大化] ボタンにポイントし、クリックします。



● □ [最大化] ボタンをクリックして、画面（ウィンドウ）が画面いっぱいに広がったら、□ [元に戻す(縮小)] ボタンが□ [元に戻す(縮小)] ボタンに変わります。

最大化された画面（ウィンドウ）を最大化する直前の状態に戻すため、画面右上にある□【元に戻す(縮小)】ボタンにポイントし、クリックします。

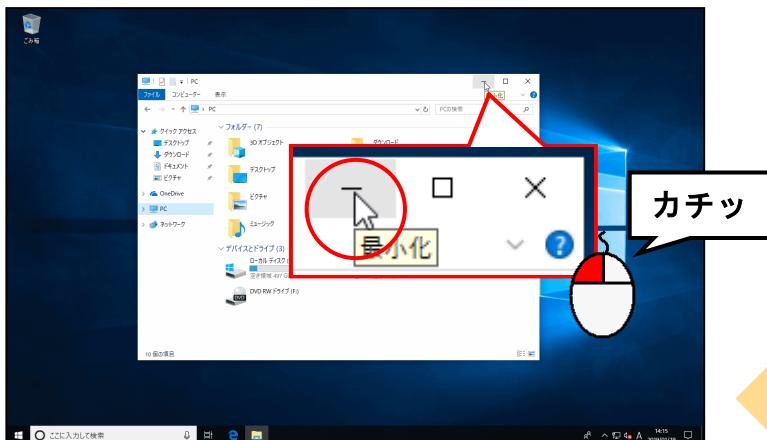


- □【元に戻す(縮小)】ボタンが□【最大化】ボタンに変わります。
- [PC] の画面が最大化する前の状態に戻りました。

## ● [最小化] ボタン

ワードやエクセルなどを利用するたびに開く操作、閉じる操作を繰り返したのでは、効率が悪くなります。今、**必要なない画面は、- [最小化] ボタンを利用すると、隠すことができます。**

表示された PC 画面（ウィンドウ）を隠すため、画面右上にある – [最小化] ボタンにポイントし、クリックします。

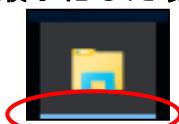


●PC 画面（ウィンドウ）が消えて、終了してしまったように見えますが、終了したのではなく、画面（ウィンドウ）が隠れているだけです。

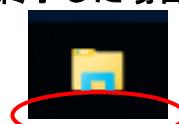


●終了（×をクリック）した時と、最小化（-をクリック）した時では、画面下のボタンの下に薄い青色の線が表示されるか表示されないかで、確認できます。

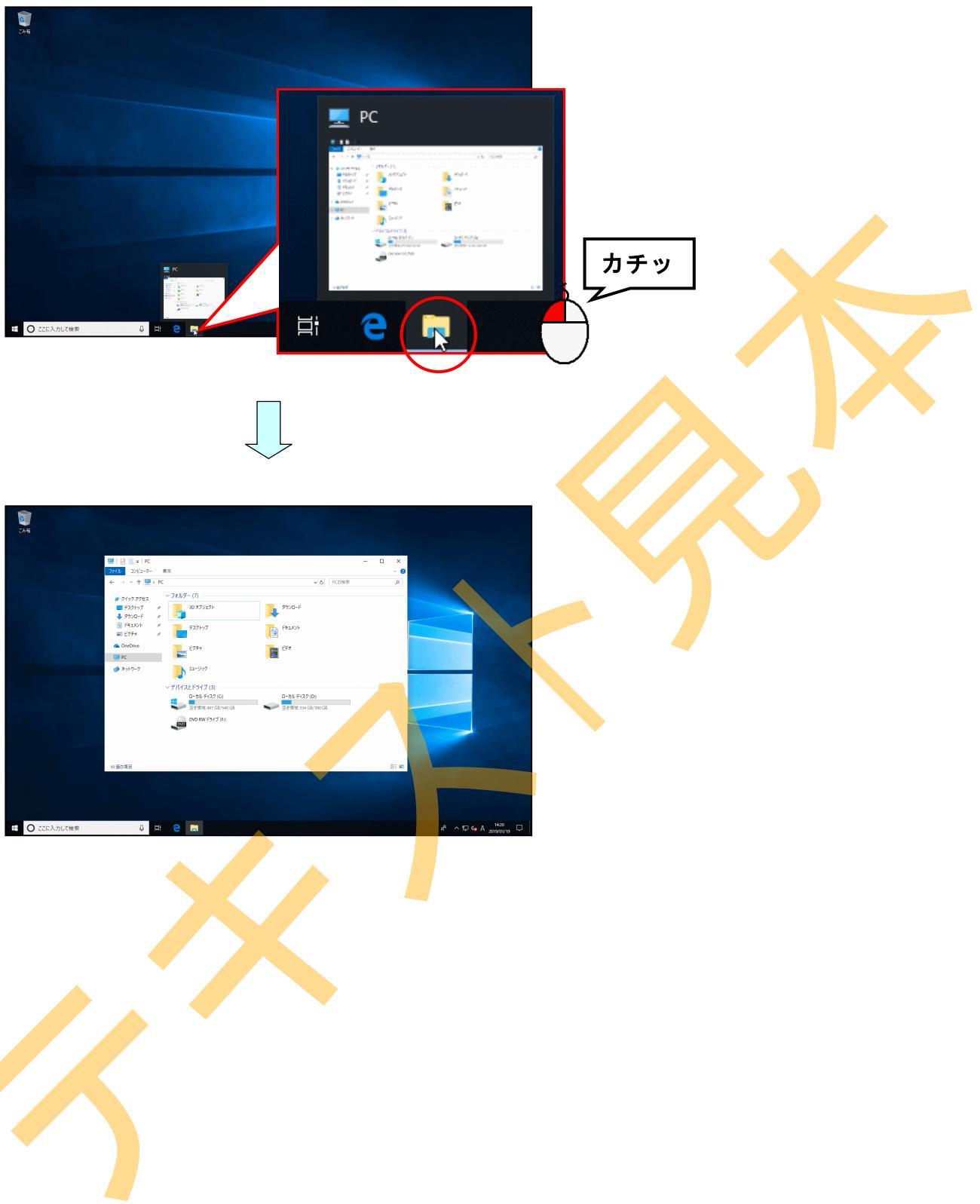
### ・最小化した場合



### ・終了した場合

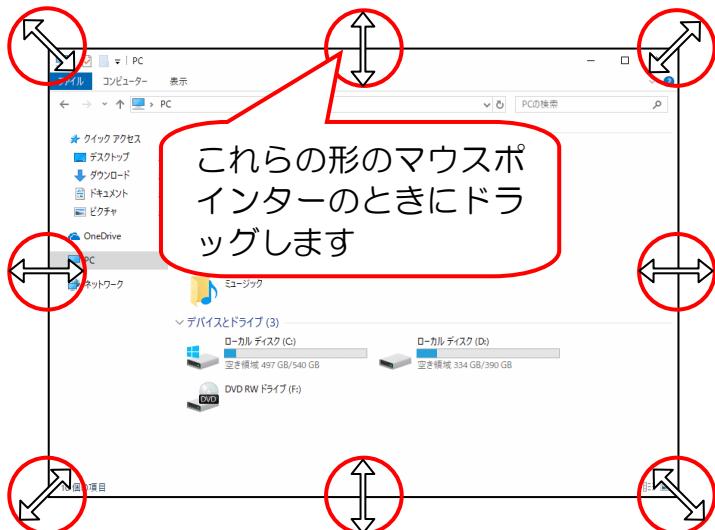


隠れている画面（ウィンドウ）を表示させるには、画面下に表示された  [エクスプローラー] にポイントし、クリックします。

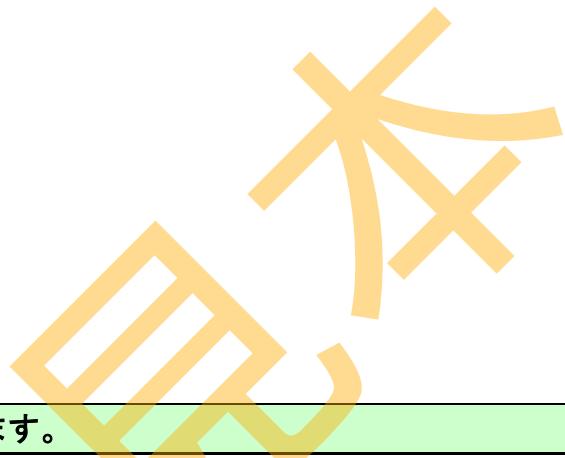


## ② ドラッグする方法

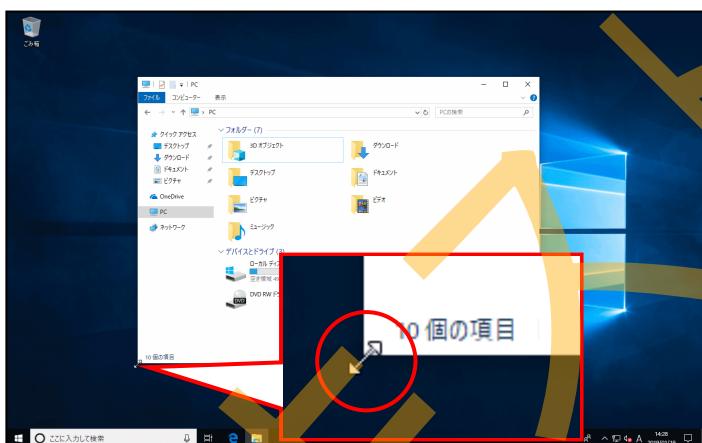
表示された画面（ウィンドウ）の外枠にポイントすると、マウスポインターの形が下のようないくつもの形に変わるので、矢印の方向に **ドラッグ**するとウィンドウのサイズを自由に変更することができます。



- どこにポイントしてドラッグするかによって、拡大・縮小する方向が異なります。

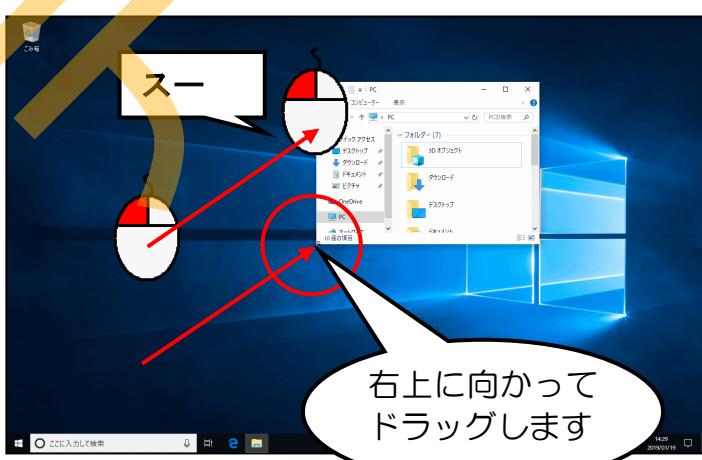


PC の画面（ウィンドウ）の左下隅にポイントします。



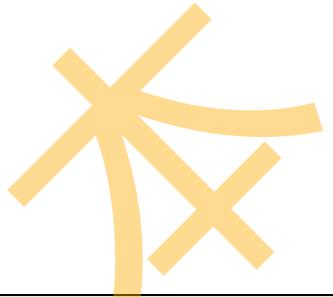
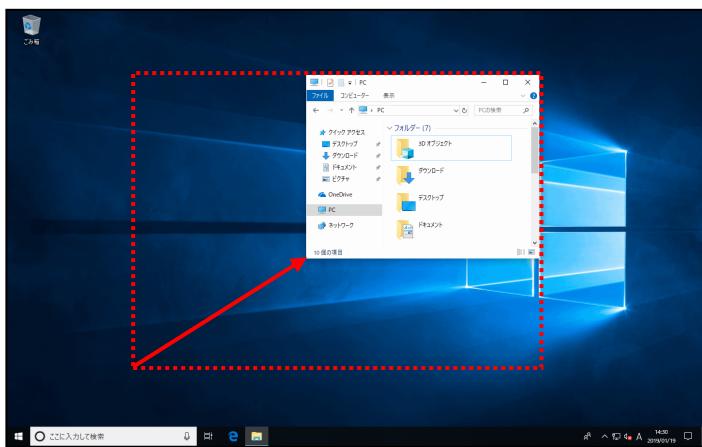
- マウスポインターが から に変わったときに、マウスを止めてください。

マウスポインターが になった状態で右上に向かってドラッグします。

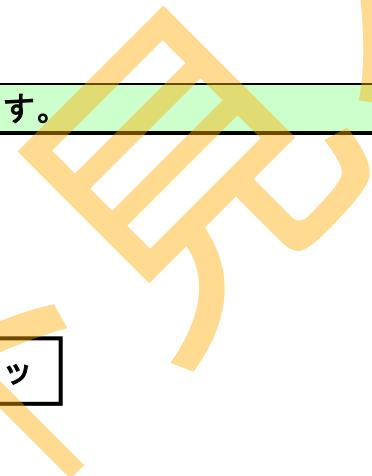
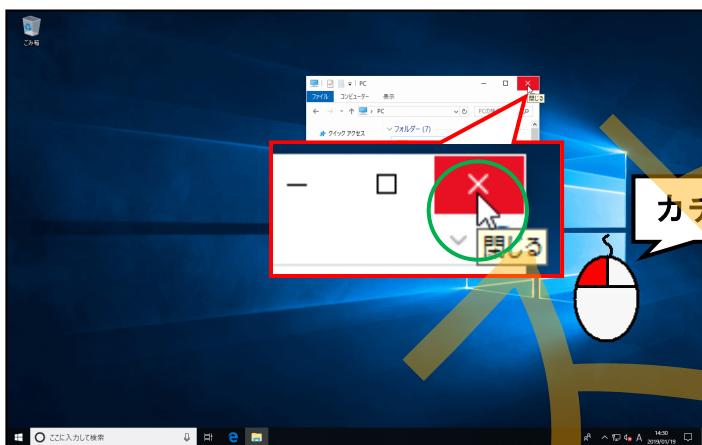


- マウスポインターの形に注意しながらドラッグしましょう。マウスポインターが になっていないとドラッグしても、画面の大きさは変わりません。

下のようにPCの画面（ウィンドウ）が小さくなりました。



× [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



● × [閉じる] ボタンをクリックすると、左のように「PC」の画面（ウィンドウ）が消えました。

☆☆ここまでくれば、練習問題3で理解度を試してください。☆☆

## 5. マウスに慣れる練習

やっとお絵かきができるのじゃな！

タケさん「いろいろと操作したが、やっとお絵かきができるのじゃな。」

ウメさん「ソワソワして、これまでの操作を忘れてしまったかも？」

くじら先生「同じような操作ばかりですから、だんだんと慣れてきますよ！」

タケさん「そうだといいのじゃが、忘れるにかけては天才じゃからのお～。」

くじら先生「忘れてもらってもいいですよ。何回も繰り返しているうちにイヤでも覚えてしましますから・・・。」

タケさん「そんなもんかのお～。」

くじら先生「タケさんは、自動車の運転を忘れますか？」

タケさん「イヤ、体が覚えてしまつとるのお～。」

くじら先生「パソコンも同じです。忘れようと/orても、何回も繰り返した操作は、体が自然に覚えてしまうものなんです。」

ウメさん「嘘でも、先生がそう言ってくれると心強いわねえ～。」

くじら先生「嘘じゃありませんよ。実際に使ってみると、体が覚えていることに気が付かれます。」

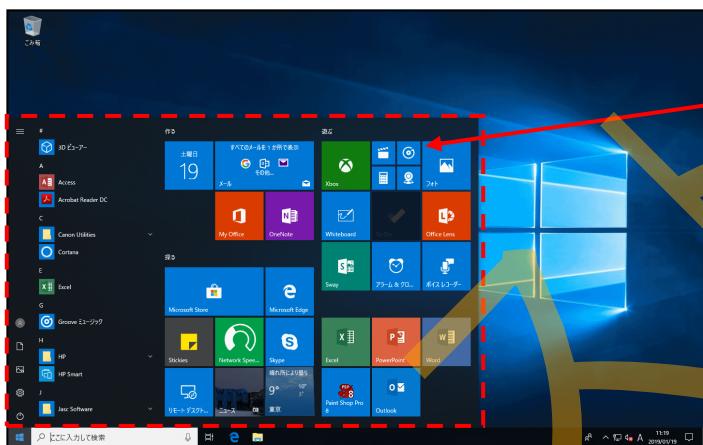
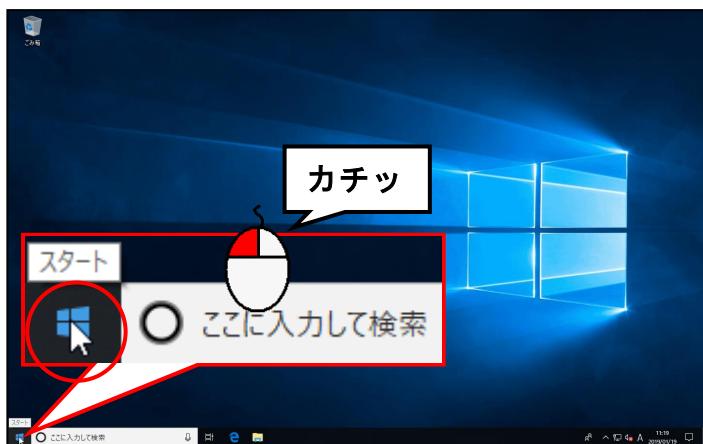
人間の体って、すごいでしょう！！」



ここでは、マウスに少しでも慣れていただくために、「ペイント 3D<sup>スリーディー</sup>」というアプリを使って、ドラッグの練習をしてみましょう。

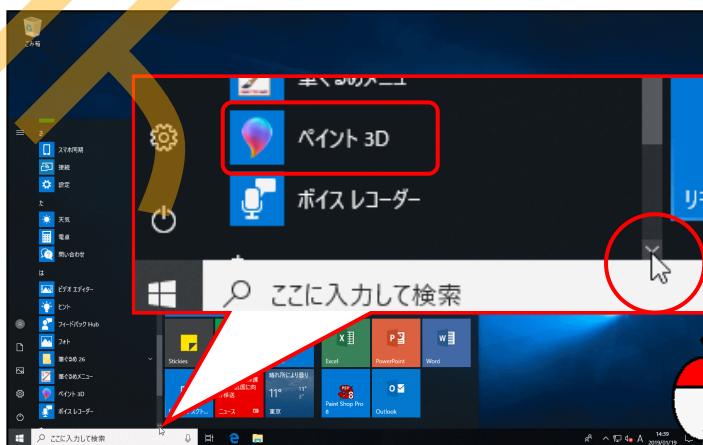
# (1) 「ペイント 3 D」を起動する

画面左下隅にある [スタート] ボタンにポイントし、クリックします。

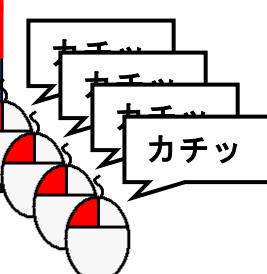


- [スタート] ボタンをクリックすると、[スタート] メニューと [スタート] 画面が表示されます。

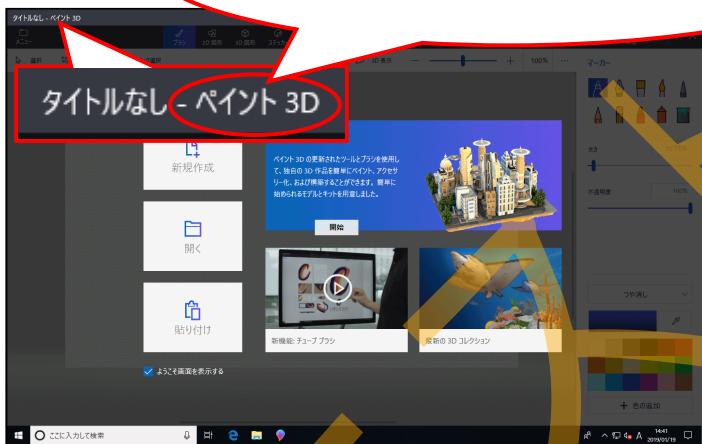
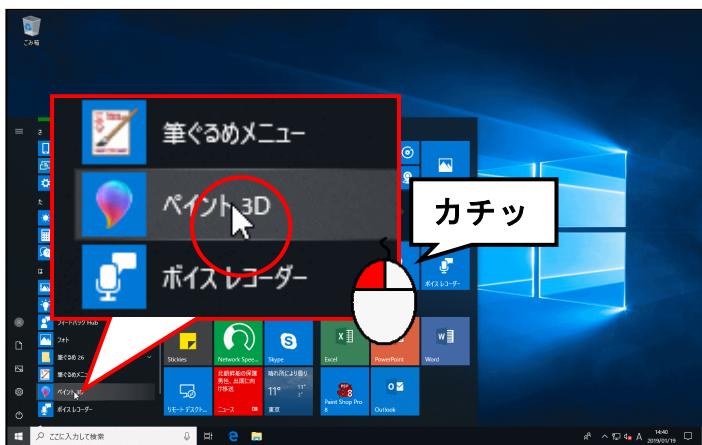
[スタート] メニュー右側にある ▾ にポイントし、[ペイント 3 D] が表示されるまでクリックします。



- [ペイント 3 D] の頭文字「は」を見つけてから探しします。



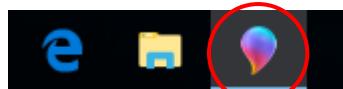
スリーディー [ペイント 3 D] にポイントし、クリックします。



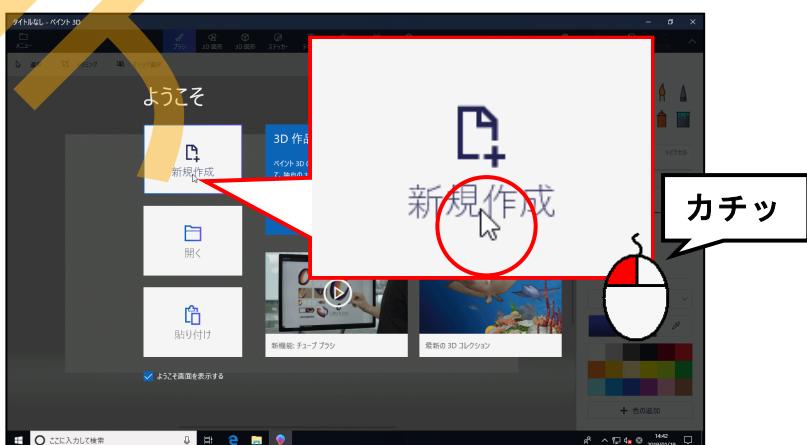
●ペイント 3 D が起動しました。

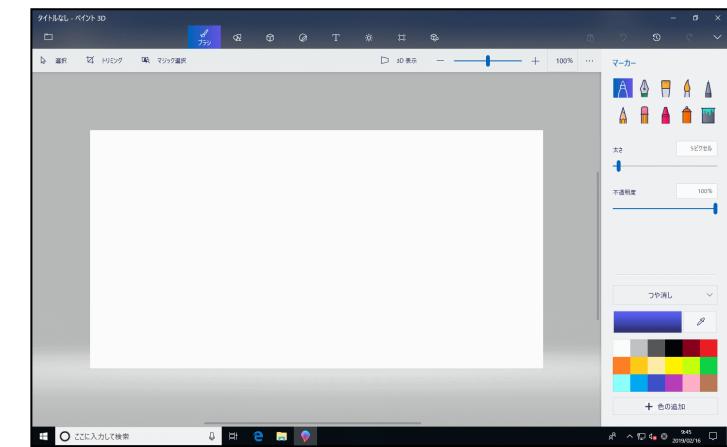
●ウィンドウが縮小されている場合は、ウィンドウを最大化しておきましょう。ウィンドウサイズを最大化する方法を忘れた方は、P54 を参照してください。

●タスクバーにペイント 3 D のボタンが表示されます。



【新規作成】にポイントし、クリックします。





## (2) 「ペイント 3<sup>スリーディー</sup> D」を使って家を描く

### 画用紙に家を描くのね、うまく描けるかしら？



ウメさん「わたしにうまく描けるかしら？」

くじら先生「最初は、難しいでしょうね。  
しかし、何回も操作しているうちに、うまくなりますよ。」

ウメさん「ところで、何を使って描くのかしら？」

くじら先生「これまで使ってきた、マウスを使います。マウスを『ドラッグ』すると、文字や絵を描くことができます。」

#### ① 2<sup>ツーディー</sup> D 図形を描く

メニューの [2<sup>ツーディー</sup> D 図形] を使って、家を描きましょう。

##### [2<sup>ツーディー</sup> D 図形] メニュー



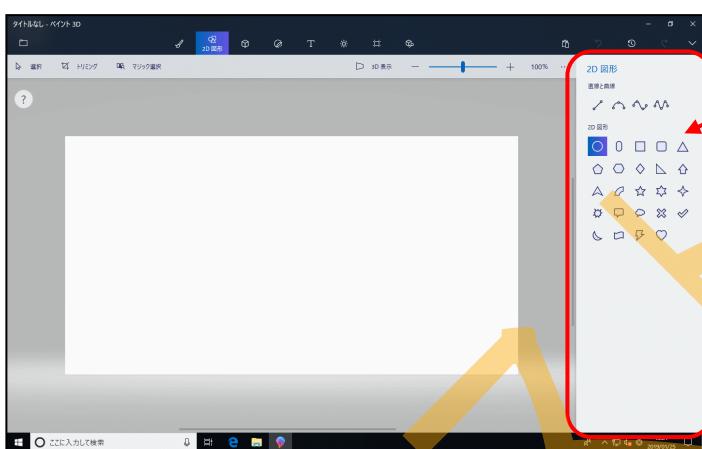
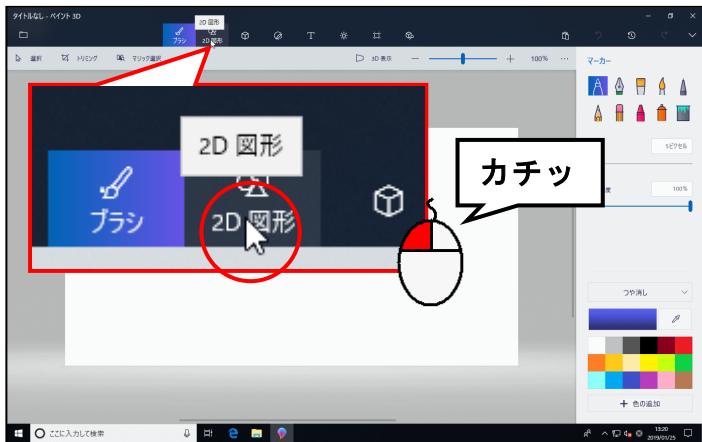
##### 直線と曲線

- 線
- 4点曲線

##### 2<sup>ツーディー</sup> D 図形

- |           |               |
|-----------|---------------|
| --- 円     | --- カプセル      |
| --- 正方形   | --- 角丸正方形     |
| --- 三角形   | --- 五角形       |
| --- 六角形   | --- ひし形       |
| --- 直角三角形 | --- 矢印        |
| --- 矢印    | --- 弧         |
| --- 星：5端  | --- 星：6端      |
| --- 星：4端  | --- 複数ポイントの星型 |
| --- 吹き出し  | --- 考えの吹き出し   |
| --- 十字形   | --- チェック マーク  |
| --- 月     | --- バナー       |
| --- 稲妻    | --- ハート形      |

ツーディー メニューの  [2D 図形] ボタンにポイントし、クリックします。

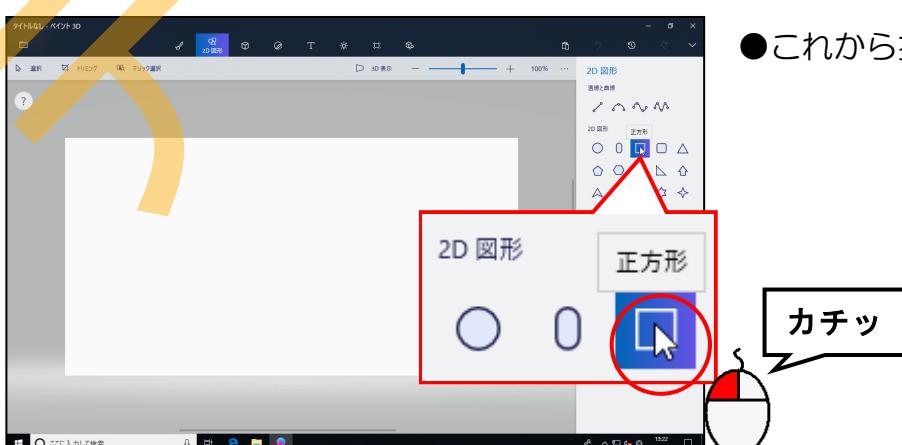


●  [2D 図形] ボタンをクリックすると、画面右側が変わります。

●  [2D 図形] ボタンをクリックして、画面左上に下の図のような動画が表示され方は、 をクリックして閉じておきましょう。

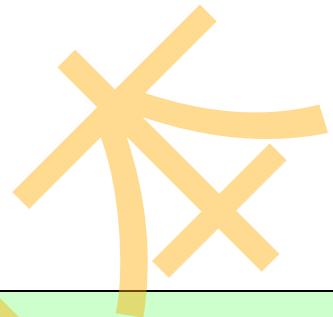
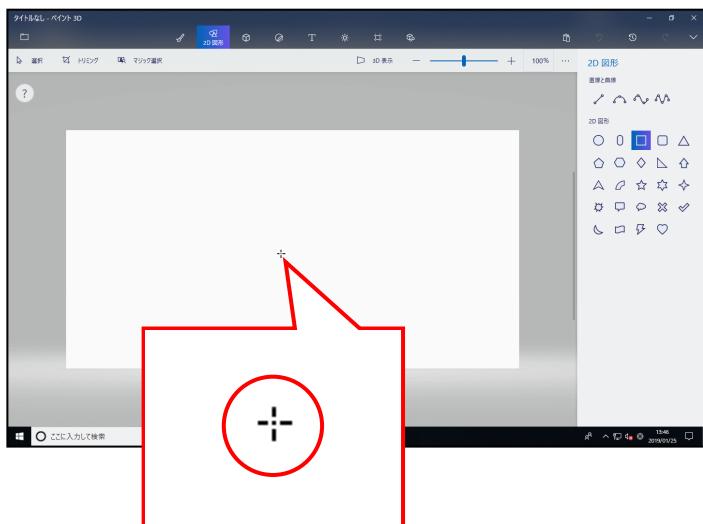


ツーディー 画面右側の [2D 図形] から  [正方形] にポイントし、クリックします。

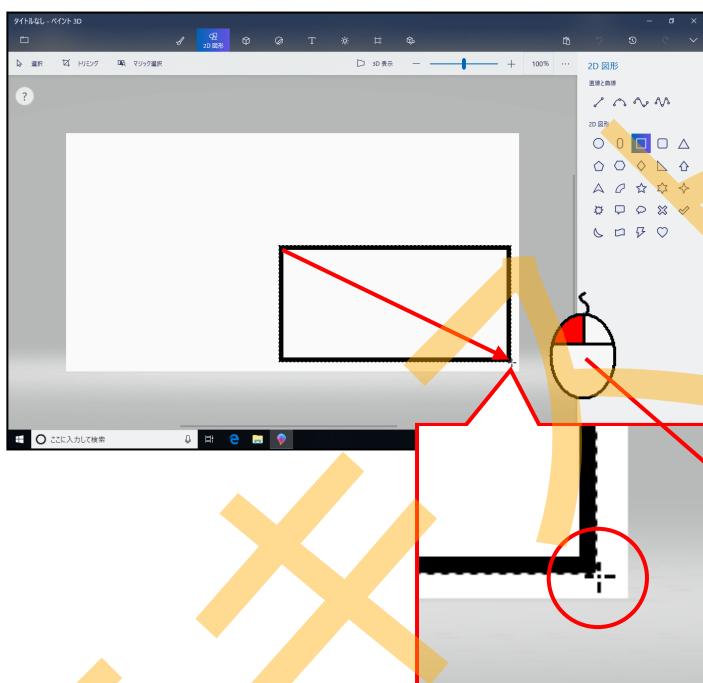


● これから描く図形を指定します。

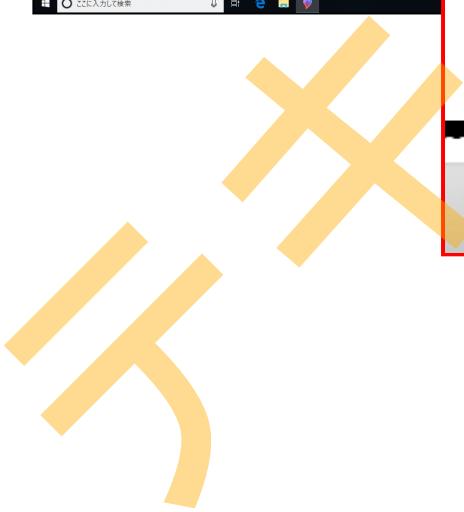
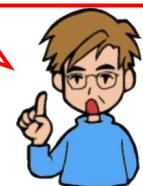
下の図を見ながら、同じような位置（画面中央）にポイントします。



右下に向かってドラッグし、四角形を描きます。

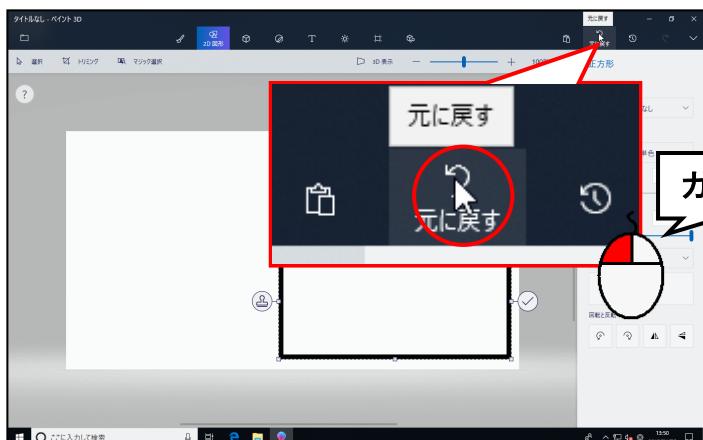


●形がテキスト通りにできなくても、  
気にしないで次に進んでください。

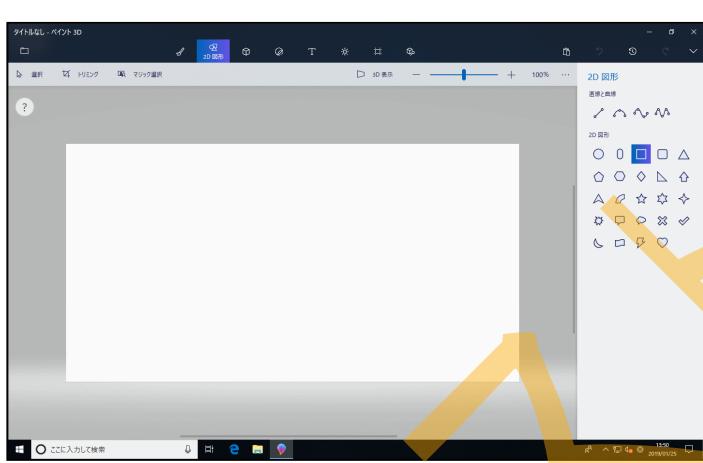


描いた絵が大きすぎたので、元の状態に戻してみましょう。

もう一度やり直す為に、メニューの  [元に戻す] ボタンにポイントし、クリックします。



●四角形を描く前の状態に戻すための操作です。



●ひとつ前の状態に戻りました。

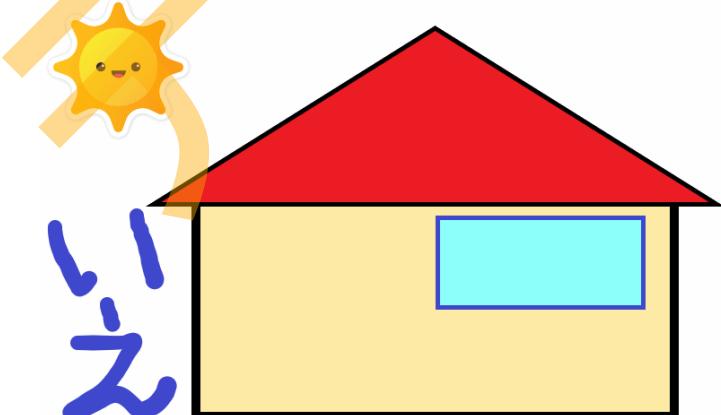
余裕があれば読んでね

●  [元に戻す] ボタンは、クリックした数だけ、前の操作を取り消すことができます。

これから家を描いていく途中で「失敗したな」とか、「元に戻したいな」というときは、このボタンを使ってくださいね。



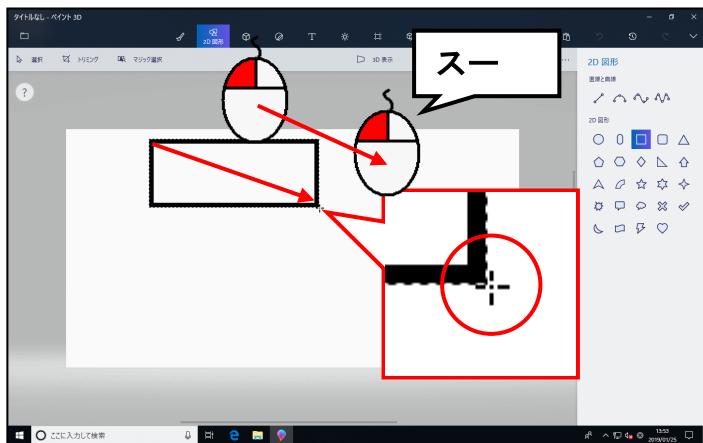
## 完成例



これから、完成例の「家」の絵にチャレンジしていただきます。心配せずにこのテキストどおりに操作しましょう。

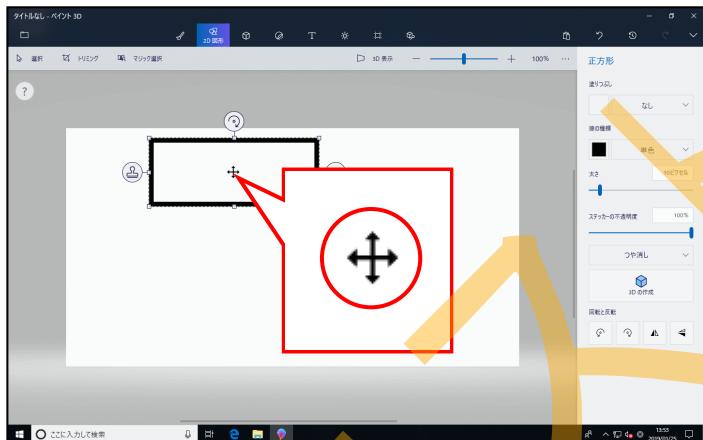


もう一度、下の図を見ながら、同じような位置（画面左上）にポイントし、右下に向かってドラッグして四角形を描きます。



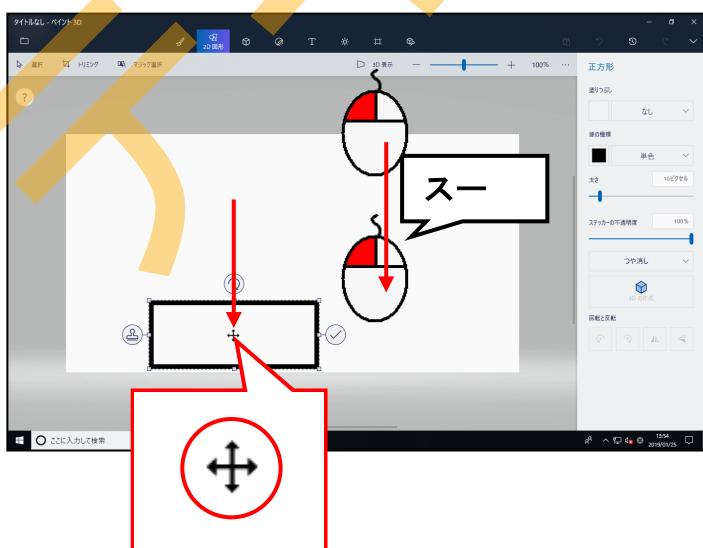
- うまく描けなかつた方は、[元に戻す] ボタンを使って描き直しましょう。

四角形の中にポイントします。



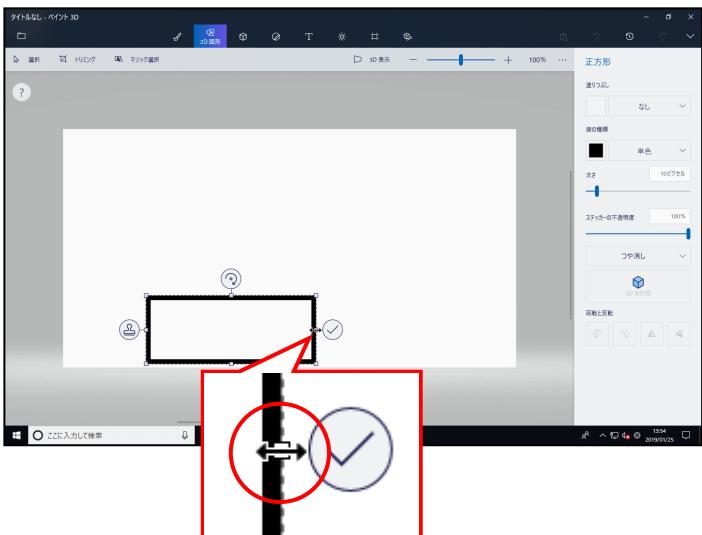
- 四角形の中にポイントすると、マウスポインターが  に変わります。
- 描いた四角形の場所を移動させるための操作です。

マウスの左ボタンを押したままの状態で下に移動します。



- 注意!**
- 場所が決まるまで、四角形の外でクリックしないようにしましょう。クリックして位置が確定してしまうと、移動ができなくなります。

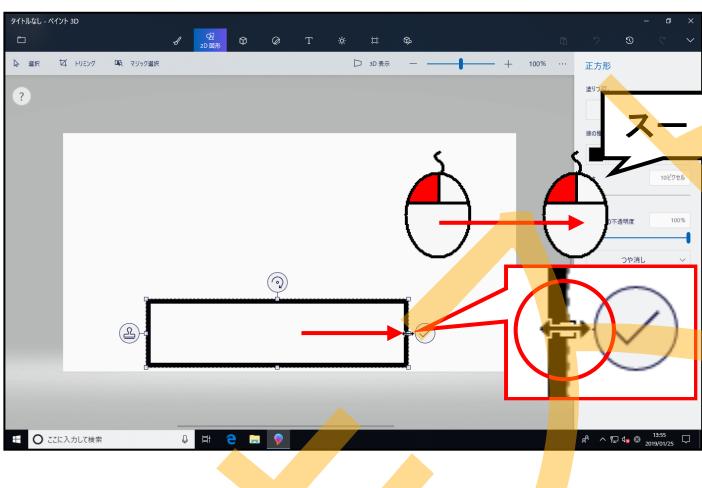
四角形の右中央にある □ にポイントします。



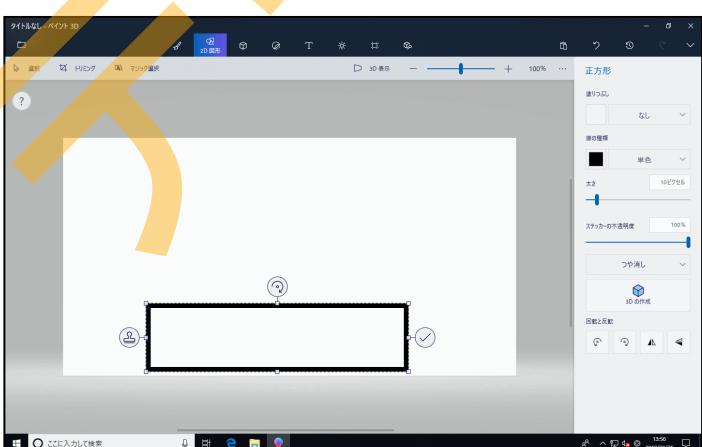
●四角形の右中央にある □ にポイントすると、マウスポインターが ←→ に変わります。

●描いた四角形の大きさを変更させるための操作です。

マウスの左ボタンを押したままの状態で右にドラッグします。

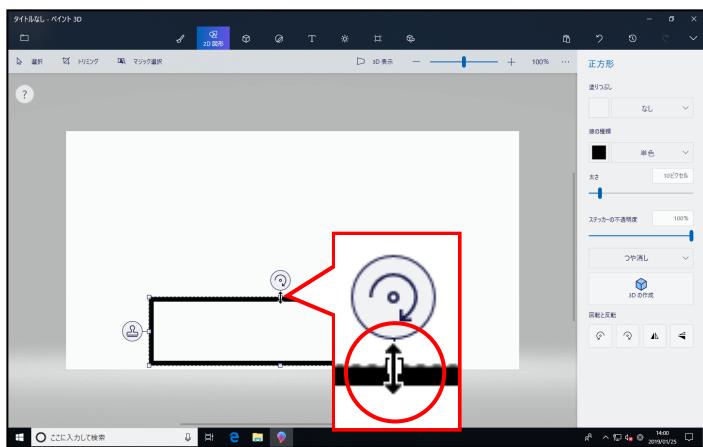


●右にドラッグすると、四角形の横幅が広くなります。

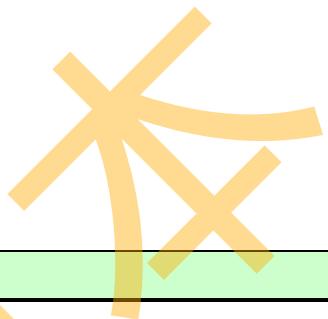


●左の図を参考に四角形の幅を調整しましょう。

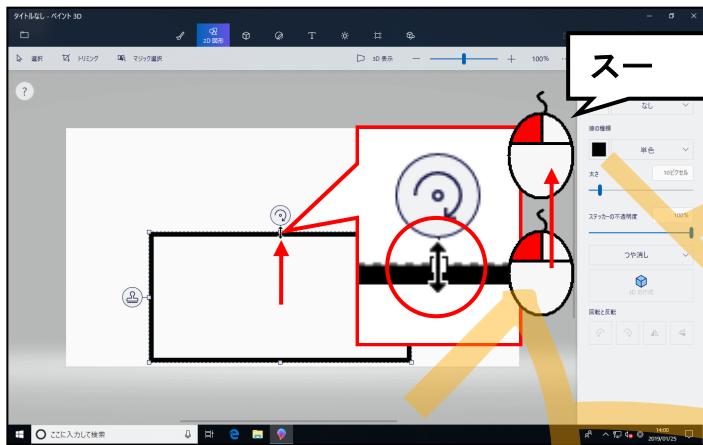
同じようにして、四角形の上中央にある □ にポイントします。



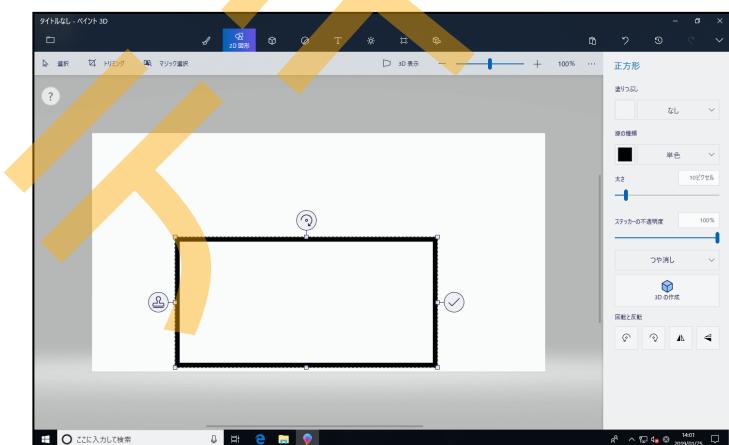
●四角形の上中央にある □ にポイントすると、マウスポインターが ↑ に変わります。



マウスの左ボタンを押したままの状態で上にドラッグします。

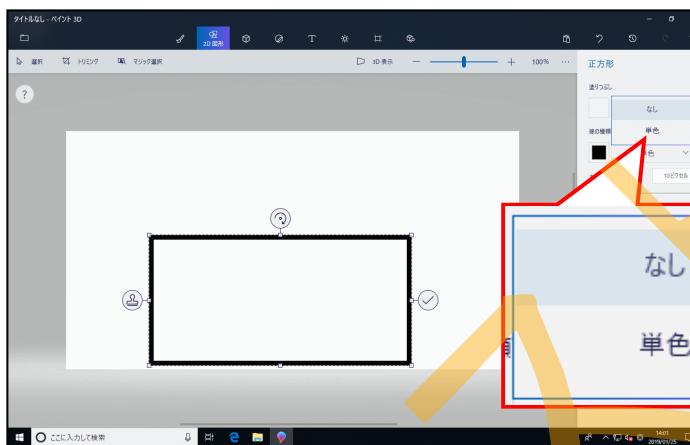
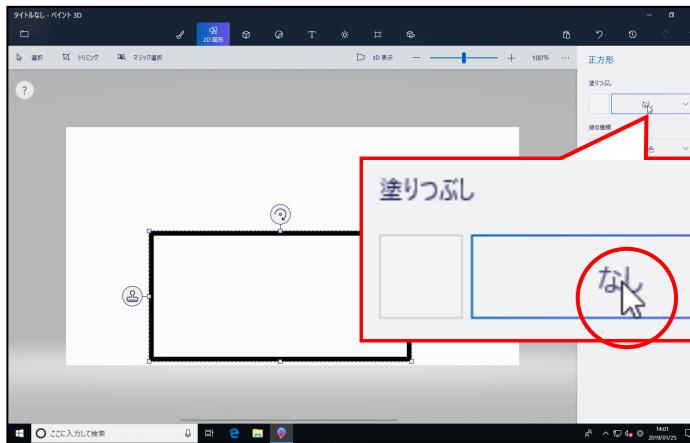


●上にドラッグすると、四角形の高さ  
が高くなります。

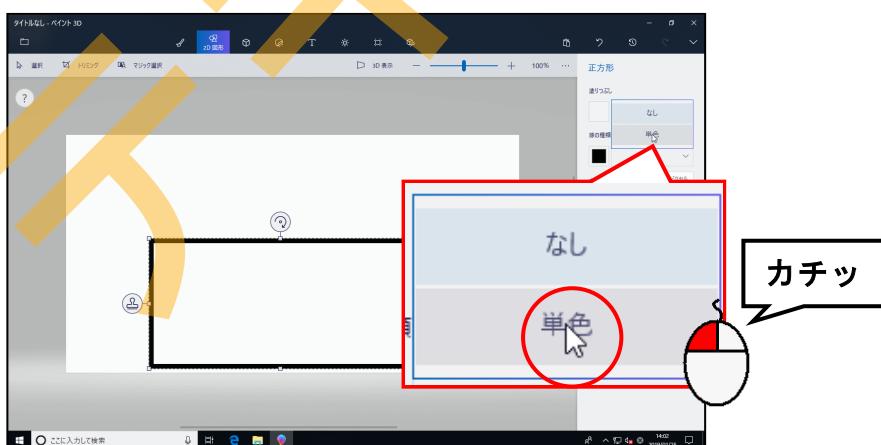


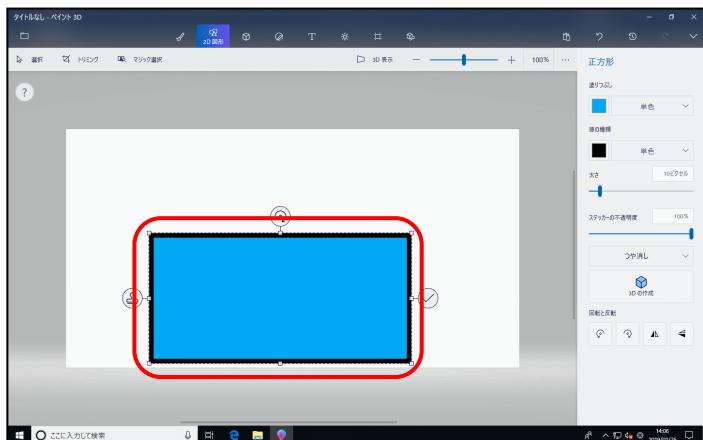
●左の図を参考に四角形の高さを調整  
しましょう。

四角形の塗りつぶしの色を変更するため、画面右側の「塗りつぶし」の「なし」にポイントし、クリックします。

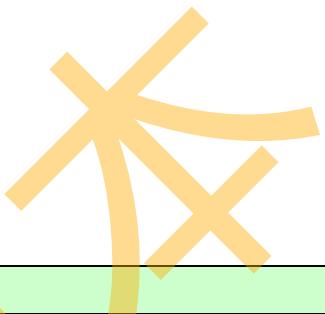


表示された一覧から「単色」にポイントし、クリックします。

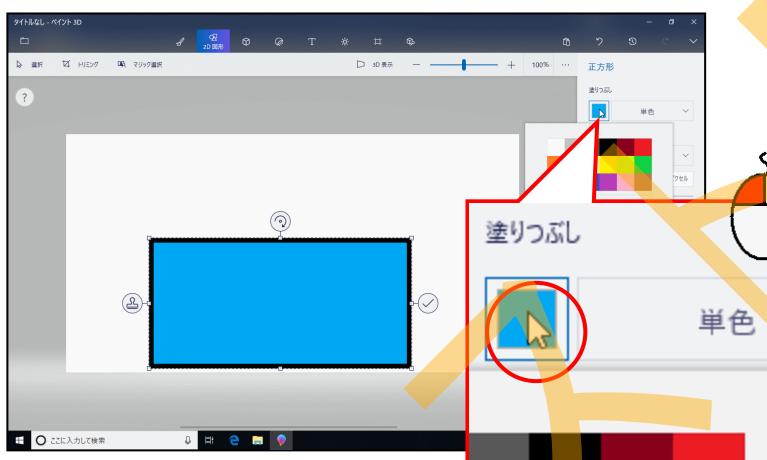




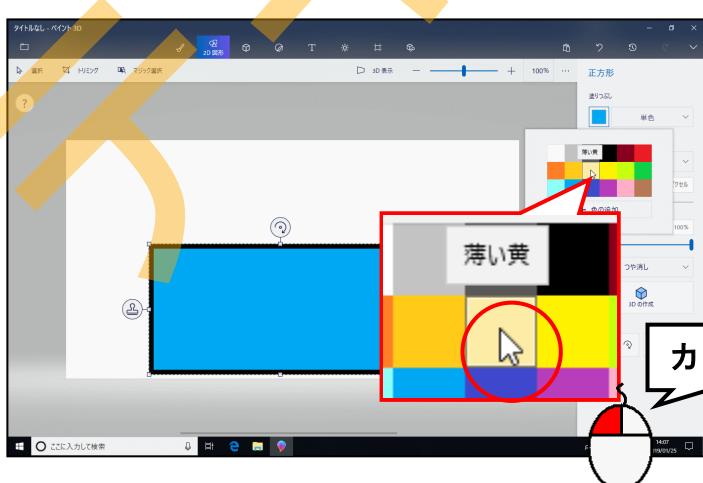
● 「単色」をクリックすると、四角形の塗りつぶしの色が変更されます。



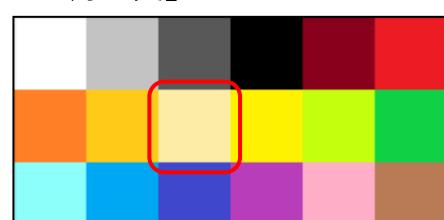
[塗りつぶし] の にポイントし、クリックします。

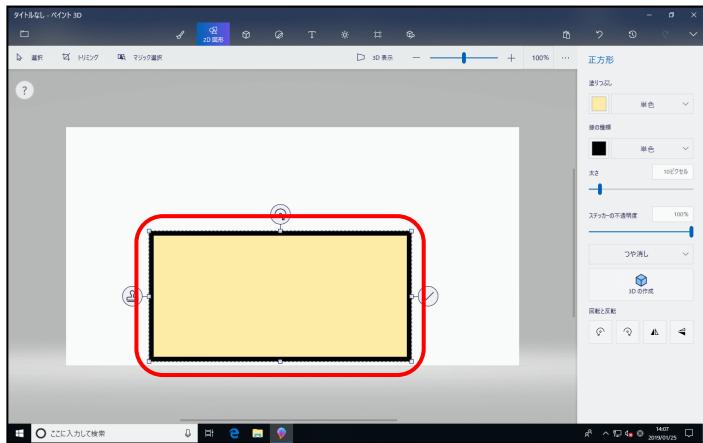


表示された一覧から「薄い黄」にポイントし、クリックします。

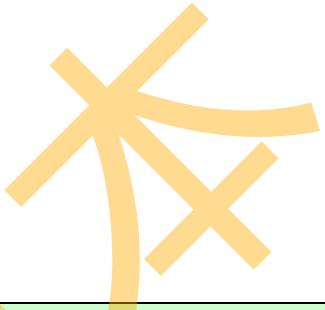


● 「薄い黄」

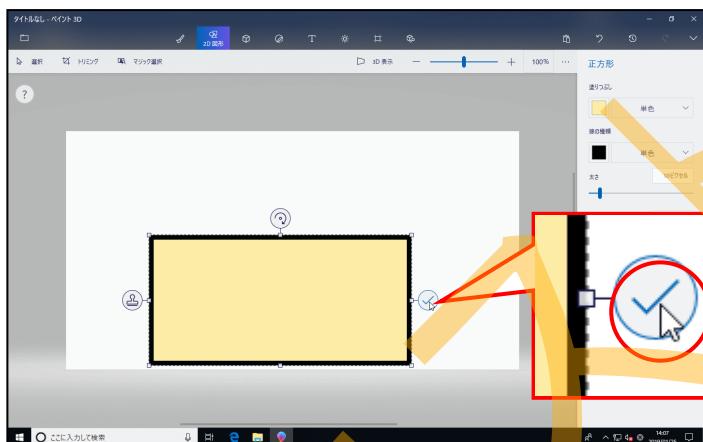




● 「薄い黄」をクリックすると、四角形の塗りつぶしの色が「薄い黄」に変更されます。

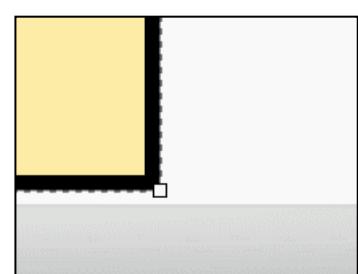
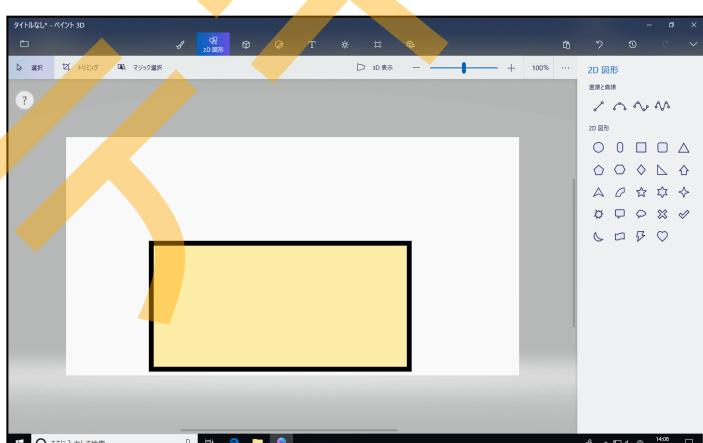


四角形の右にある にポイントし、クリックします。



● 描いた四角形を確定します。

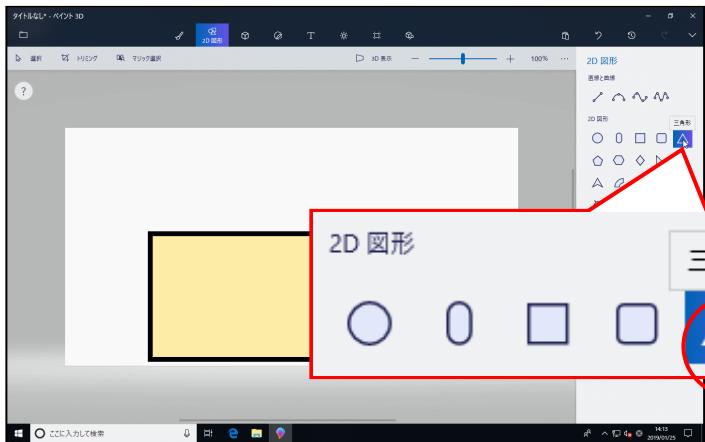
カチッ



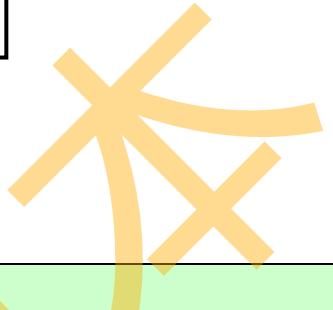
確定前

確定後

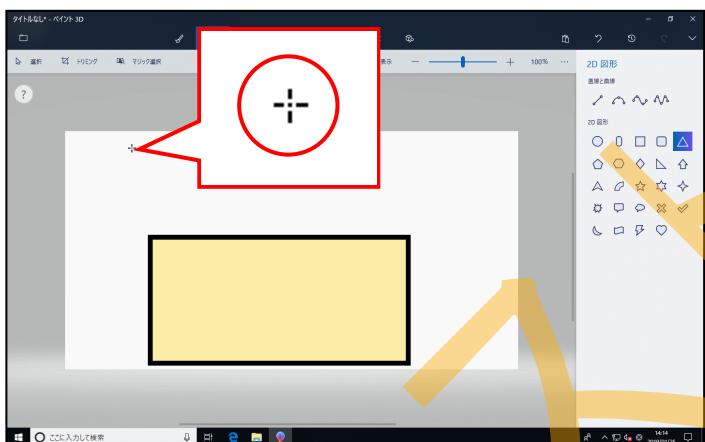
ツーディー  
画面右側の [2D 図形] から  [三角形] にポイントし、クリックします。



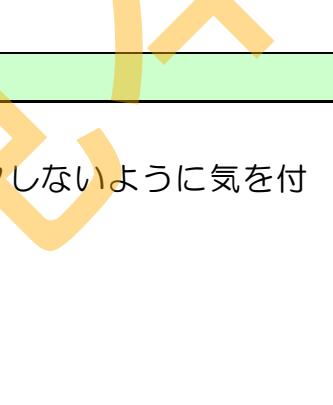
●屋根を描くための選択です。



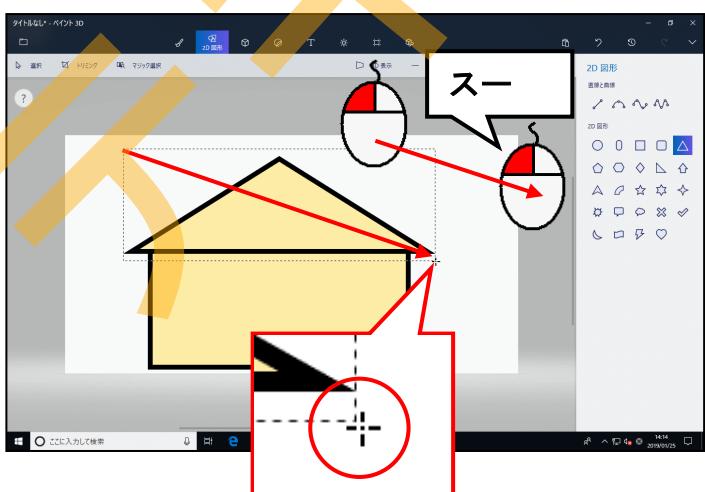
下の図の位置を参考にして、ポイントします。



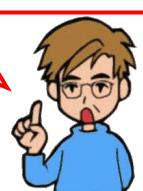
●まだクリックしないように気を付けましょう。



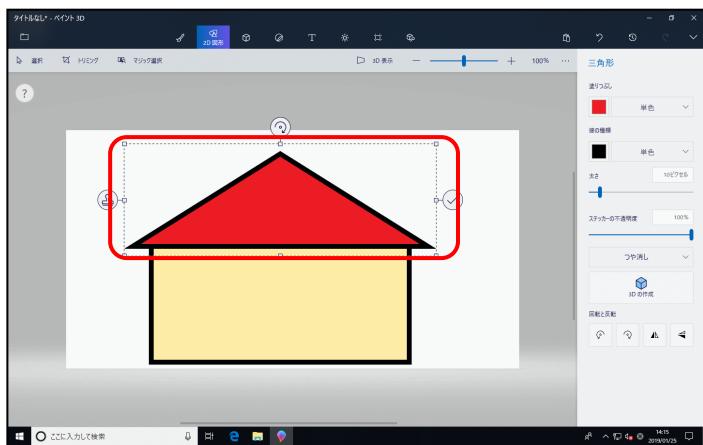
下の図を参考にして、ドラッグしながら屋根を描きます。



●屋根を描くのは難しいので、一度で合わせなくとも構いません。うまくいかなかったときは、「元に戻す」(P67) や「移動」(P68)、「大きさの変更」(P69~P70) を利用して、何回もやってみましょう。

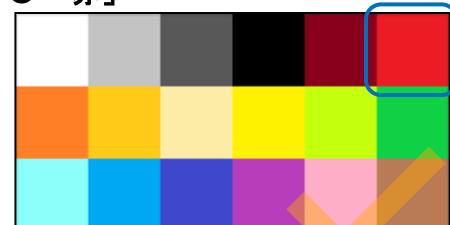


屋根の塗りつぶしの色を「赤」に変更します。

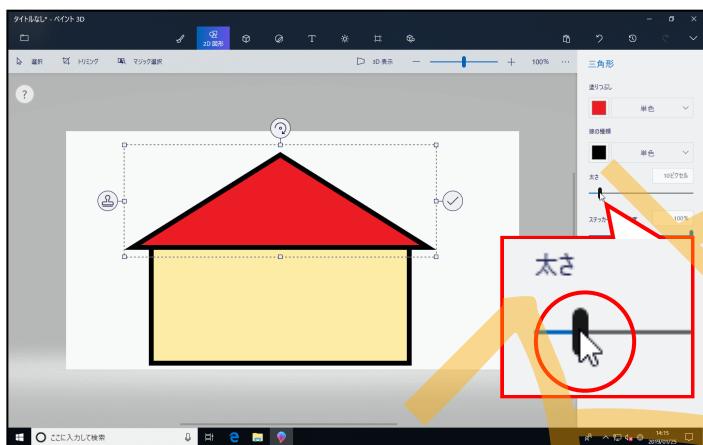


●塗りつぶしの色の変更方法がわからない方は、P72を参考にしましょう。

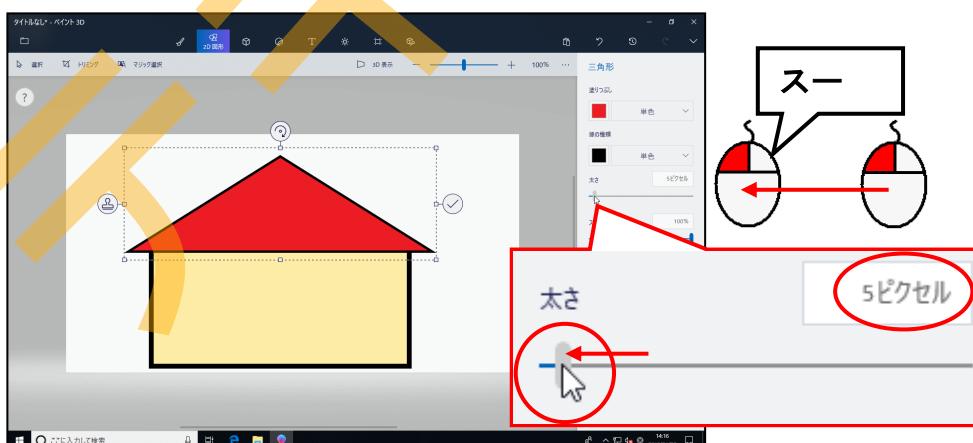
●「赤」

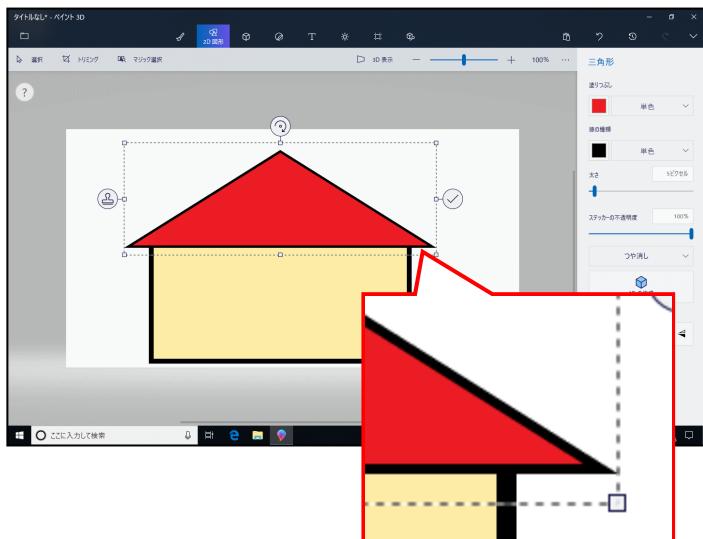


屋根の線の太さを変更するため、画面右側の【太さ】の [ ] にポイントします。



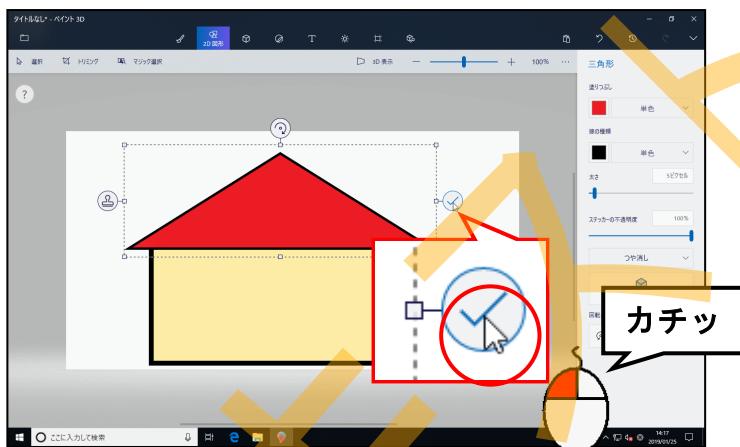
そのまま左に向かって「5ピクセル」になるまでドラッグします。



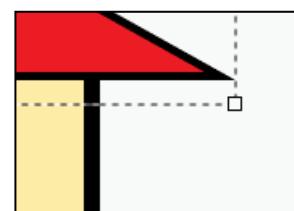
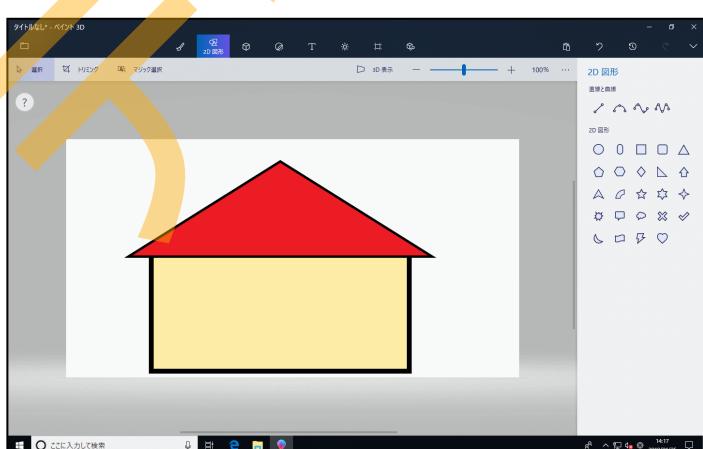


● 屋根の線の太さが細くなったことを確認しましょう。

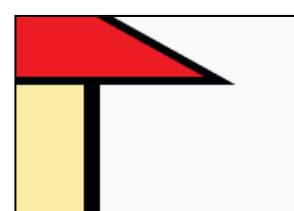
三角形の右にある にポイントし、クリックします。



● 描いた屋根を確定します。

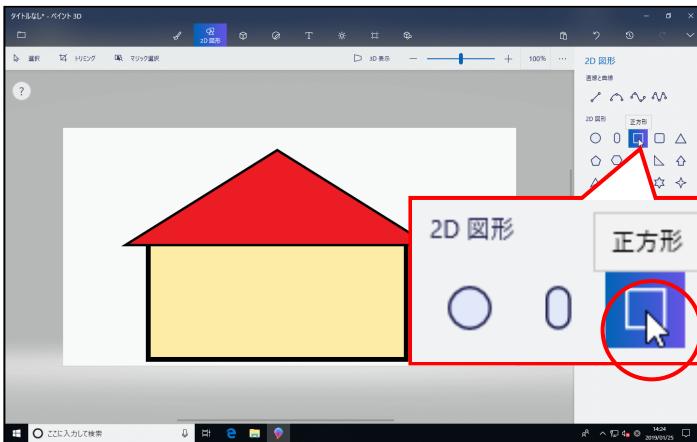


確定前

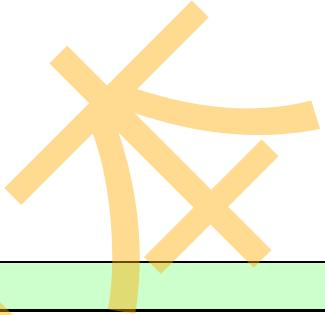


確定後

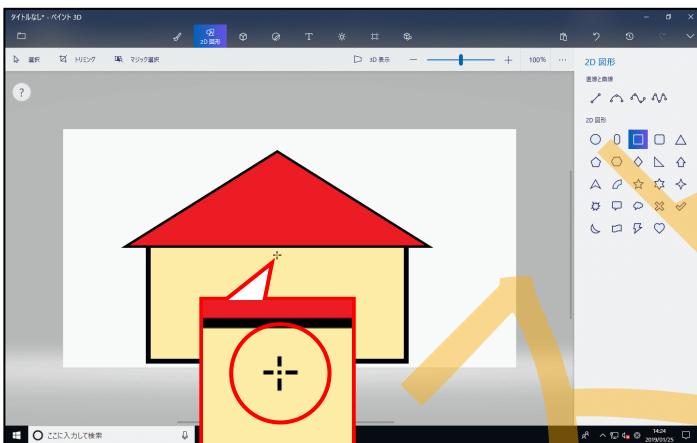
ツーディー  
画面右側の [2D 図形] から  [正方形] にポイントし、クリックします。



● 窓を描くための選択です。



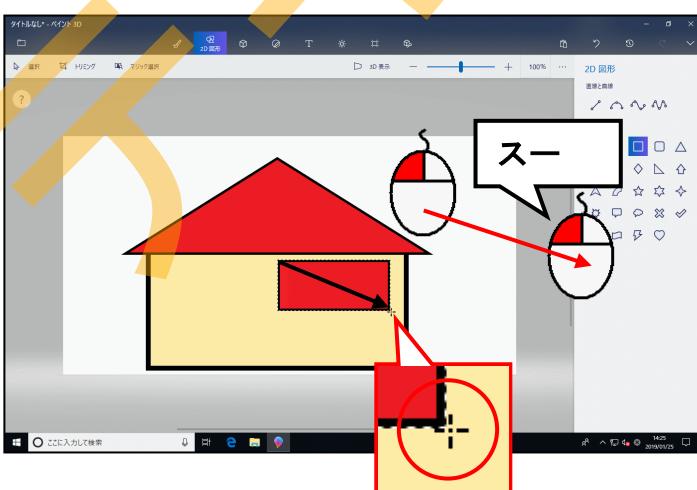
下の図の位置を参考にして、ポイントします。



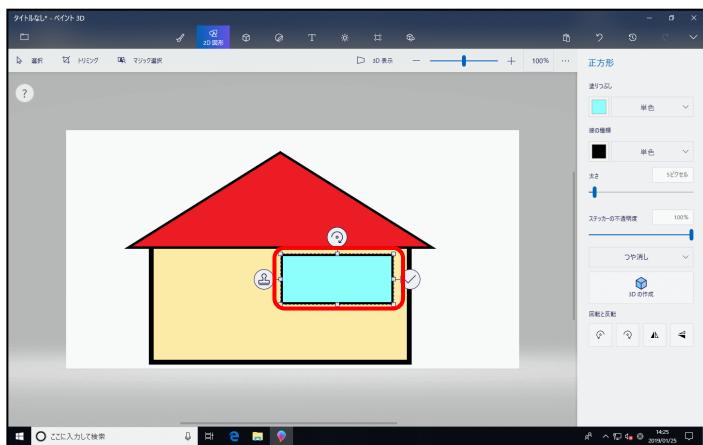
● まだクリックしないように気を付  
けましょう。



下の図を参考にして、ドラッグしながら窓を描きます。

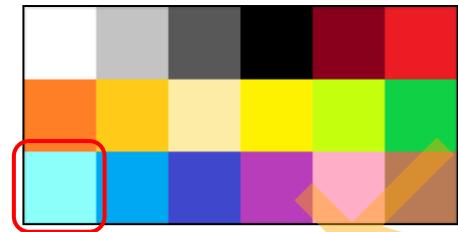


窓の塗りつぶしの色を「水色」に変更します。

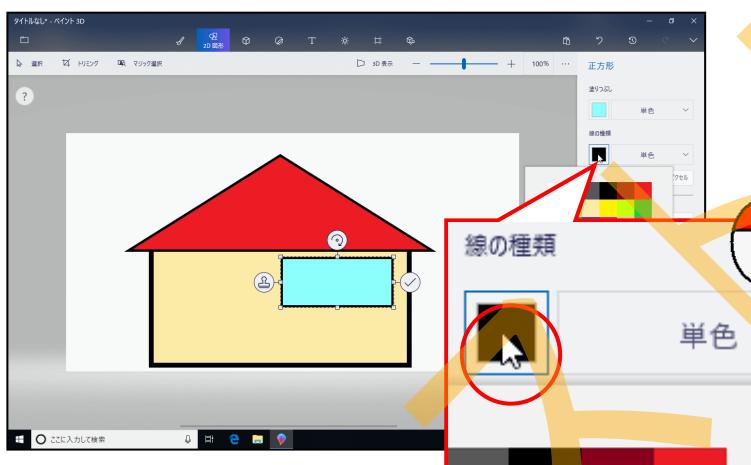


●塗りつぶしの色の変更方法がわからない方は、P72を参考にしましょう。

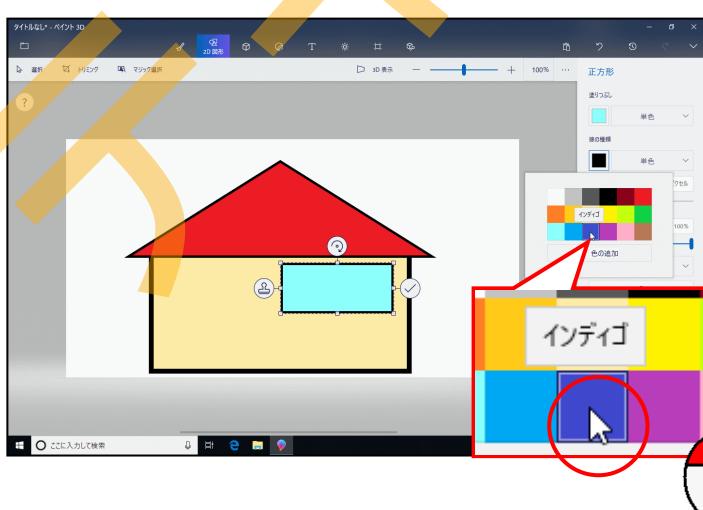
●「水色」



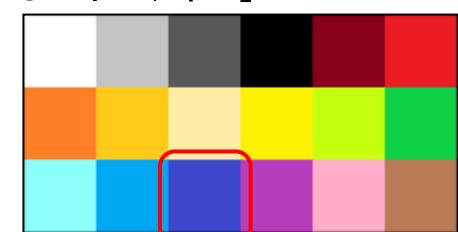
窓の線の色を変更するため、[線の種類] の ■ にポイントし、クリックします。

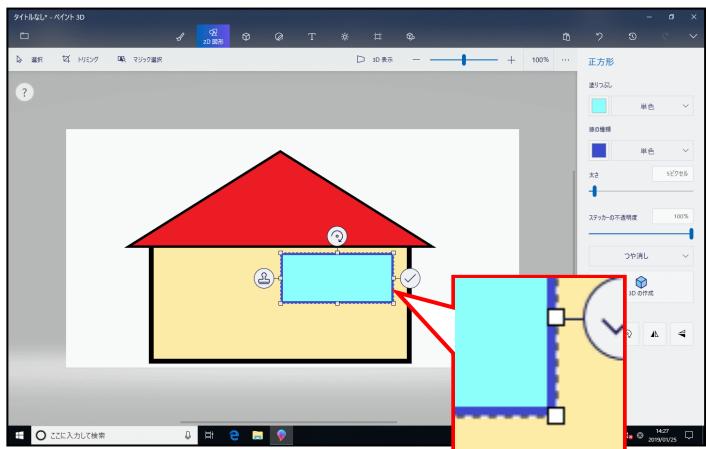


表示された一覧から「インディゴ」にポイントし、クリックします。



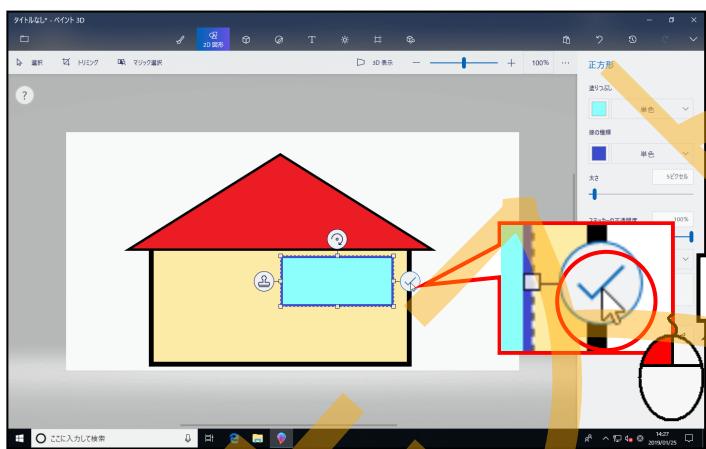
●「インディゴ」





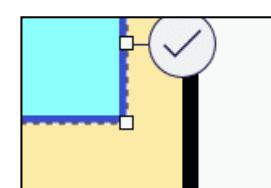
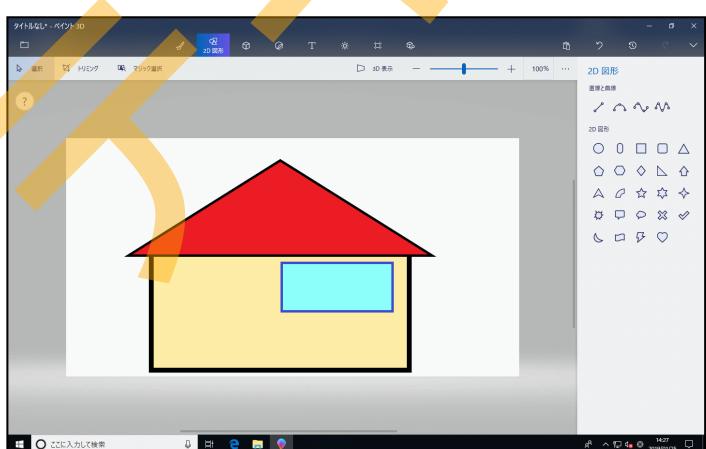
● 「インディゴ」をクリックすると、窓の線の色が「インディゴ」に変更されます。

窓の右にある にポイントし、クリックします。

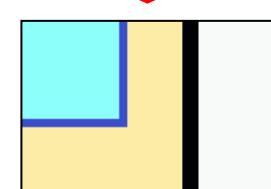


● 描いた窓を確定します。

カチッ



確定前



確定後

## ② 文字を描く

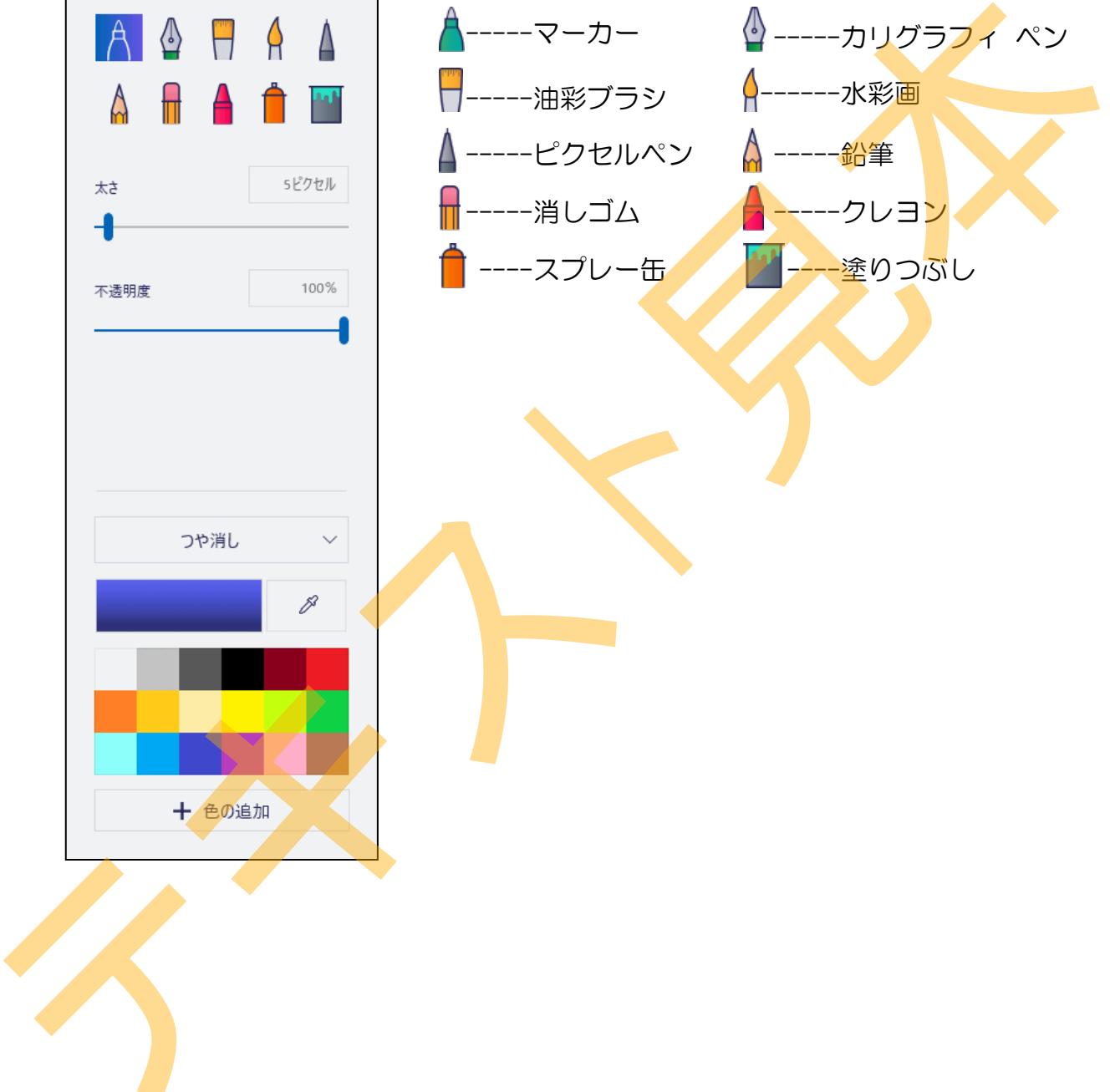
メニューの【ブラシ】を使って、文字を描きましょう。

### 【ブラシ】メニュー

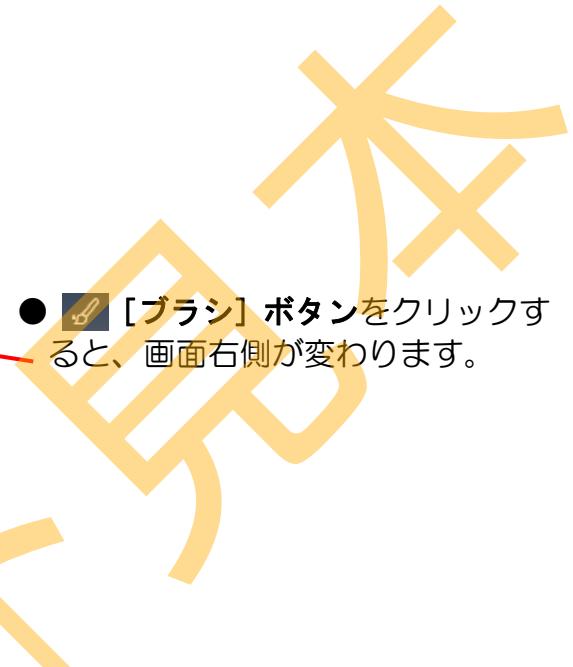
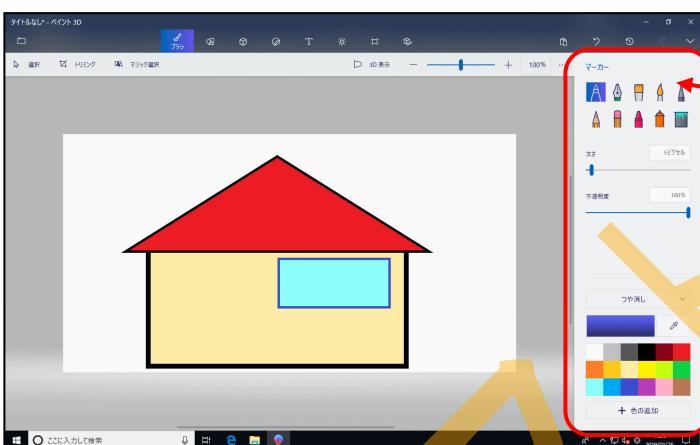
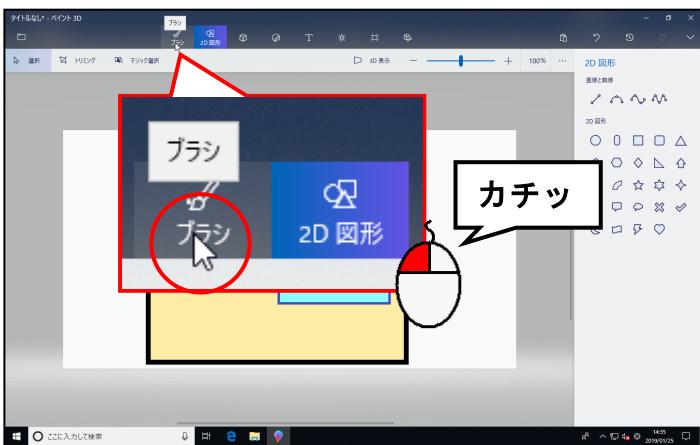


### ブラシの種類

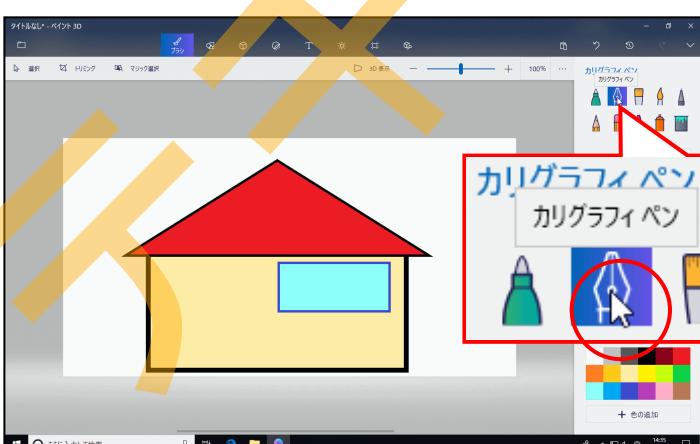
	マーカー
	油彩ブラシ
	ピクセルペン
	消しゴム
	スプレー缶
	カリグラフィ ペン
	水彩画
	鉛筆
	クレヨン
	塗りつぶし



メニューの  [ブラシ] ボタンにポイントし、クリックします。



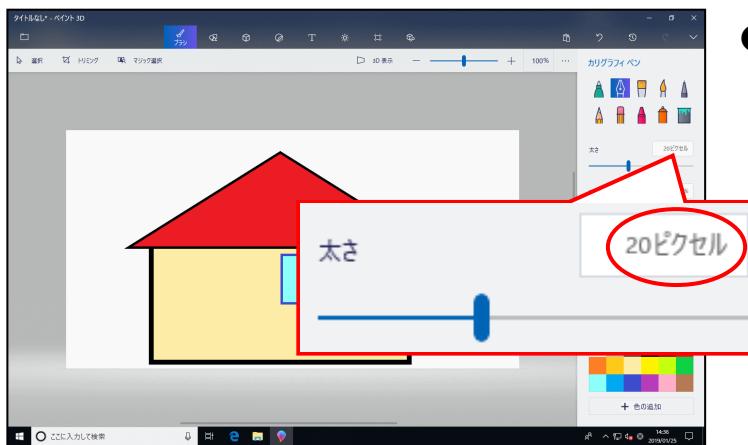
画面右側から  [カリグラフィ ペン] にポイントし、クリックします。



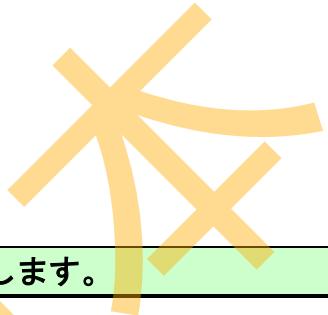
● 今から描くペンの種類を指定します。

カリグラフィペン

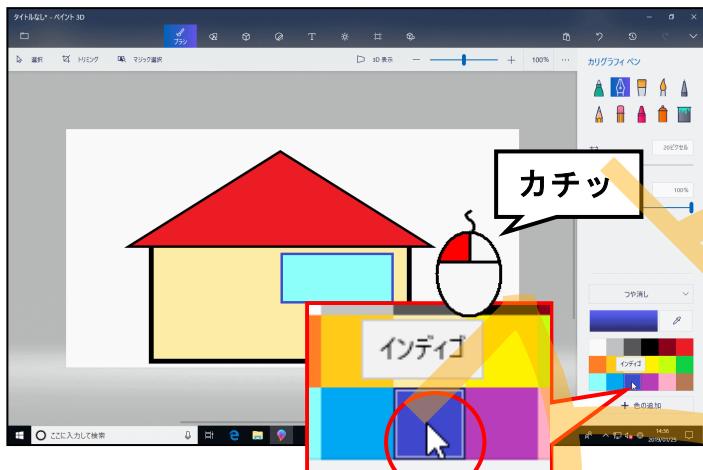
ペンの太さを「20ピクセル」に変更します。



●ペンの太さの変更方法がわからない方は、P75を参考にしましょう。

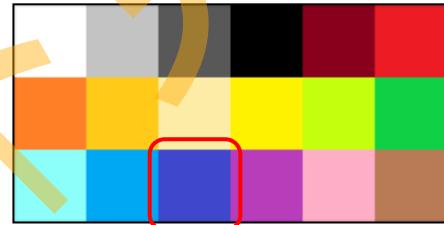


画面右側の色の一覧から「インディゴ」にポイントし、クリックします。

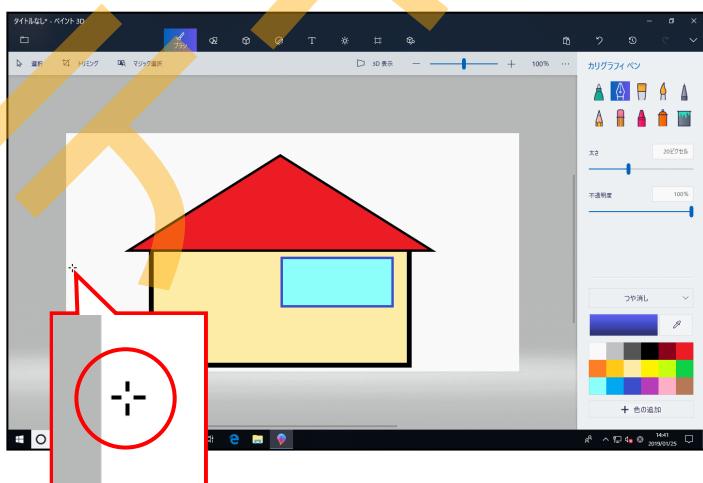


●これから描くペンの色を指定します。

●「インディゴ」

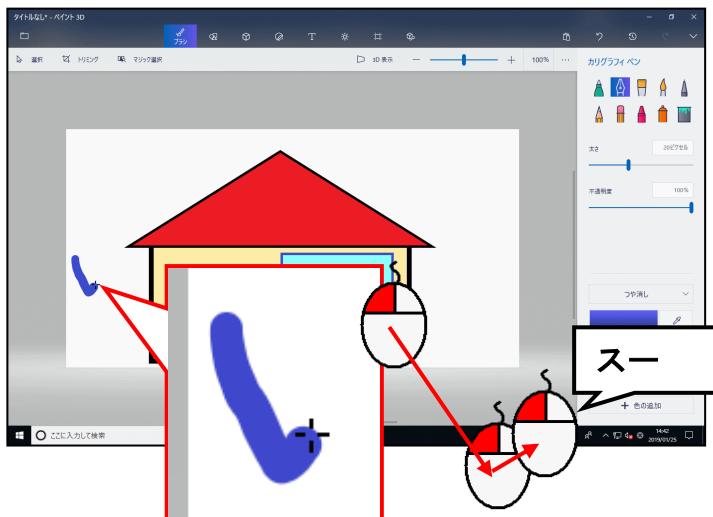


マウスポインターを家の左側に移動します。



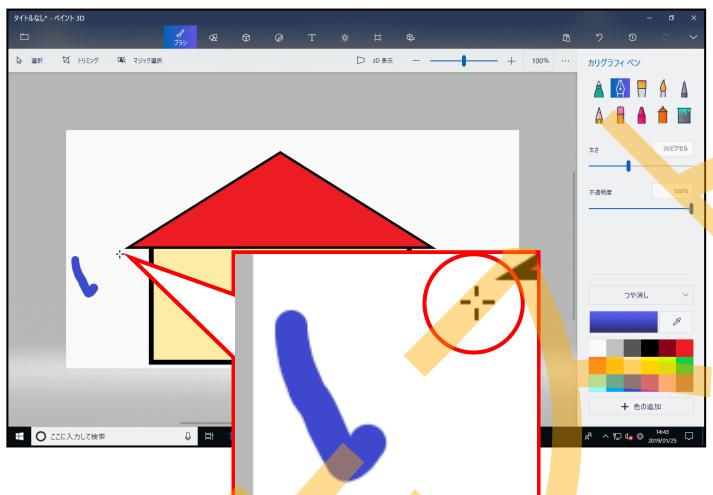
●これから家の左側に、「い」と「え」を描いていきます。

マウスの左ボタンを押したまま、下の図のマウスの動きを参考にドラッグします。

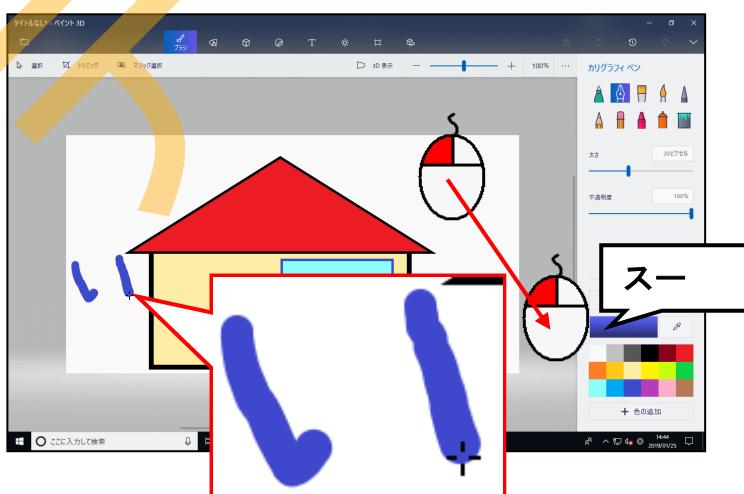


●左ボタンを押したままにしないと、  
文字が描けません。

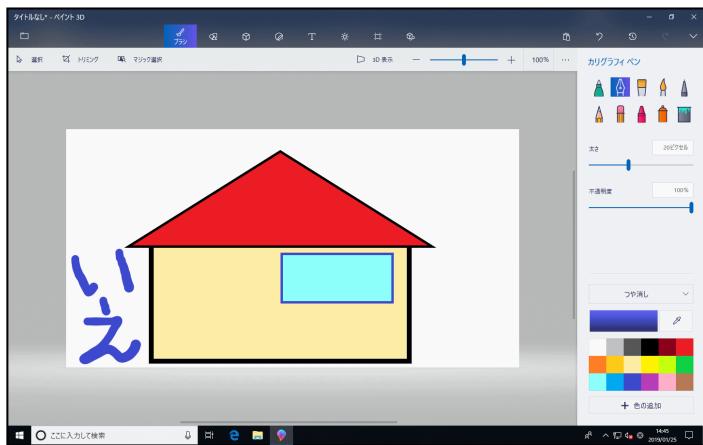
次の位置までマウスピントーを移動します。



マウスの左ボタンを押したままドラッグします。



同じ要領で、「い」の下に「え」を描いてみましょう。



● ドラッグで「え」を描くのは難しいので、うまくいかなかったときは、「元に戻す」(P67)を利用して、描いてみましょう。

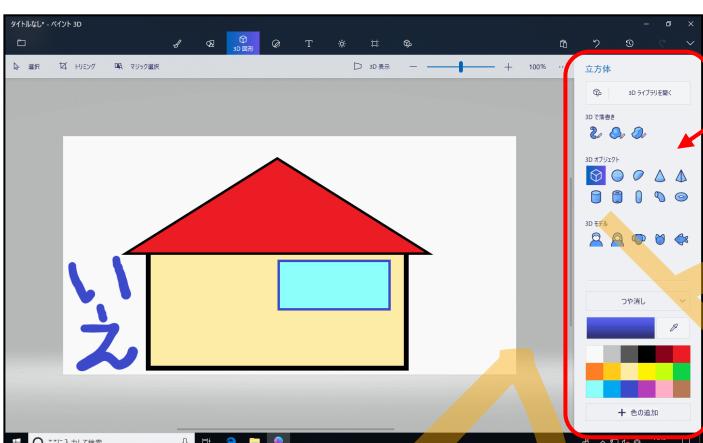
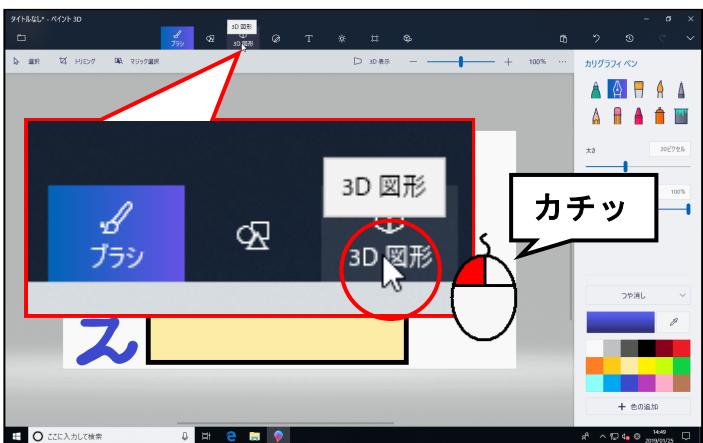


### ③ 3D 図形を描く

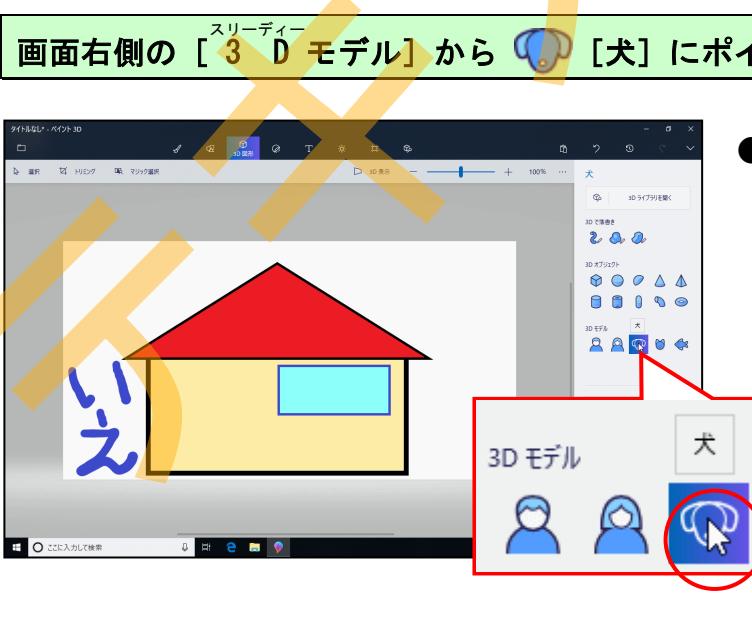
メニューの [3D 図形] を使って、犬を描きましょう。



メニューの  [3D 図形] ボタンにポイントし、クリックします。

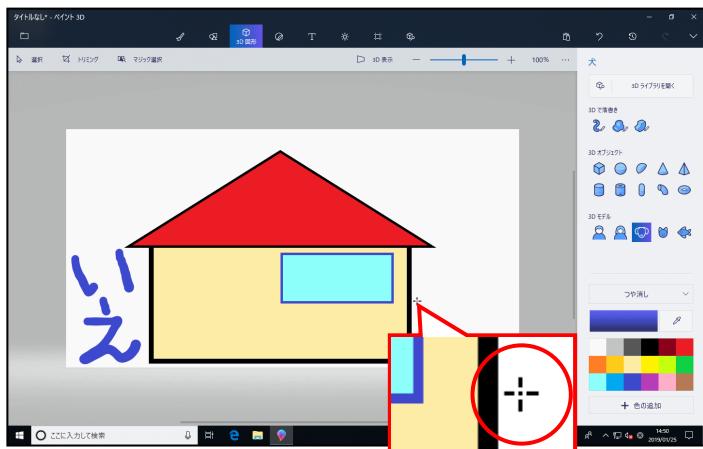


スリーディー [3D 図形] ボタンをクリックすると、画面右側が変わります。

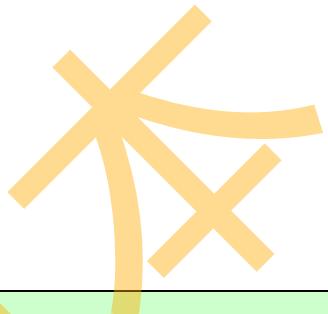


●これから描く図形の形を指定します。

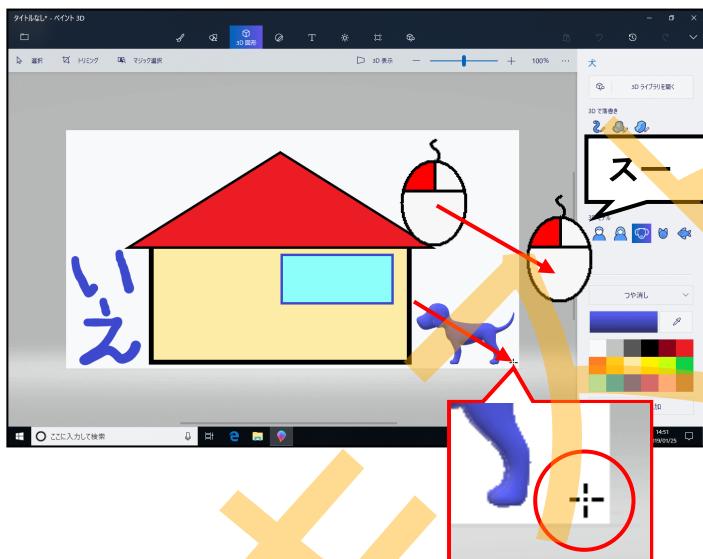
マウスポインターを家の右側に移動します。



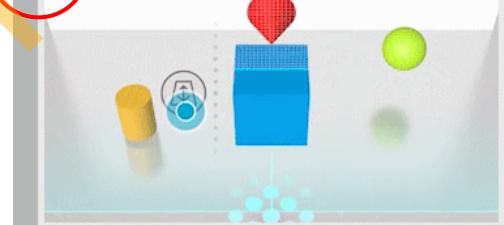
●これから家の右側に、犬を描いていきます。



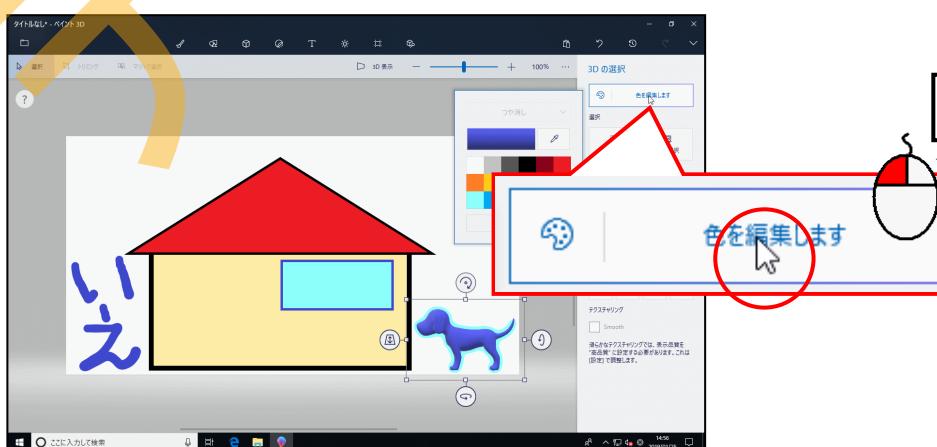
右下に向かってドラッグし、犬を描きます。



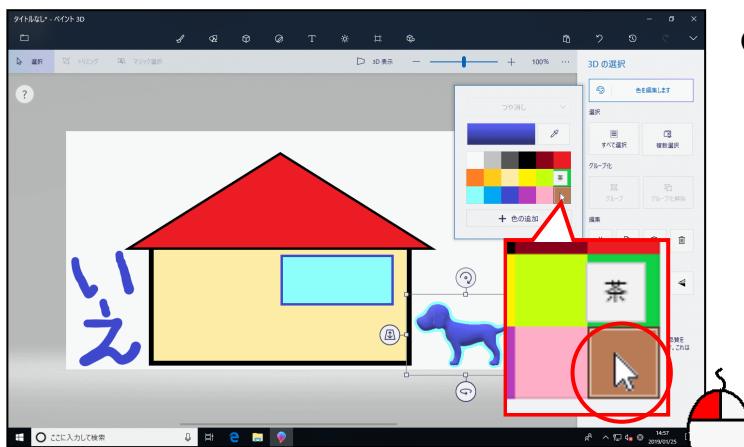
●犬を描いた直後に、画面左上に下の図のような動画が表示され方は、  
×



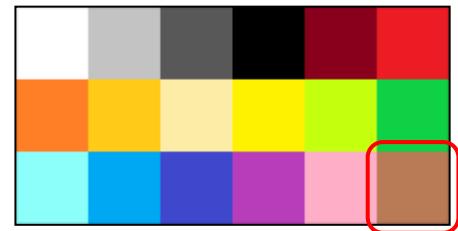
犬の塗りつぶしの色を変更するため、画面右側の【色を編集します】にポイントし、  
クリックします。



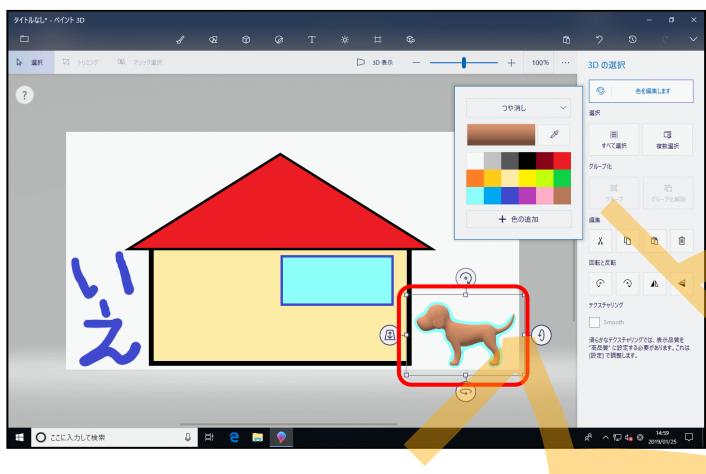
表示された一覧から「茶」にポイントし、クリックします。



●「茶」

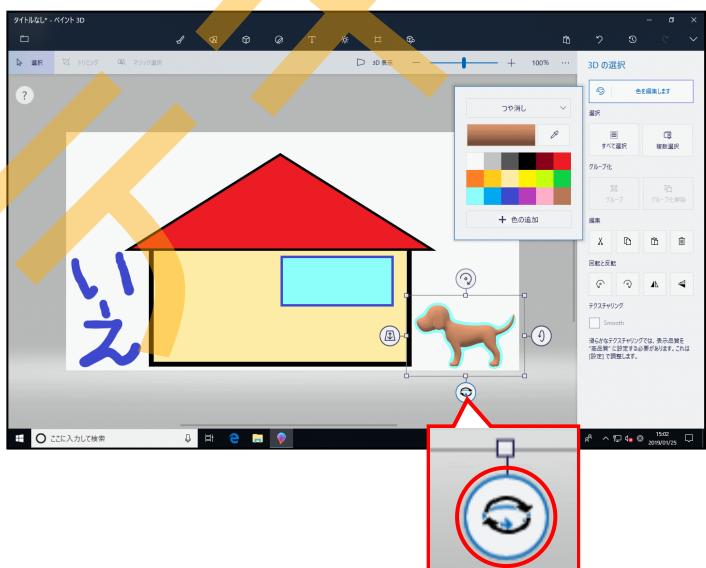


カチッ



●「茶」をクリックすると、犬の塗りつぶしの色が「茶」に変更されます。

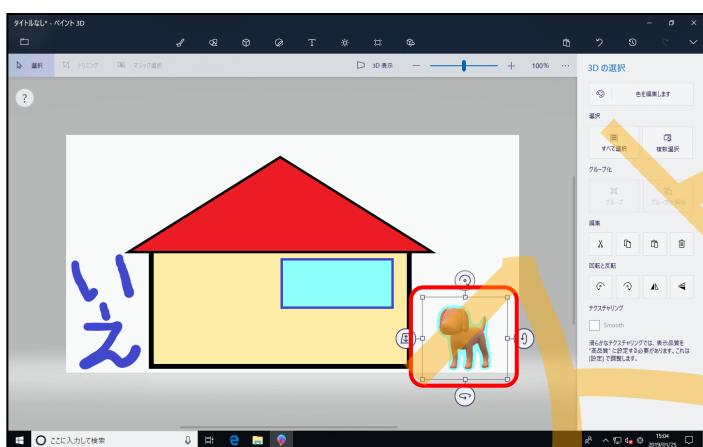
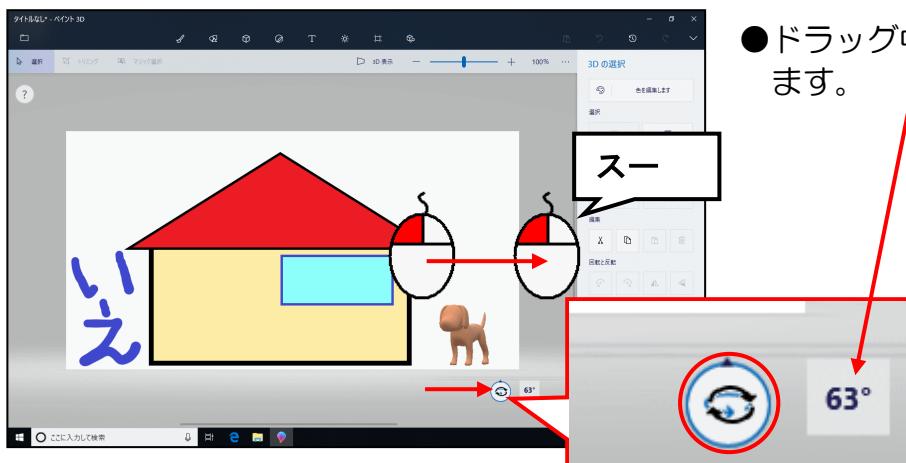
犬の中央下の にポイントします。



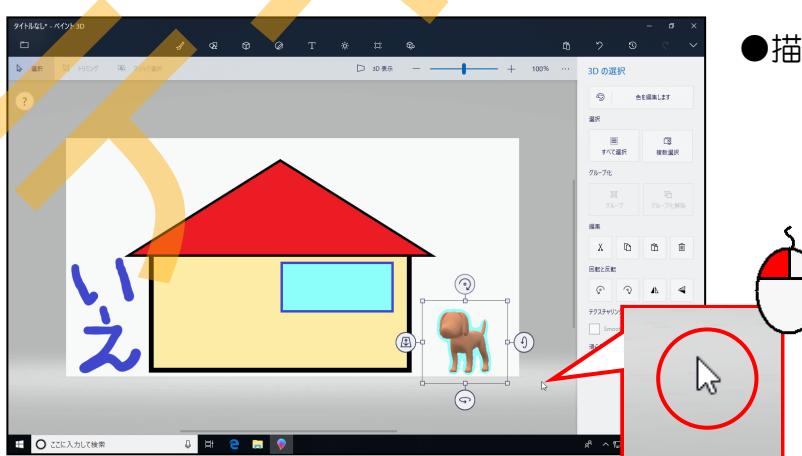
● にポイントすると、マウス.Pointer が に変わります。

● 犬を回転させるための操作です。

マウスの左ボタンを押したままの状態で右にドラッグします。



画用紙の外にポイントし、クリックします。





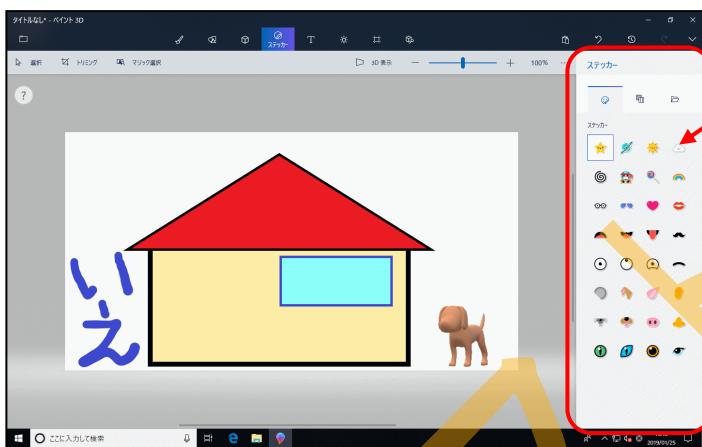
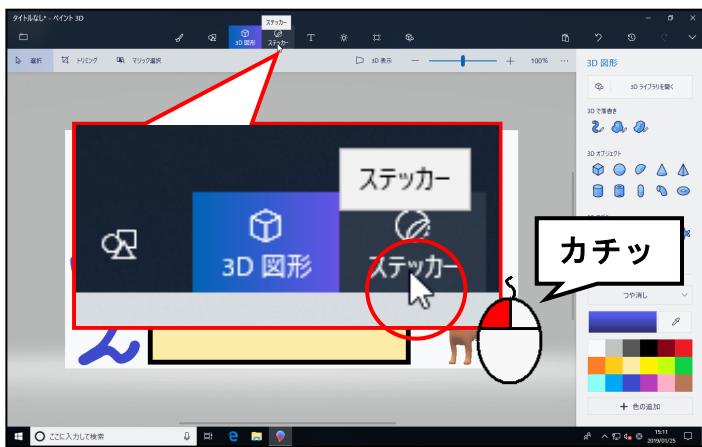
## ④ ステッカーで装飾をする

メニューの【ステッカー】を使って、装飾しましょう。

### [ステッカー] メニュー

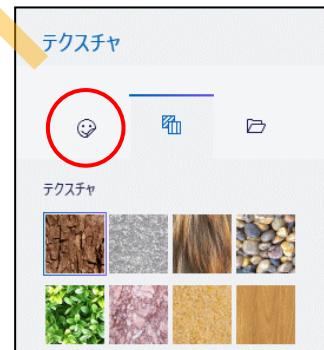


メニューの  [ステッカー] ボタンにポイントし、クリックします。

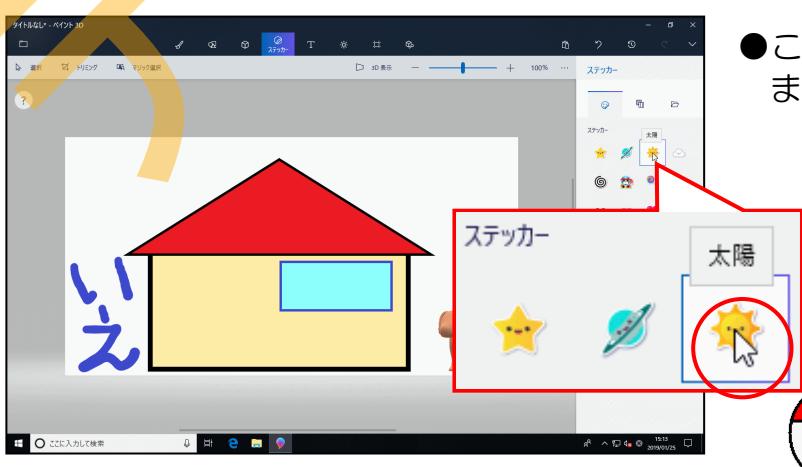


●  [ステッカー] ボタンをクリックすると、画面右側が変わります。

● 画面右側が下の図のように「テクスチャ」になっている方は、 をクリックしておきましょう。

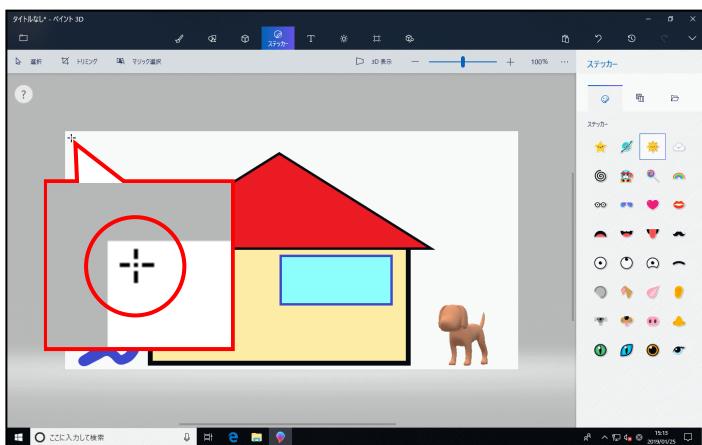


画面右側の [ステッカー] から  [太陽] にポイントし、クリックします。



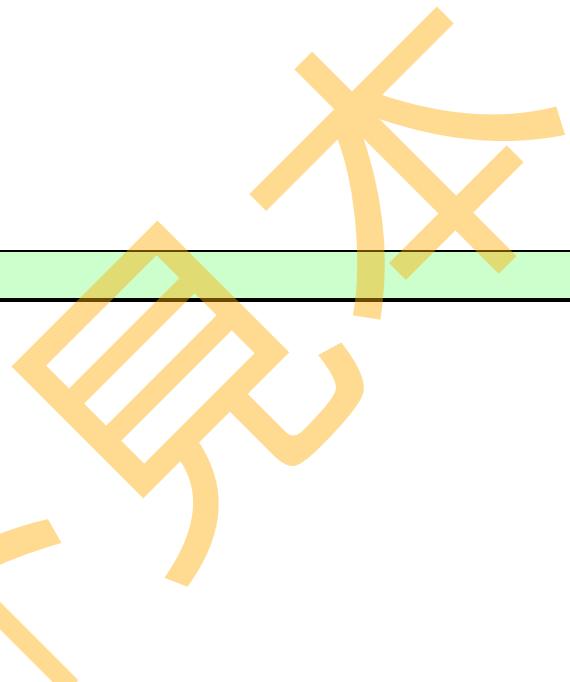
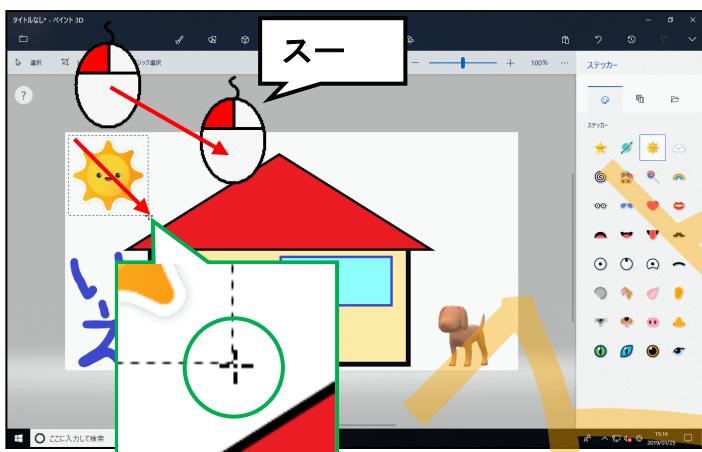
● これから描くステッカーを指定します。

マウスポインターを家の左上に移動します。

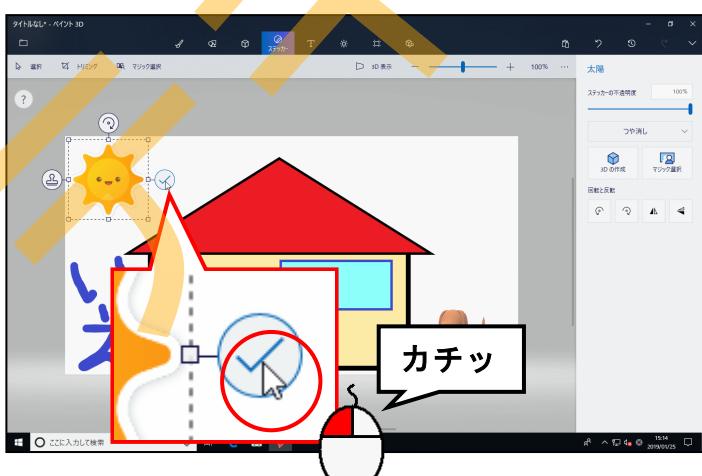


●これから家の左上に、太陽を描いていきます。

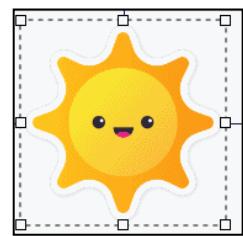
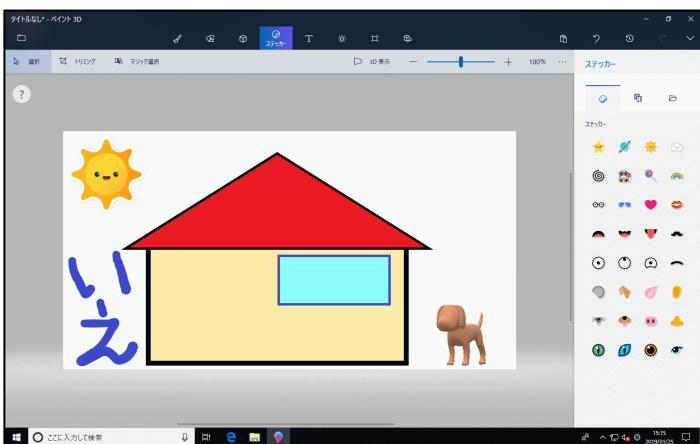
右下に向かってドラッグし、太陽を描きます。



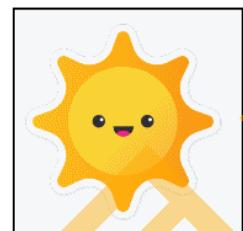
太陽の右にある にポイントし、クリックします。



●描いた太陽を確定します。

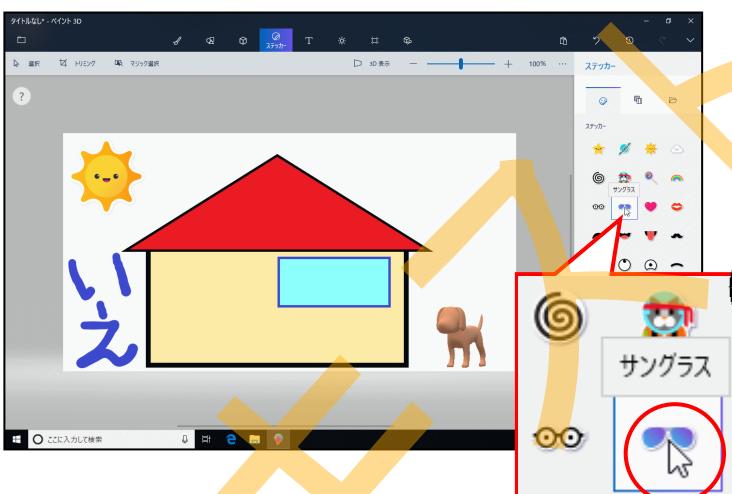


確定前



確定後

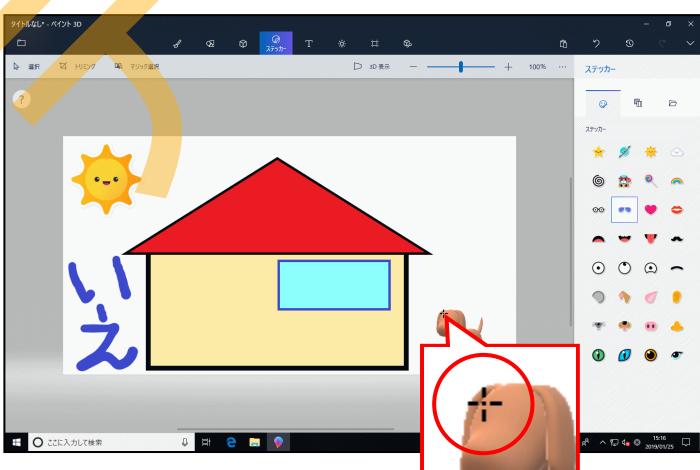
画面右側の【ステッカー】から 🕶️ [サングラス] にポイントし、クリックします。



●これから描くステッカーを指定します。

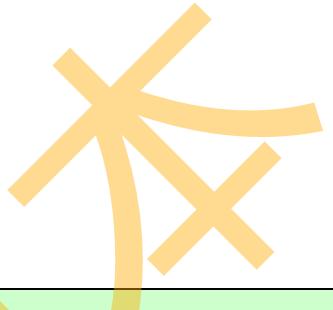
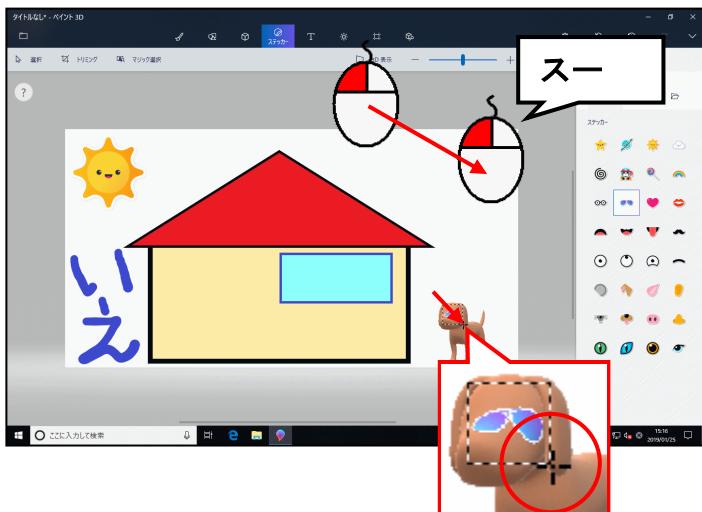
カチッ

下の図の位置を参考にマウスポインターを移動します。

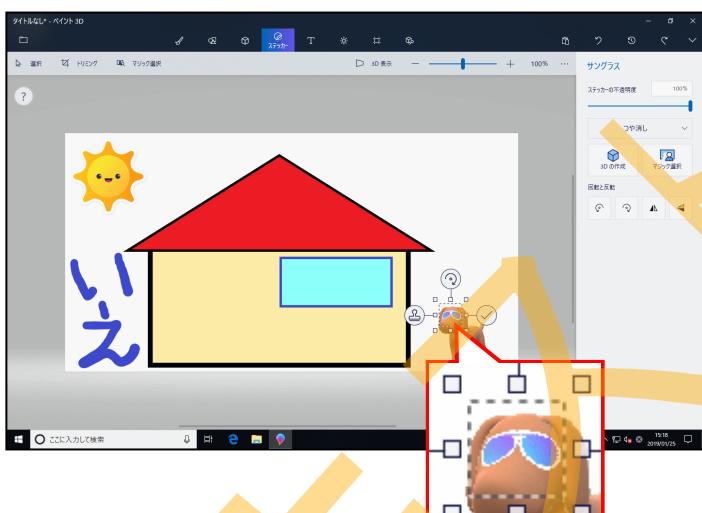


●これから犬の目の部分に、サングラスを描いていきます。

右下に向かってドラッグし、サングラスを描きます。

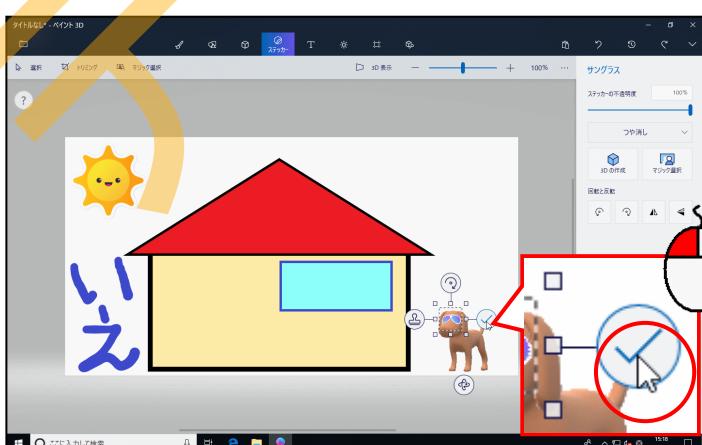


下の図を参考に、サングラスの大きさと位置を調整しましょう。



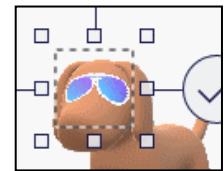
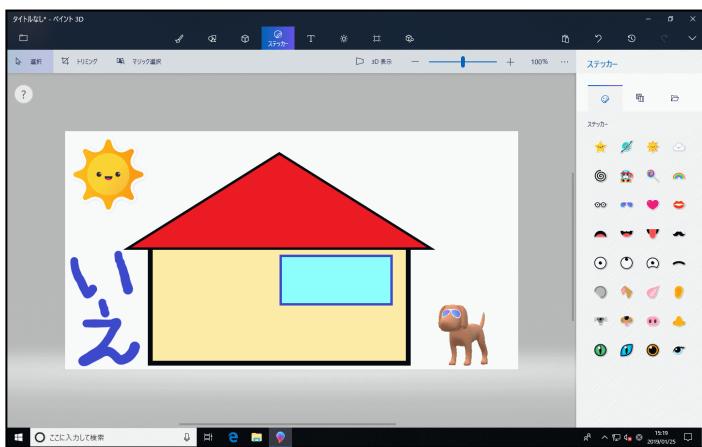
●サングラスの大きさと位置の調整方法を忘れた方は、「移動」(P68)、「大きさの変更」(P69~P70)を参照してください。

サングラスの右にある にポイントし、クリックします。



●描いたサングラスを確定します。

カチッ

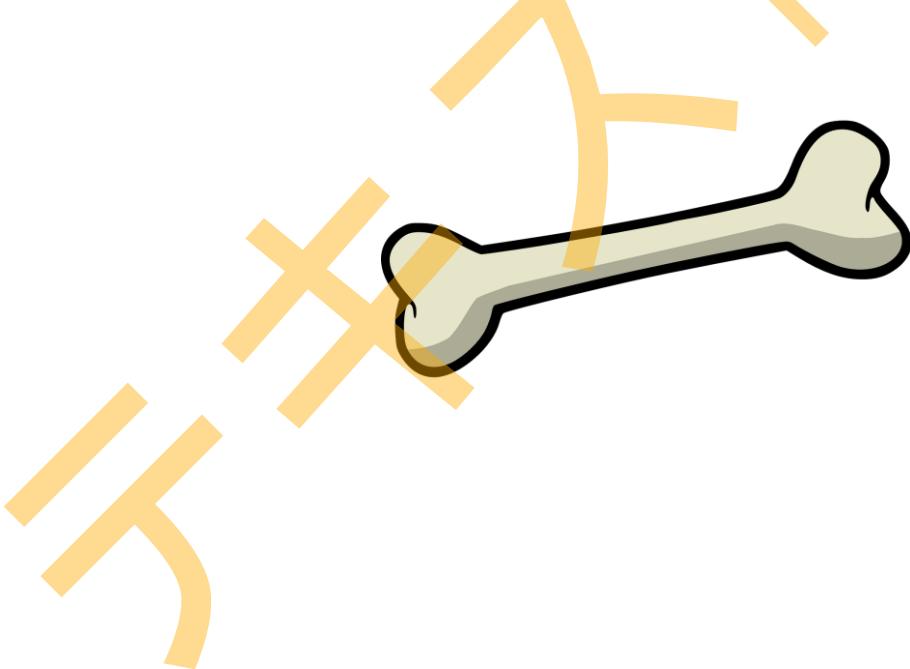


確定前



確定後

これで「家」の完成です♪



### (3) 「ペイント 3 D」から印刷をする

## いよいよ、紙に印刷できるんじゃな！



タケさん「わしが描いた絵はヘタだが、やっと印刷できるんじゃな！」

くじら先生「最初にしては、上出来じゃないですか？」

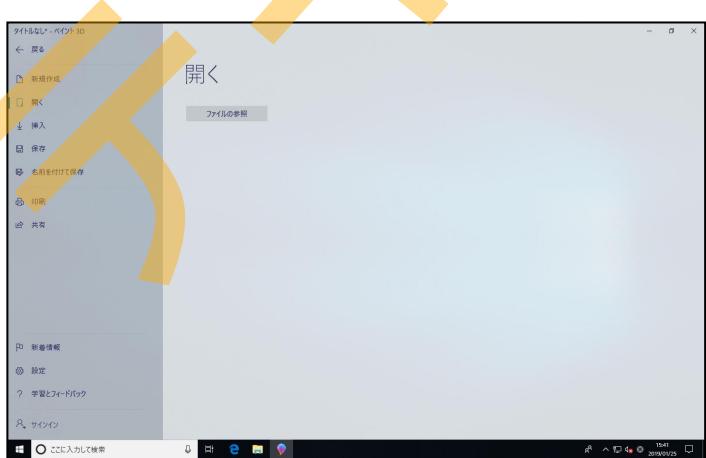
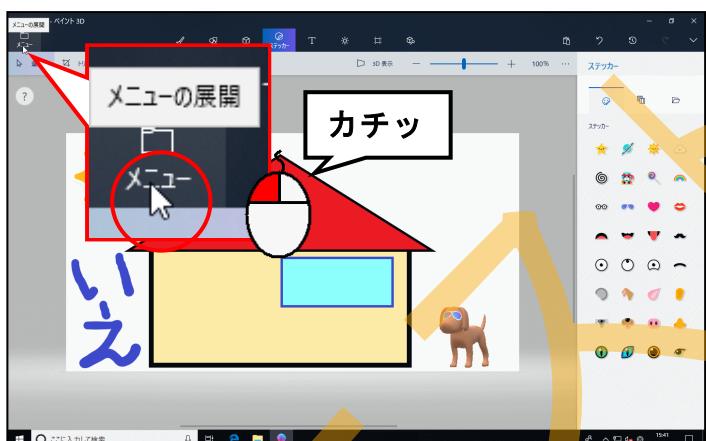
ウメさん「パソコンを習い始めて、印刷するのは初めてだからワクワクするわ。」

くじら先生「おふたりとも、印刷という操作が初めてなので、興奮されていますね。印刷してプリンターから出てくるのを楽しみにしてください。」

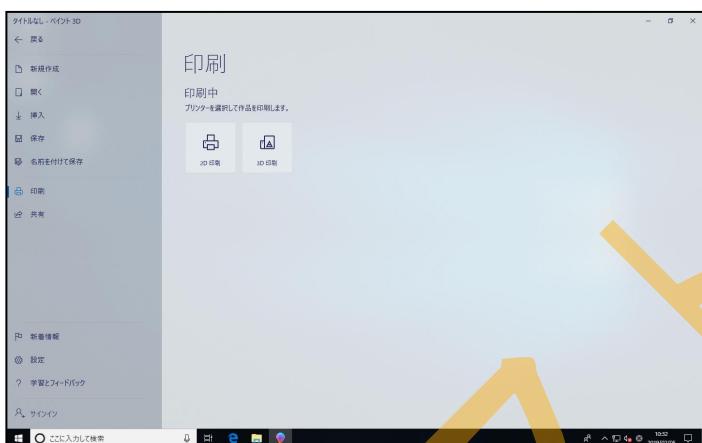
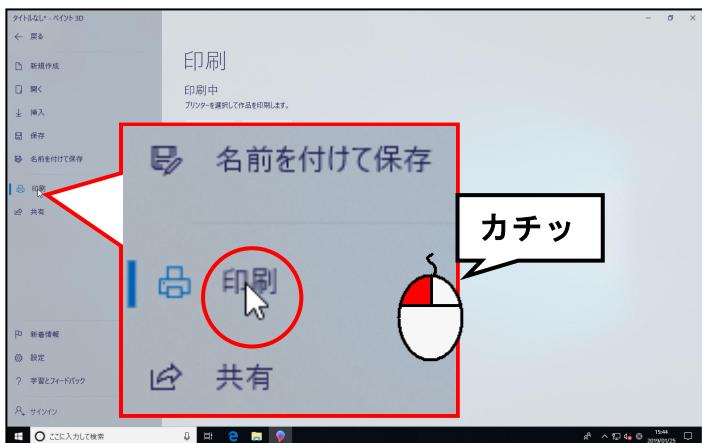


ペイント 3 D を使って描いた家をプリンターで印刷してみましょう。

画面左上にある [メニュー] ボタンにポイントし、クリックします。

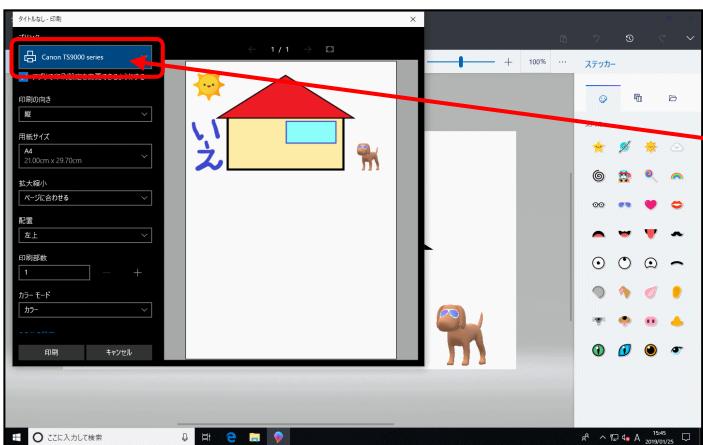


表示されたメニューから [印刷] にポイントし、クリックします。



ツーディー [2D 印刷] にポイントし、クリックします。





- ツーディー [2D印刷] をクリックすると、印刷画面が表示されます。

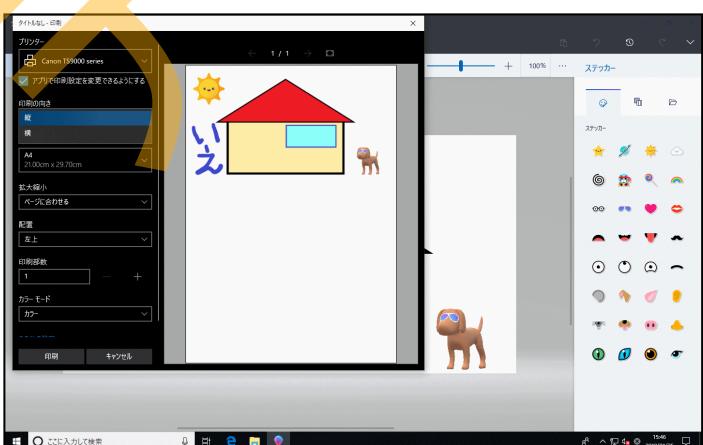
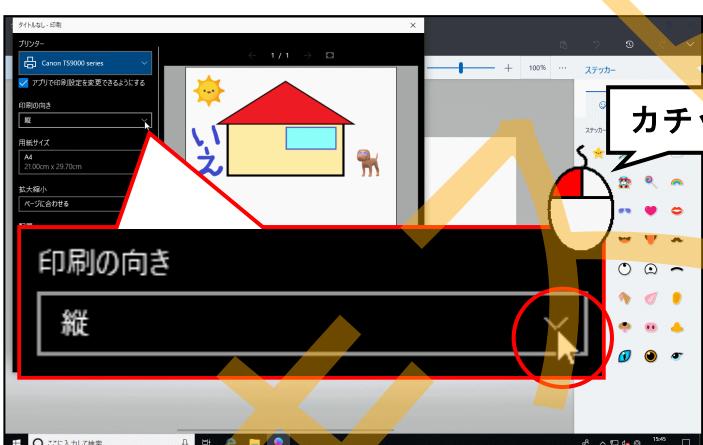
- パソコンにつながっているプリンターによって表示されるプリンターの名前は異なります。

余裕があれば読んでね

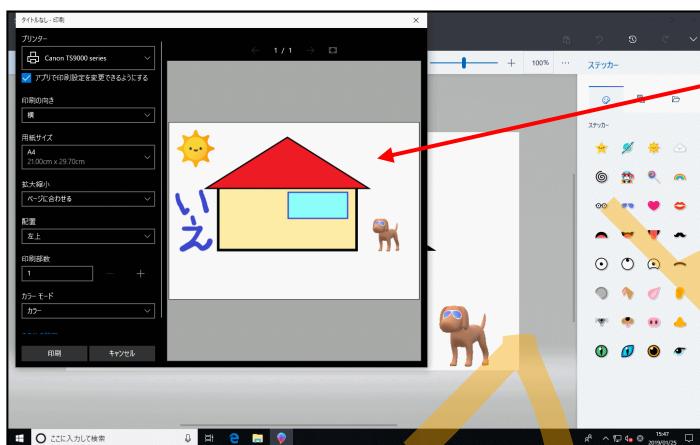
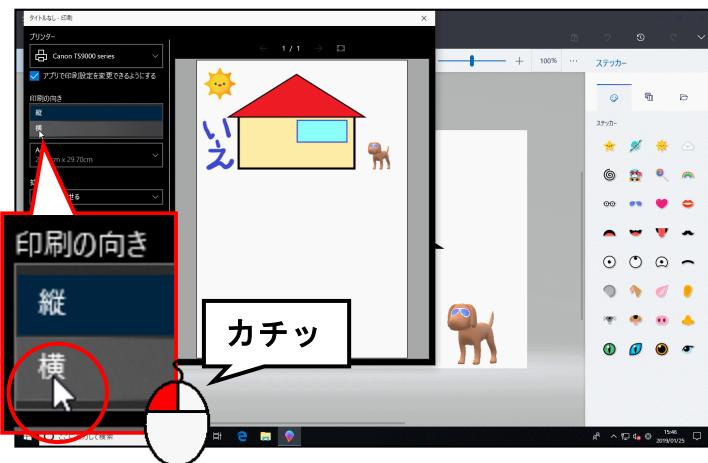
- 1台のパソコンに複数のプリンターが接続されている場合は、使用するプリンターを選択します。

- プリンターを選択せずに印刷すると、[通常使うプリンター]に設定されたプリンターで印刷されます。

印刷の向きを変えるため、[印刷の向き] の ▾ にポイントし、クリックします。

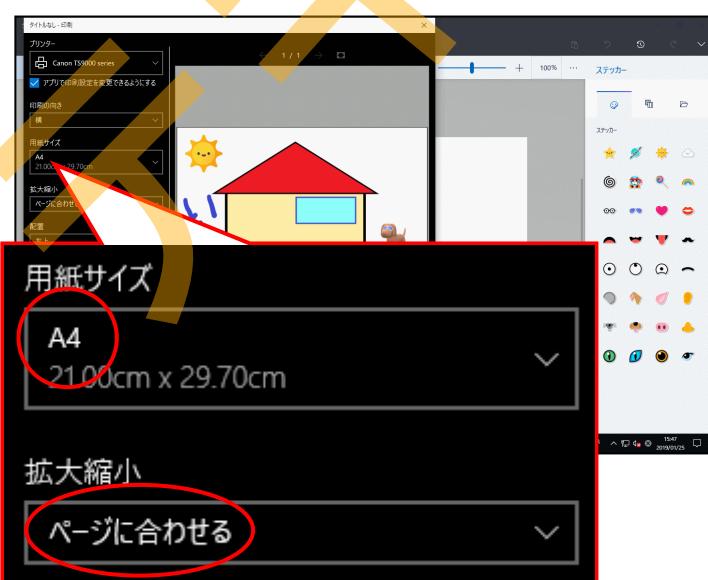


表示された一覧から「横」にポイントし、クリックします。



●「横」をクリックすると、印刷の向きが横に変更されます。

【用紙サイズ】が「A4」になっていることと、【拡大縮小】が「ページに合わせる」になっていることを確認します。

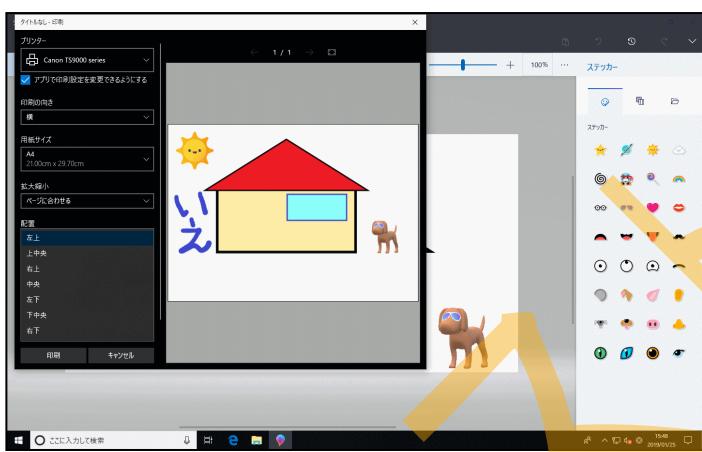
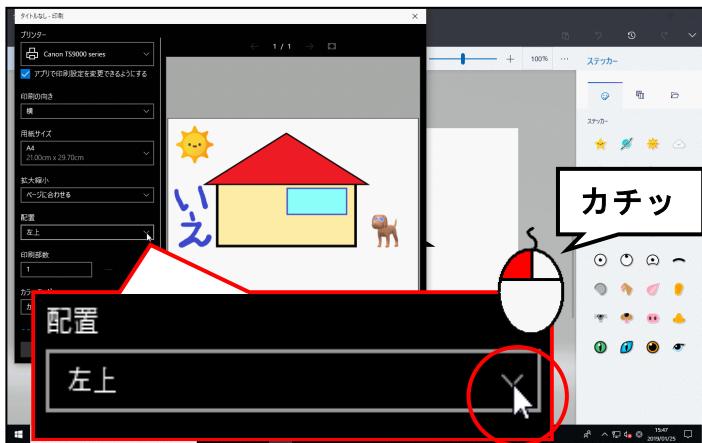


注意!

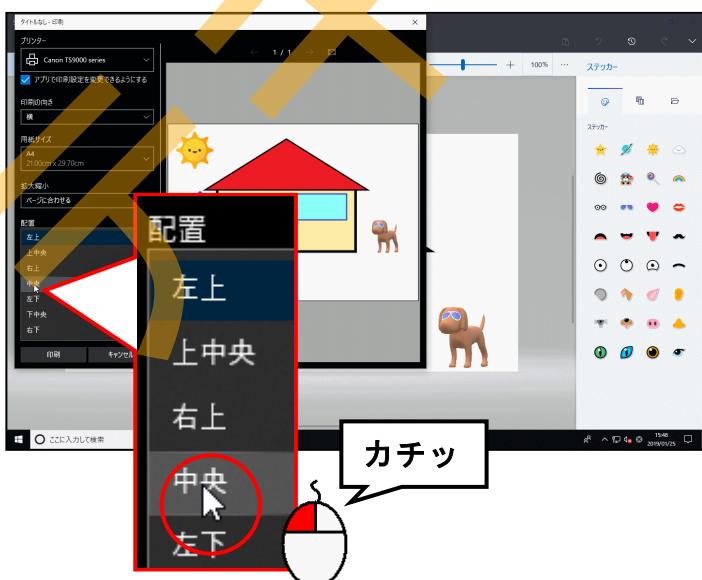
●【用紙サイズ】が「A4」にならない方は、【用紙サイズ】の右にある▼をクリックして、表示される一覧から「A4」を選択しておきましょう。

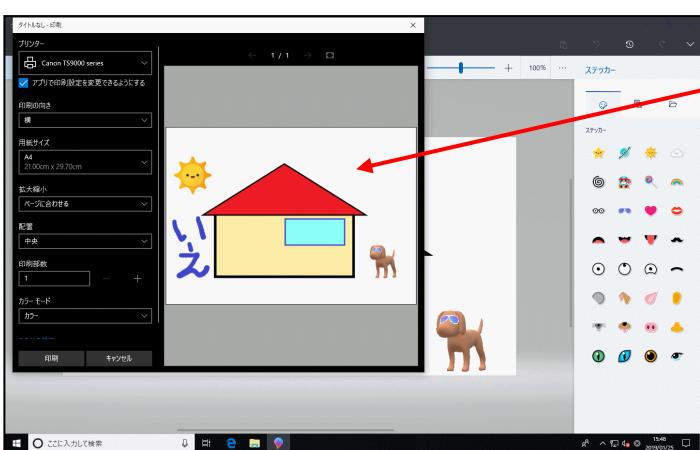
●【拡大縮小】が「ページに合わせる」にならない方は、【拡大縮小】の右にある▼をクリックして、表示される一覧から「ページに合わせる」を選択しておきましょう。

描いた絵を紙の中央に印刷したいので、[配置] の  にポイントし、クリックします。



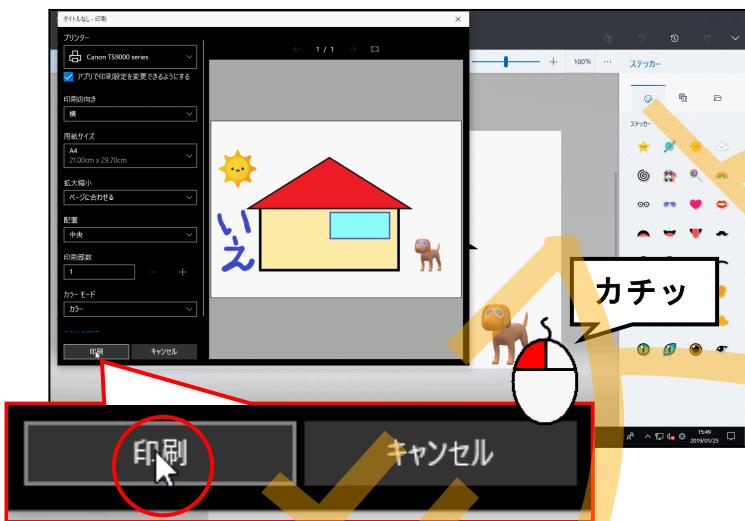
表示された一覧から「中央」にポイントし、クリックします。





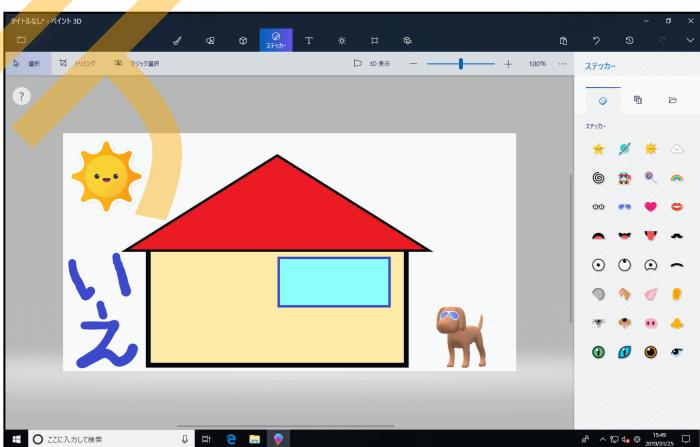
●「中央」をクリックすると、描いた絵が紙の中央に表示されます。

[印刷] ボタンにポイントし、クリックします。



注意!

●この操作に入る前にプリンターの電源が入っていることを確認しておきましょう。  
電源が入っていない場合は、電源を入れておきましょう。



#### (4) 「ペイント 3 D」を終了する

手で描いたほうが上手じゃな～。



くじら先生「どうですか？おふたりとも、きれいに印刷できましたか？」

ウメさん「お世辞にも上手とは言えない絵だわ。」

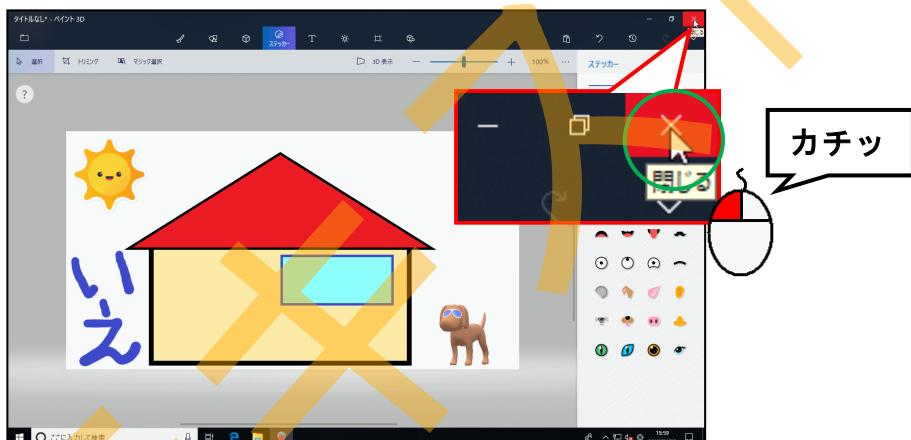
タケさん「わしもじゃ！マウスで絵を描くのは難しいなあ。」

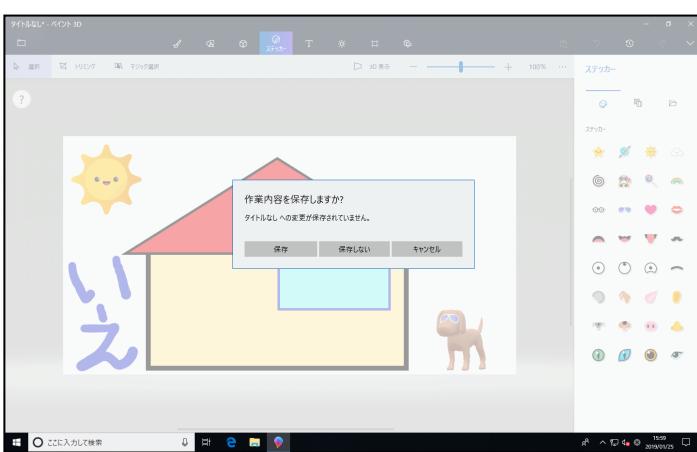
くじら先生「最初はうまくマウスを動かすことができないのは、仕方ないことです。そのうち、少しずつうまくなっていますから、安心してください。」



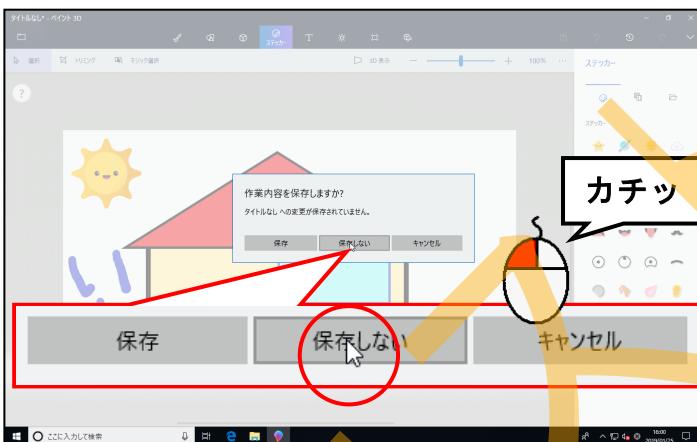
せっかく描いていただきましたが、紙に印刷しましたので、パソコンには保存しないで、「ペイント 3 D」を終了してみましょう。

画面の右上にある [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。





下のように「保存」を確認するための画面が表示されますが、[保存しない] ボタンにポイントし、クリックします。



余裕があれば読んでね

- [保存]  
保存するための画面が表示されます。
- [保存しない]  
保存せずにペイント 3 D を終了します。
- [キャンセル]  
終了処理がキャンセルされてペイント 3 D の画面に戻ります。



☆☆ここまでくれば、練習問題4で理解度を試してください。☆☆

## 6. キーボードに慣れる練習

### 先生、指1本で叩いてもいいですか？

ウメさん「先生、わたしゆっくり進んでいいから、指1本で叩いてもいいですか？」



くじら先生「私は、いつまでも待ちますから、ゆっくり、自分がやりやすいようにしていただいたら結構ですよ。」

タケさん「わしもじゃ！よく動いても指3本ぐらいかな～。」

くじら先生「何本でも結構です。とにかく『キーボードに慣れる』ことが大切です。最初は、どの文字がどこにあるか分からずに、探す時間の方が長いと思いますが、そのうち、指が勝手に動き出します。」

タケさん「そんなもんかのお～。

　　といえば、自動車の運転では、アクセルは？ブレーキは？なんて考えてないもんな。

　　危ない！って思えば、とっさにブレーキを踏みどる。  
　　それと同じじゃな！」



くじら先生「そうなんです。

　　大切なのは、慣れることです。

　　自動車の運転でも、最初は脱輪したり、ぶつけてしまったりしたでしょう。そのうち慣れてきましたよね。」

ウメさん「先生、わたしいまだに車に乗ってて、ぶつけてばかりだから、傷だらけなんだけど・・・。」

くじら先生「でも、自動車の運転には慣れて、怖いというイメージはなくなったでしょう。」



　　自動車に乗りたいって思うように、パソコンも使いたいって思っていただいて、毎日のように利用していただければいいのです。」

パソコンを扱う上で、データを入力したり、パソコンに命令を与えてやる機器が不可欠です。これらの機器は「**入力装置**」と呼ばれ、「**キーボード**」や「**マウス**」などがあります。すでにマウスの使い方は説明しましたので、ここではキーボードについて説明します。パソコンで文字を入力するために最も活躍するのがキーボードです。

キーボードは、種類やメーカーの違いによってストローク（キーの押し下げの深さ）、キーの大きさ、配列などさまざまです、好みの分かれのところです。

## (1) 入力方法の種類

キーボードを使って日本語の読みを入力する方法には、「ローマ字入力」と「かな入力」の2種類があります。

### ① ローマ字入力

ローマ字入力とは、キーボードのアルファベットキーを使ってローマ字のつづりで入力していく方法です。ローマ字の規則 (P108 (3) ローマ字かな対応表) に従ってキーを押すと、自動的にそのローマ字に対応するカナに変換されて表示されます。



例) …『はな』を入力するには、「H」、「A」、「N」、「A」の4つのキーを押します。

### ② かな入力

かな入力とは、キーボード上に記載されたカナに基づき入力していく方法です。ローマ字入力に比べて親しみやすく、1文字を入力すると画面にその文字が表示されます。昔からワープロをされていた方に多い入力方法です。



例) …『はな』を入力するには、「は」、「な」の2つのキーを押します。

### ③ 入力方法の比較

ローマ字入力とかな入力を比較すると、下のような長所・短所があります。強制はしませんが、みなさんにはローマ字入力をお勧めします。

	ローマ字入力	かな入力
長所	<ul style="list-style-type: none"><li>●全体として覚えるキーの数が少ない</li><li>●日本語、数字、欧文を入力する場合に切り替えが不要</li><li>●ひらがなの入力に [Shift] キーを使う必要がない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●打つキーの数が少なくてすむ</li><li>●入力する文字と同じキーをそのまま打つのでキーがわかり易い</li></ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"><li>●かな1文字を入力するのに、単純計算で2倍のキー操作が必要となる</li><li>●ローマ字を覚える必要がある</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●全体として覚えるキーの数が多い</li><li>●数字や欧文を入力するのに難がある</li></ul>

## (2) パソコンを操作するためのキーの配置



### (3) ローマ字かな対応表

ローマ字はあまり使ないので、日本語をローマ字で入力することはピンとこないものです。どうやって入力したらいいのかわからなくなったら、下の表を見て確認してください。

(五十音順)					(濁音)					(難しい文字)					(難しい文字)				
あ	い	う	え	お	が	ぎ	ぐ	げ	ご	うあ	うい	うえ	うお		とあ	とい	とう	とえ	とお
		U			GA	GI	GU	GE	GO	WHA	WHI		WHE	WHO	TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
A	I	WU	E	O	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	WI		WE			どあ	どい	どう	どえ	どお
		WHU			ZA	ZI	ZU	ZE	ZO	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO	DWA	DWI	DWU	DWE	DWO
か	き	く	け	こ	だ	ぢ	づ	で	ど	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO	にや	にい	にゅ	にえ	にょ
KA	KI	KU	KE	KO	DA	DI	DU	DE	DO	QWA	QWI	QWU	QWE	QWO	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
CA		CU	KE	KO	ば	び	ぶ	べ	ぼ	KWA	QYI		QE	QO	ふあ	ふい	ふう	ふえ	ふお
		QU			BA	BI	BU	BE	B0						FWA	FWI		FWE	
さ	し	す	せ	そ	ぱ	ぴ	ぷ	ペ	ぽ						FA	FI	FWU	FE	FWO
SA	CI	SU	SE	SO	PA	PI	PU	PE	PO						FYI		FYE	FO	
		SHI													ふや	ふゅ		ふよ	
た	ち	つ	て	と											FYA	FYU		FYO	
TA	TI	TU	TE	TO											ひや	ひい	ひゅ	ひえ	ひょ
CHI	TSU														HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
な	に	ぬ	ね	の											びや	びい	びゅ	びえ	びょ
NA	NI	NU	NE	NO											BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
は	ひ	ふ	へ	ほ											ぴや	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴょ
HA	HI	HU	HE	HO											PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
		FU													みや	みい	みゅ	みえ	みょ
ま	み	む	め	も											MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
MA	MI	MU	ME	MO											りや	りい	りゅ	りえ	りょ
や		ゆ		よ											RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
YA		YU		YO											ヴあ	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴお
ら	り	る	れ	ろ											VI	VU	VE	VO	
RA	RI	RU	RE	RO											VYI		VYE		
わ				を											ヴや	ヴゅ		ヴょ	
WA				WO											VYA	VYU		VYO	
ん					NN														



※…文中での「っ」は「つ」の後の子音を  
2回打ちます。

例) あさって  
(ASATTE)  
うっかり  
(UKKARI)

#### (4) 入力システム

### タケさん、わたしたち英字なんて使うことないわよね！

ウメさん「タケさん、わたしたちの歳になって、英字なんて使うことないわよね！」

タケさん「そうじゃなあ～。ないと思うけどなあ～。  
それでも覚えんといけんかのぉ～？」



くじら先生「アルファベットは使うことがなくても、数字は使いますよね。  
キーボードの文字キーがどのような配置になっているか  
理解してもらわないと、1つの文字を入力するために大変な時間が  
かかることになってしまいます。」

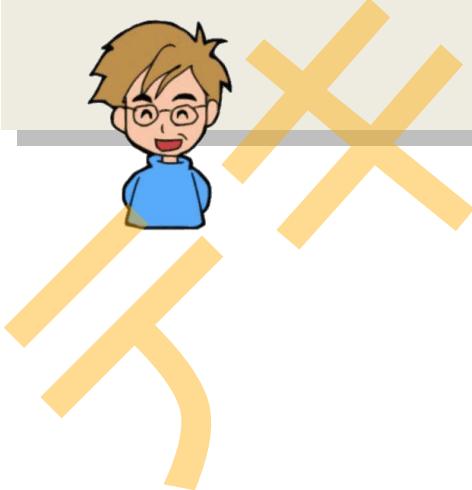
ママさん「わたしたちは、少しパソコンをかじっているから、  
この部分は大丈夫よね。」

パパさん「そうだね。でも、わたしたちが知らないことが  
あるかもしれないよ。」

ママさん「知らない部分があったら、読み飛ばすと  
もったいないわね。」

パパさん「そうだよ。じっくりとこのテキストを読んで、知らない部分が出て  
きたら、その部分に印をつけておこうよ。」

くじら先生「いいことですね。たぶん、知って得するようなことも出てくると  
思いますので、期待しながら進んでください。」



パソコンは英語圏で開発されたため、通常、日本語を入力することを前提としていません。日本語を入力するためには入力するためのアプリが必要となります。それが、「日本語入力システム」です。

日本語入力システムは、キーボードから入力した文字をひらがなや漢字などが混在した文章に変換するソフトウェアです。したがって、ひらがなや漢字などを入力する場合は、日本語入力ができる状態（日本語入力システムオンの状態）で入力する必要があります。

日本語入力システムがオンの状態とは、「これから入力する文字にはひらがな・漢字などが混じっていますよ」とパソコンに準備させている状態をいい、日本語入力システムがオフの状態とは、「これから入力する文字は英字・数字・記号だけですよ」とパソコンに準備させている状態をいいます。

### ■日本語入力システムオンの状態で入力できる文字

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
亞	胃	宇	絵	尾	課	気	句	家	個

### ■日本語入力システムオフの状態で入力できる文字

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	W	X	Y
!	"	#	\$	%	&	,	=	*	?

日本語入力システムオン・オフの状態を利用者はどこで判断するのでしょうか？

パソコンを利用する人は、画面右下のタスクバー内のマイクロソフト IME を見て判断することになります。



下の図に示された箇所を確認すると、日本語入力システムのオン・オフの状態が判断できます。

### ■日本語入力システムオンの状態

マイクロソフト IME が「あ」にな  
っている

余裕があれば読んでね

### ■日本語入力システムオフの状態

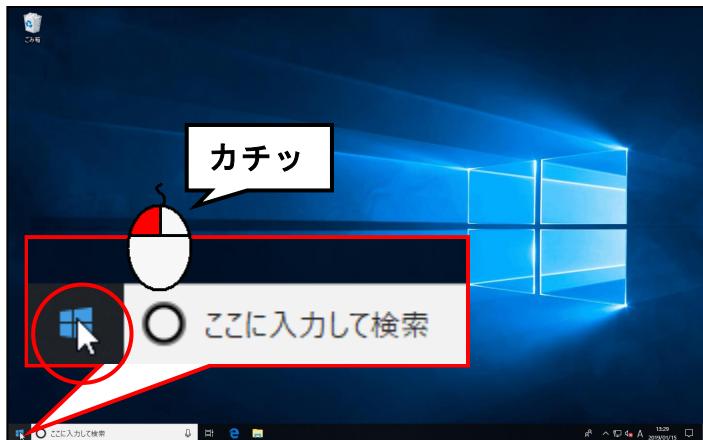
マイクロソフト IME が「A」にな  
っている

マイクロソフト IME は、マイクロソフトが提供している日本語入力システムのことです。Windowsに標準で付属されており、マイクロソフトが開発した日本語入力アプリです。

## ① ワードを起動する

文書を書くための道具（アプリ）であるワード（Word）を起動してみましょう。

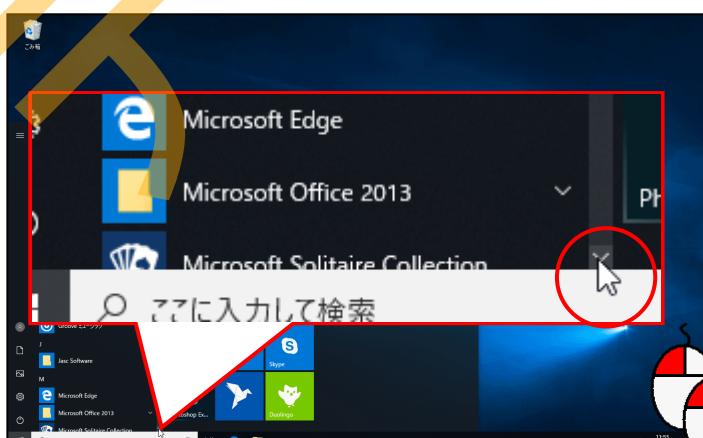
画面の左下隅にある  [スタート] ボタンにポイントし、クリックします。



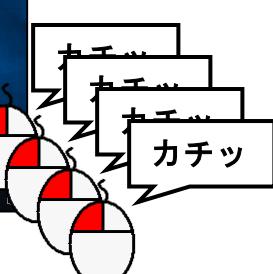
-  [スタート] ボタンにポイントすると、 のように[スタート] ボタンの色が変わります。



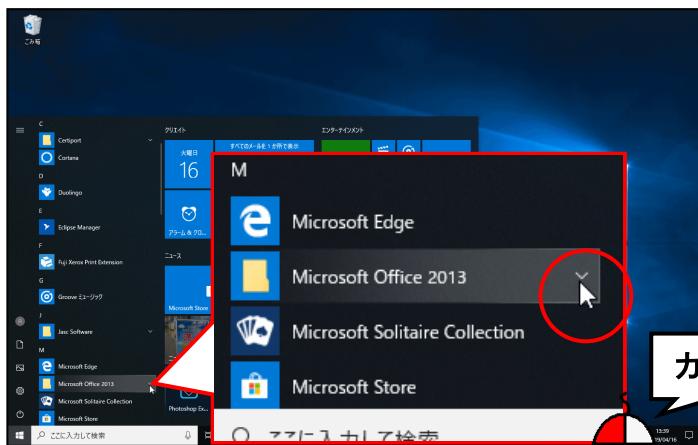
画面左下で、 が表示されるように下の図の位置にポイントし、[Microsoft Office 2013] が表示されるまで、 をクリックします。



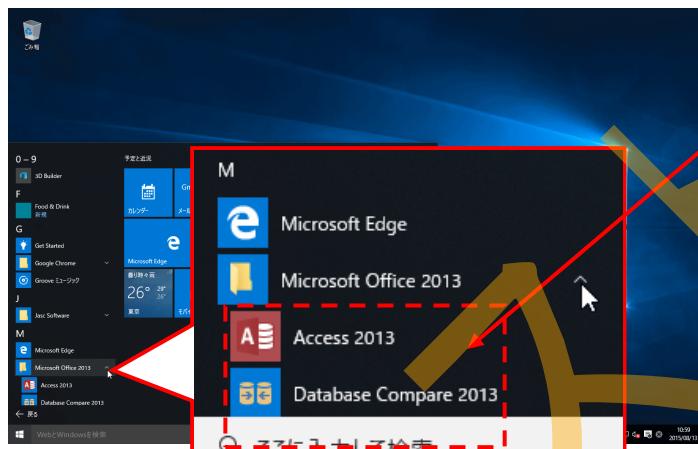
- [Microsoft Office 2013] の頭文字「M」を見つけてから探しします。



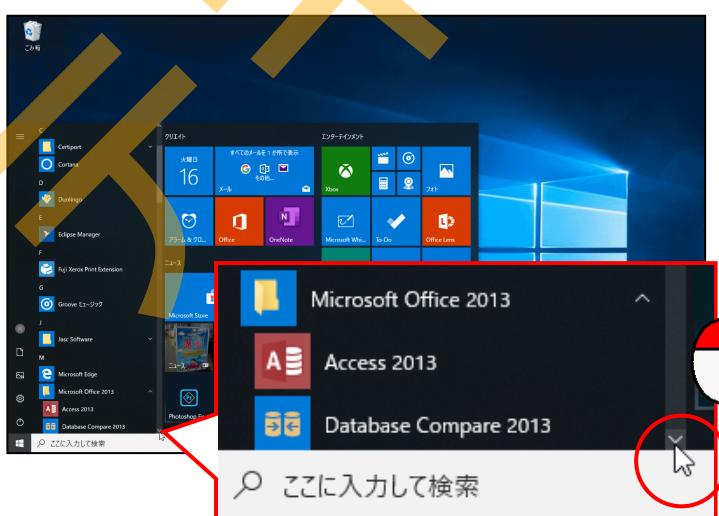
[Microsoft Office 2013] にポイントし、クリックします。



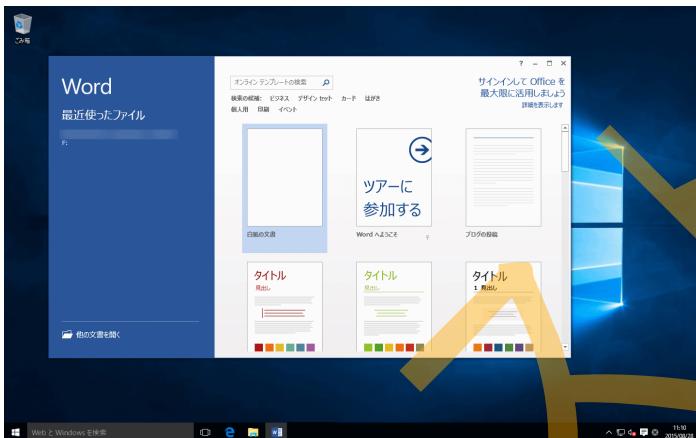
● [Microsoft Office 2013] をクリックすると、[Microsoft Office 2013] の一覧が表示されます。(一覧は、ほんの一部しか表示されていません)



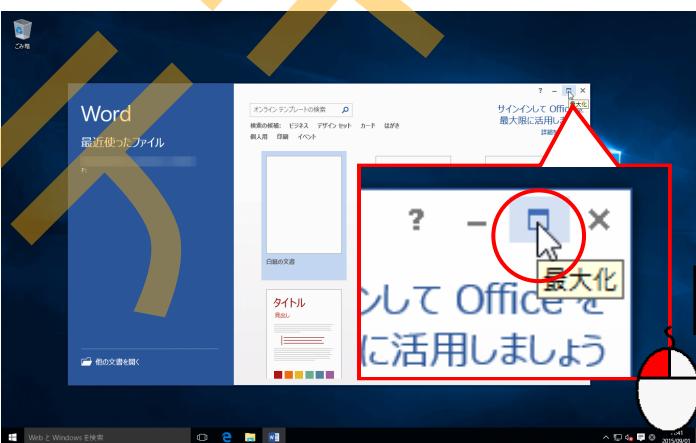
下に一覧が表示されるので、[Word 2013] が表示されるまで [ ] をクリックします。



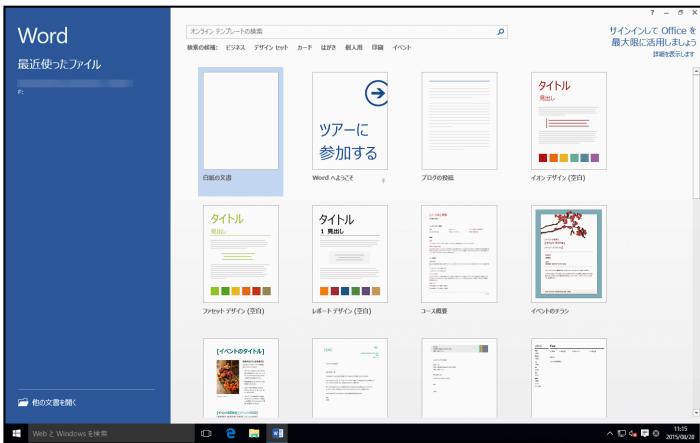
[Word 2013] にポイントし、クリックします。



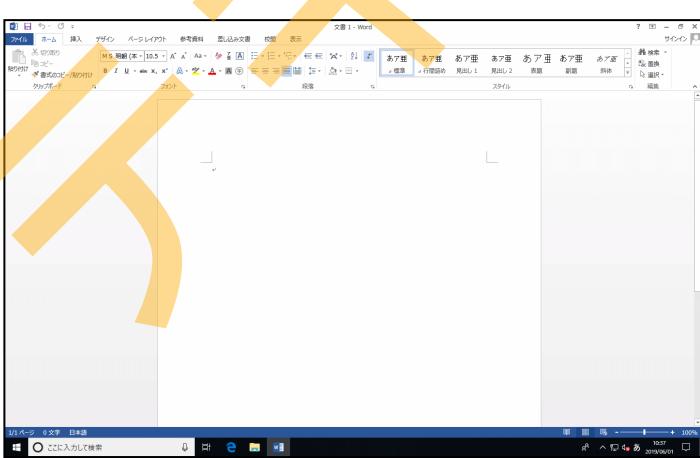
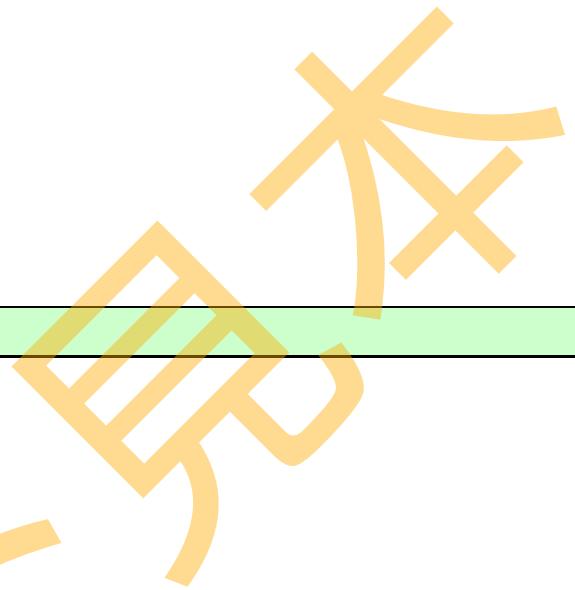
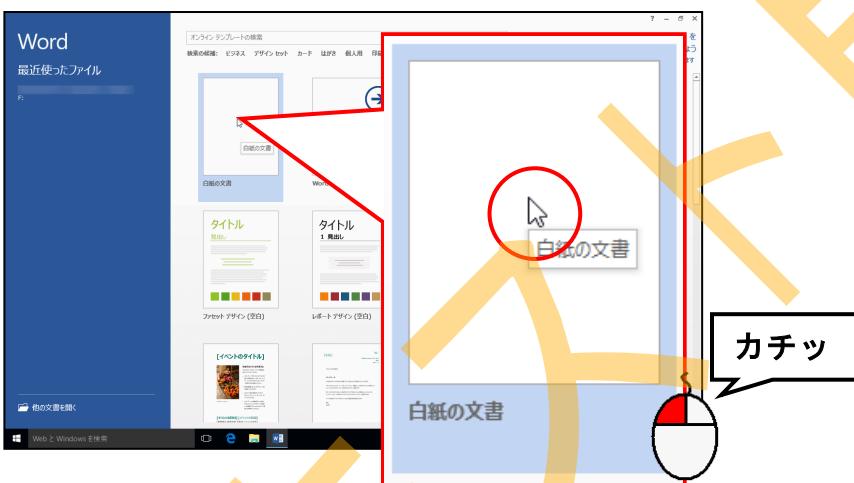
□ [最大化] ボタンにポイントし、クリックします。



- すでに次ページ上の図のように画面いっぱいに表示されている場合は、この操作は必要ありません。



【白紙の文書】にポイントし、クリックします。



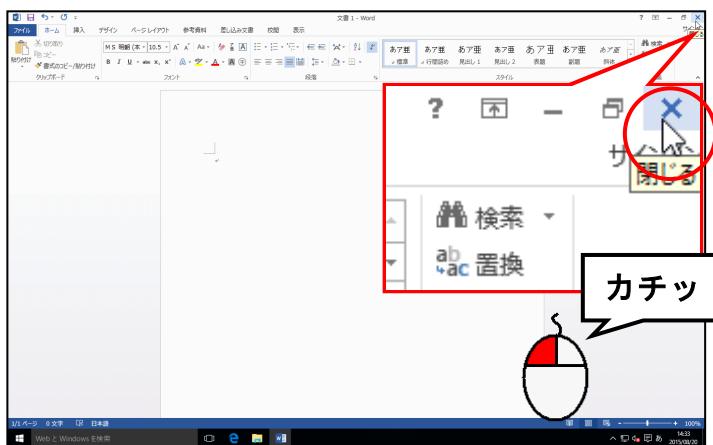
●ワード (Word) が起動して、ワードの画面が表示されます。

▶ ピン留め機能 P148

## ② ワードを終了する

画面上に開いたワード（Word）を終了してみましょう。

ワードの画面（ウィンドウ）の右上にある  [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



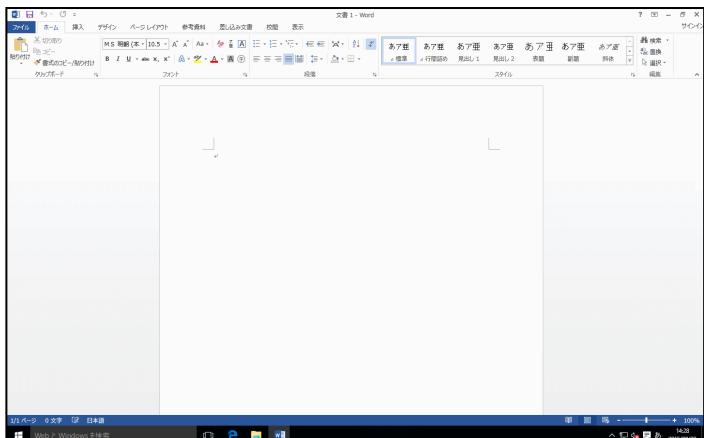
●  [閉じる] ボタンをクリックすると、左のようなく「ワード（Word）」の画面が消えました。



ワードの終了についての補足説明 P150

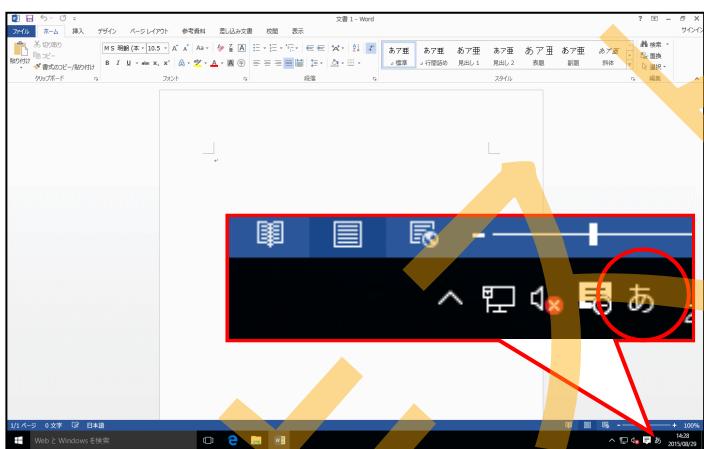
### ③ 入力モードを確認する

ワード (Word) を起動しましょう。



- ワードの起動方法を忘れた方は、P111  
①ワードを起動するを参照してください。

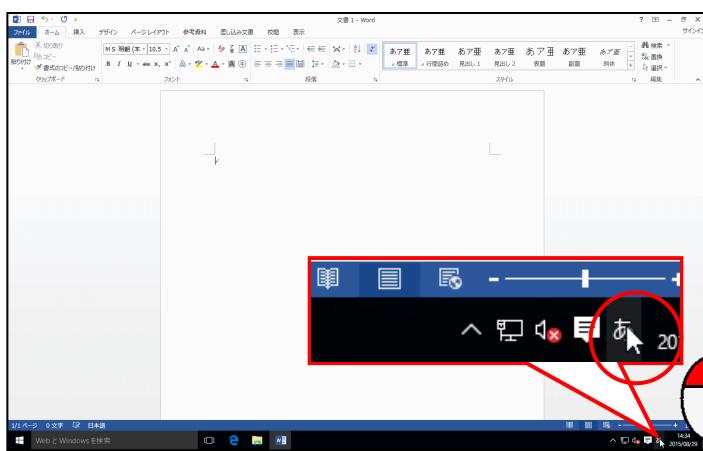
マイクロソフト アイエムイー  
Microsoft-IMEに「あ」という文字が表示されていることを確認します。



- 注意!  
マイクロソフト アイエムイー  
●Microsoft-IMEが、「あ」でない場合は、あわてずに切り替えましょう。切り替え方法は、P117に記載しています。

## ④ 入力モードの変更

あ [Microsoft-IME]にポイントし、クリックします。

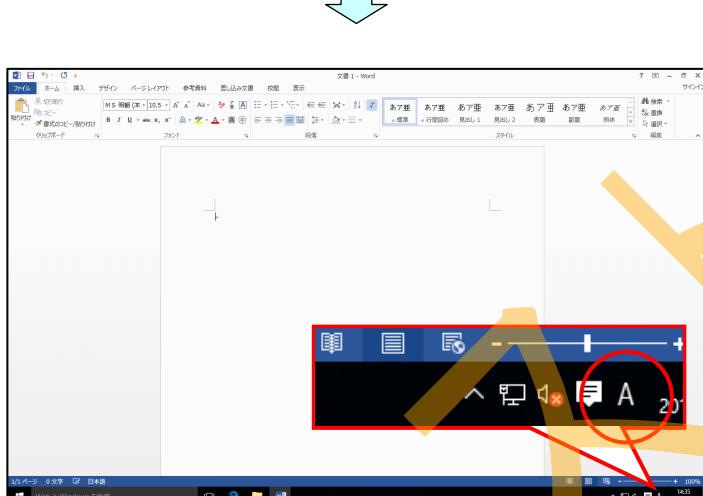


●現在、入力モードは「ひらがな」になっていることが確認できます。

### 入力モードの種類

あ	ひらがな(H)
力	全角カタカナ(K)
A	全角英数(W)
カ	半角カタカナ(N)
A	半角英数(F)

カチッ



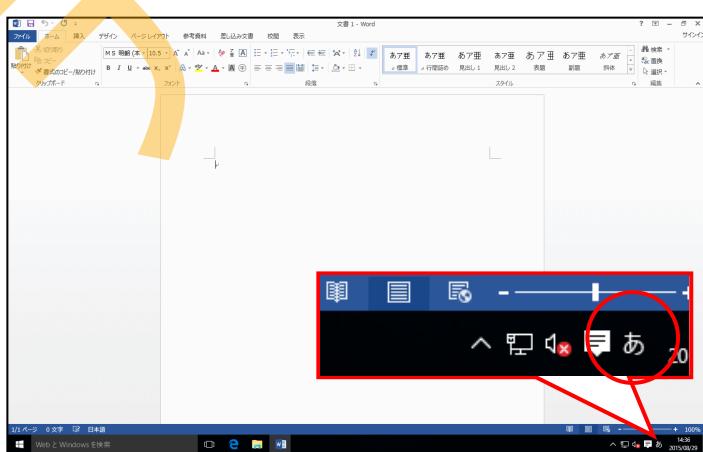
●左のように、入力モードが「あ」から「A」に変わりました。

余裕があれば読んでね

●右図のように、  
あ [ Microsoft -  
IME]を右クリック  
し、表示されるショ  
ートカットメニュー  
ーから「半角英数  
(F)」をクリックし  
ても同じ操作にな  
ります。



同じ要領で、A [Microsoft-IME] をクリックし、「あ」に戻しておきましょう。



カチッ

入力モードの切り替えの補足説明

P150

■ **A** (半角英数)

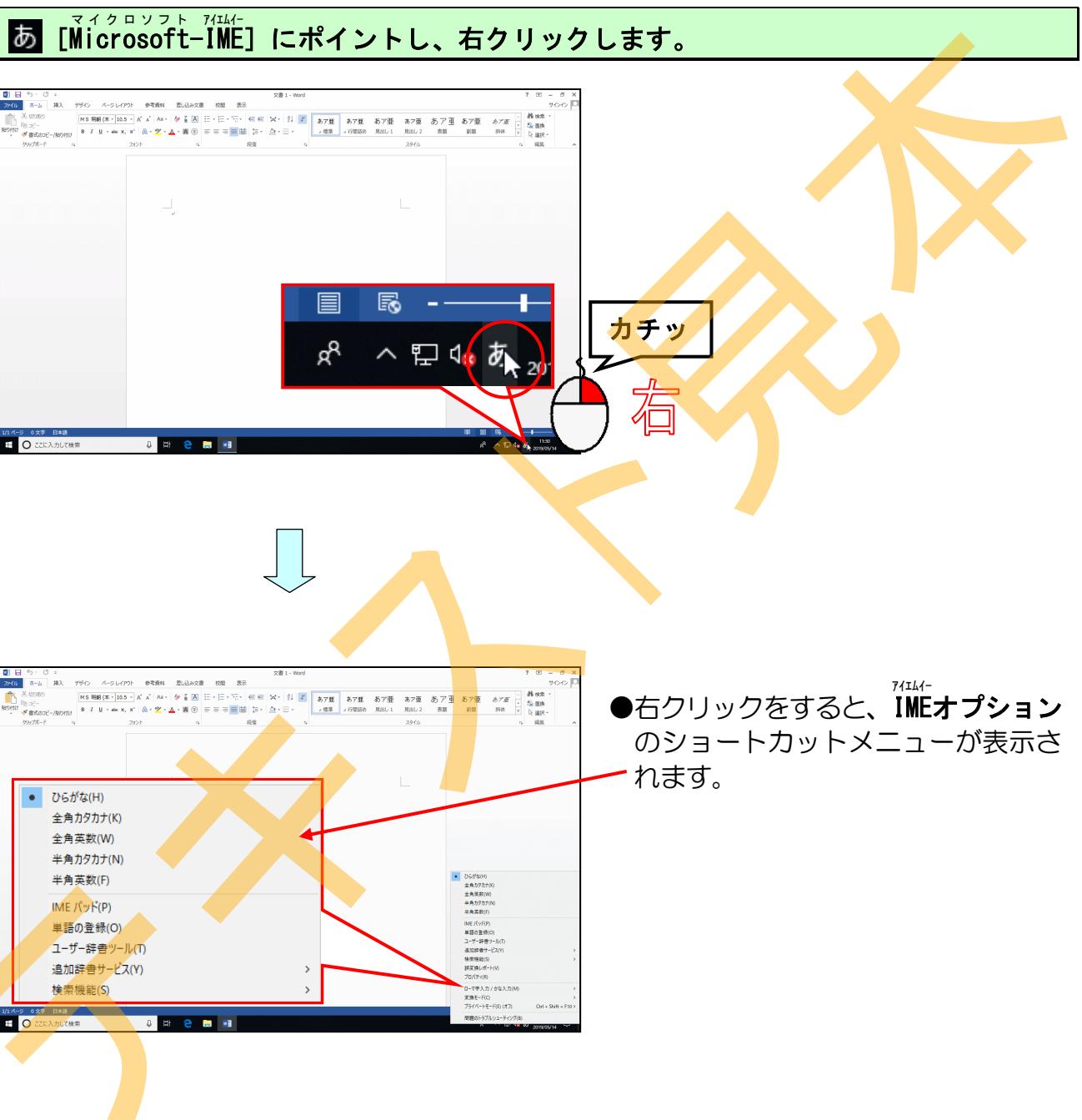
**A** (半角英数) の状態で文字入力すると、入力された文字の下に、点線は表示されません。（入力時の点線は、P127 の文字の入力のところで説明しています。）これは入力した文字が半角文字として確定入力されていることを意味しています。**A** (半角英数) のときに入力できる文字は、半角の英字・数字とキーボードの左に表示された記号のみになります。



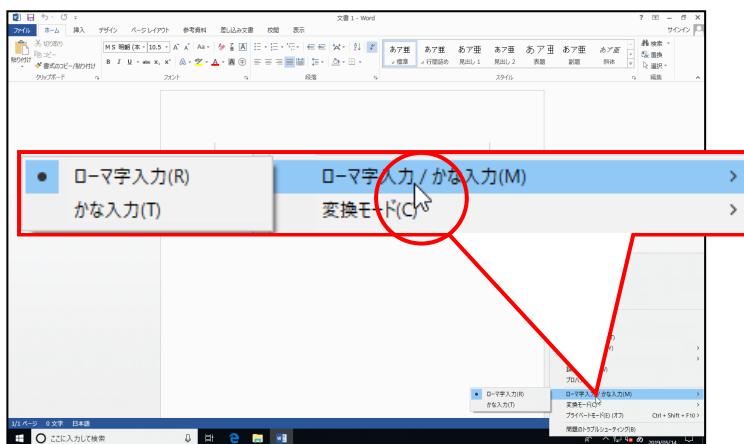
## ⑤ ローマ字入力、かな入力の切り替え方法

P106 (1) 入力方法の種類でも説明しましたが、入力方法には「ローマ字入力」と「かな入力」の2種類の方法があります。

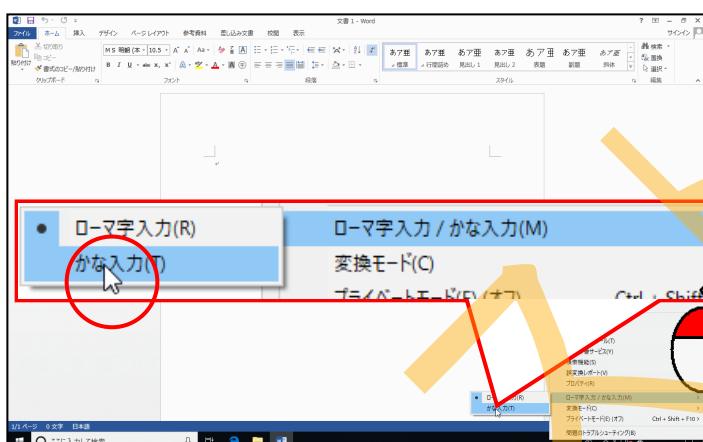
かな入力の方は「かな入力」に、また、かな入力の方が使われた後にローマ字入力の方が使う場合は、「ローマ字入力」にそれぞれ変更しないと使用することが難しくなります。ここでは、その切り替え方法について説明します。



表示される一覧から、[ローマ字入力／かな入力(M)] にポイントします。

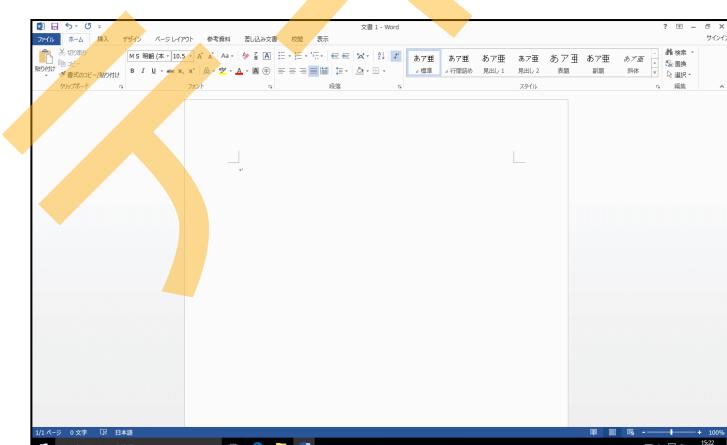


左側にメニューが表示されるので、[かな入力(T)] にポイントし、クリックします。



● 真横にマウスポインターを移動してから [かな入力(T)] をクリックしましょう。

カチッ



注意!

● 「かな入力」に変更しても、画面上では違いを確かめることはできません。

ローマ字・かな切り替えの補足説明

P150

● タッチパネル操作で、文字入力される方は、下記を参照してください。

タッチキーボード

P151

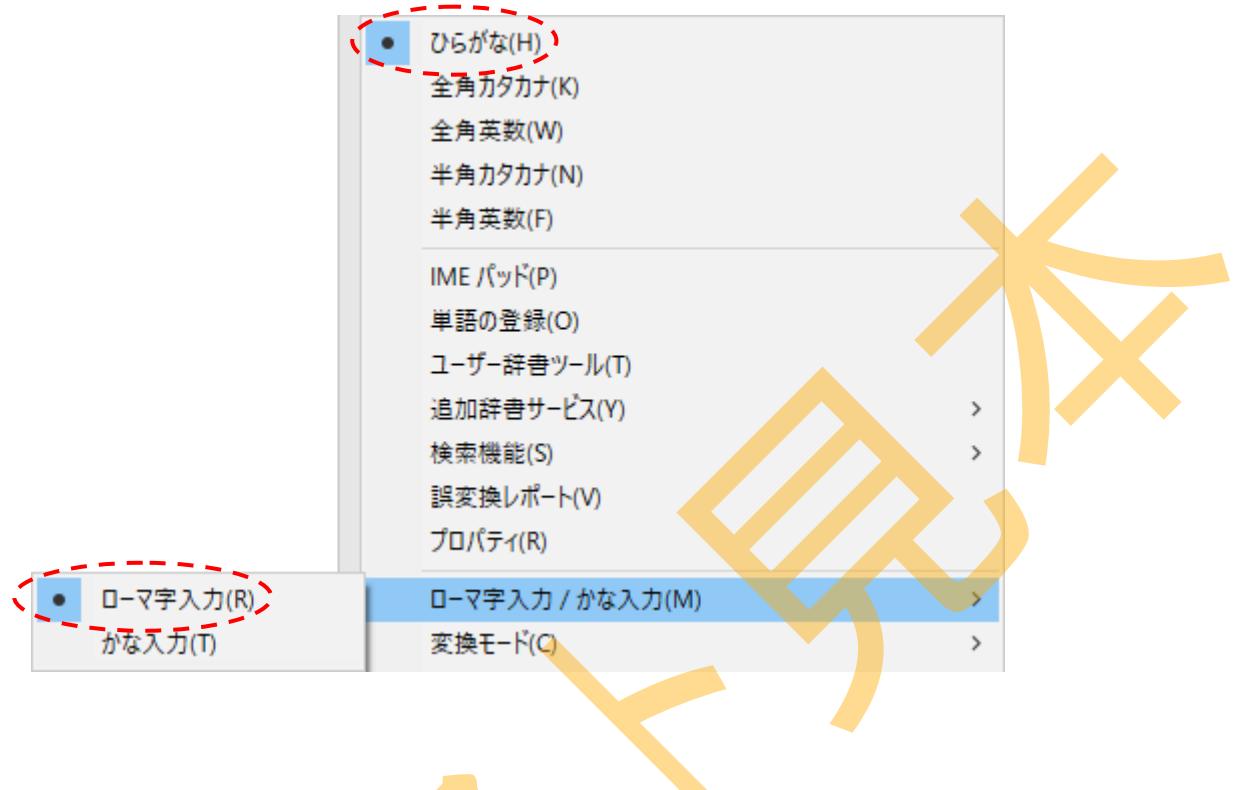
ローマ字入力の方は、[ローマ字入力(R)] に切り替えておきましょう。

## ⑥ 日本語入力の準備まとめ

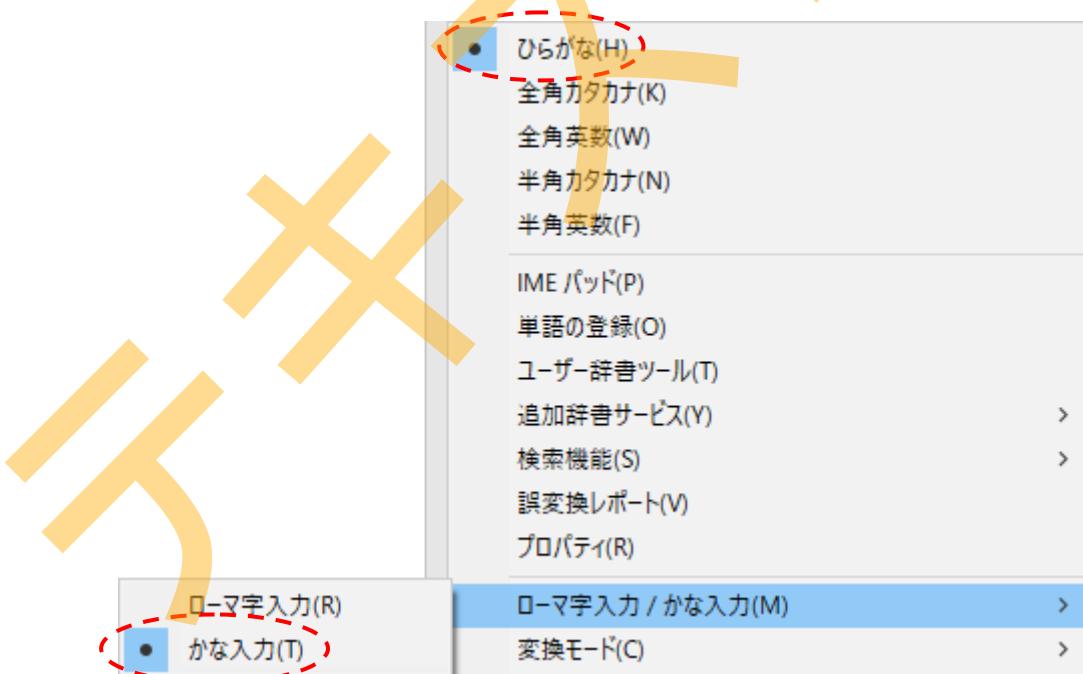
日本語を入力する前に次のことを確認しましょう。

あ [Microsoft-IME] を右クリックした時の状態の違いを確認しましょう。

### ■ローマ字入力の方



### ■かな入力の方



## (5) 文字キーの説明

### キーボードに書かれている文字は簡単に入力できるじゃろ！

タケさん「キーボードに書かれた文字がそのまま入るんじゃろ？」



ウメさん「でも、上下に2つの文字が入っていたり、左右に2つの文字が入っていたりして、キーボードを叩くといつてどの文字が入るのかしら？」



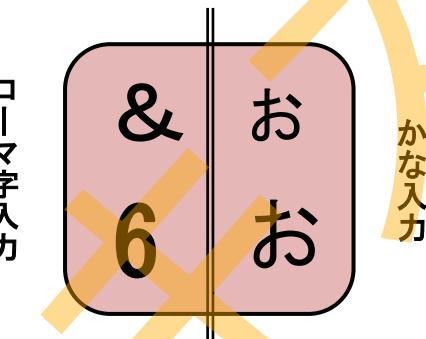
くじら先生「これから説明しますが、キーボードには最低2つ、多いものには、4つの文字が書かれています。自分が入力したい文字をどうやって入力するかをここで理解していただきたいのです。」



#### ① ローマ字・かな入力によるキーの違い

文字キーには、2つ～4つの文字や記号が書かれています。これは、キーを押したときに、どの文字が入力されるかを表しています。

ローマ字入力を利用するか、かな入力を利用するかで打つキーが異なります。



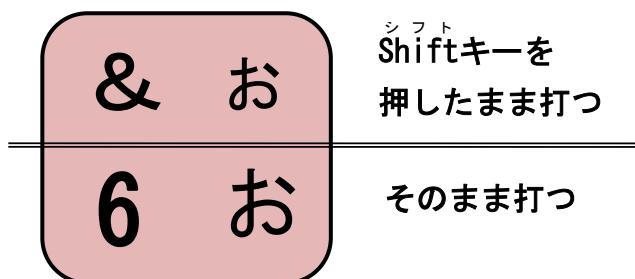
●ローマ字入力の方は、キーの左半分を使います。

●かな入力の方は、キーの右半分を使います。

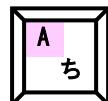
- 中にはキーに記載された文字が入力できないキーもあります。
- 特殊な文字が数個あり、それらの特殊な文字については、ローマ字入力でも右の文字が入力されます。（P186で説明します）

## ② 上下に文字があるキー

上下に文字が記載されているキーは、そのまま打つと下に記載された文字が入力されます。上に記載された文字を入力したい場合は、[Shift] キーを押したままの状態で打ちます。



- [Shift] キーを押した状態で打つと、ローマ字入力の方は「&」が入力されます。
- [Shift] キーを押した状態で打つと、かな入力の方は「お」が入力されます。
- 下のように左に 1 文字しかないキーはそのまま打つと上にあってもその文字が入力されます。



## ③ 入力できる文字の種類

私たちがパソコンを使って入力できる文字の種類は、次のとおりです。それぞれ種類によって、入力の方法が異なりますので、1つずつ確実にマスターしていきましょう。

- ひらがな
- 漢字
- カタカナ
- 英字
- 数字
- 記号・特殊文字

## (6) ひらがなの入力

### ひらがななんて簡単じゃ！

タケさん「ひらがななんて簡単に入力できるわい！」



ウメさん「わたしも、ひらがななら簡単に入力できる～！」

くじら先生「おふたりとも、心強いお言葉で安心しました。  
ただ、小さな文字『あ』とか『よ』の入力もできますか？」

タケさん「そんな文字、日本語にあったかなあ～？」

くじら先生「ありますよ～。ひらがなだけの時はいいのですが、漢字を入力する時になると、『読み』をひらがなで入力して、漢字に変換するという操作が必要になってきます。  
その時に、正しい『読み』をひらがなで入力してやらないと、漢字に変換できません。」

タケさん「少しの間違いぐらいなら、考慮して変換してくれればいいのにのお～。」

ウメさん「そうよねえ～。」

くじら先生「パソコンは正しい操作、正しい指示を出してやれば、正確な答えを返してくれますが、間違ったことをすると、迷ってしまうんです。  
だから、正しく指示ができるように、操作を覚えていかないといけないのです。」



#### ① カーソルと画面の状態

##### ■カーソル

文字を入力する前に、ワードの画面の中で点滅している縦棒があると思います。その縦棒について、少しお話します。

パソコンでは、この縦棒のことを「カーソル」といいます。この言葉は、パソコンを扱う場合、必ず必要となりますので、覚えておいてください。

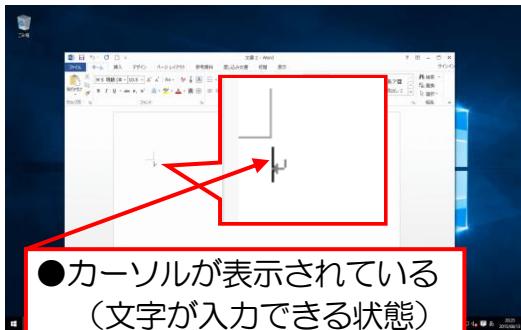
「カーソル」は、キーボードを叩いた時に、どこに入力されるのかを示す目印です。



## ■画面の状態

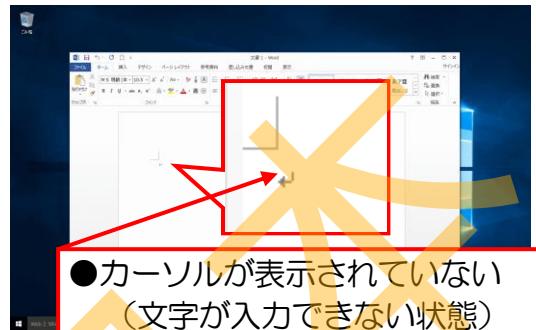
たまにですが、カーソルが画面上に表示されない場合があります。これは、その画面が操作の対象になっていないことが原因です。操作の対象になっている状態の画面のことを「アクティブウィンドウ」といいます。

### ●操作対象画面



●カーソルが表示されている  
(文字が入力できる状態)

### ●非操作対象画面



●カーソルが表示されていない  
(文字が入力できない状態)

操作対象画面（ワードのウィンドウ）の外側でクリックすると、非操作対象画面に切り替わります。操作対象にしたい画面（ワードのウィンドウ）の内側でクリックすると操作対象画面に切り替わります。

## 点滅している縦棒をカーソルといいます

マウスポインターが①の状態と、②(カーソル)を間違えないように注意しましょう

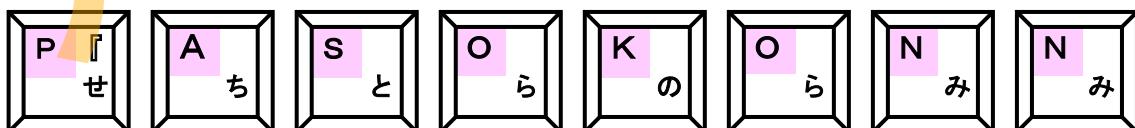
### ② ひらがなの入力

最初は、一番入力しやすい「ひらがな」の入力について説明します。

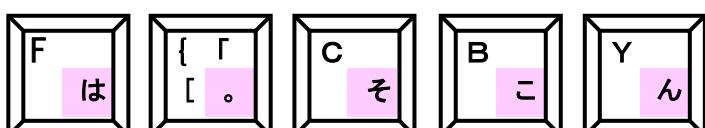
文字を入力する前に、P119 ⑤ ローマ字入力、かな入力の切り替え方法で説明しましたがローマ字入力とかな入力の方では、Microsoft-IMEの状態が異なるので、ご自分がキーを打てる状態になっているかを、もう一度確認しておきましょう。

ローマ字入力か、かな入力かによって下のように、打つキーは異なります。  
「ぱそこん」という文字を入力する場合、それぞれ次の順番で打ちます。

#### ■ローマ字入力



#### ■かな入力



それでは、実際に「おはよう」という文字を入力してみましょう。

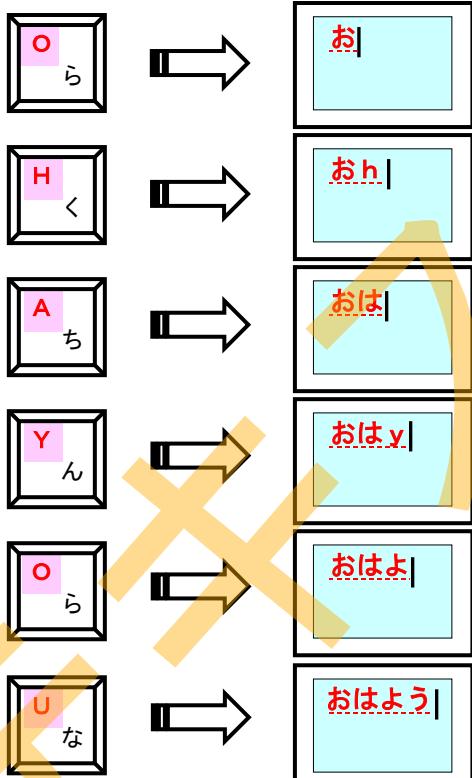
### 注意!

● ここからの操作は、左右に分かれている箇所があります。「ローマ字入力」の方は左側、「かな入力」の方は右側の操作を行ってください。入力方式が分からぬ方はP106 (1) 入力方法の種類を参照してください。



「ローマ字入力」の方

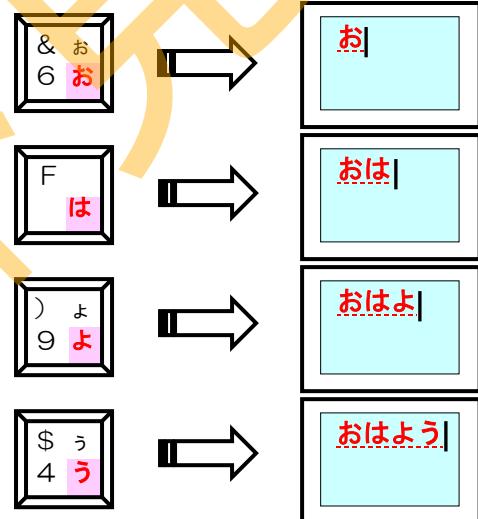
次の順番でキーを打ちます。



ローマ字入力では、ひらがなに変換できるアルファベットを入力しないと英字がそのまま表示されます。

「かな入力」の方

次の順番でキーを打ちます。

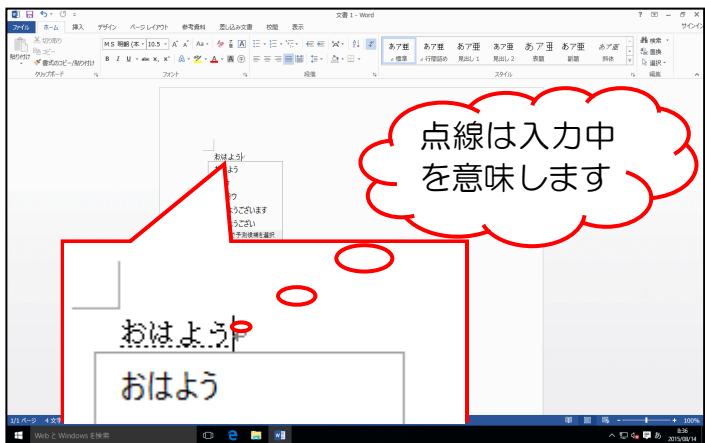


打ったキーが画面にそのまま表示されるので、わかりやすいのと、かな入力の方が打つキーの数が少ないことが特徴です。

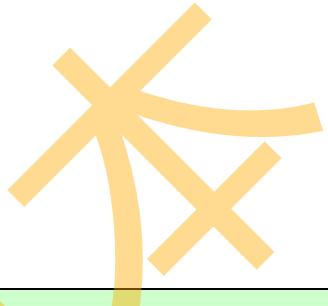
キーボードから打ち込んだ文字は、画面のカーソル位置に表示され、同時にカーソルは1文字分右に移動します。



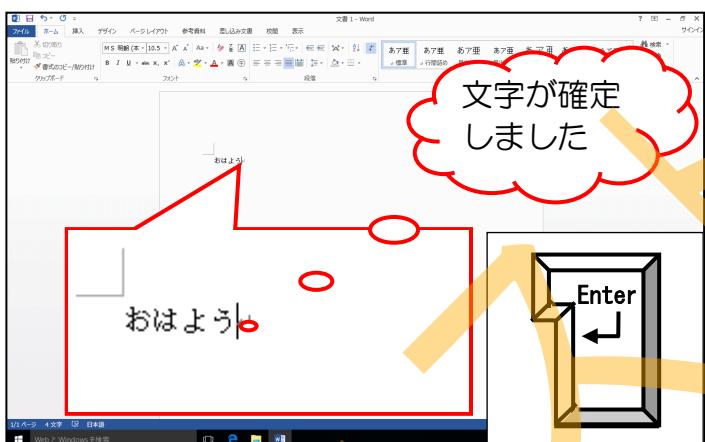
表示された「おはよう」という文字の下に点線が入っていることを確認します。



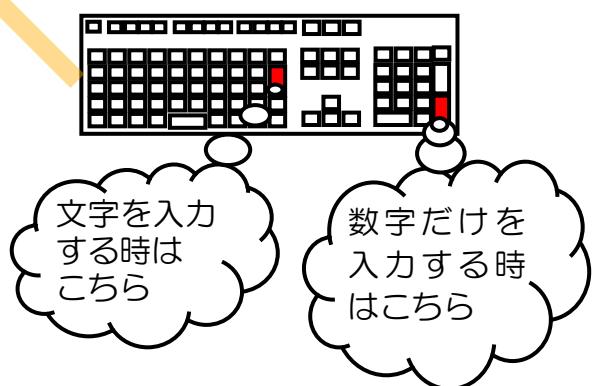
● この操作はローマ字入力もかな入力も同じ操作となります。



エンター [Enter] キーを押すと文字が確定して点線が消えます。



● [Enter] キーはどちらを押しても同じですが、上達したいなら文字キーに近い左側の [Enter] キーを押すように習慣づけましょう。



#### ■ ローマ字入力の方

利用するキーの数はかな入力に比べて少ないので、あとはローマ字を覚えましょう。

#### ■ かな入力の方

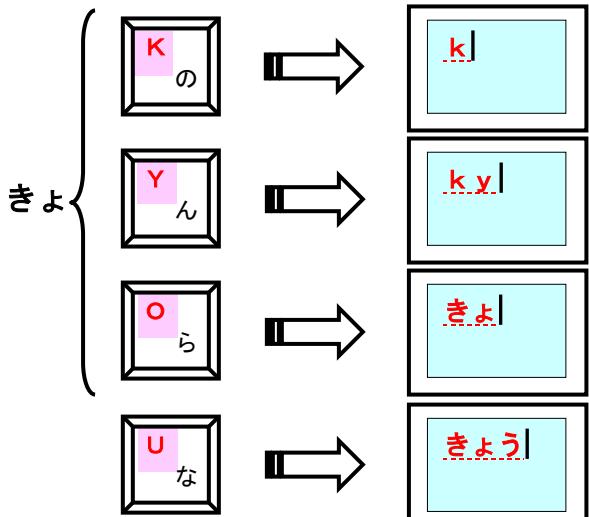
利用するキーの数が多いので、キーの配置を重点的に覚えましょう。

### ③ いろいろなひらがなにチャレンジ

●2つ目のチャレンジとして「きょう」という文字を入力してみましょう。

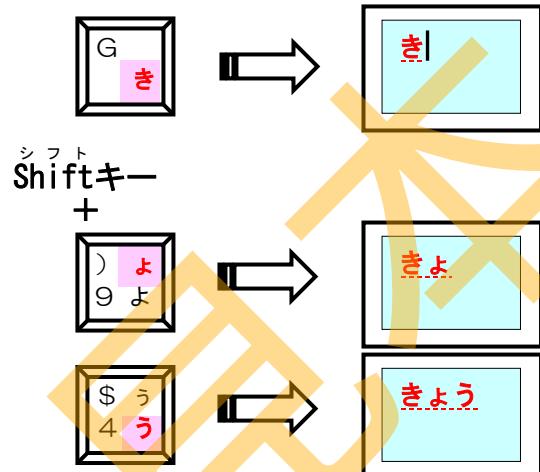
## 「ローマ字入力」の方

次の順番でキーを打ちます。



## 「かな入力」の方

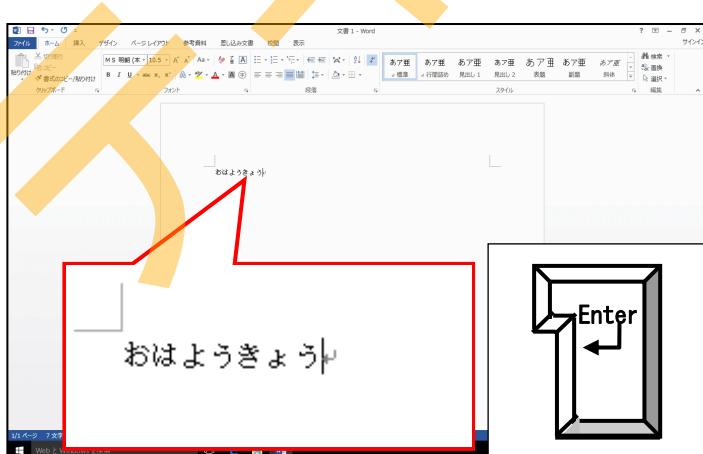
次の順番でキーを打ちます。



小さな文字「よ」を入力するためには、[Shift] キーを押した状態で打ちます。



表示された「きょう」という文字の下に点線が入っていることを確認して [Enter] キーで文字を確定します。

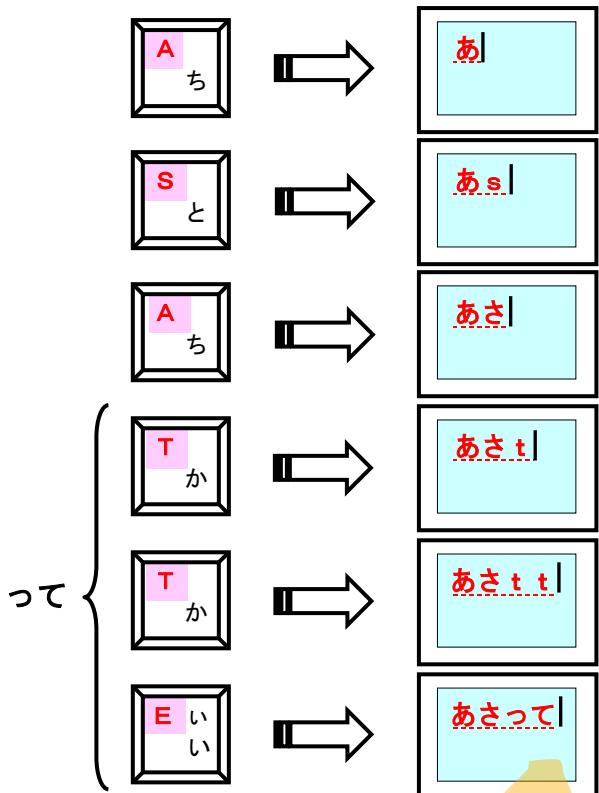


- この操作はローマ字入力もかな入力も同じ操作となります。

●3つ目のチャレンジとして「あさって」という文字を入力してみましょう。  
（「きょう」に続けて入力しましょう）

「ローマ字入力」の方

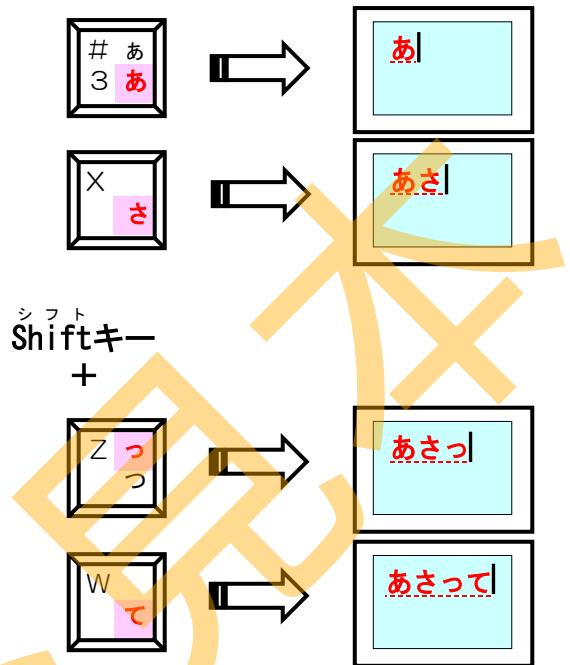
次の順番でキーを打ちます。



小さな「っ」を入力するためには、小さな「っ」の次の文字の子音（この場合は T）を2回打ちます。もしくは、小さな「っ」を単独で入力するために前に「L」または「X」を付けて「LTU」または「XTU」と打ちます。

「かな入力」の方

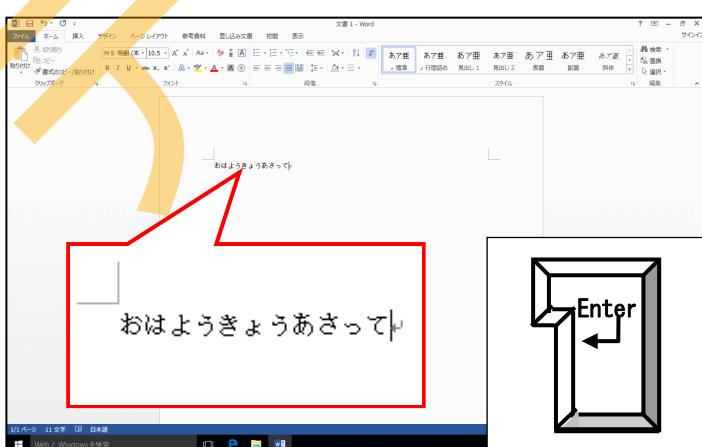
次の順番でキーを打ちます。



小さな「っ」を入力するためには、  
シフト [Shift] キーを押した状態で打ちます。



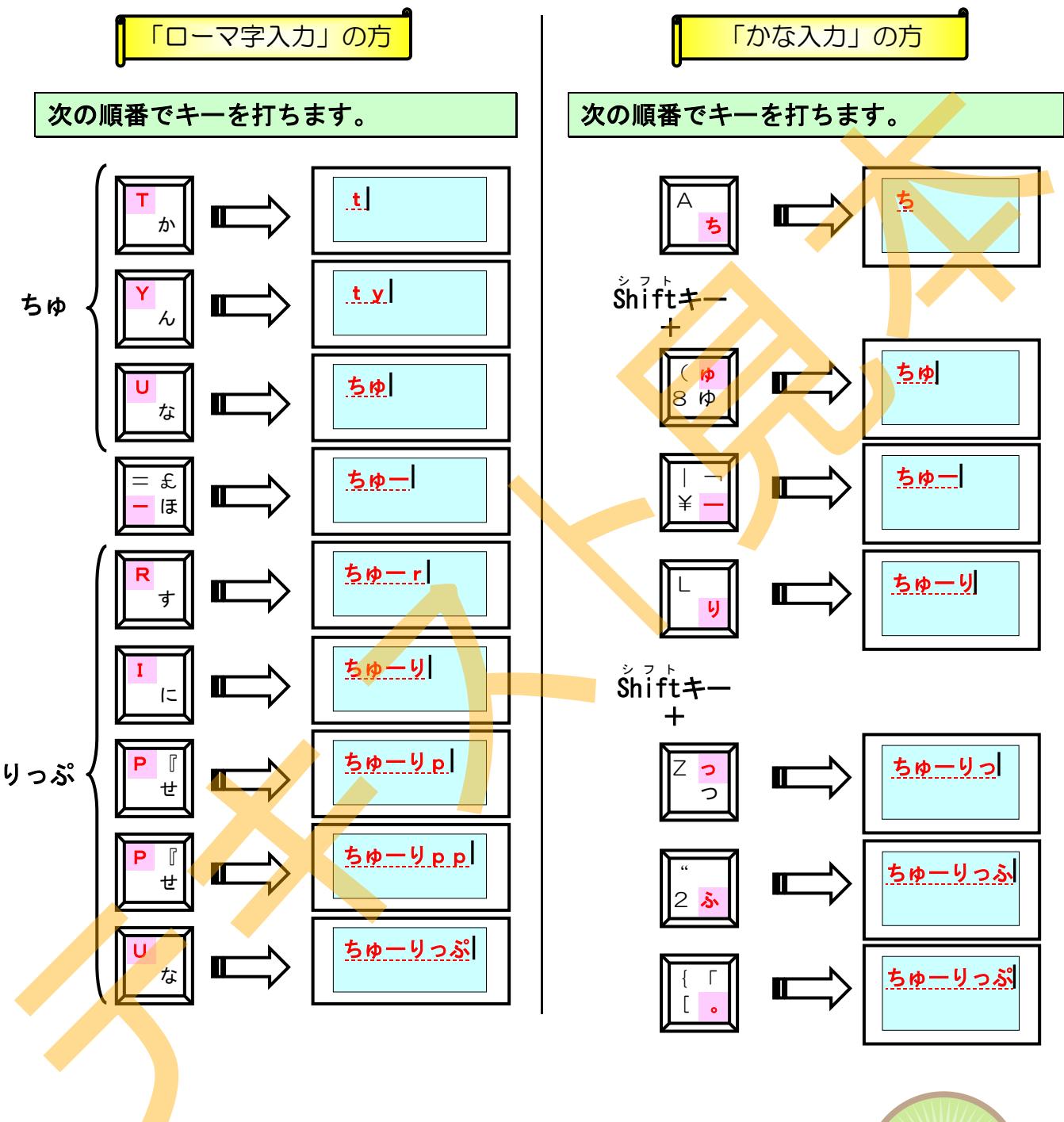
表示された「あさって」という文字の下に点線が入っていることを確認して [Enter] キーで文字を確定します。



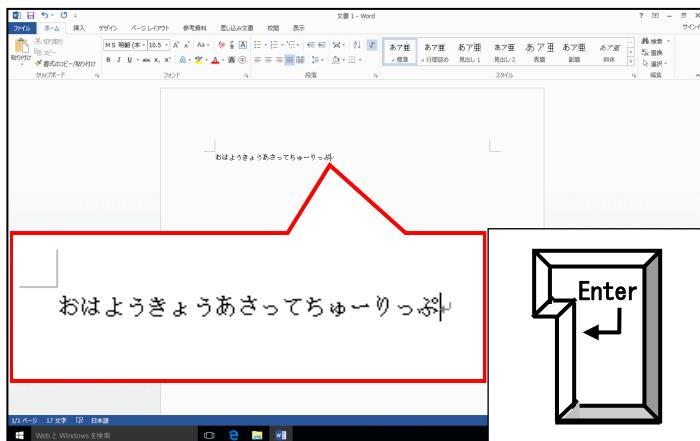
●この操作はローマ字入力もかな入力も同じ操作となります。

● 4つ目のチャレンジとして「ちゅーりっぷ」という文字を入力してみましょう。  
（「あさって」に続けて入力しましょう）

少し難しくなりますが、できなくても落ち込む必要はありません。パソコンは慣れただけなのですから…



表示された「ちゅーりっぷ」という文字の下に点線が入っていることを確認して [Enter] キーで文字を確定します。

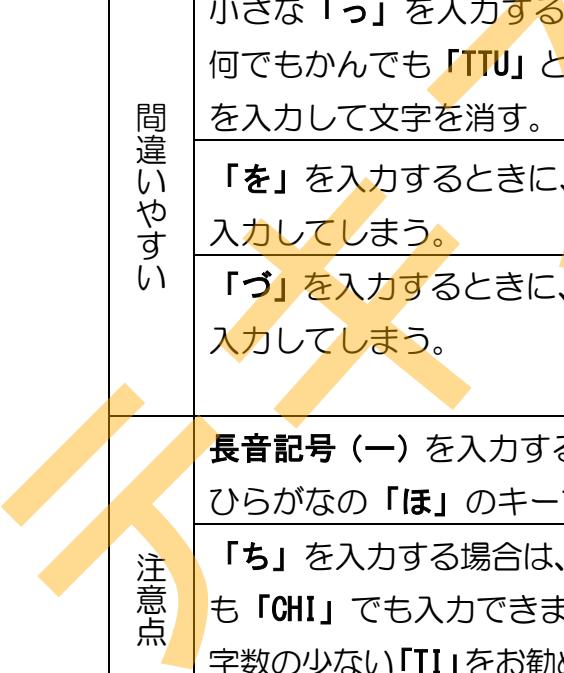


●この操作はローマ字入力もかな入力も同じ操作となります。



#### ④ 入力するときに注意する文字

忘れやすかったり、間違いやすかったりする文字を下に示しておきます。



	ローマ字入力	かな入力
間違いやすい	小さな「っ」を入力する場合に、何でもかんでも「TTU」とか「TTE」を入力して文字を消す。	小さな文字「っ」、「よ」、「ゅ」などを入力するときに、大きな文字「つ」、「よ」、「ゅ」を入力してしまう。
	「を」を入力するときに、「0」を入力してしまう。	
	「づ」を入力するときに、「ZU」と入力してしまう。	濁点(‘)や半濁点(‘)を入力するときに、双方が近い場所にあるので、反対を入力してしまう。
注意点	長音記号(ー)を入力するときは、ひらがなの「ほ」のキーです。	長音記号(ー)を入力するときは、「¥」のキーです。
	「ち」を入力する場合は、「TI」でも「CHI」でも入力できますが、文字数の少ない「TI」をお勧めします。同じように「し」や「つ」も入力文字数の少ない方をお勧めします。	小さな文字を入力するときは、 シフト [Shift] キーを押して入力する必要があります。

## (7) 改行する（行を変える）方法

### 「Enter」って書いたキーを叩けばいいのじゃな！



タケさん「これは、わしの大発見なんじゃが、『Enter』キーを叩けば、勝手に点滅している縦棒が下に下りてしまふたわ！」

くじら先生「行が下に下りたんですね。それは、『改行』されたというのです。中途半端なところで改行してしまうと、元に戻すのが大変だったと思うのですが、大丈夫でしたか？」

タケさん「それが、えらいことになってしもうて、一から文字を入力し直してしもうたんじゃ！」

くじら先生「なるほど…。それは時間もかかってしまって、大変だったでしょう。」

タケさん「ううん…どうにか直らんかと、わしは1時間ぐらいそれで悩んだけど、どうにもならんかった。」

くじら先生「それがですね、タケさん。あるキーを1回叩くだけで、元に戻ってくれるのですよ。」

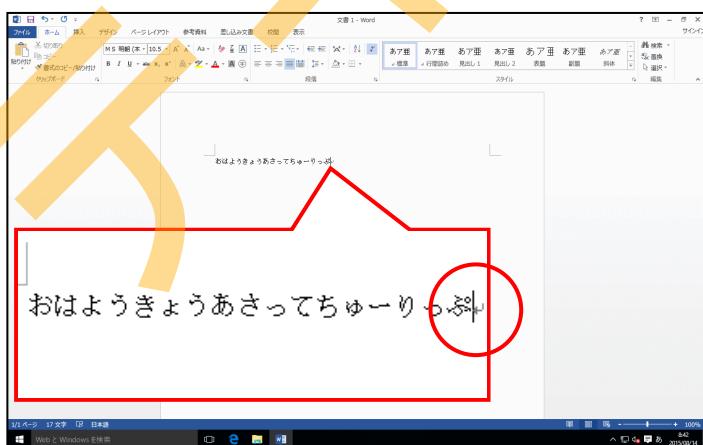
タケさん「そんな、魔法のようなキーがあるのなら、早く教えてくれんかのお～。」

くじら先生「お教えしますよ。ただ、順番というものがありますから、1つ1つ操作を覚えていきましょう。」

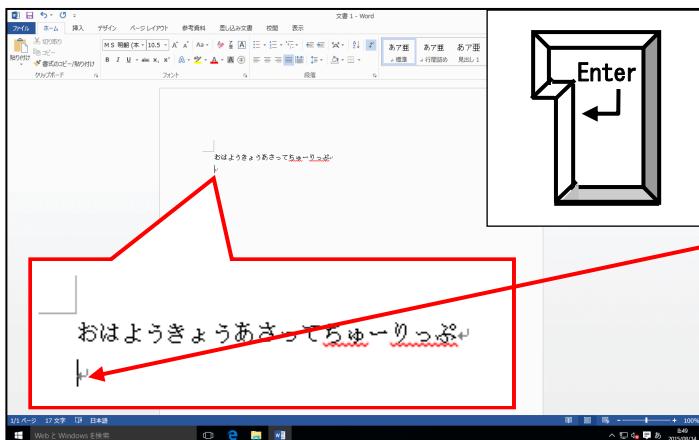


「ちゅーりっぷ」の後ろにカーソルがあるはずです。その位置で行を変えてみましょう。

「ちゅーりっぷ」の後ろにカーソルがあることを確認してください。

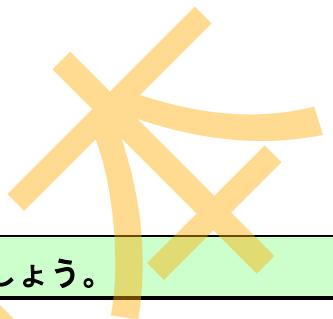


## そのままの状態で [Enter] キーを押します。

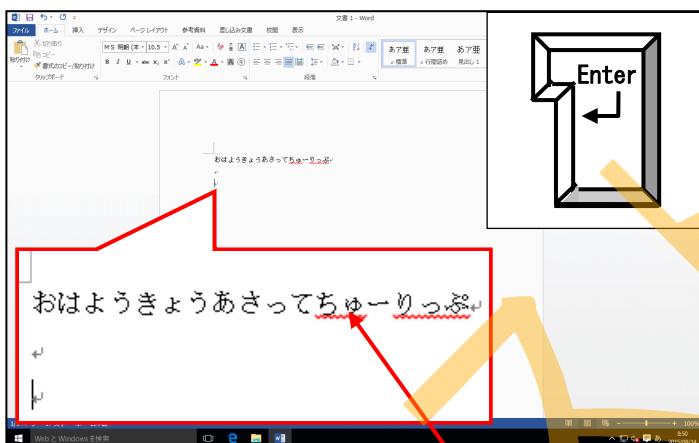


●赤色の波線が出てきましたが、気にせずそのまま進みましょう。

●カーソルが、1行下に移動しました。



## さらにもう1行下に改行するために、[Enter] キーを押してみましょう。



●カーソルが、さらに1行下に移動しました。



ご参考までに

### ●下に表示される線について

文書を入力していると、たまに文字列の下に赤色の波線や、青色の波線が表示される場合があります。この線は、文字を入力して [Enter] キーを押して文字の入力を確定した後、再度 [Enter] キーを押して改行した場合などに表示されます。

どちらも、「入力された文字がおかしいですよ」と教えてくれている線です。赤い線は、そんな言葉は存在しませんよという意味で間違いを訂正する必要があることを表しています。これに対して、青の線は文法的におかしいですよという意味でどちらもそれで本人が納得していれば特に修正する必要はありません。

赤色の波線も青色の波線も印刷されません。

## (8) カーソル（点滅している縦棒）の移動方法

### 螢みたいにチカチカしているものは何なの？

ウメさん「螢みたいにチカチカ点滅している縦棒は何なの？」



タケさん「わしも気になっていたんじゃ、文字を入力していくと  
追いかけてくるように動いているけど、何か邪魔じやのぉ～。」

くじら先生「P125で説明いたしましたが、点滅しているものが『カーソル』  
というものです。」

ウメさん「思い出したわ、文字を入力すると点滅している縦棒のところに  
入るというあれね！」

くじら先生「思い出していただけましたか？ 嬉しいです。  
何度も説明しますから、何度も忘れていただいて結構ですよ。  
100回聞かれても『笑顔』でお答えしますから・・・」

タケさん「年寄りはそんなもんじやよ。  
今、言われたことも忘れるぐらいだから、先生も大変じやな！」

くじら先生「いいんですよ。  
何度も説明しますから、辛抱強く操作してくださいね。」

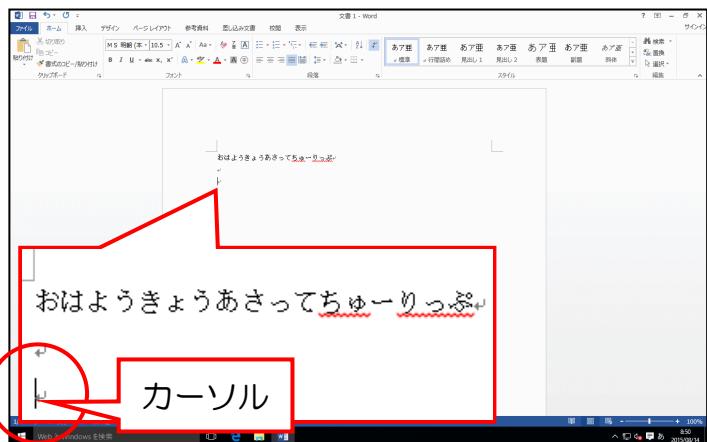


キーボードから打った文字は、カーソルのある位置にしか入力されないことは、すでに説明しましたが、自分がここだと思った位置に文字を入力するためには、まずその位置にカーソルを移動しなければなりません。カーソルを移動するためには、「キーボードを使う方法」と「マウスを使う方法」の2つの方法があります。  
ここでは、簡単な「マウスを使う方法」を説明します。

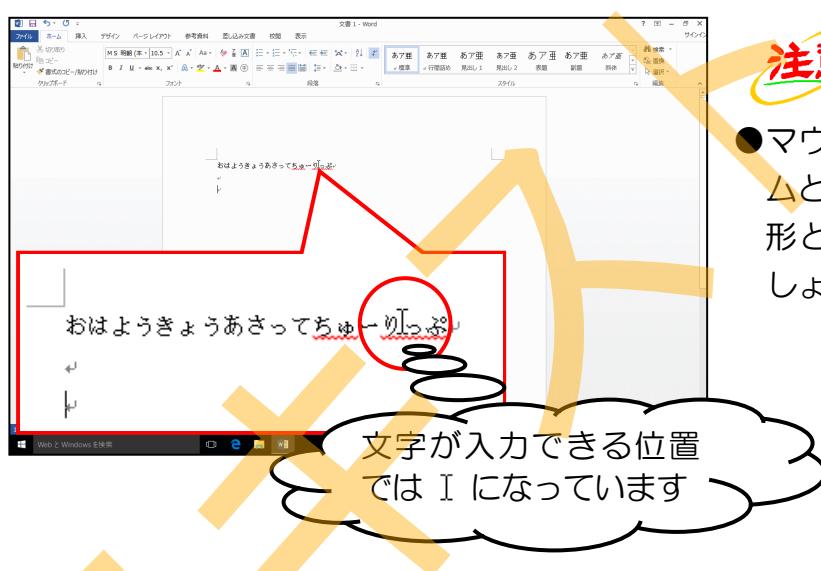


カーソルをマウスで移動するためには、カーソルを移動したい場所にマウスポインターを移動してクリックします。

まず、カーソルが下の図の位置にあることを確認してください。

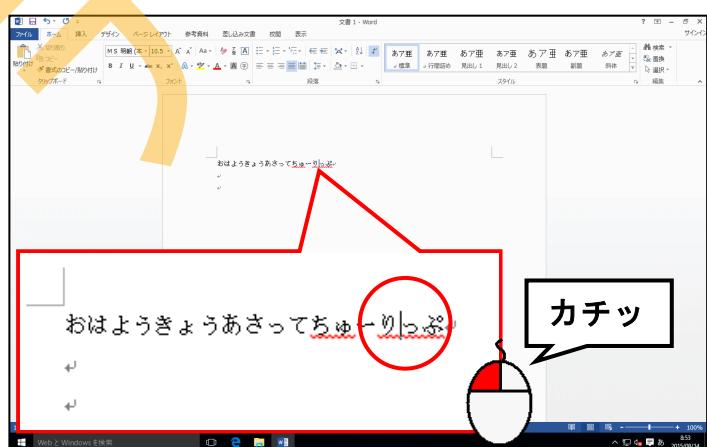


マウスポインターを「り」の後ろに移動します。



●マウスポインターが I の形をビームといいます。ビームはカーソルの形とよく似ているので気を付けましょう。

そのまま「り」の後ろをクリックします。



キーボード操作によるカーソル移動 P153

## (9) 間違って入力した文字の消し方

### わたし1人のために説明してくれているみたいだわ！

ウメさん「わたしいつも入力を間違うのよ。  
だから、わたしのために説明してくれているのかと  
思った！」



タケさん「そんなことないよ、わしも自分でも情けないくらい間違いが  
多いんじゃ！」

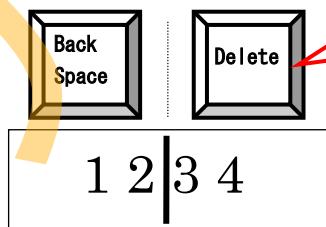
くじら先生「そしたら、おふたりには是非とも、この部分をしっかりとマスター  
してもらわないといけませんね。  
でも、間違いは気にしないでください。  
誰にでもあります。私も間違っては、後で気がついて修正している  
のが現状ですから・・・」



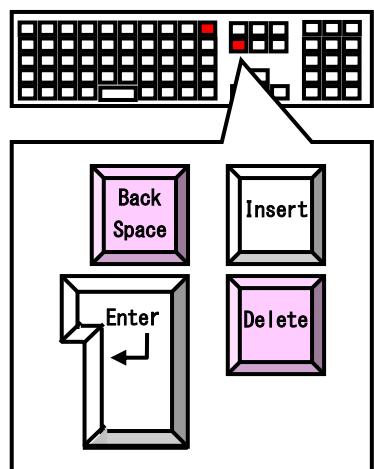
いくら優れた人でも、文字を入力していると必ず間違いはあるものです。入力中に間違い  
に気づいたとき、どうしたら間違った文字を修正できるかについて説明します。鉛筆書き  
しているときに消しゴムで消すようにパソコンでも消しゴムに当たるキーがあります。  
そのキーが [Back Space] キーと [Delete] キーです。

#### ① Back SpaceキーとDeleteキーの使い分け

キー	説明
バック スペース Back Space	カーソルの左側の文字を1文字削除 します。
デリート Delete (Del)	カーソルの右側の文字を1文字削除 します。

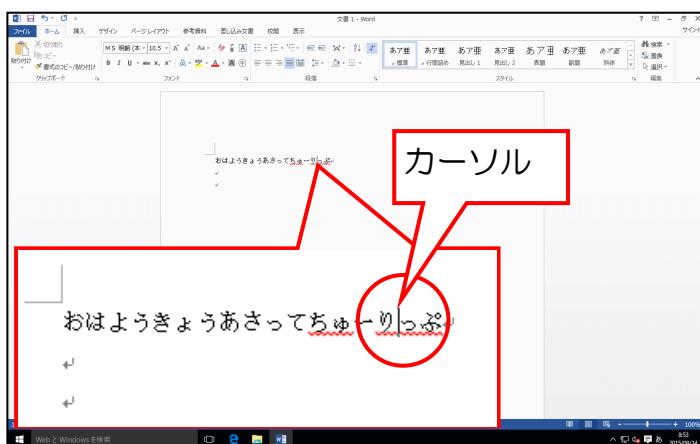


「キーボード」によって  
キーの位置は異なります



## ② バックスペースキーで文字を削除する

「り」という文字の後にカーソルがあることを確認します。



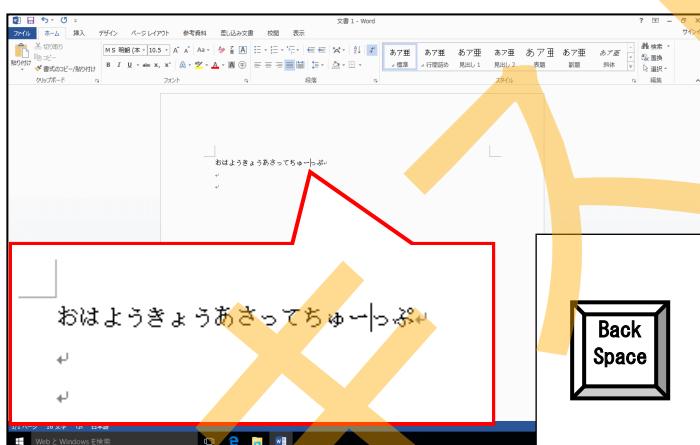
注意!

- カーソルが「り」の文字の後ろにない人は、マウスを使って、カーソルを「り」の後ろに移動しておきましょう。

余裕があれば読んでね

- 行の終わりにある「」を段落記号といいます。ここで段落替えしますよという意味の文字です。これも文字の一種ですから、  
[Delete] キーや [Back Space] キーで消すことができます。

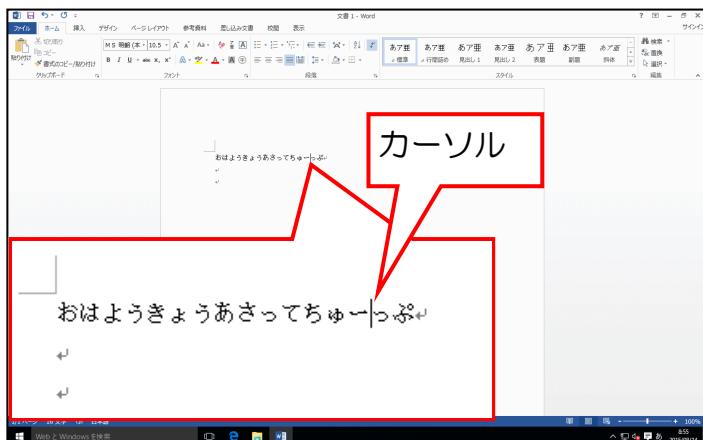
バックスペース [Back Space] キーを1回押します。



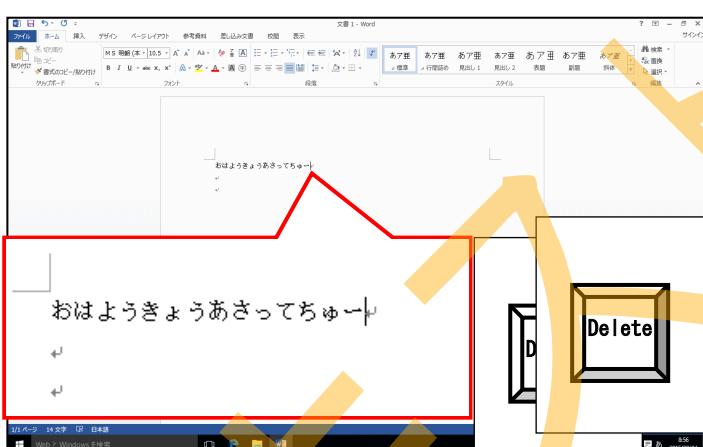
- [Back Space] キーを1回押すと「り」という文字が消えました。

### ③ Deleteキーで文字を削除する

長音記号（一）の後にカーソルがあることを確認しましょう。

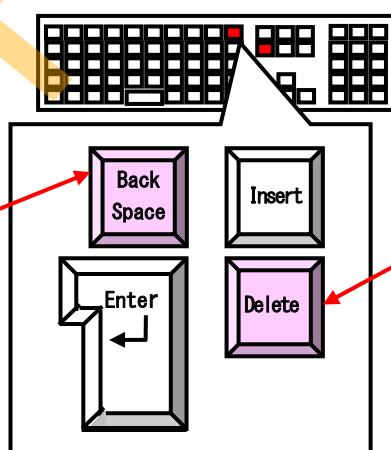


デリート [Delete] キーを2回押します。



● [Delete] キーを2回押すと「っぷ」という2文字が消えました。

カーソルの左側の文字を消すキーが  
[Back Space] キー



カーソルの右側の文字を消すキーが  
[Delete] キー

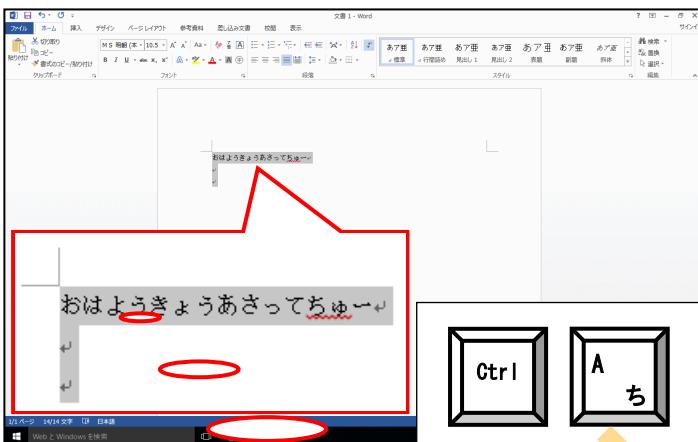
[Delete] キーと [Back Space] キーの  
使い分けは、重要です。  
ここでよく理解しておきましょう。



## ④ 入力した文字すべてを削除する

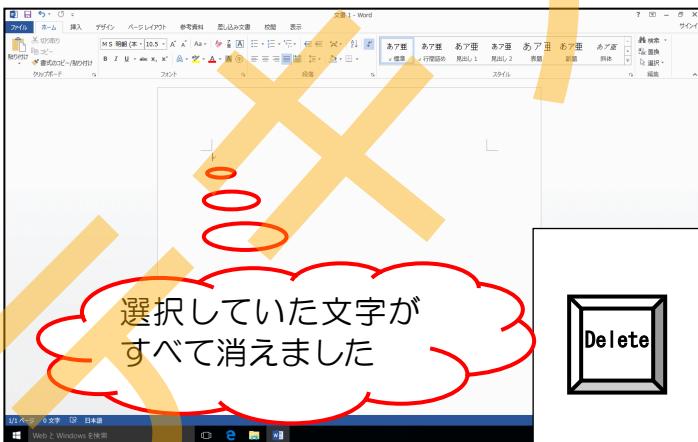
入力した文字すべてを消したい場合があります。そのような場合、[Delete] キーや [Back Space] キーを何回も押すと大変な作業となります。このような場合は、消したい文字をすべて「選択」しておいて [Delete] キーや [Back Space] キーを 1 回押すと選択した文字をすべて消すことができます。

コントロール [Ctrl] キーを押したままの状態で、[A] キーを 1 回押します。



- [Ctrl] キーを押したまま、[A] キーを押すと画面上のすべての段落（文字）が選択されます。
- パソコンに命令を与える場合に今から「ここ」に対して命令をするから準備しなさいよと教えてやる操作を「選択」といいます。

デリート [Delete] キーを 1 回押します。



- [Delete] キーを押す代わりに [Back Space] キーを押しても文字を消すことができます。

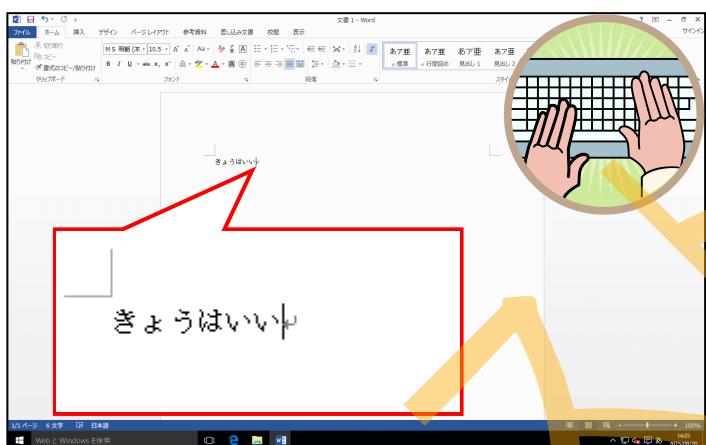
すべての文字を選択する操作は、今後必ず必要となるときがあります。便利ですので、覚えておいたほうがいいでしょう。

## ⑤ 間違って改行してしまったら？

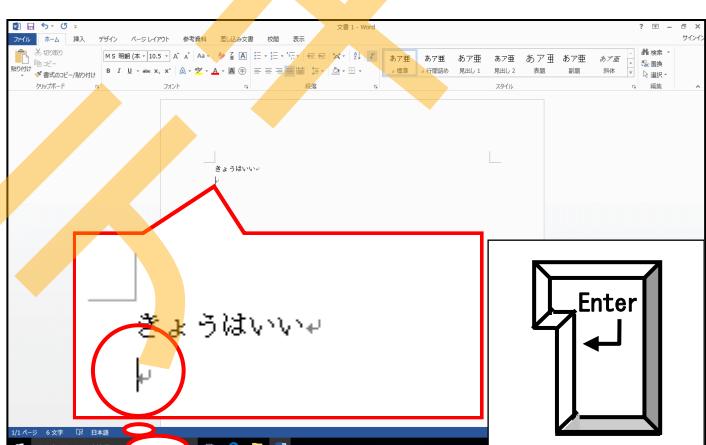
入力中に間違って [Enter] キーを押してしまうと、改行されて次の行にカーソルが移動してしまいます。このような場合はどうしたらいいのでしょうか？よく見かけるのが、せっかく入力した文字を消してしまって正しい位置にもう一度文字を入力される光景です。



下のように文字を入力し確定します。



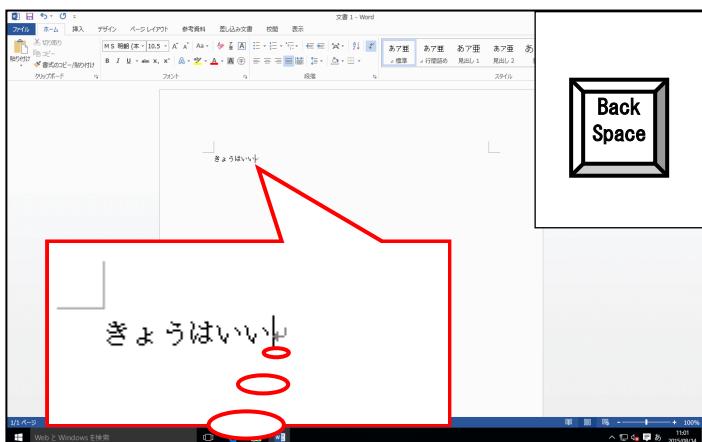
エンター  
[Enter] キーを押して、改行します。



間違えて改行してしま  
い  が下の行に移動  
してしまいました

● 今回は、「もし間違えたら」という時のために、わざと改行しました。

## 【Back Space】キーを1回押します。

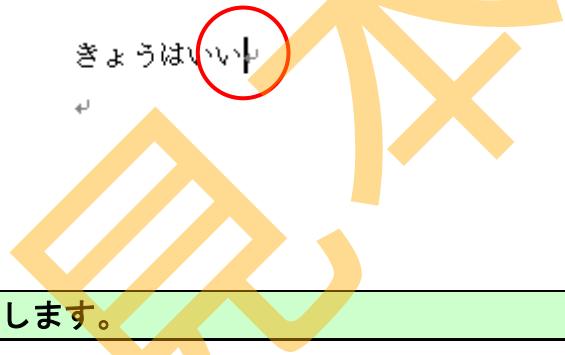


← が上の行に移動しました

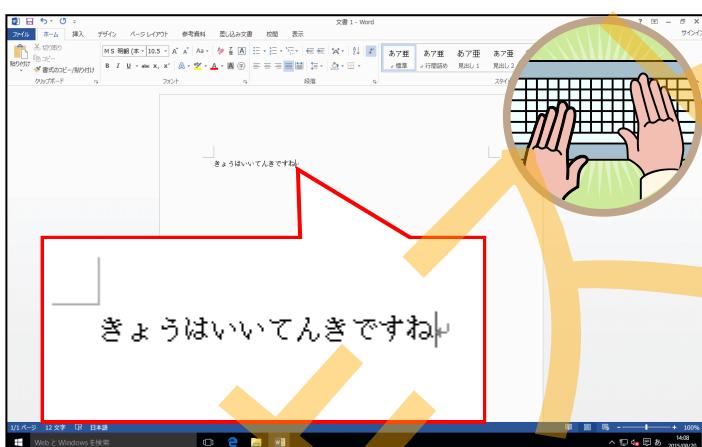
●段落記号も文字のひとつです。

【Delete】キー や 【Back Space】キーで消すことができます。

●下のようにカーソルが「い」の後ろにある場合は、【Delete】キーを押すと同様に ← (段落記号) が削除されます。



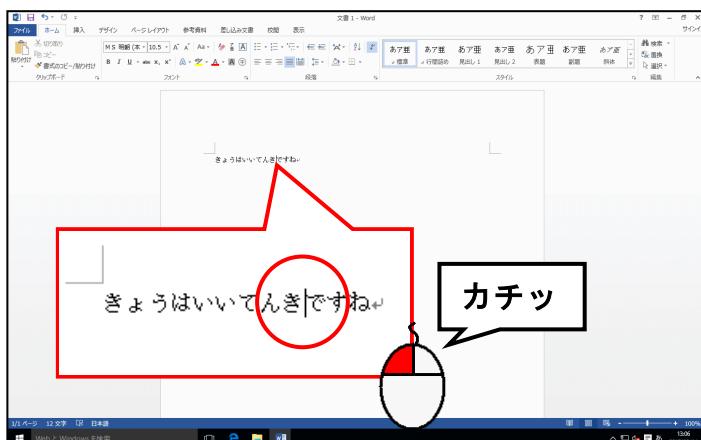
## そのままの状態で「てんきですね」を入力し確定します。



## ⑥ 入力を漏らしてしまったら？

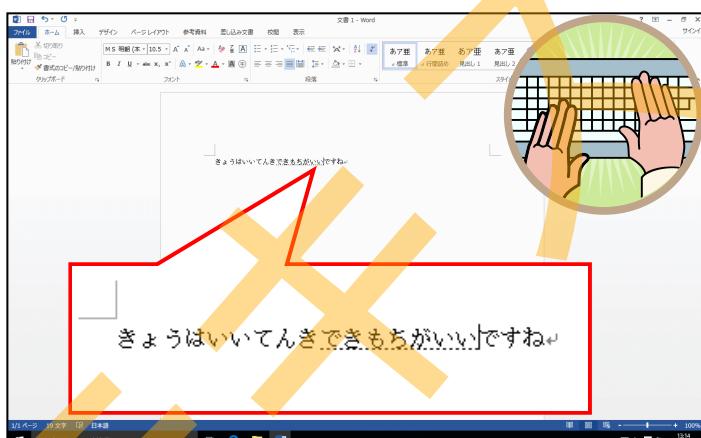
文章を入力している最中に、誤って文字を抜かして入力してしまうことがよくあります。途中に文字を挿入したい場合は、挿入したい位置にカーソルを移動して、文字を入力することで、簡単に文字を挿入することができます。

下のようにカーソルを「てんき」の「き」の後に移動します。



- カーソルを移動するには、マウス-pointerを「てんき」の「き」の後に移動してクリックします。

そのままの状態で「できもちがいい」を入力します。



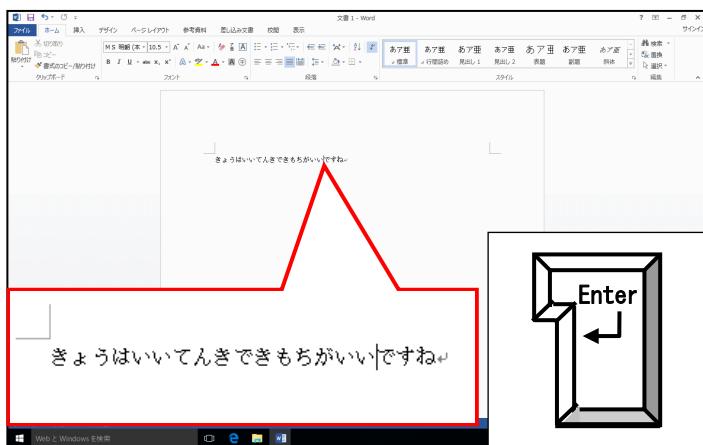
余裕があれば読んでね

- ワードを起動した時点では、**挿入モード**になっており、文字を入力するとカーソルがある位置に文字が挿入されて、今まであった文字が右にずれます。

挿入モードについての補足説明

P155

エンター  
[Enter] キーを押して文字を確定します。

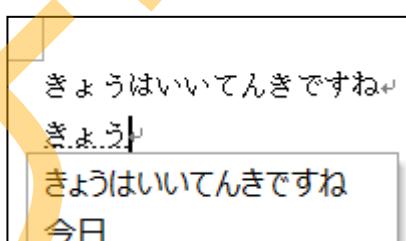


次の操作のために入力した文字をすべて削除しておきましょう。(P139 ④ 入力した文字すべてを削除するを参照)

ご参考までに

### ●予測入力

以前に入力した文字列をもう一度入力すると、2~3文字入力するだけで、自動的にパソコンが予測して、すべて文字を入力しなくても入力することができます。



## (10) スペース（空白）の入力方法

### スペースって何も入力しないことでしょう！

ママさん「スペースって、何も入力しないことでしょう！」



パパさん「真っ白な状態だよね。」

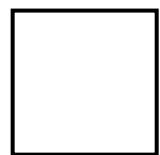
くじら先生「いろいろな申込書にフリガナを振ってくださいって、あるでしょう。その時に注意事項として、「姓」と「名」の間は1文字空けてくださいって書いてあることがあります。その時の1文字をスペースっていいます。何も入っていないのではなく、空白という文字の1つなのです。」



人名や地名などを入力する場合に、間をスペース（空白）で区切ると見やすくなります。そのためにはスペース（空白）は頻繁に使うのでよく覚えておきましょう。

#### ① スペースの種類

スペースには、全角スペースと半角スペースがあります。



全角スペース



半角スペース

例) やまだ□たろう

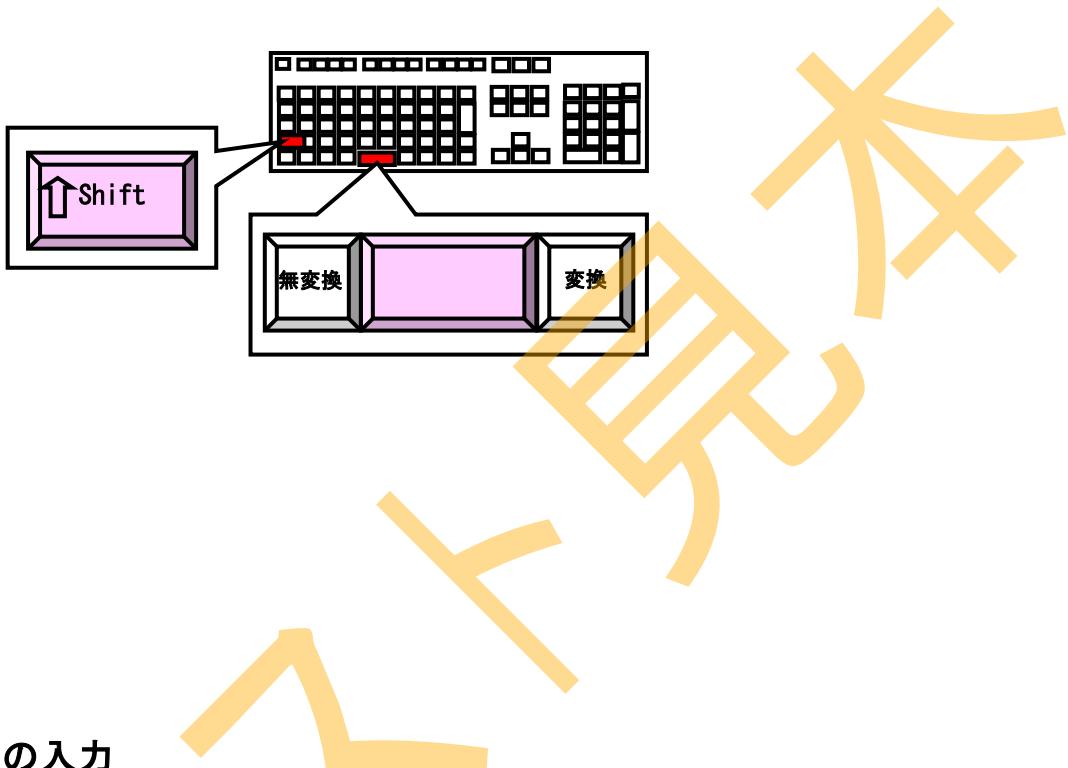
Yamada□Tarou など

全角スペースは横幅の広いスペース、半角スペースは横幅の狭いスペースです。

## ② 全角スペースと半角スペースの入力方法

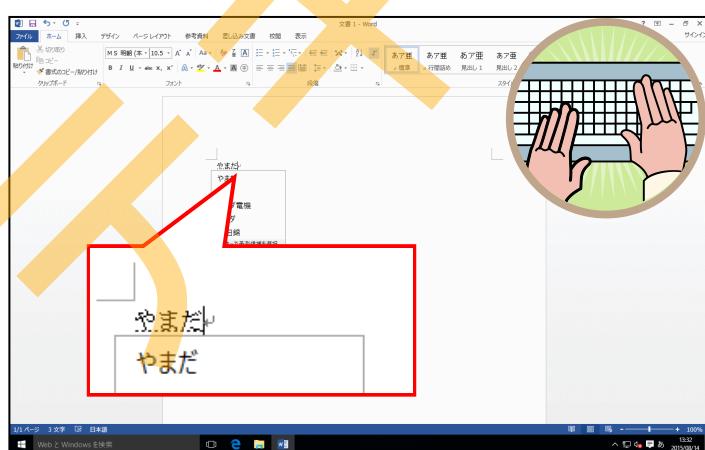
スペースを入力するときのポイントとなる点は、必ずその前に入力した文字を確定してから【スペース】キーを押すことです。文字を確定していないと、後に出でる変換という操作になってしまい、スペースを入力することができなくなるからです。

- 【スペース】キー ..... 全角スペースを入力します。
- [Shift] キー + [スペース] キー ..... 半角スペースを入力します。



## ③ スペースの入力

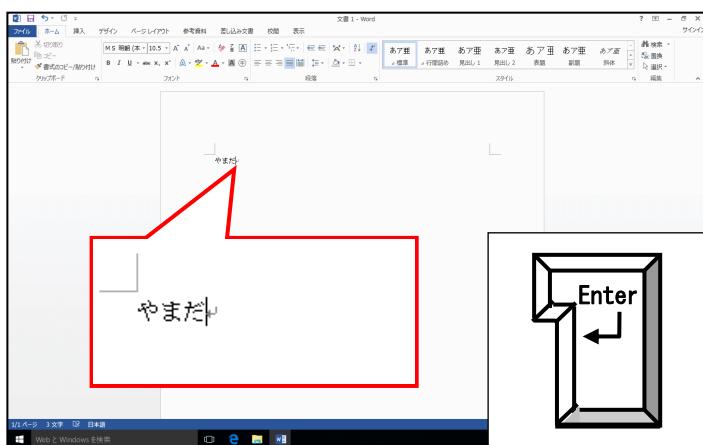
「やまだ」という文字を入力します。



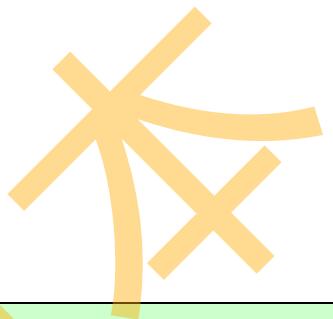
● 「やまだ」と入力すると、いくつか候補が表示されますが、気にしないようにしましょう。

● 入力した文字の下に点線が入った状態は、文字の入力中であることを意味します。

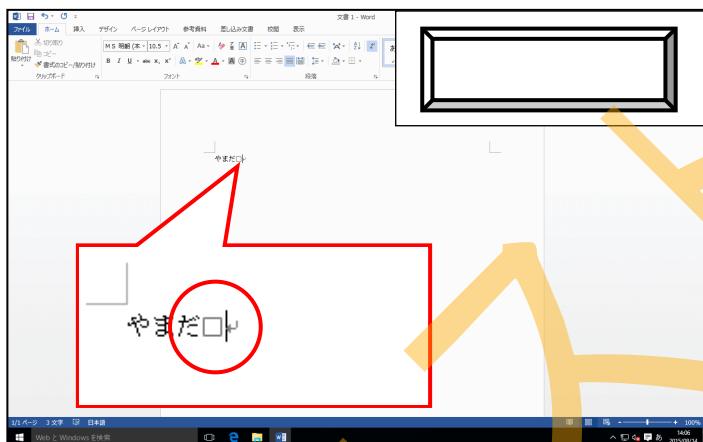
## エンター [Enter] キーを押して文字を確定します。



● 入力した文字の下の点線が消えた状態は、文字が確定したことを意味します。



## [スペース] キーを押して、空白を入力します。

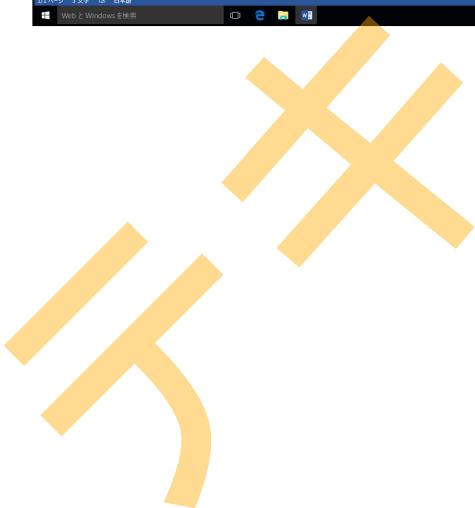


● よく見かける失敗例は、[Enter] キーを押す前（文字を確定する前）に [スペース] キーを押してしまう例です。これでは、文字が漢字などに変換されてしまい、空白を入力することができません。

やまだド…入力直後

山田… [スペース] キー

なぜ？

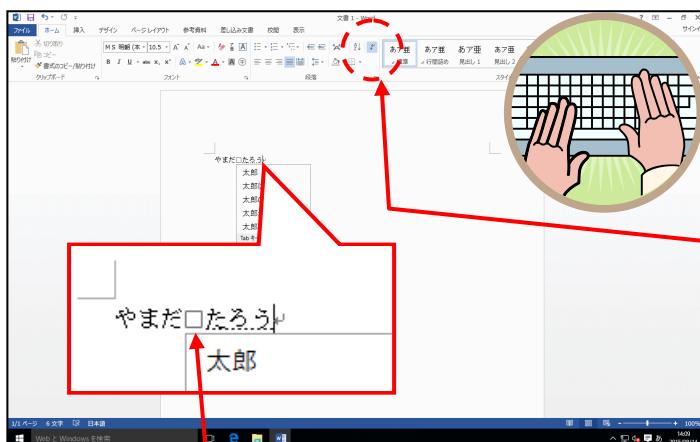


[スペース] キーには、空白文字を入力するという機能のほかに、入力した文字を変換するという機能があります。必ず [スペース] キーを押す前に、[Enter] キーを押すようにしましょう。



● 半角の空白を入力する場合は、  
[Shift] キーを押した状態で [スペース] キーを押すと入力できます。

## 「たろう」という文字を入力します。

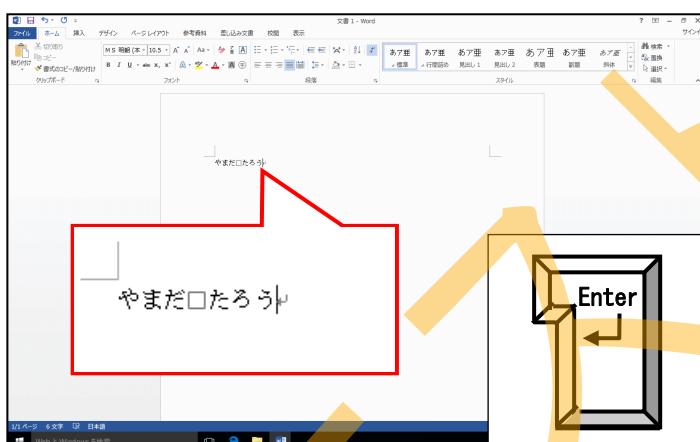


●□が表示されていない方は、画面の赤丸の部分が□の状態で、水色になっていません。クリックして、□このようにしておきましょう。スペースが入っているかそうでないか、見極めるのに役に立ちます。

余裕があれば読んでね

●[スペース]キーを押すと□が表示されることがあります。これはここに「スペースが入っていますよ」という印です。この□は印刷されません。

## エンター [Enter] キーを押して文字を確定します。



次の操作のために入力した文字をすべて削除しておきましょう。

## ● 補足説明（その3）P148～P155

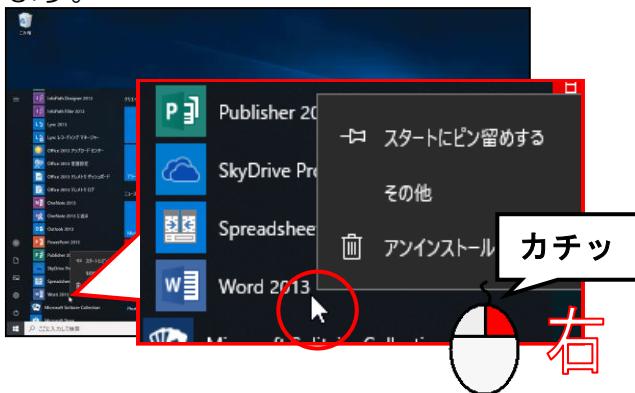
### ●P114 ピン留め機能

多くのアプリの中から、必要なものだけを選んで、スタート画面や、デスクトップのタスクバーに登録することができます。これを「**ピン留め機能**」といいます。「ワード」を、タスクバーに（タッチパネル操作の方では「ワード」をスタート画面に）ピン留めする方法を説明します。「すべてのアプリ」から「Word 2013」を探してからの操作になります。

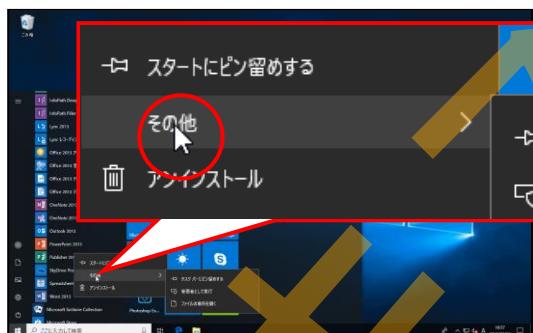
#### ●ピン留めの設定をする

##### マウスでの操作

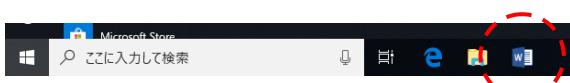
Word 2013 にポイントし、右クリックします。



ショートカットメニューの、[その他] にポイントします。

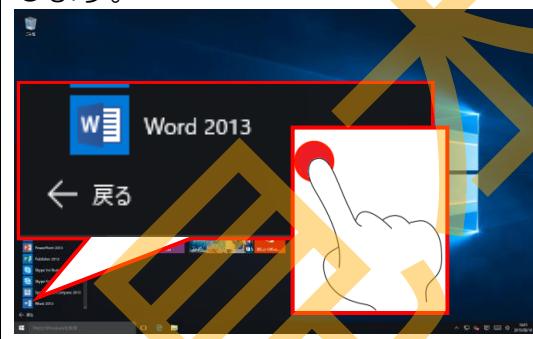


右側に表示される【タスクバーにピン留める】をクリックします。

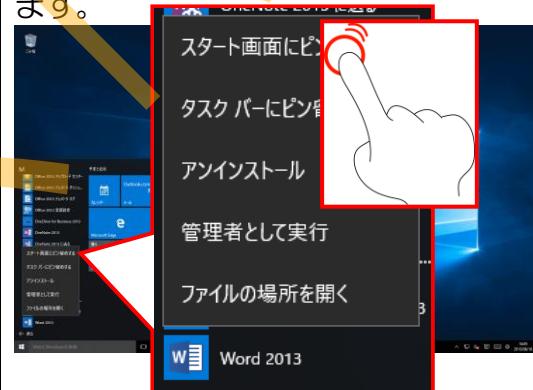


##### タッチパネル操作

Word 2013 を、ロングタップ（長押し）します。



ショートカットメニューが表示されるので、  
【スタート画面にピン留める】をタップします。

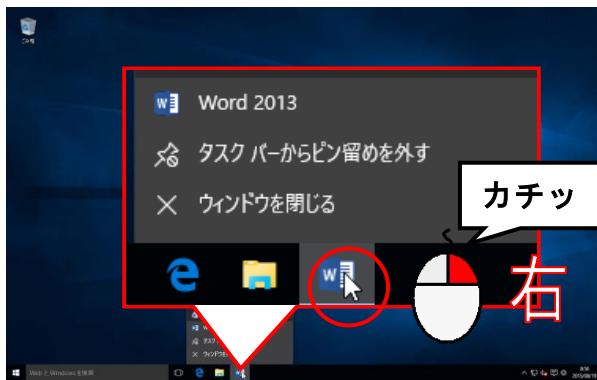


→ 次ページに続く

## ●ピン留めを外す

### マウスでの操作

「ワード」のアイコンにポイントし、右クリックします。

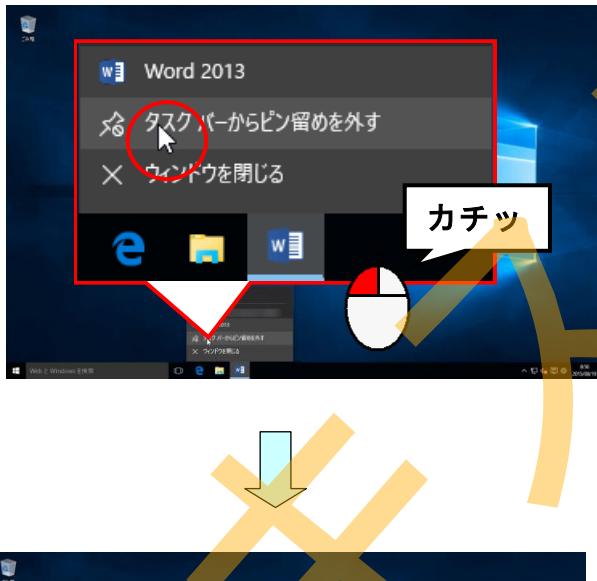


### タッチパネル操作

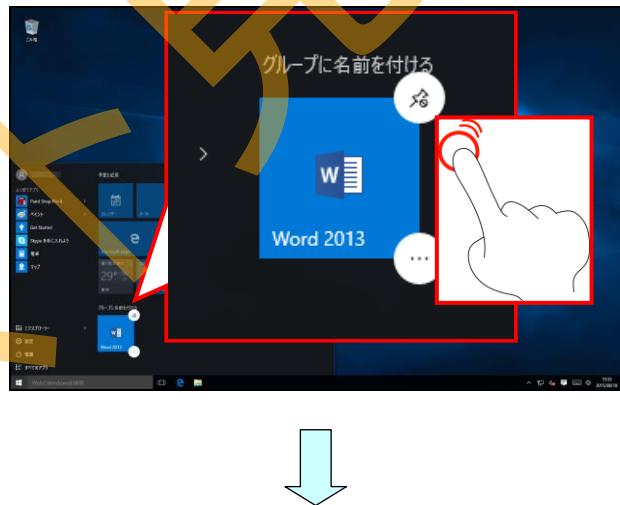
Word 2013 を、ロングタップ（長押し）します。



「タスクバーからピン留めを外す」をクリックします。



Word2013 の右上にある をタップします。



## ●P115 ワードの終了についての補足説明

ワードの画面を閉じるときに、次のような画面が表示される場合があります。

### ● [保存(S)]

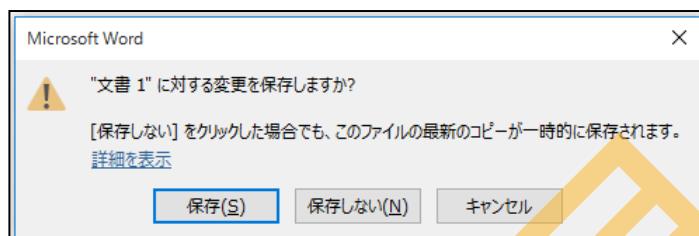
保存の作業に入ります。

### ● [保存しない(N)]

表示された文書を保存せずにワードを終了します。

### ● [キャンセル]

ワードを閉じる操作の取り消しとなり、編集画面に戻ります。



## ●P117 入力モードの切り替えの補足説明

### ●半角／全角キー

マイクロソフト イエムイー

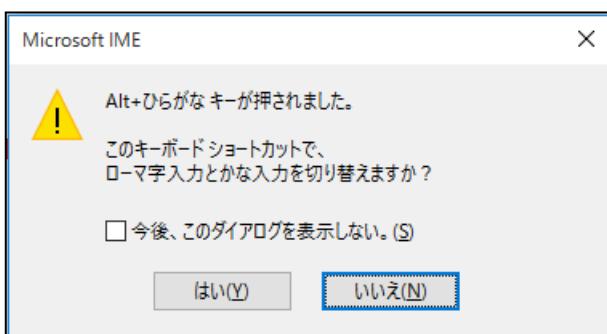
Microsoft-IMEが下記の状態のときには、[半角／全角] キーを1回押すと「あ」に戻ります。

A → 直接入力



## ●P120 ローマ字・かなの切り替えの補足説明

●ローマ字入力とかな入力の切り替えは、キーボードの [Alt] キーを押した状態で [カタカナ／ひらがな] キーを押すと右図のようなダイアログボックスが表示されるので、[はい(Y)] ボタンをクリックして切り替えることができます。同じように [Alt] キーを押した状態で [カタカナ／ひらがな] キーを押せば元に戻ります。



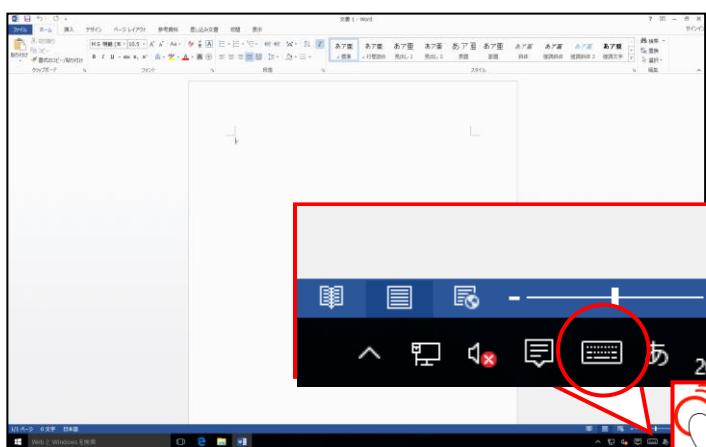
## ●P120 タッチキーボード

ウ イ ン ド ウ ズ テ ん

Windows 10では、タブレット型パソコンでの動作を前提に設計されており、直接ディスプレイをタッチして、キー入力を行うことができます。ここではタブレットの操作で説明します。

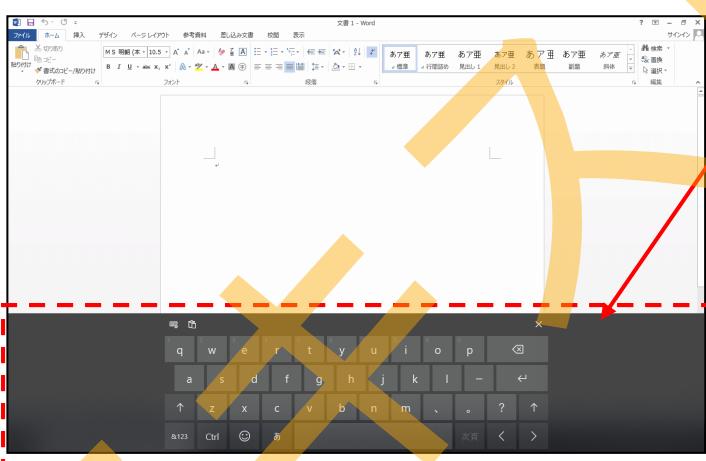
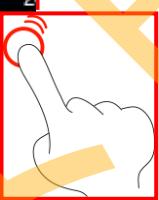
### ●タッチキーボード

■ [タッチキーボード] をタップします。

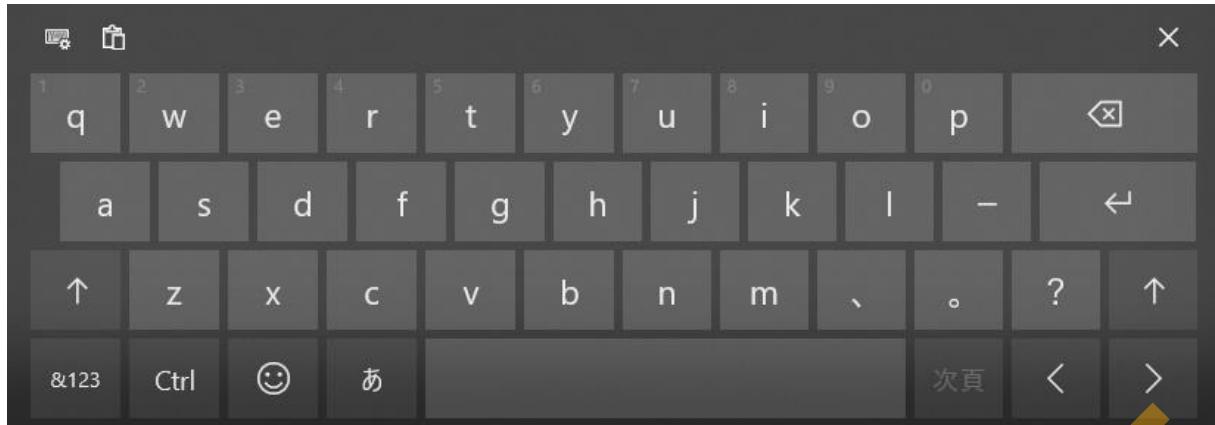


●タスクバー内に、■ [タッチキーボード] が表示されていない場合は、タスクバー内でロングタップし、表示された一覧から [タッチキーボードのボタンを表示(T)] をタップします。

(タッチパネル操作 P33 参照)



●画面下側に「タッチキーボード」が表示されました。



123 ..... テンキーのキーボードに切り替わります。テンキーとは、数字や演算用の記号などを入力するためのキーです。

☺ ..... 顔の絵柄がたくさん用意してあります。

あ ..... 日本語入力をオン、オフを切り替えます。

国旗 ..... キーボードのレイアウトを変更するボタンです。(クリックすると、下の図が開きます。)



..... 初期状態のレイアウトです。

..... フリック入力が可能な片手操作に適したレイアウトです。

..... ローマ字入力が可能な片手操作に適したレイアウトです。

..... キーボードを左右に分割したレイアウトです。

..... 実際のキーボードと同じレイアウトです。

..... 手書き入力ができるレイアウトです。

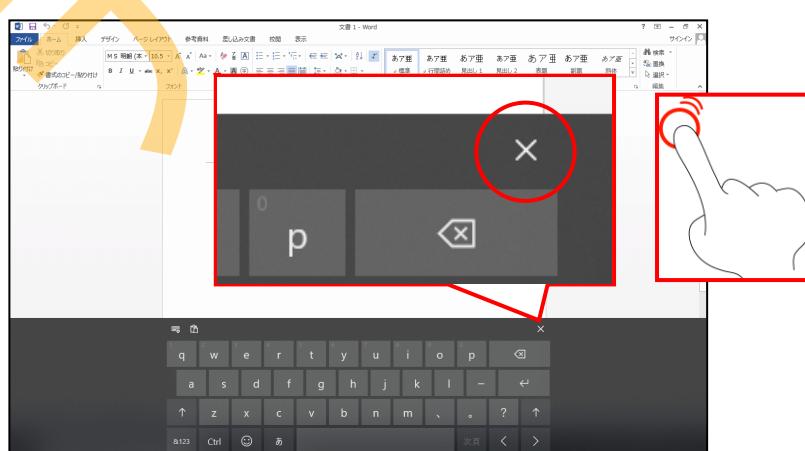
..... 画面横幅いっぱいにキーボードを表示します。

..... キーボードを縮小するボタンです。

..... 言語の詳細な設定ができます。

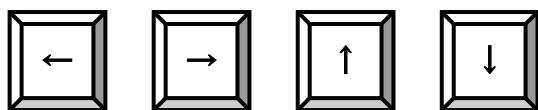
タッチキーボードを終了します。

**[閉じる] ボタンをタップします。**

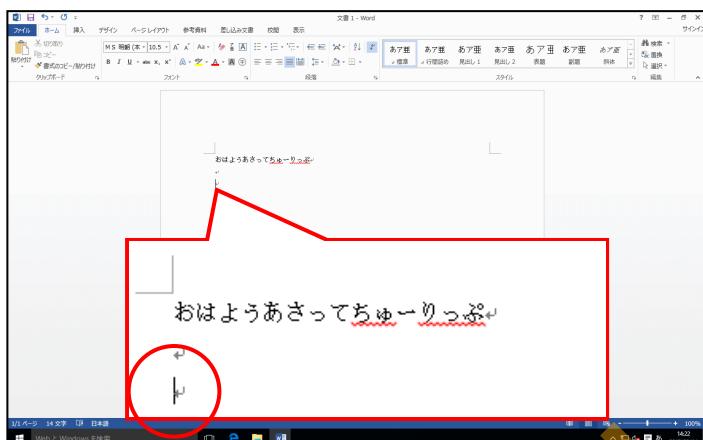


## ●P135 キーボード操作によるカーソル移動

カーソルを、キーボードを使って移動するためには、**キーボードの矢印キー**（方向キーともいう）を使います。矢印キーには次の4つがあります。

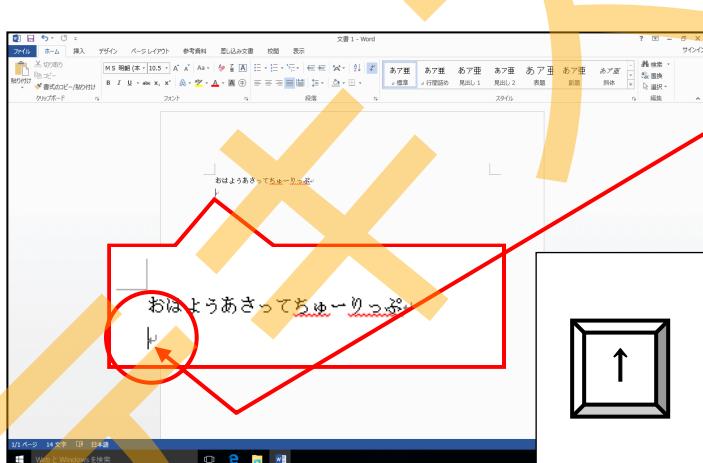


まず、カーソルが下の図の位置にあることを確認してください。



●左と同じ文字が表示されていない方は、左と同じように入力してから操作してください。

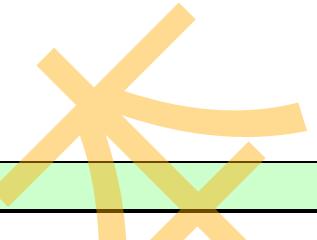
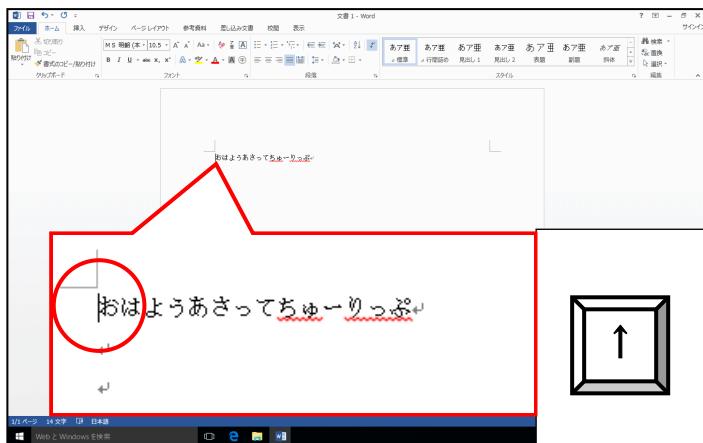
上向きの矢印キー（↑）を押します。



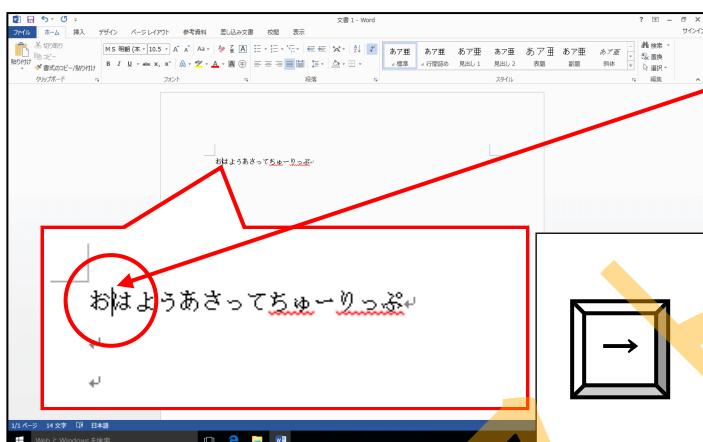
●カーソルが1行上に移動しました。

→ 次ページに続く

## もう一度上向きの矢印キー (↑) を押します。



## 右向きの矢印キー (→) を押します。



● カーソルが 1 文字右に移動しました。

**注意!**

● 右向きの矢印キー (→) を数回押して「ちゅーりっぷ」の後ろまでたら、次に右向きの矢印キー (→) を押した時点で、カーソルは 1 行下に移動します。これは、「ふ」の右に文字がないためです。

また、左向きの矢印キー (←) を数回押して、先頭の「おはよう」の前にカーソルが表示されると、それ以上何回押してもカーソルは移動しません。

これは、先頭の文字「お」よりも前に文字がないためです。

● 右向きの矢印キー (→) を長く押しすぎると、たくさん移動してしまうので注意しましょう。

キー	キー操作による結果
↑	1 行上に移動
↓	1 行下に移動
←	現在のカーソル位置から 1 文字分左に移動 行頭にカーソルがある場合、上の行の末尾に移動
→	現在のカーソル位置から 1 文字分右に移動 行末にカーソルがある場合、下の行の先頭に移動
Home	同一行の先頭に移動
End	同一行の末尾に移動
Ctrl+Home	文書の先頭に移動
Ctrl+End	文書の最後に移動

## ●P142挿入モードについての補足説明

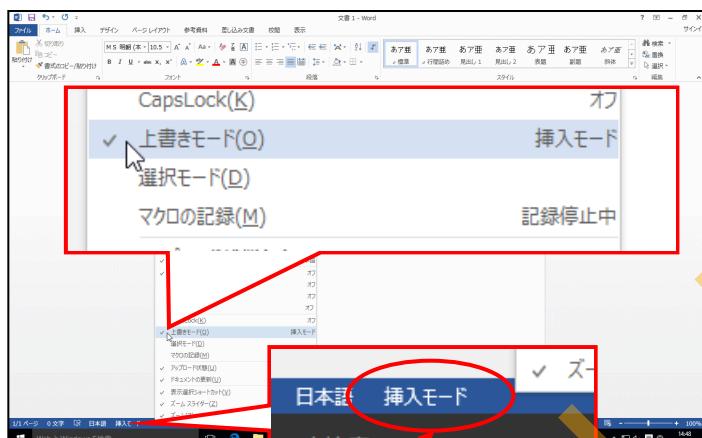
### ●挿入モードと上書きモード

キーボードの [Insert] キーを押すたびに入力する方法が【挿入モード】と【上書きモード】に切り替わります。

(P107 (2) パソコンを操作するためのキーの配置参照)

【挿入モード】と【上書きモード】は、画面上では確認することができません。

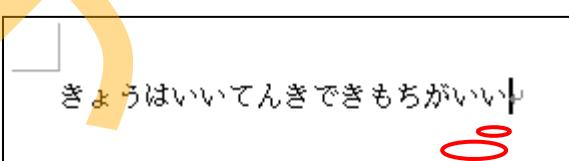
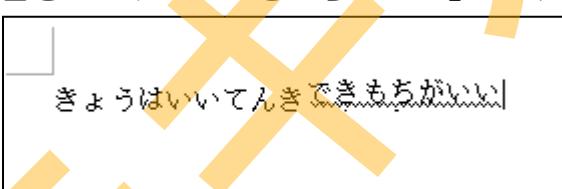
【Insert】キーを押して、濃い青い部分（ステータスバー）を右クリックし、表示されるショートカットメニューから「上書きモード(0)挿入モード」をクリックすると、ステータスバーにモードが表示されます。P142と同じ操作で2つの違いを見てみましょう。



上書きモードの場合



上書きモードで「できもちがいい」と入力すると



以前の「ですね」の文字  
が消えてしまいます

●上書きモードで文章の途中から文字を入力すると入力された文字で上書きされます。

(挿入モードの時は、カーソル位置より後ろの文字は P142 のように右にずれていきます。)

☆☆ここまでくれば、練習問題5で理解度を試してください。☆☆

## (11) 漢字の入力

やっと漢字まで来たね、これでいろいろな文章も入力できるかなあ～。

パパさん「やっと漢字までたどり着きました。  
漢字はどうにかなりそうです。」



ママさん「そうね。ワープロをしていたし、漢字の読みさえわかれば、こっちの  
ものね！」

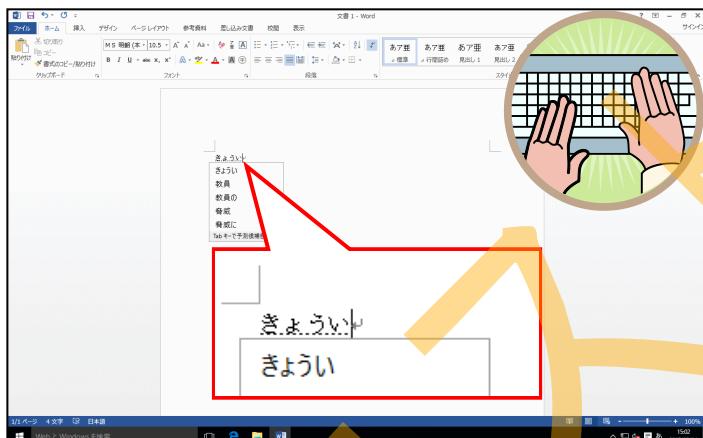
くじら先生「おふたりとも頼もしいかぎりです。」



漢字を入力するには、一度ひらがなを入力してから【変換】キーを押して漢字に変換します。

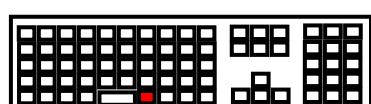
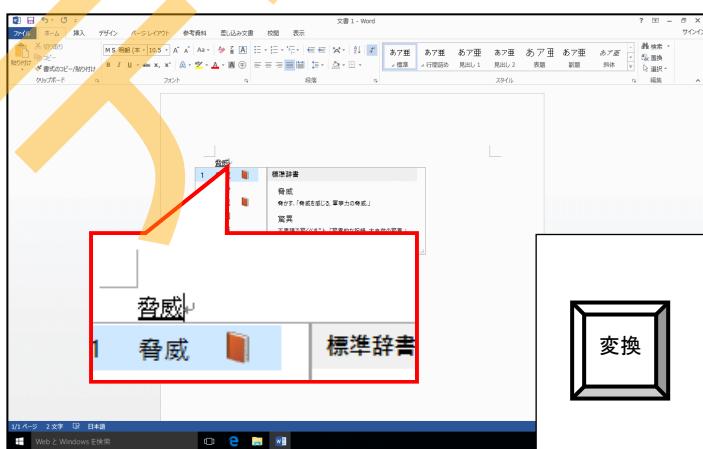
「驚異」という文字を入力してみましょう。

「きょうい」という文字を入力します。



●入力した文字の下に点線が表示されているか確認します。点線が表示されていないと文字が確定してしまった状態になっています。

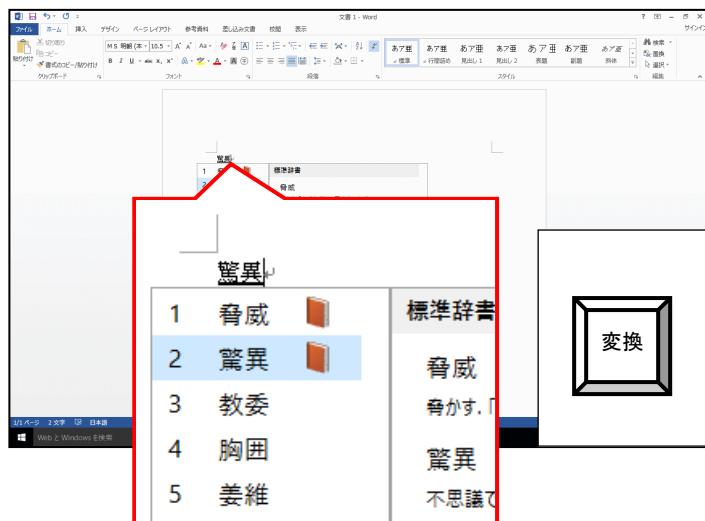
【変換】キーを押します。



●お使いのパソコンのキーボードによっては、下記の表示のものもあります。



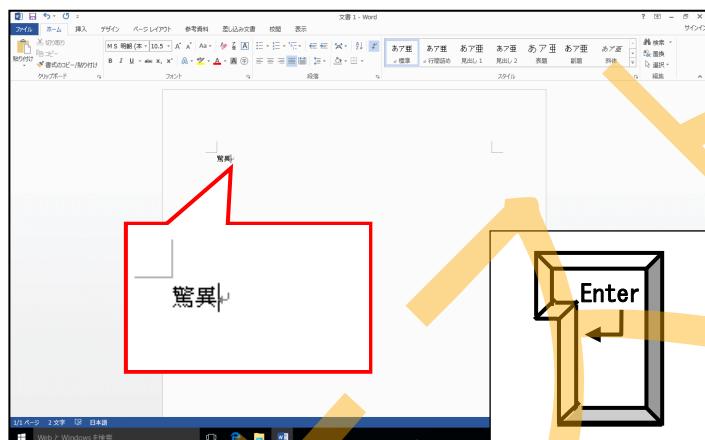
目的の文字が表示されなかった場合は、「驚異」という文字が反転表示されるまで【変換】キーを押します。



● 【変換】キーを押して反転された文字が画面に表示されます。

● 別の文字を選択する場合は、【変換】キーを押すか、[↑] キーまたは[↓] キーで移動します。また、目的の文字にポイントしてクリックしてもOKです。

正しい文字が表示されれば [Enter] キーで文字を確定します。



次の操作のために入力した文字をすべて削除します。

## (12) 間違って確定してしまったら？

### またまた、わたしのためのテキストみたいですね！

ウメさん「また、わたしのために先生がテキストに追加してくれたのね。」



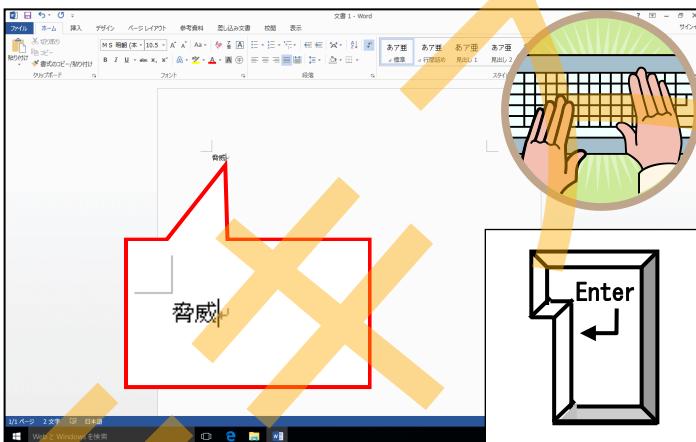
タケさん「わしのためでもあると思うよ。わしもすいぶんと間違いが多いからのお～。」

くじら先生「誰にでもよくある間違いを取り上げて説明しているだけです。ウメさんやタケさんだけが間違うのではなく、みなさんも同じように間違ってしまうことがありますよ。」



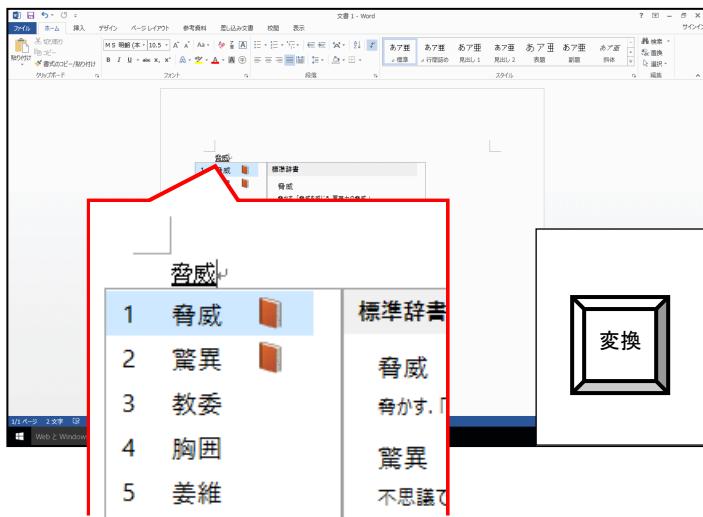
文字を入力して、変換ミスの状態で確定してしまうことがよくあります。そのような場合は、一度確定前の状態に戻してから、再度文字を変換します。P156 (11) 漢字の入力の「驚異」を「脅威」で確定してしまった場合を例にとって説明します。

まず、「脅威」という文字を入力して確定します。

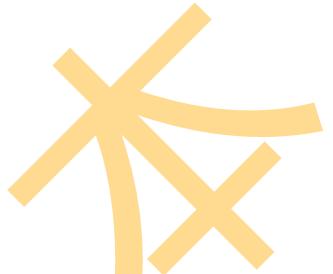


●変換操作を忘れた方は、P156 (11) 漢字の入力を参照してください。

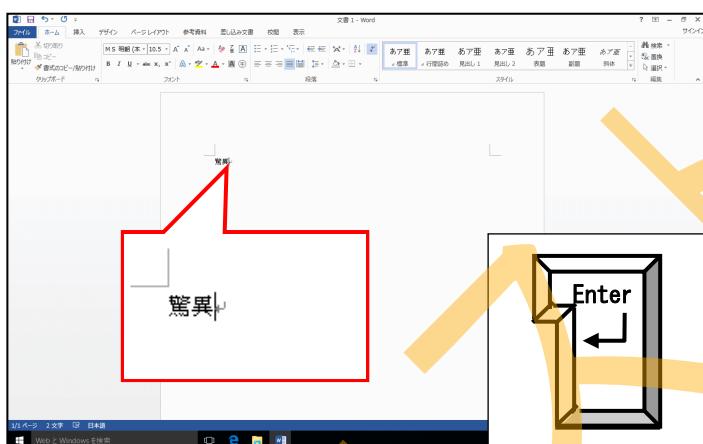
## [変換] キーを押します。



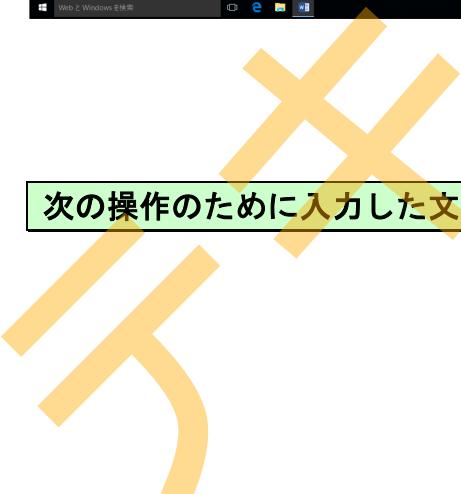
●入力した文字（ひらがな）自体が間違っていた場合は、確定した文字を [Back Space] キー や [Delete] キーで削除してから、再度入力しましょう。



## 「驚異」という文字を [変換] キーを押して反転表示させて、[Enter] キーを押します。



## 次の操作のために入力した文字をすべて削除します。



### (13) 難しい文字の入力

**文字を書かなくなつてから、書けない文字が増えてきたなあ～。**



**パパさん** 「文字を書く機会が減ったために、文字が書けなくなってきたなあ～。」

**ママさん** 「わたしも同じなの、読めるんだけど、書けないのよ。」

**くじら先生** 「読めるなら入力は可能です。私のように漢字を読むのが苦手な方にとつて、有効な方法を紹介しますね。」

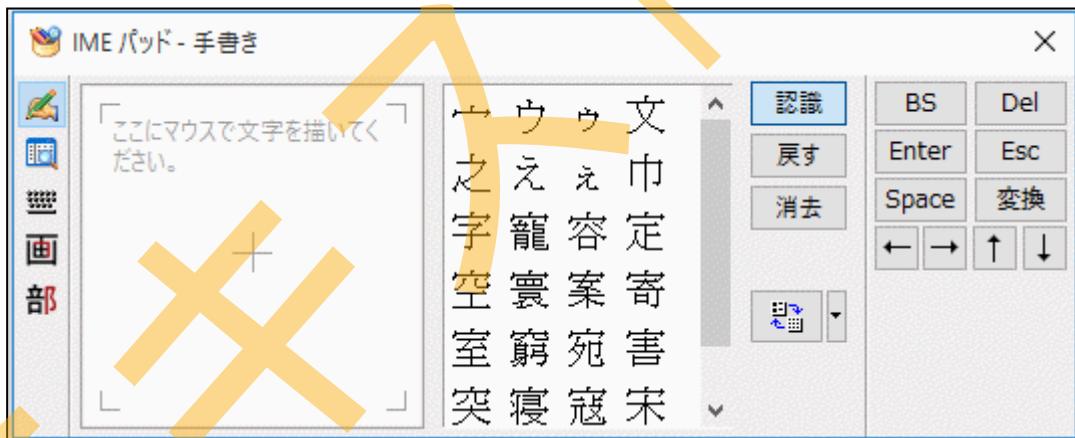


読めない漢字があった場合には、みなさん困りますよね。

ですが、読めない漢字があっても、ここで紹介する方法をマスターすれば、入力することが可能です。」

読みがわからない文字は入力できないかというと、そんなことはありません。マウスを使って手書きで文字を書くと、文字を検索して似た文字を表示してくれます。マウスで文字を入力するには、「IMEパッド-手書き」を使います。

●手書き ..... 読みのわからない漢字を手書き入力して探します。

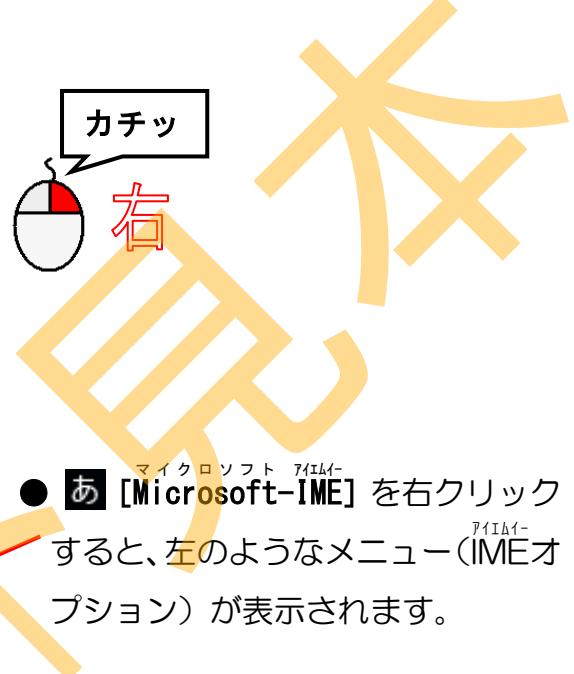
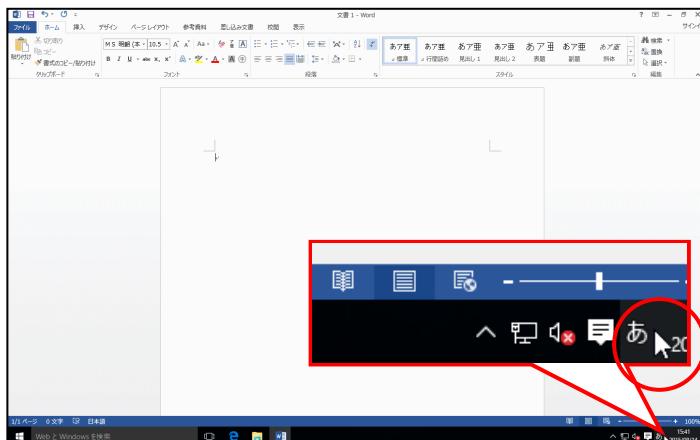


[IMEパッド]のその他の機能 P166

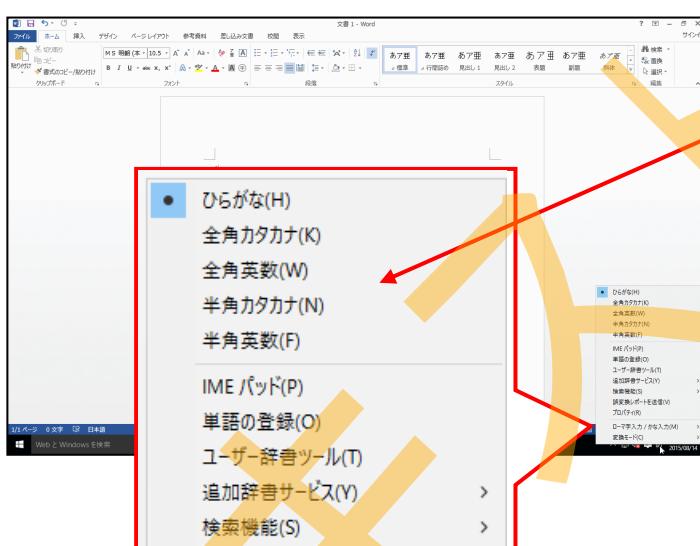
# ① IME パッドの表示方法

IME パッドを表示するには、次のように操作します。

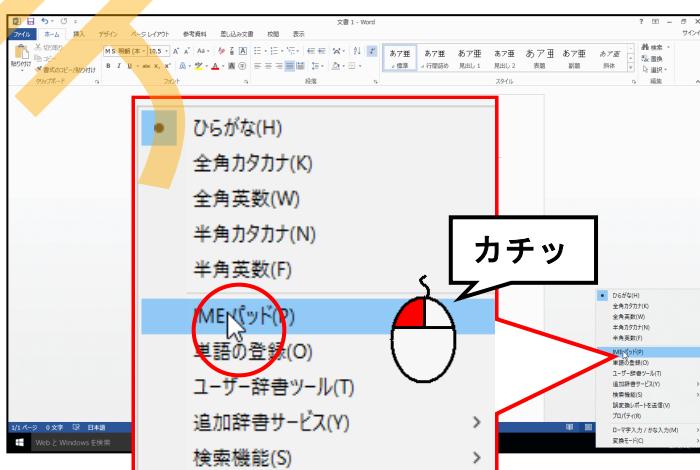
あ [Microsoft-IME] にポイントし、右クリックします。

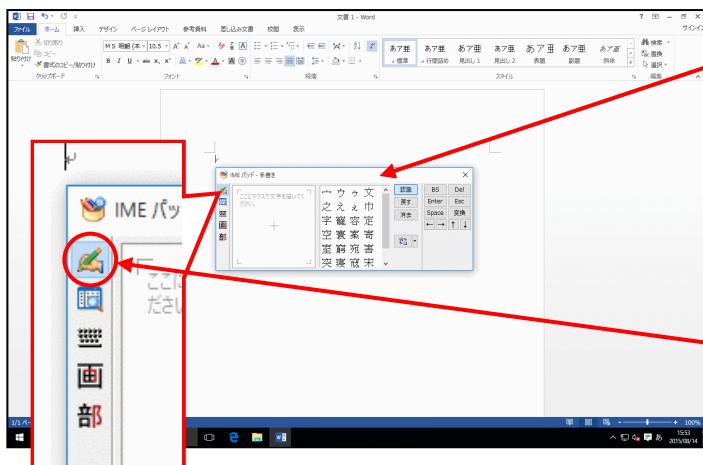


● あ [Microsoft-IME] を右クリックすると、左のようなメニュー(IMEオプション)が表示されます。



表示された一覧から [IME パッド(P)] にポイントし、クリックします。





● [IME パッド(P)] をクリックすると、左のような画面が表示されます。



● 左と同じ画面が出ていない方は、  
[手書き] ボタンをクリックします。

[IMEパッド]の表示方法についての補足説明

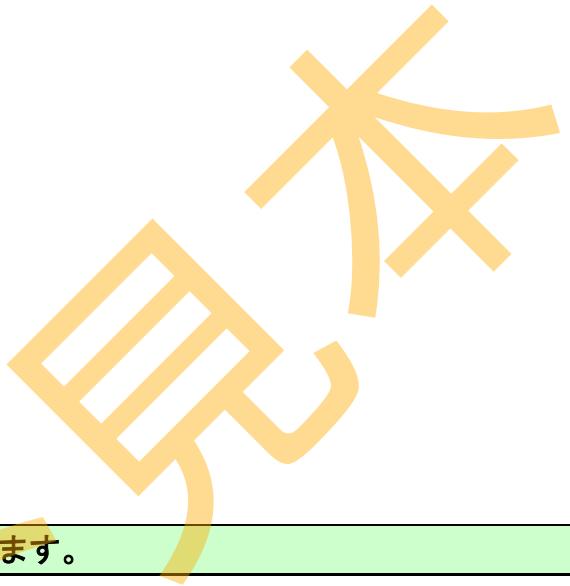
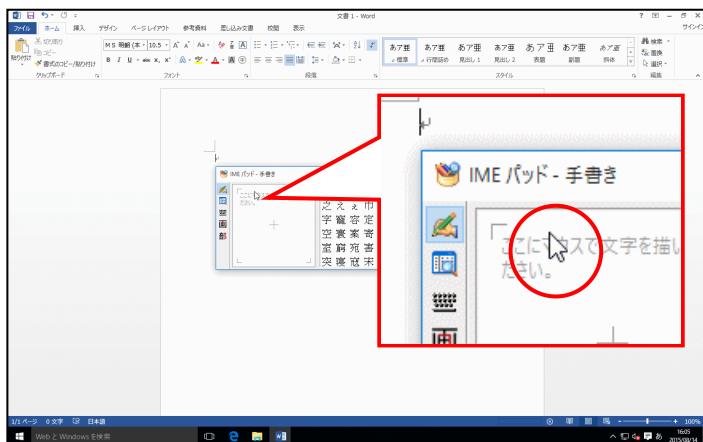
P166



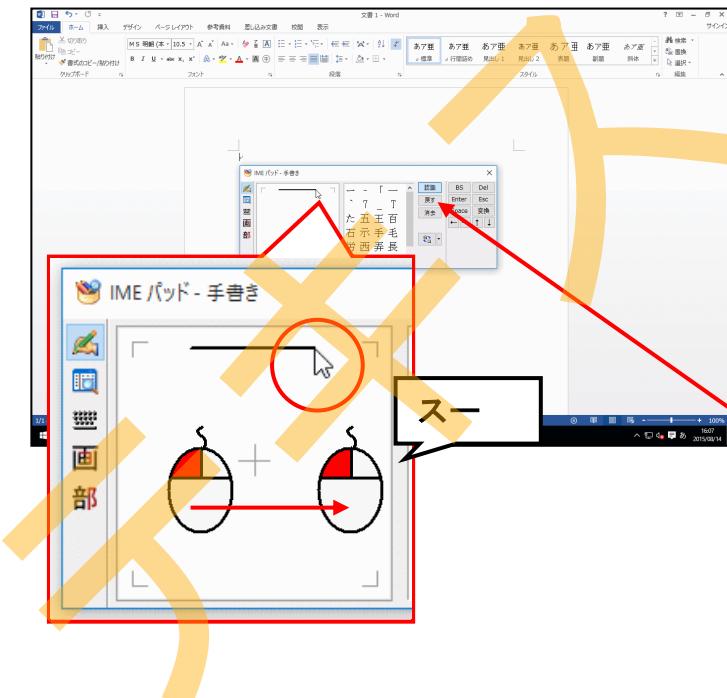
## ② 手書きで文字を検索する

表示されたIMEパッドでマウスを使って「靈」という文字を書き、似た文字を検索してみましょう。

以下の図と同じような位置にマウスポインターを移動します。



そのまま右にドラッグして、文字の1画目を書きます。



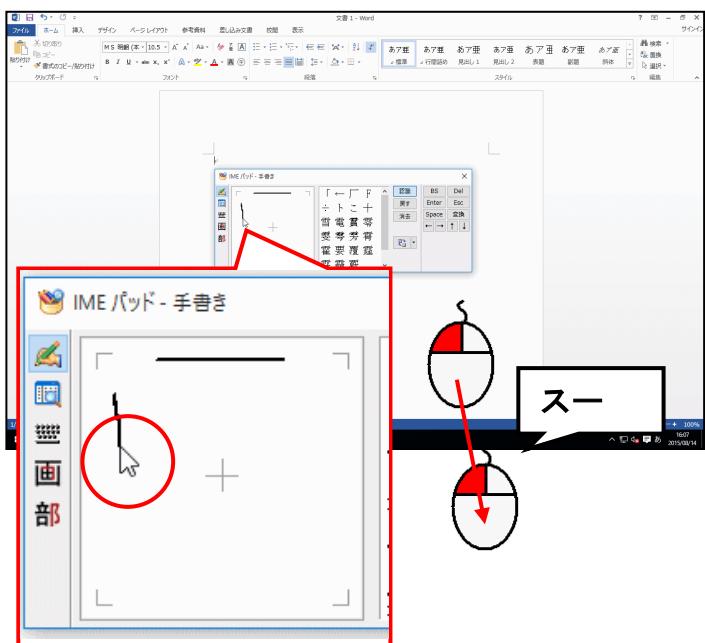
1画書くごとに、自動認識して、右に認識の候補が表示されるようになっています。

余裕があれば読んでね

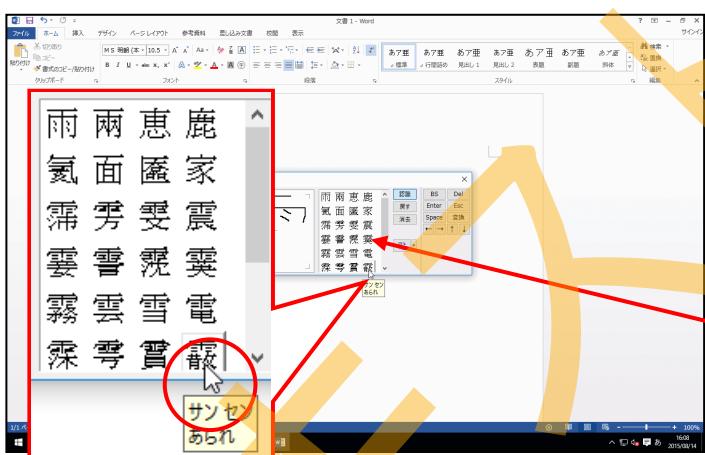
●文字を書き間違ったり、2度書きしてしまった場合は、[消去]ボタンの上にある[戻す]ボタンをクリックすると、最後に手書きした1画を消すことができます。



## 同じ要領で2画目を書きます。



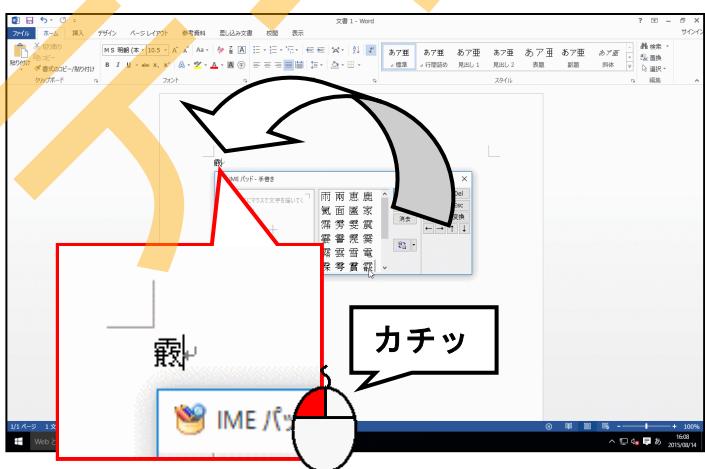
同じ要領で右の認識候補の一覧に「霰」という文字が表示されるまで書き、「霰」が表示されたところでポイントします。



●左のように表示された文字にポイントすると、音読みと訓読みが表示されます。

●認識候補の中に「霰」がない場合は、1度消去して再度書き直しましょう。

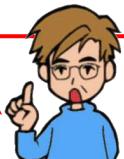
目的の文字に音読みと訓読みが表示されていることを確認して、クリックします。



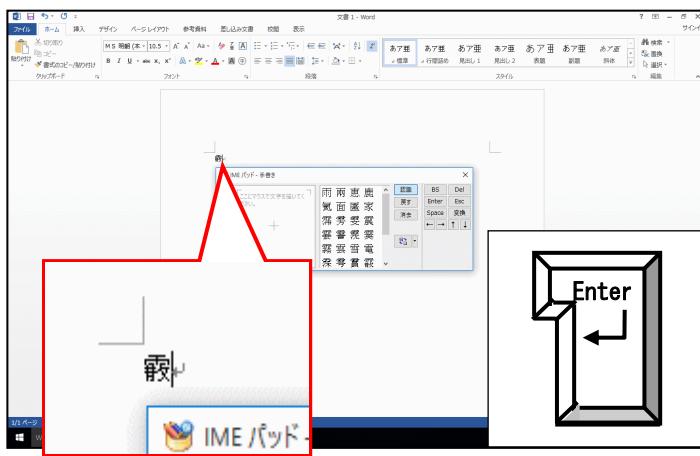
●目的の文字をクリックすると、カーソルがある位置に目的の文字が入力されます。文字の下に点線が表示され、まだ文字は確定されていない状態です。

注意!

●漢字の検索は1文字ずつしかできません。検索したい漢字が複数ある場合は、1文字ずつ入力しましょう。

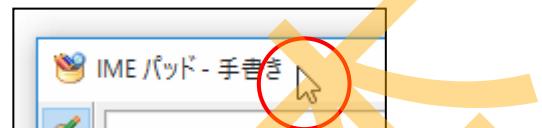


エンター  
[Enter] キーを押して文字を確定します。

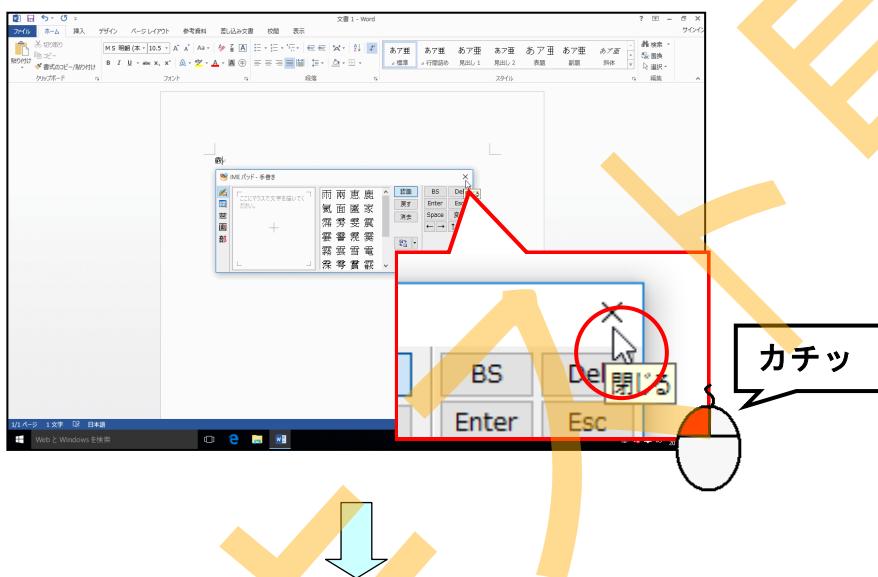


余裕があれば読んでね

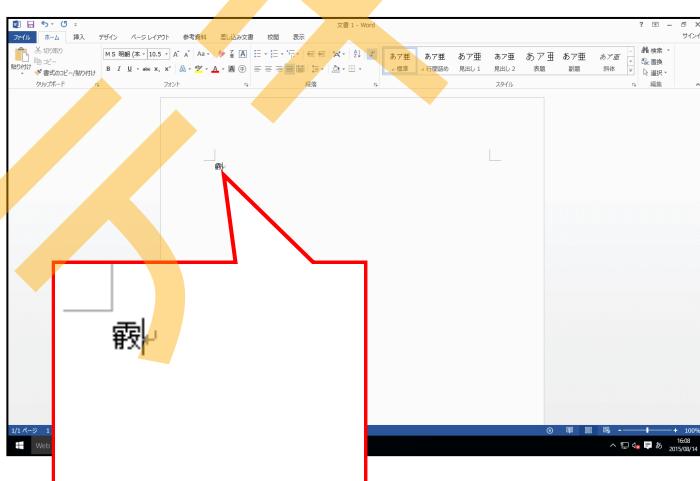
- [IME パッド] ウィンドウが重なって、入力した文字が見えない場合は、下図のようにタイトルバーにポイントし、ドラッグすると画面を移動することができます。



画面右上に表示された [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



- [閉じる] ボタンをクリックすると、  
[IME パッド - 手書き] が消えます。

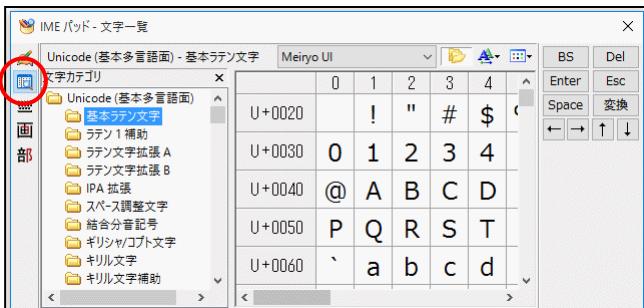


次の操作のために入力した文字をすべて削除します。

## ● 補足説明（その4）P166

### ●P160 [IMEパッド] のその他の機能

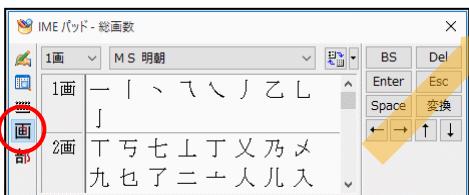
#### ● 文字一覧 …… 記号や特殊文字などを一覧から探します。



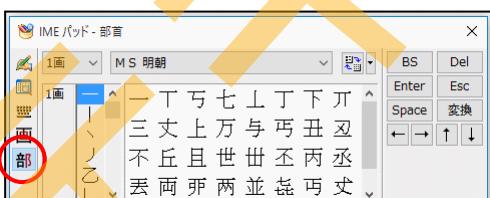
#### ● ソフトキーボード …… キーボードのキーを押す感覚で、画面上に表示されたキーボードをクリックして文字を入力していきます。



#### ● 総画数 …… 読みのわからない漢字の総画数を指定して目的の文字を探します。



#### ● 部首 …… 読みのわからない漢字の部首を指定して目的の文字を探します。



### ●P162 [IMEパッド] の表示方法についての補足説明

#### ● [IMEパッド] のその他の表示方法

[Ctrl] キーを押した状態で、[F10] キーを押し、[P] キーを押しても表示することができます。

☆☆ここまでくれば、練習問題6で理解度を試してください。☆☆

## (14) カタカナの入力

### カタカナは簡単そうじゃが、どうなんじゃ？



タケさん「ひらがなと同じで簡単そうじゃが、どうなんじゃ？」

ウメさん「わたしも簡単だと思うんだけど・・・。」

くじら先生「入力は『ひらがな』でしていただき、カタカナに変換します。自己流でされている方は、理解されていない部分です。しかし、難しいことはありません。」

タケさん「全角と半角があるようじゃが、どちらを使っても同じじゃないのか？」

くじら先生「それが、電子メールとか、ホームページには、半角のカタカナを使うと支障が生じる場合があるのです。読めないような文字が表示されてしまって、文章にならない場合があるため、電子メールとか、ホームページでは半角カタカナは使わないという決まりがあります。」

ウメさん「使ったらダメな文字をなぜ覚える必要があるの？」

くじら先生「ご自分が入力した文字が半角か全角かを判断できれば、別に半角のカタカナを覚える必要はないと思いますが、判断するためには見比べてみないとわからないからここでチャレンジしてみてください。」



漢字の次はカタカナにチャレンジしてみましょう。カタカナを入力するには、一度ひらがなを入力してから [F7] キーまたは [F8] キーを押してカタカナに変換します。

#### ① カタカナの種類

カタカナには、全角カタカナと半角カタカナがあります。



全角カタカナ



半角カタカナ

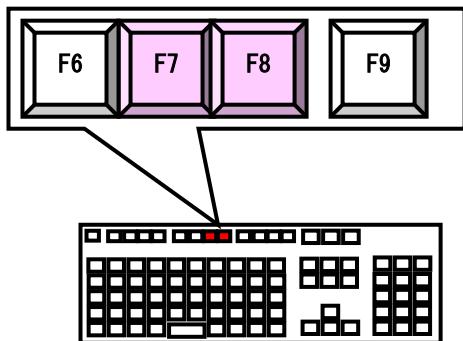
全角カタカナは横幅の広いカタカナ、半角カタカナは横幅の狭いカタカナです。

## ② 全角カタカナと半角カタカナの入力方法

まず、これまでどおり「ひらがな」で文字を入力します。

次に確定していない状態（文字の下に点線が入った状態）で [F7] キーもしくは [F8] キーを押して、カタカナが表示されたら [Enter] キーで確定します。

- [F7] キー…ひらがなを全角カタカナに変換します。
- [F8] キー…ひらがなを半角カタカナに変換します。



- [F7] キーとか [F8] キーと書きましたが、正式にはキーボードの上に並んだ [F1] ~ [F12] までのキーを「ファンクションキー」といいます。

余裕があれば読んでね

- 「ファンクションキー」とは、特殊キーのひとつで、それぞれに機能や文字列が割り当てられています。割り当て内容はソフトによって異なります。利用者が、自分自身で機能を割り当てることもできます。

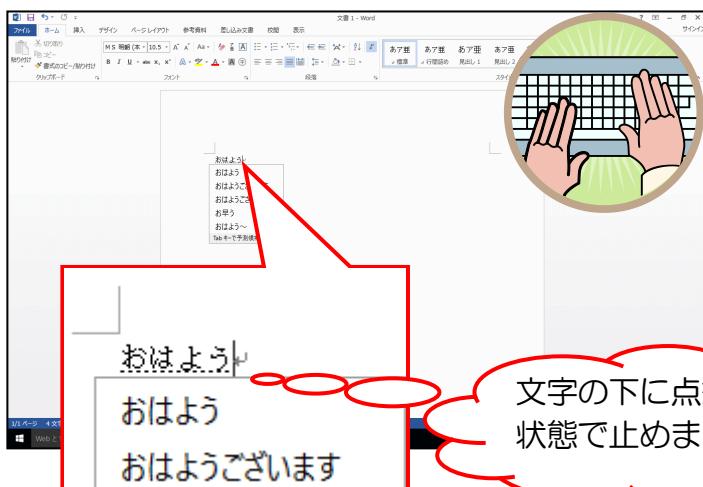
[F7] キーや [F8] キーを押す代わりに、[変換] キーを押しても、カタカナに変換できる場合があります。外来語としてカタカナが定着している言葉は、[変換] キーを押しても表示することができます。

カタカナ

### ③ 全角カタカナの入力

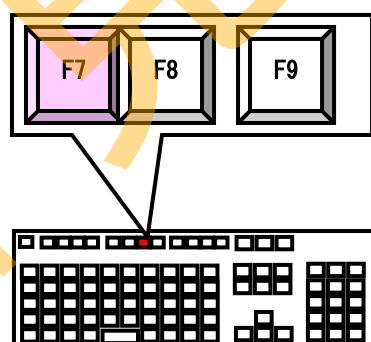
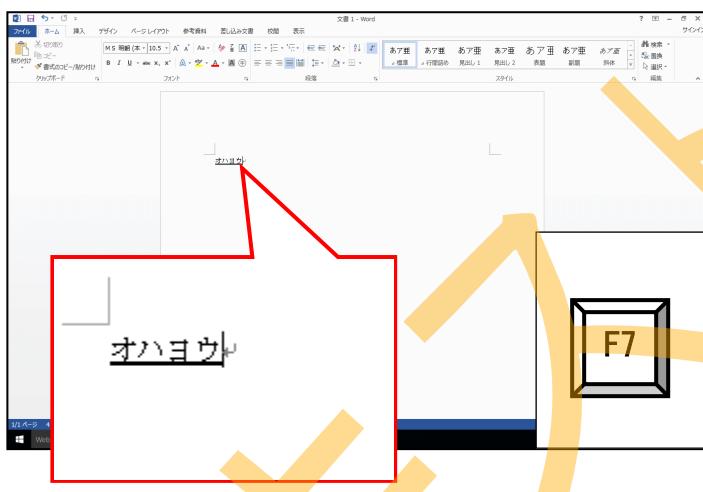
「オハヨウ」という文字を入力してみましょう。

ひらがなで「おはよう」と入力します。

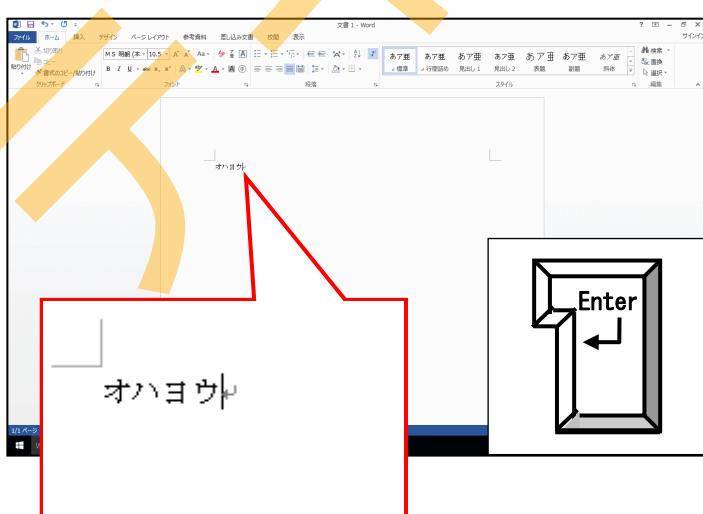


● [Enter] キーを押してしまうと、文字が確定してしまうので、[Enter] キーを押さないようにしましょう。

[F7] キーを押します。



エンター [Enter] キーを押して文字を確定します。



余裕があれば読んでね

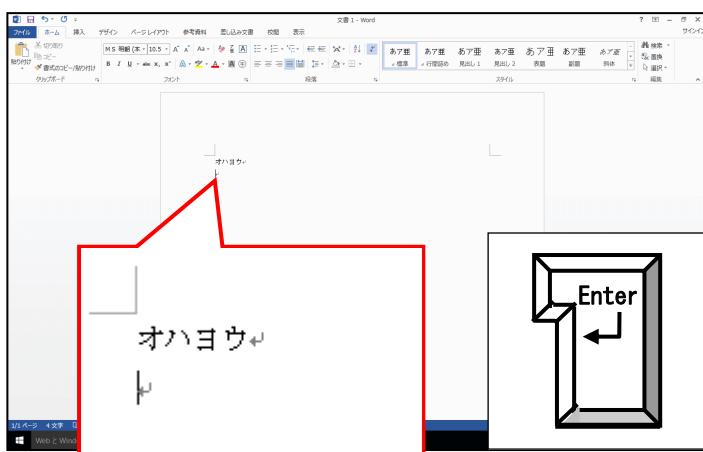
- 1回 [F7] を押すと… オハヨウ
- 2回 [F7] を押すと… オハヨう
- 3回 [F7] を押すと… オハよう
- 4回 [F7] を押すと… オはよう
- 5回 [F7] を押すと… オハヨウ

後ろから1文字ずつひらがなに戻りますが、すべてひらがなの状態には戻りません

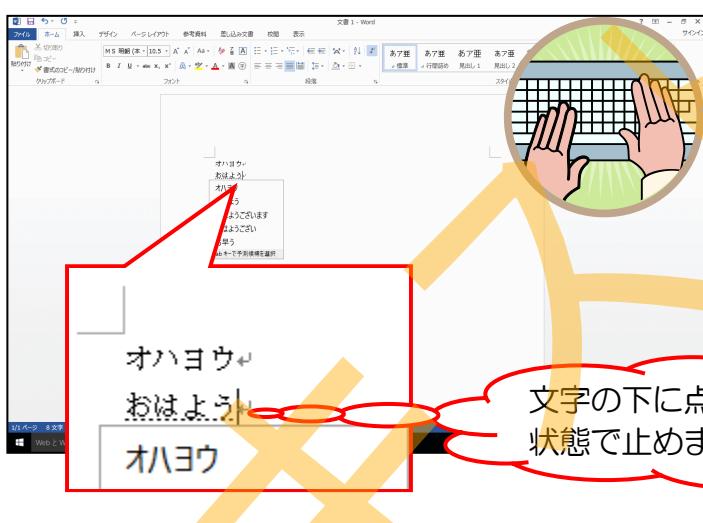
## ④ 半角カタカナの入力

1行改行し、半角で「オハヨウ」という文字を入力してみましょう。

エンターキーを押して改行します。



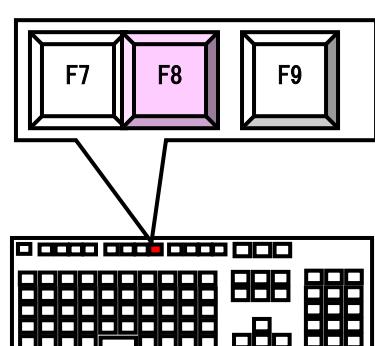
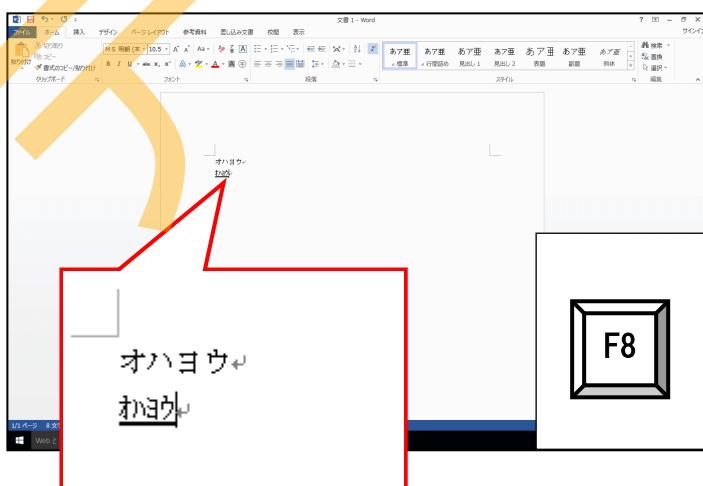
ひらがなで「おはよう」と入力します。



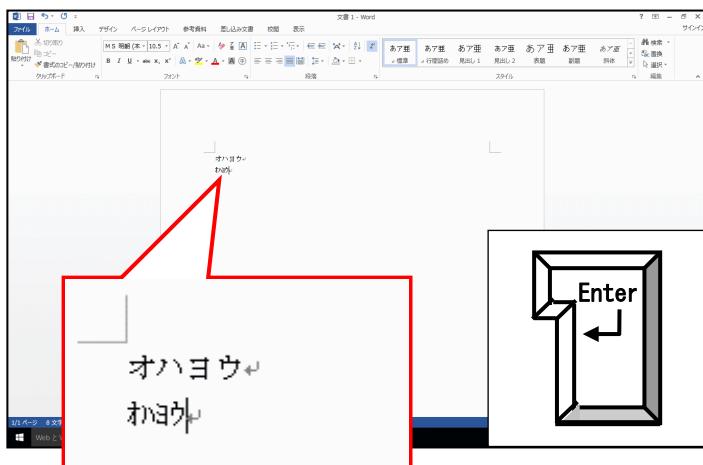
注意!

● エンターキーを押してしまうと、  
文字が確定してしまうので、  
エンターキーを押さないようにし  
ましょう。

F8 キーを押します。



エンター [Enter] キーを押して文字を確定します。



余裕があれば読んでね

- 1回 [F8] を押すと…オハヨウ
- 2回 [F8] を押すと…オハヨう
- 3回 [F8] を押すと…オハよう
- 4回 [F8] を押すと…オはよう
- 5回 [F8] を押すと…オハヨ

後ろから1文字ずつひらがなに戻りますが、すべてひらがなの状態には戻りません

次の操作のために入力した文字をすべて削除します。

☆☆ここまでくれば、練習問題7で理解度を試してください。☆☆

## (15) 英数字の入力

英字や数字も電子メールでは、半角が使えないのかあ～？



タケさん「英字や数字も、電子メールでは半角が使えないのか？」

くじら先生「英字や数字は他の国でも使うから、統一されています。」

タケさん「じゃ、英字や数字は半角でも、全角でもいいのじゃな！」

くじら先生「そうですね。でも大文字と小文字というものが英字にはあります。その辺の入力をマスターしてほしいと思います。」

ウメさん「大きな文字と小さな文字という意味ですか？」

くじら先生「『A』は大文字、『a』は小文字という具合です。



ご年配の方には、ローマ字を習っていらっしゃらない方もいますから、覚えるのが大変かもしれません。

ゆっくり、焦らずに進めていきますので、付いてきてくださいね。」

カタカナの次は英数字にチャレンジしてみましょう。英数字を入力するには、見たままそのまま入力して [F9] キーまたは [F10] キーを押して英数字に変換します。

### ① 英数字の種類

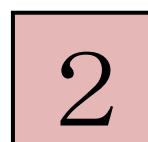
英数字には、全角英数と半角英数があります。



全角英字



半角英字



全角数字



半角数字

全角英数字は横幅の広い英数字、半角英数字は横幅の狭い英数字です。

全角	大文字	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
全角	小文字	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
半角	大文字	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
半角	小文字	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

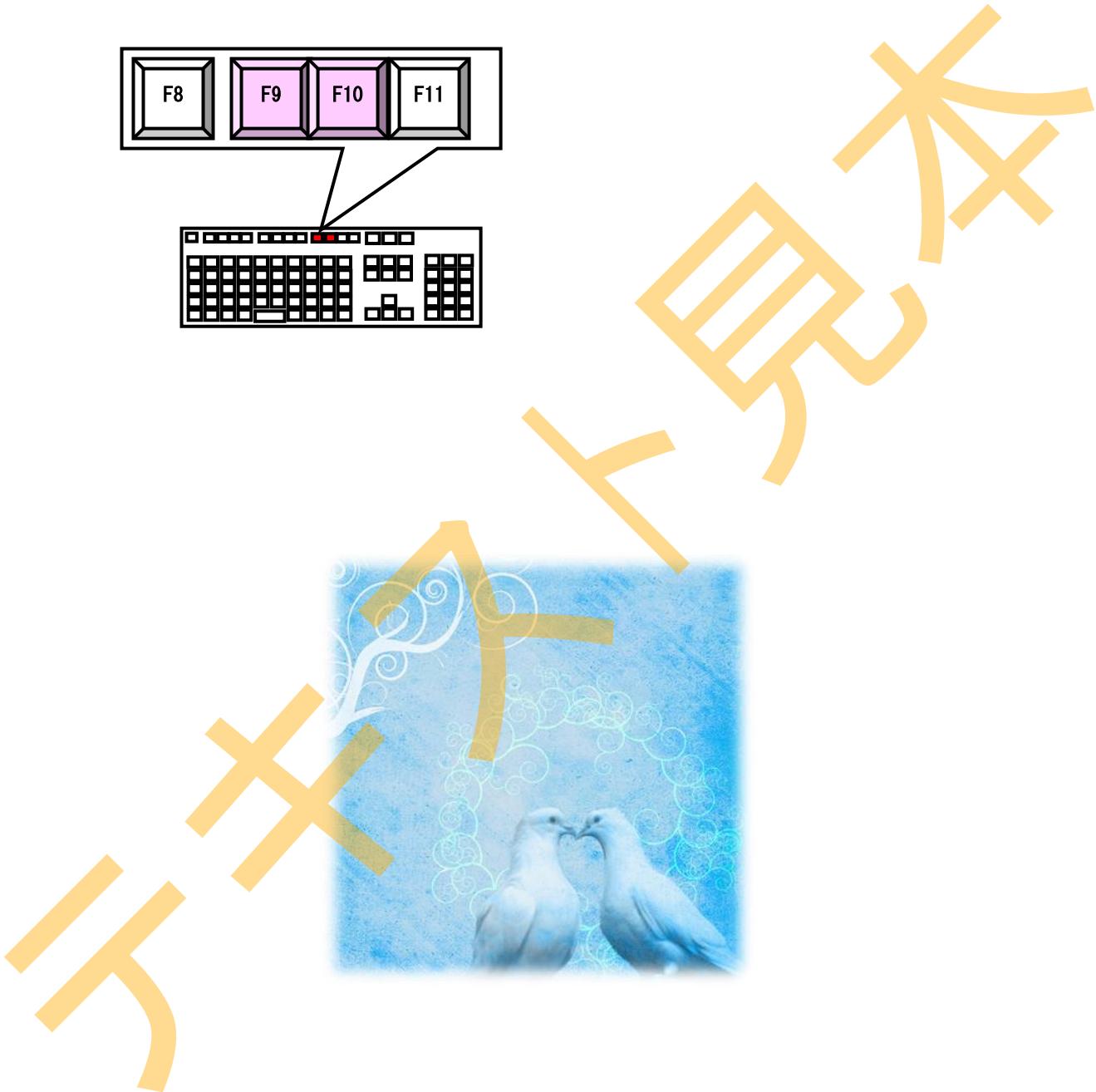
※…全角文字と大文字、半角文字と小文字を混同される方がいらっしゃいますから、ここでよく覚えておいてください。

## ② 全角英数字と半角英数字の入力方法

英数字を入力するには、入力したい英数字をそのまま入力します。

次に確定していない状態（文字の下に点線が入った状態）で [F9] キーもしくは [F10] キーを押して、英数字が表示されたら [Enter] キーで確定します。

- [F9] キー…… 文字を全角英数字に変換します。
- [F10] キー…… 文字を半角英数字に変換します。

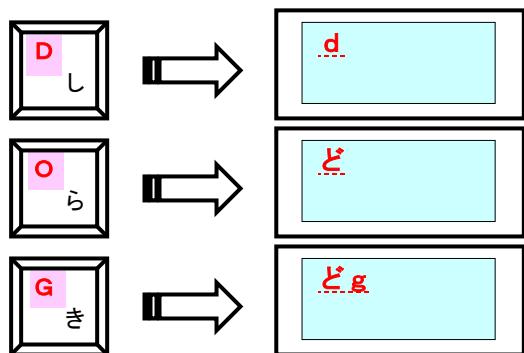


### ③ 全角英字の入力

全角英字で「D o g」と入力してみましょう。

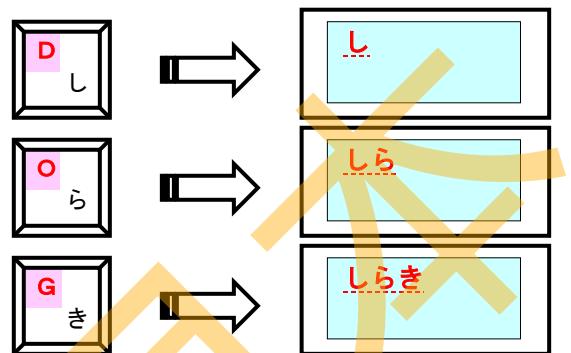
「ローマ字入力」の方

次の順番でキーを打ちます。



「かな入力」の方

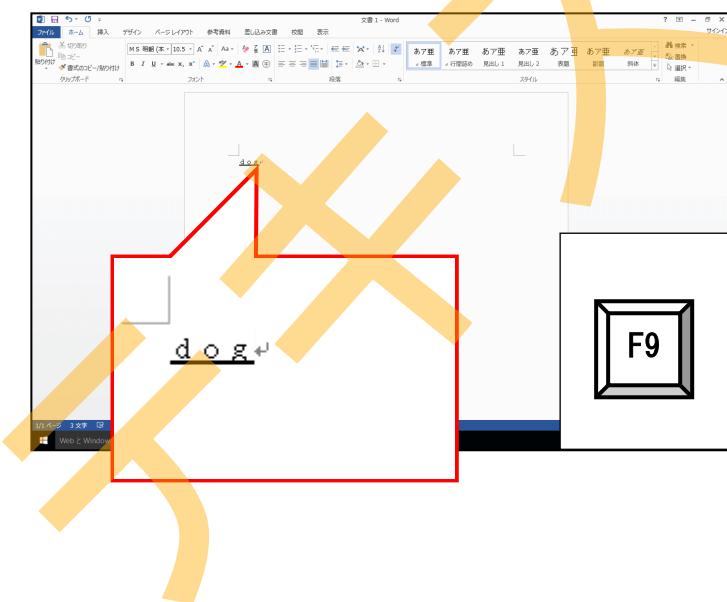
次の順番でキーを打ちます。



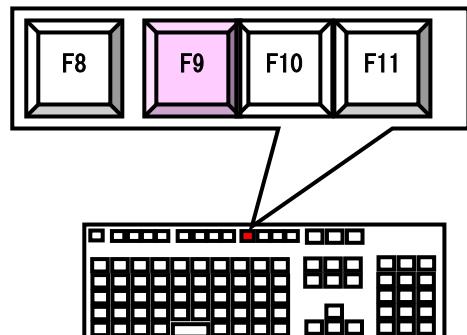
ローマ字入力、かな入力とも意味不明の文字が表示されますか  
気にしないでください。



[F9] キーを押します。



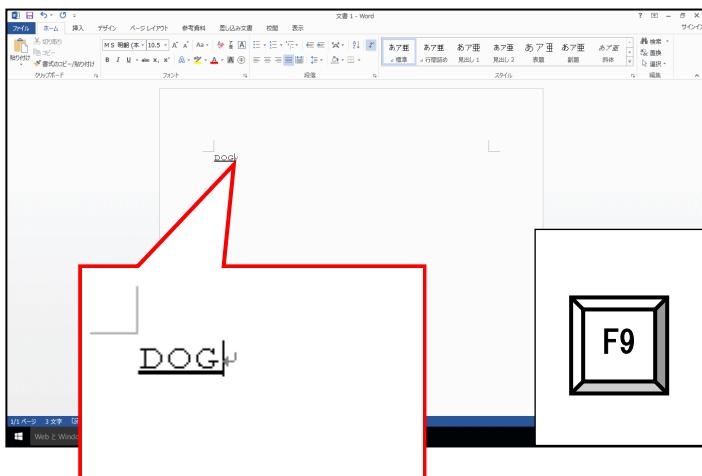
●ここからは、ローマ字入力、かな入力とも同じ操作です。



●1回押すと、小文字になります。

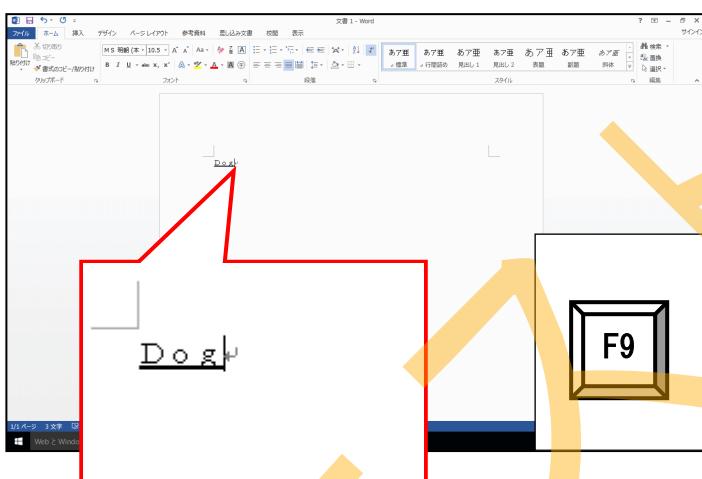


再度 [F9] キーを押します。



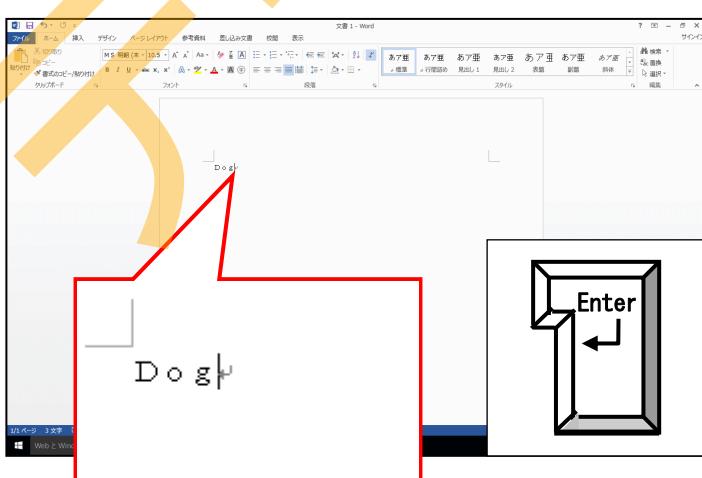
● 2回押すと、すべて大文字になります。

再度 [F9] キーを押します。



● 3回押すと、先頭の文字のみ、大文字になります。

エンター [Enter] キーを押して文字を確定します。



余裕があれば読んでね

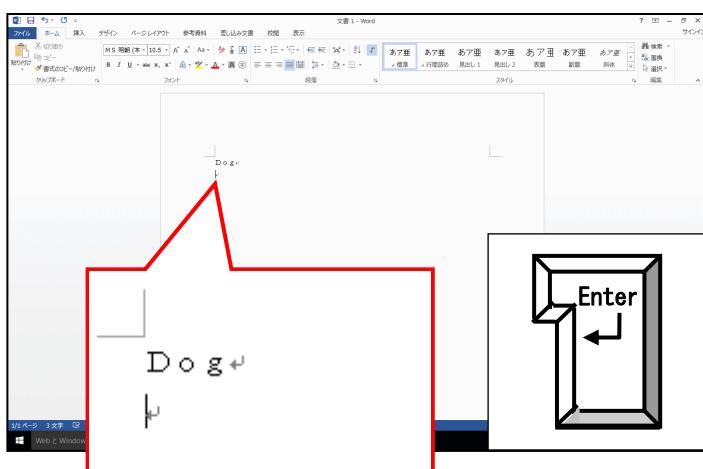
- 1回 [F9] を押すと… dog
- 2回 [F9] を押すと… DOG
- 3回 [F9] を押すと… Dog
- 4回 [F9] を押すと… dog

ローマ字入力の方にありがたい機能 P181

#### ④ 半角英字の入力

1行改行し、半角英字で「Dog」と入力してみましょう。

エンターキーを押して改行します。

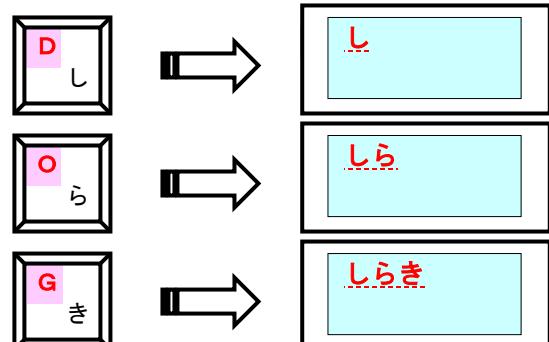
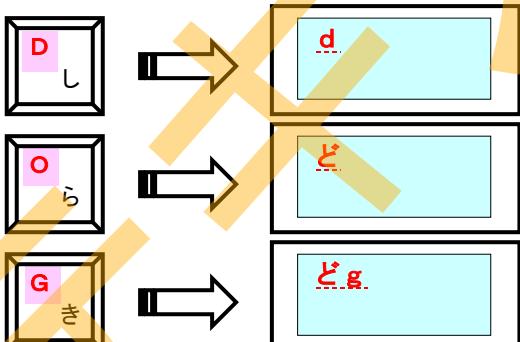


「ローマ字入力」の方

「かな入力」の方

次の順番でキーを打ちます。

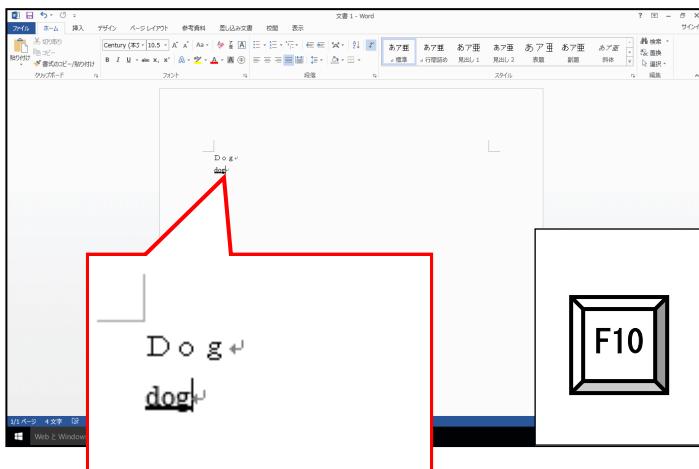
次の順番でキーを打ちます。



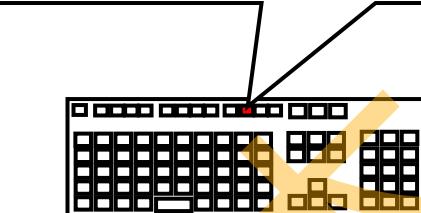
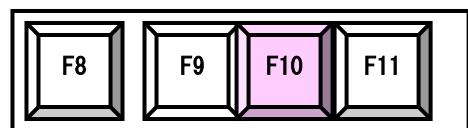
ローマ字入力、かな入力とも意味不明の文字が表示されますが、気にしないでください。



## [F10] キーを押します。

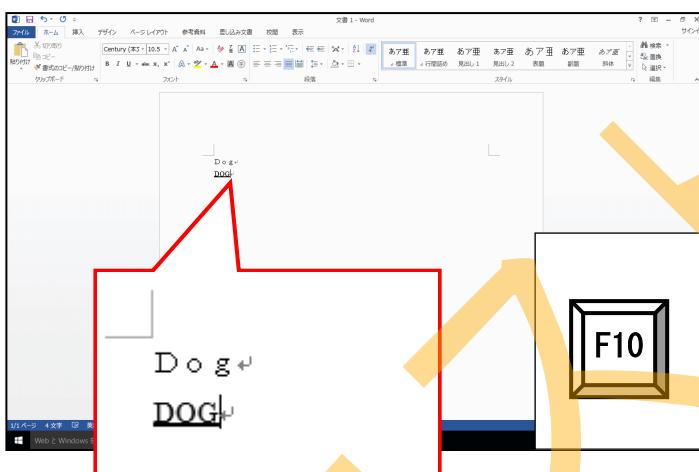


● ここからは、ローマ字入力、かな入力とも同じ操作です。



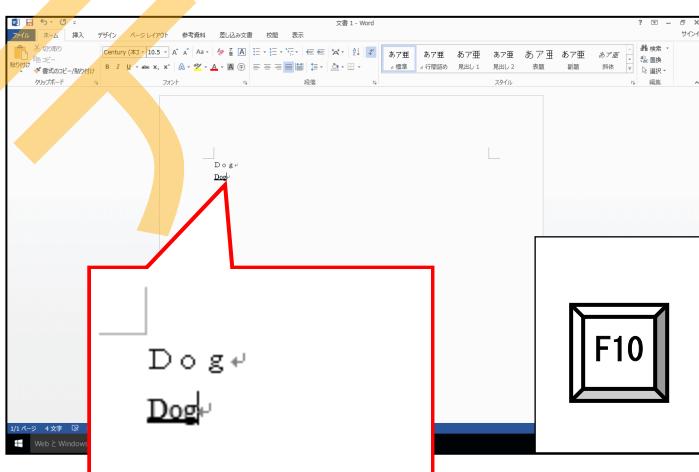
● 1回押すと、小文字になります。

## 再度 [F10] キーを押します。



● 2回押すと、大文字になります。

## 再度 [F10] キーを押します。

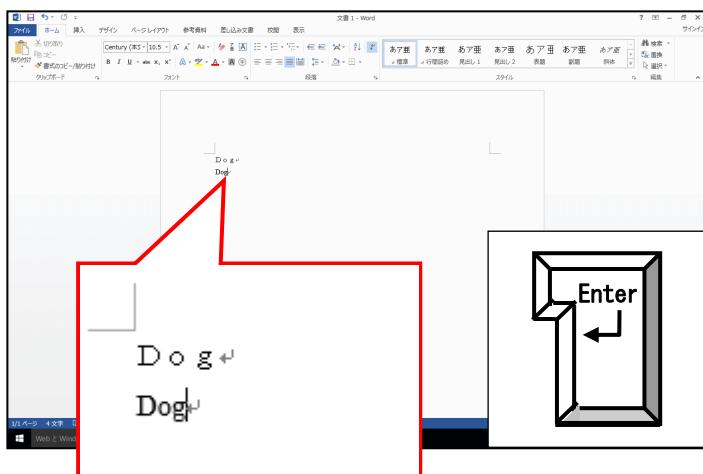


● 3回押すと、先頭の文字のみ、大文字になります。

余裕があれば読んでね

- 1回 [F10] を押すと… dog
- 2回 [F10] を押すと… DOG
- 3回 [F10] を押すと… Dog
- 4回 [F10] を押すと… dog

エンター  
[Enter] キーを押して文字を確定します。

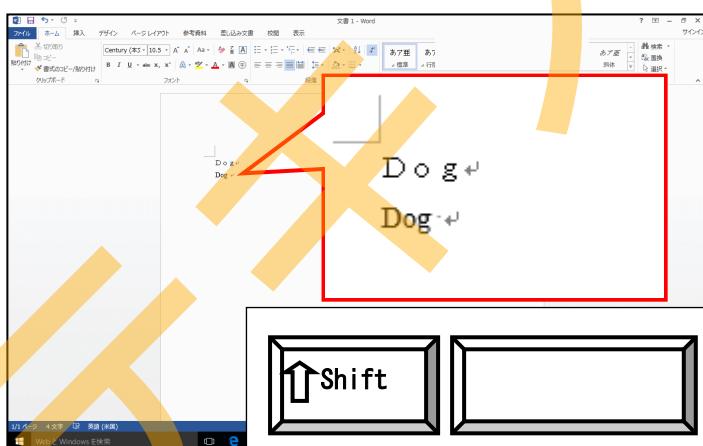


ローマ字入力の方にありがたい機能 P181

## ⑤ 数字の入力

半角スペースを入力し、半角数字で「159」と入力してみましょう。

シフト  
[Shift] キーを押したままの状態で、[スペース] キーを 1 回押し、半角の空白を入力します。



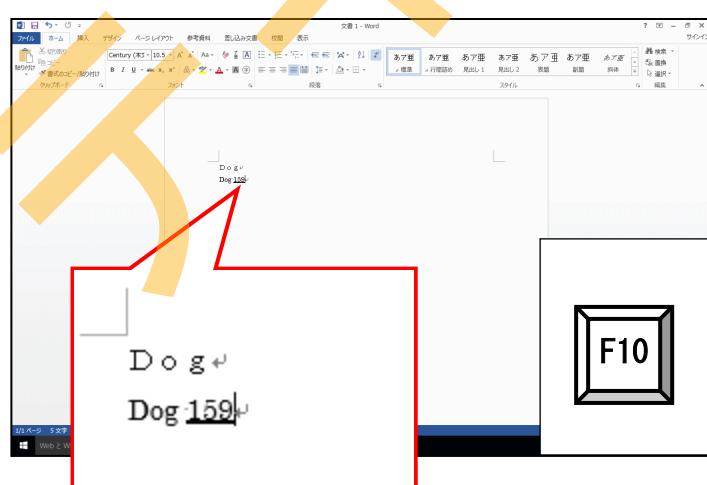
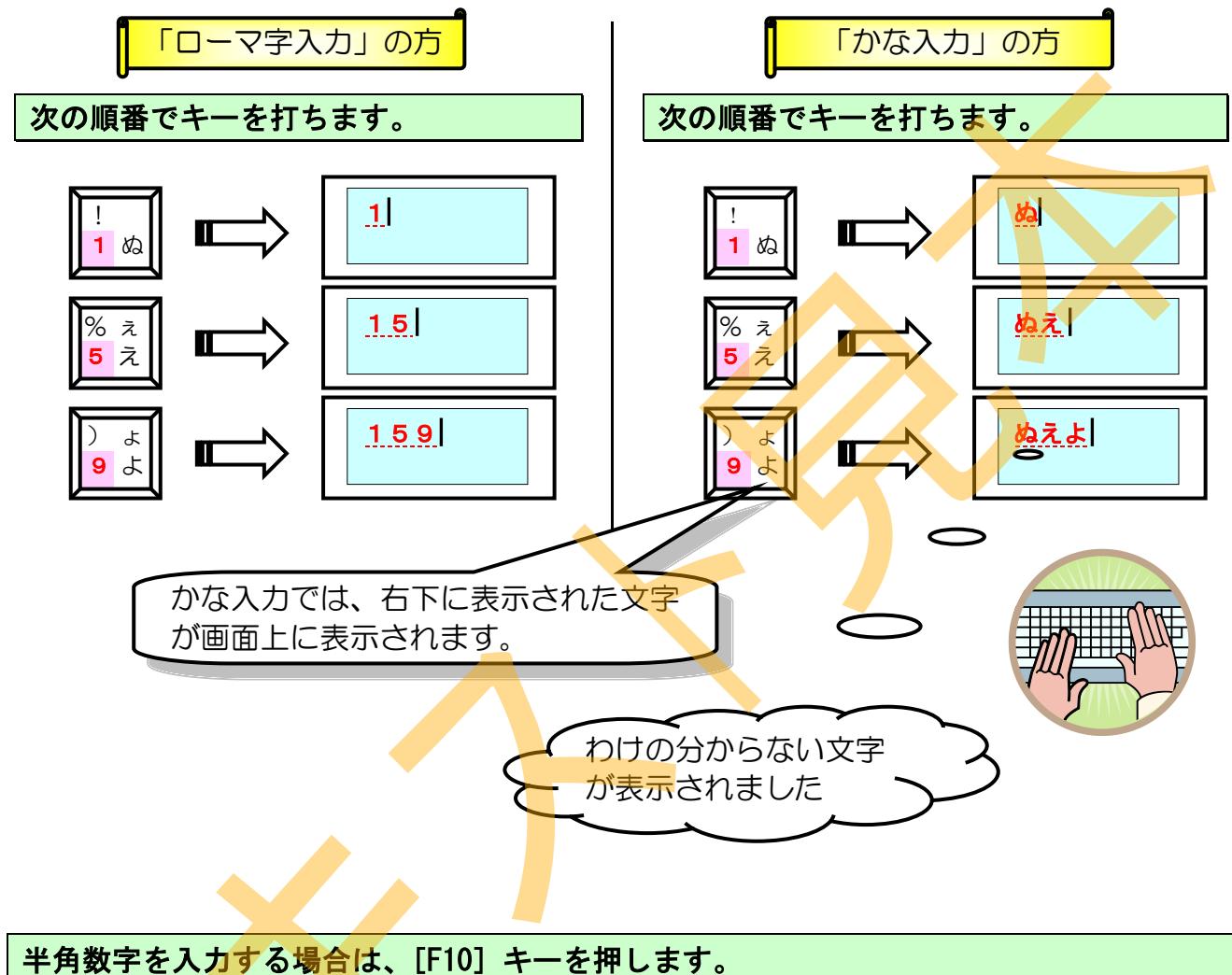
● シフト  
[Shift] キーを押したまま、[スペース] キーを押すと半角スペースが入力されます。

ここでは、数字を入力する方法を説明しています。

P172 (15) ①で述べたとおり、数字にも全角数字と半角数字の2種類があります。

変換の仕方は英字と同じなので英字の変換をマスターされた方は、簡単に操作できるでしょう。数字も英字と同様で [F9] キーや [F10] キーを使います。

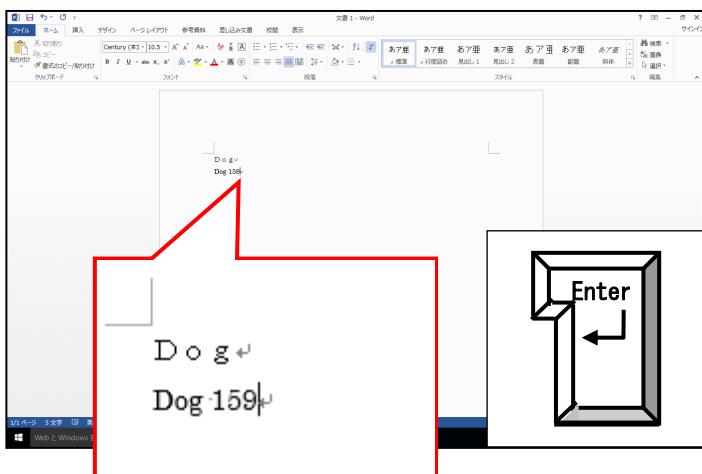
半角英字「Dog」の後に、半角数字で「159」を入力してみます。



● ここからは、ローマ字入力、かな入力とも同じ操作です。

● 全角数字を入力する場合は、[F9] キーを押します。

## センター [Enter] キーを押して文字を確定します。



## 次の操作のために入力した文字をすべて削除します。

### ご参考までに

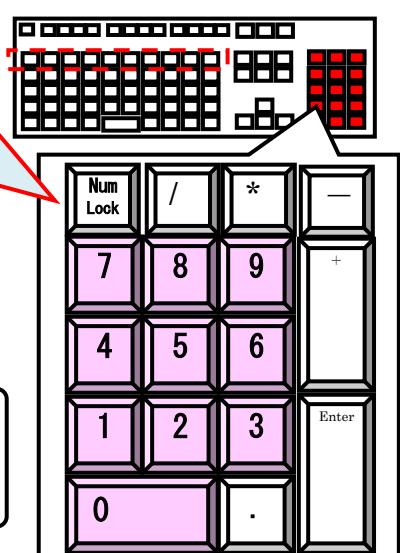
デスクトップパソコン、ノートパソコンには、通常キーボードの右の方に**テンキー**という、数字ばかりが電卓のように並んだキーがあります。ここを使うと簡単に数字が入力できます。このキーは電卓の並びとほぼ同じ並びになっているので、電卓を使い慣れた人にとっては重宝します。

通常、このテンキーを使って入力した数字は半角数字が入力されます。それとは反対にキーボードの上に並んだ数字キー（右下図、赤い点線で囲まれた部分）は、全角数字が入力されます。

それぞれ [F9] キーや [F10] キーで変更することができます。

テンキーを押しても数字が表示されないときは、  
[Num Lock] キーを押すと入力できる状態になります。  
ノートパソコンの中には、[Fn] キーを押した状態で  
[Num] キーを押さないとできないものもあります。  
パソコンによって多少異なりますので、インストラクターにお尋ねください。

ノートパソコンには、テンキーが付いていないものもあり、必要であれば、テンキーのみを購入することも出来ます。

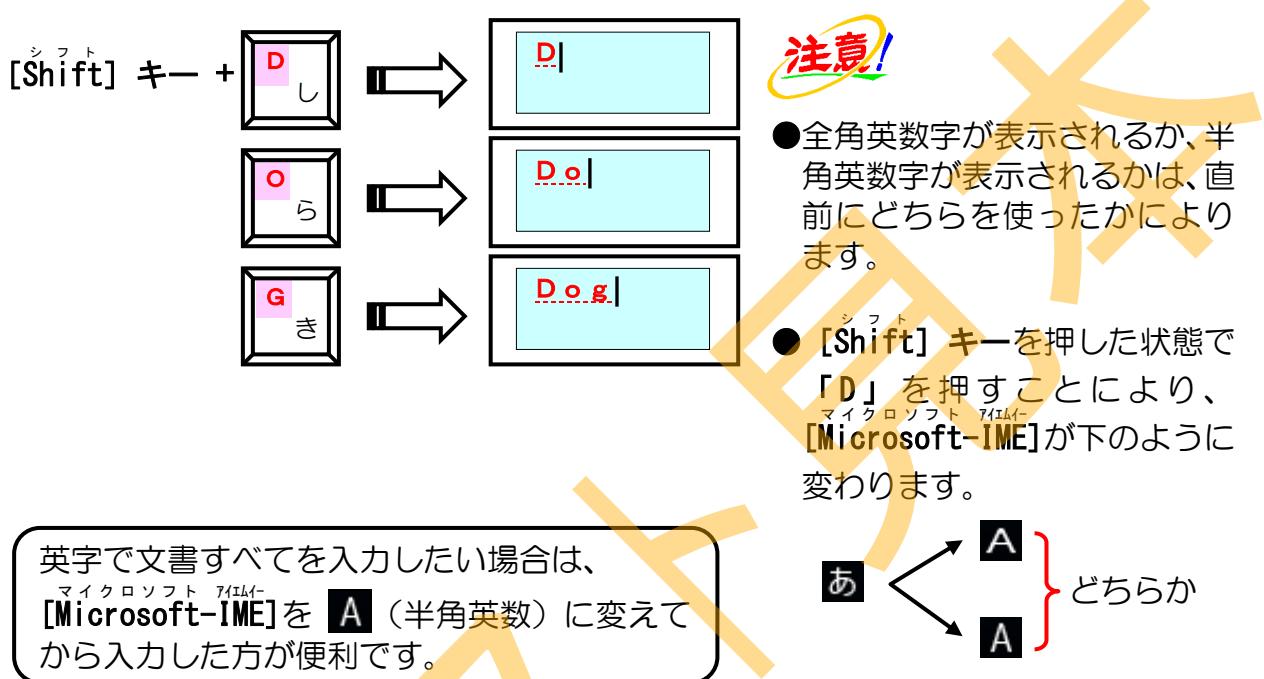


## ●補足説明（その5）P181

### ●P175、P178 ローマ字入力の方にありがたい機能

#### ●ローマ字入力の方にありがたい機能

英数字を入力する場合、[Microsoft-IME]が「あ」の状態で入力できますが、P174に記載されている方法で入力すると、正しく入力されているか画面で確認することが困難です。そこで [Shift] キーを押したままの状態で「D」を押すと簡単に入力できます。



☆☆ここまでくれば、練習問題8で理解度を試してください。☆☆

## (16) 特殊文字の入力

### 特殊文字ってどんな文字なのかしら？

ウメさん「特殊文字ってどんな文字なのかしらね？」



くじら先生「特殊文字とは、このテキストでこれまで習ってきた文字以外の文字をいいます。

文書を作成する上で、『○』『△』『□』などは頻繁に使うと思いますが、いかがでしょうか？」

ウメさん「そうですね。たぶん文書を作成する機会が増えてくると、使いたい文字もたくさん出てくると思います。」

くじら先生「これらの文字がパソコンでは文字として登録されていますから、簡単に表示することができるのです。」

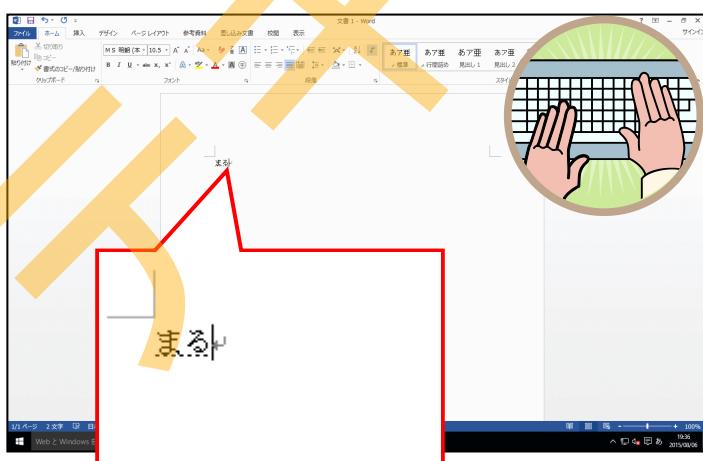


パソコンには、いろいろな特殊文字（記号）が記録されています。これらの特殊文字を画面上に表示させるためには、ちょっとしたコツがいります。といってもそれほど難しくはありません。パソコンをいろいろと触っているうちに自然に覚えられる程度ですから安心してください。

#### ① 記号の入力

「○」という記号を入力してみましょう。

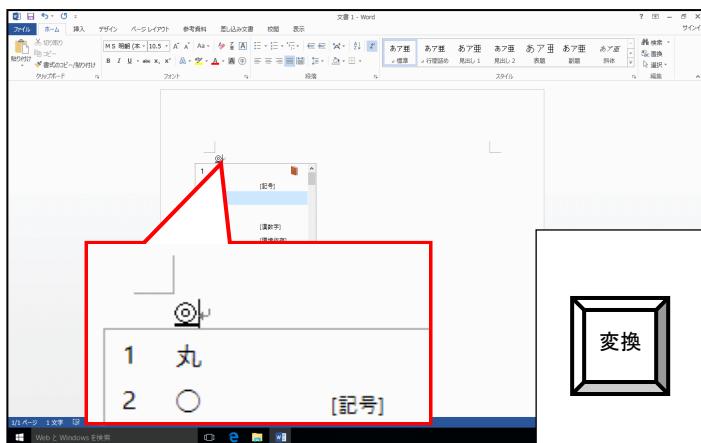
「まる」とひらがなで入力します。



●この方法は簡単に目的の文字が表示できて便利ですが、文字の「読み」が分からないと入力することができません。「読み」が分からぬ場合は、「記号」と入力してから変換しましょう。



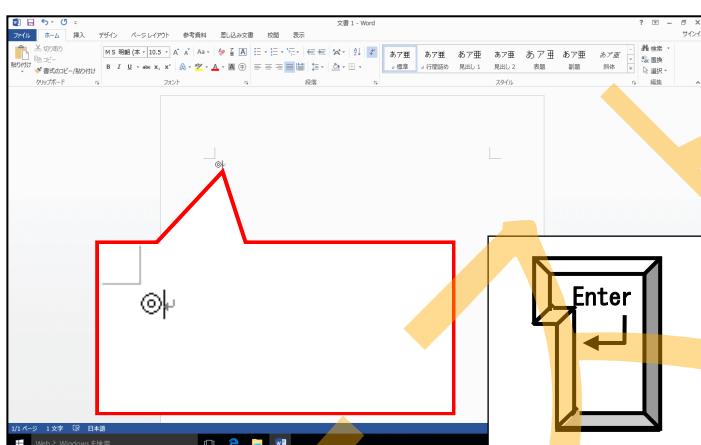
「◎」が反転表示されるまで [変換] キーを押します。



● 「まる」に該当するものだけが表示され、「まる」に関係ない記号は画面に表示されません。



「◎」が反転表示されたところで [Enter] キーを押します。



次の操作のために入力した文字をすべて削除します。



## ② 特殊文字の読み方

下表に記号の例を示しましたので、ご自分で「読み」を入力して目的の記号を表示してみましょう。

読み	入力できる記号
かっこ	( ) [] {} <> 「」『』【】
きごう	± × ÷ ≠ ≤ ≥ ∈ ⊿ ⊥ ⊥ ~ ⊞ ⊞
たんい	°C ¥ \$ ¢ £ % ワツ ミリ ドル キロ mm km m <sup>2</sup> mg
けいさん	+-±×÷=≠<>≤≥
すけい	☆★○●○
おなじ	ヽ バ ド ド リ 全々
まる	○●○①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭
やじるし	↑ ↓ ←→ ⇔ ⇒
かぶしきがいしゃ	(株) (株)KK
ゆうげんがいしゃ	(有) (有)
ほし	☆★※
でんわ	TEL
れいわ	令和
へいせい	㍻
しょうわ	㍻
たいしょう	㍻
めいじ	㍻
おす	♂
めす	♀
るーと	√
むげんだい	∞
おんぶ	♪
ゆうびん	〒
から	～
せくしょん	§

①や②などの丸付き数字は「1」「2」など数字を入力して【変換】キーを押した方がすばやく入力できます。

元号は、半角表示が記号です。  
注意して入力しましょう。

これ以外にも、いろいろと読み方がありますからチャレンジしてみましょう。

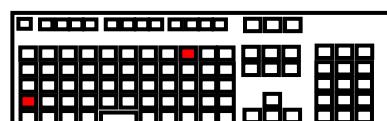
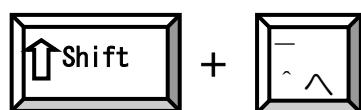
ご参考までに

特殊文字の補足説明

P186

### ■ 「～」の入力方法

上記の例では、「から」と入力して、【変換】キーを押すことで入力するように記載していますが、【Shift】キーを押しながら、ひらがなの「へ」キーを押すことにより、一発で「～」を表示することができます。



※…かな入力の方は、【F9】キーを押す必要があります。

## (17) 句読点やかっこの入力

次のキーを使って句読点やかっこなどを打ちます。

### ■ローマ字入力の場合

使用するキー	入力される記号	入力方法
	、(読点)	そのまま打ちます
	。(句点)	そのまま打ちます
	・(中点)	そのまま打ちます
	ー(長音)	そのまま打ちます
	「(開きかっこ)	そのまま打ちます
	」(閉じかっこ)	そのまま打ちます

### ■かな入力の場合

使用するキー	入力される記号	入力方法
	、(読点)	Shiftキーを押したまま打ちます
	。(句点)	Shiftキーを押したまま打ちます
	・(中点)	Shiftキーを押したまま打ちます
	ー(長音)	そのまま打ちます
	「(開きかっこ)	Shiftキーを押したまま打ちます
	」(閉じかっこ)	Shiftキーを押したまま打ちます
	。(濁点)	かな文字キーの後で打ちます
	。(半濁点)	かな文字キーの後で打ちます

## (18) 変則的な入力文字

ローマ字入力では、入力される記号が変則的なキーがあります。F9、F10キーを使って本来の記号に戻すことができます。

入力キー	入力される記号	F9 (全角)	F10 (半角)
{ 〔 〔 〔 〕 〕	「	〔	〔
〕 〕 む む	」	〕	〕
＜ ね ね	、	、	、
＞ る る	。	。	。
？ め め	・	／	／

普通の文字は、単独で押すとキー左下の文字が入力されます。これらのキーは右上の文字が入力されます。

ここまで終わると、ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字、記号・特殊文字の6種類すべての文字の入力方法が理解できたと思います。これでやっと、パソコンを使って文書を入力する基礎の部分がマスターできたわけです。これまでと同じ要領でコツコツと学習を積み重ねていくことにより、いろいろなことをマスターしていきましょう。

### ●補足説明（その6）P186

#### ●P184 特殊文字の補足説明

●次のように入力して変換するとすばやく表示することができます。

●や◎は『まる』と入力、△や▼は『さんかく』と入力して変換
■、□、◇や◆は『しかく』と入力して変換
( )、「」、「」や【】は『「』や『』』を入力して変換
(株)は『かぶ』と入力、(有)は『ゆう』と入力して変換
∞は『むげん』と入力して変換
※は『こめ』と入力して変換

☆☆ここまでくれば、練習問題9で理解度を試してください。☆☆

## 7. 文章の入力

ここまででは、単語単位で変換して文字を入力してきましたが、ここからは文節で区切って変換することにチャレンジしてみましょう。その後、1つの文章を入力し終わってから変換してみましょう。

### (1) 文節を変換する

**やっとここまで来たぞ、もう少しで文字入力も終わりだね！**

パパさん「やっとここまで来たぞ、いろいろ入力できるようになって  
もう少しで文字入力も終わりだね！」

ママさん「そうね、もう少しね！」

くじら先生「そうですね。ただ、ここはこのテキストでは一番難しい部分です。  
みなさん、その時は理解されるのですが、すぐ忘れてしまいます。  
絶対にマスターしてください。とは言いませんが、極力覚えておいて  
ほしいところです。」

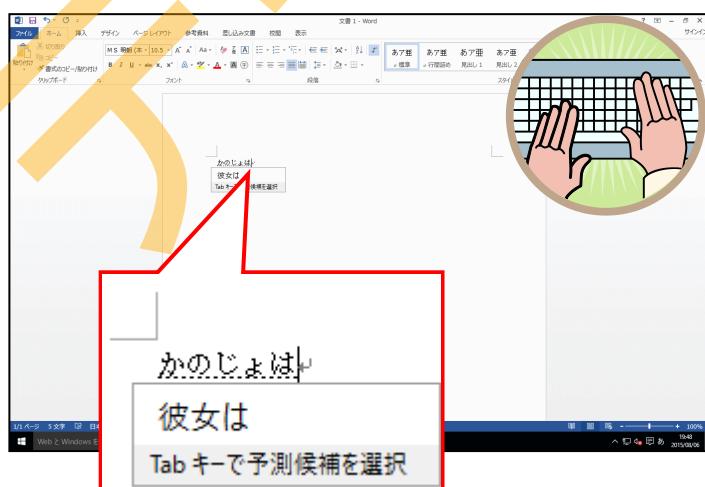


下の文章を作成しますが、「文節の入力」「変換」という1つの操作を繰り返し、1つの文章に仕上げていきましょう。文節とは、文章を意味がわかる程度に区切ったものをいいます。

彼女は明るい社会人です。

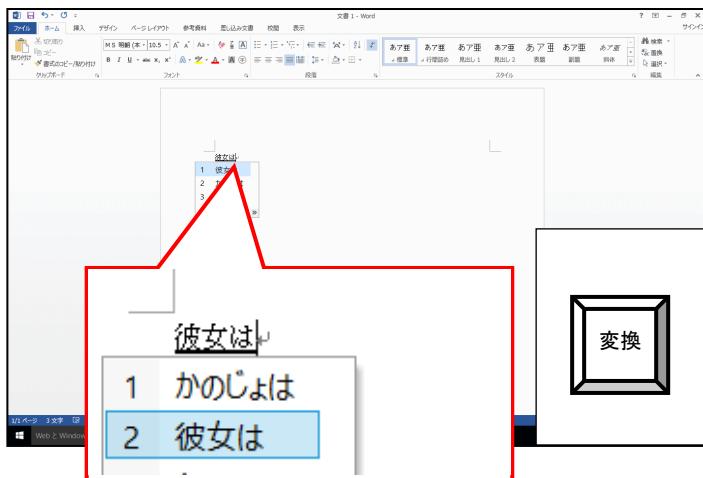
文節ごとに区切ると  
「彼女は」 「明るい」 「社会人です。」

**「かのじょは」と入力します。**



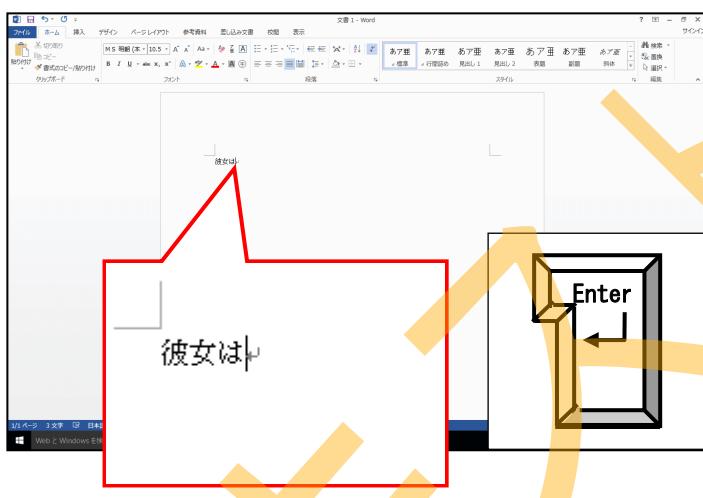
- 文節の区切りの「かのじょは」までを入力します。

[変換] キーを押します。



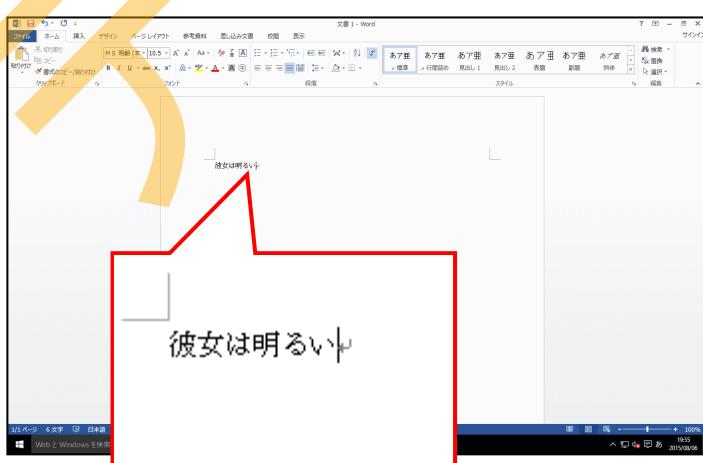
本

[エンター] キーを押して、文字を確定します。

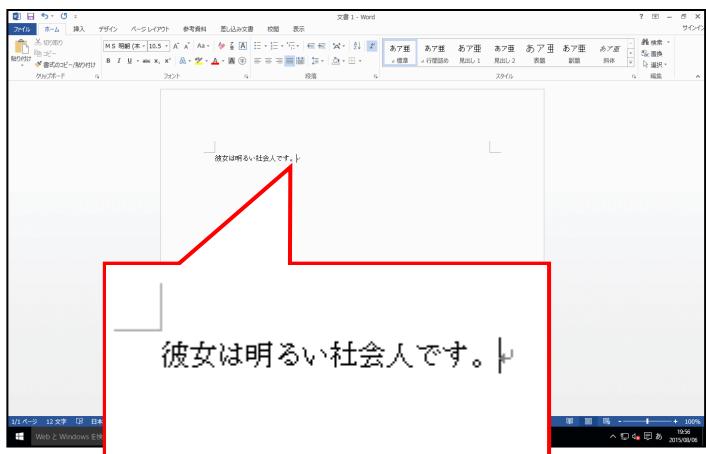


日本

次は「あかるい」と入力して「明るい」に変換し、確定します。



次は「しゃかいじんです。」と入力して「社会人です。」に変換し、確定します。



文字の確定を省略する方法

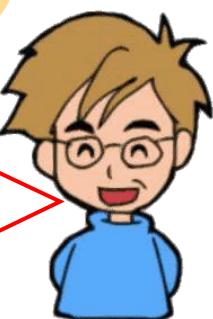
P189

次の操作のために入力した文字をすべて削除します。

話し言葉の中で確認する意味で使う「ね」を入れてみると、文節の切れ目がわかりやすくなります。

彼女は（ね）明るい（ね）社会人です。（ね）

文字入力に慣れるまでは1つ1つの文節を丁寧に変換していきましょう。少し慣れてくると、いくつかの文節をつなぎ合わせて一度に変換できるようになります。



### ●補足説明（その7）P189

### ●P189 文字の確定を省略する方法

●確定しないで次の文字を入力すると前の文字が確定されます。

- 「かのじょは」と入力し、「彼女は」に変換します。

彼女は

- 「彼女は」の文字が確定しない状態（下に実線が入った状態）で、「あかるい」を入力し変換します。

彼女は明るい

- 「明るい」の文字が確定しない状態（下に実線が入った状態）で、「しゃかいじんです。」を入力し変換します。

彼女は明るい社会人です。

- 【Enter】キーを押して文字を確定します。

彼女は明るい社会人です。

☆☆ここまでくれば、練習問題10で理解度を試してください。☆☆

## (2) 文章を変換する

### なんだか、今度のは難しそうなんだけど、大丈夫かな？

ママさん「今度は1回1回文字を確定しながら文章を入力する方法ではないのね！」



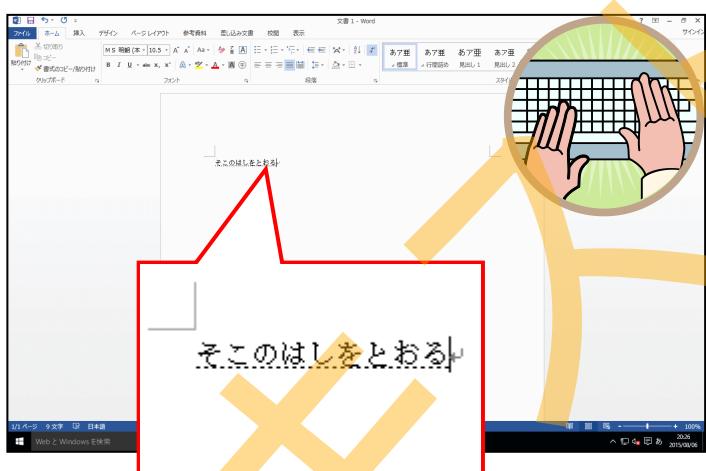
パパさん「一気に文章を入力すると、下に細い線やら太い線が出てきてこれをどうにかするみたいだけどなあ～。」

くじら先生「パパさんのおっしゃる通り、その細い線やら太い線がパソコンが判断した区切りで、文節の区切りといいます。日本語は同じ言葉でも色々な意味にとれる言葉がたくさんあります。そこで私たちがどの言葉が正しいかを、文節を区切ることによってパソコンに教えながら、変換していくかなければなりません。」



ここでは、「そこのはしをとおる」の文節を区切って、「そこの橋を通る」に変換していく方法を説明します。

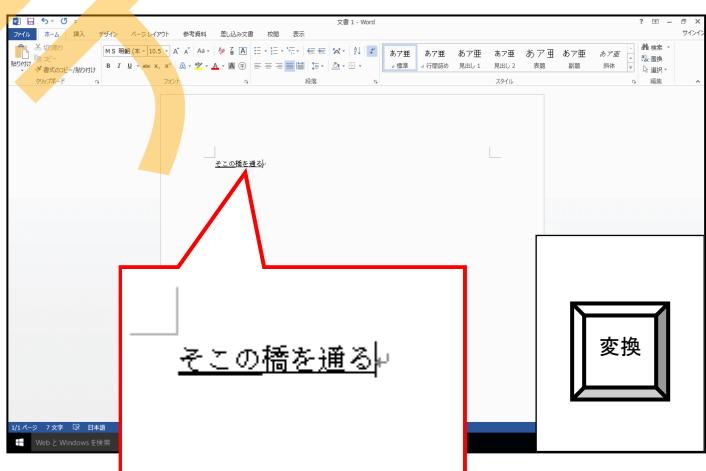
「そこのはしをとおる」と入力します。



注意!

● エンター [Enter] キーを押してしまうと、文字が確定してしまうので、  
エンター [Enter] キーを押さないようにしましょう。

[変換] キーを1回押します。

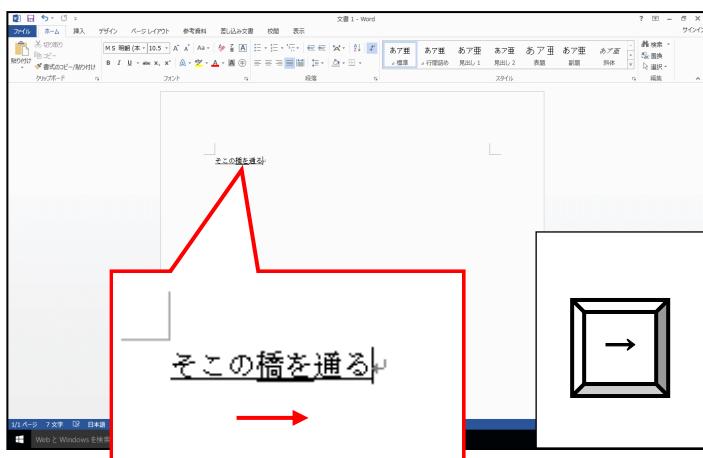


●一度 [変換] キーを押したところで、パソコンが認識した文節の区切りが分かるようになっています。  
太い実線の部分が変換の対象です。  
線と線の切れ目が、パソコンが認識した文節の切れ目です。

注意!

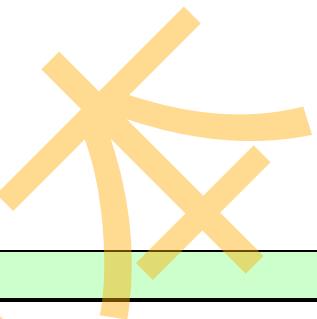
●細い実線のところを変換するには、  
そこを変換の対象に指定してから  
[変換] キーを押す必要があります。

[→] キーを1回押して変換の対象を「橋を」に移動します。

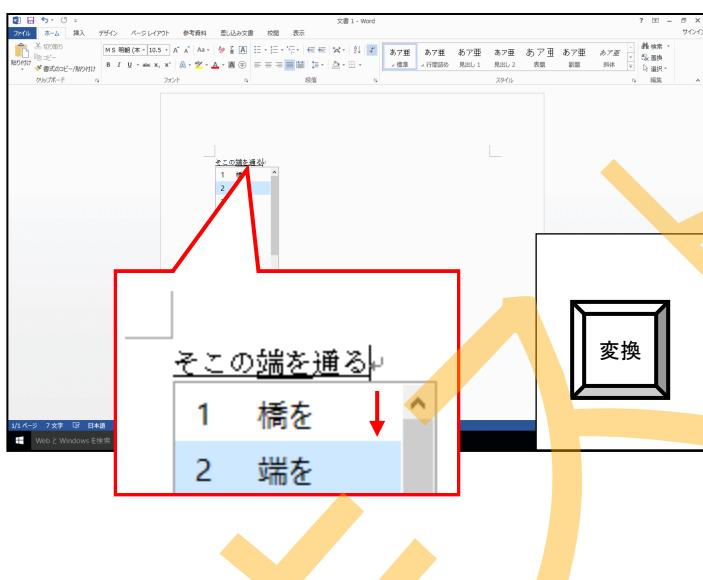


● [→] キーを押すことで、変換の対象になっている文節を右に移動します。

● 「端」が最初から表示されている方は、3段目にお進みください。



目的の文字が表示されるまで [変換] キーを押します。



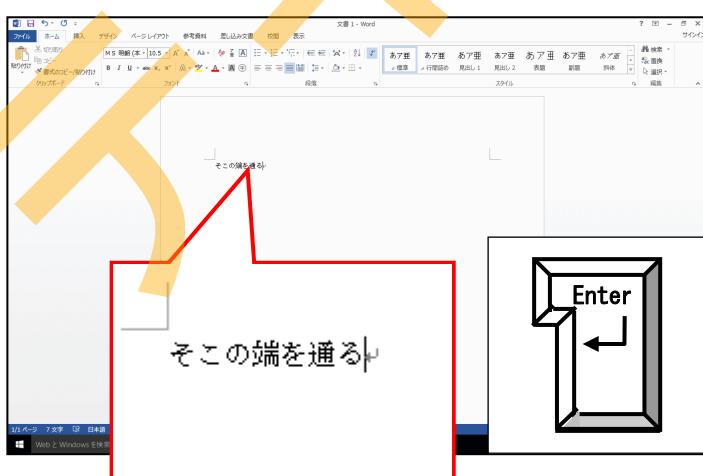
● [変換] キーを押すと、変換の候補を下に移動します。

余裕があれば読んでね

● 変換の候補を上に移動したい場合は、[Shift] キーを押した状態で [変換] キーを押します。  
また、[↑] キーを押しても上に移動することができます。



[Enter] キーを押して文字を確定します。



● [Enter] キーを押すタイミングは、すべての文字が正しく表示された後です。



● よく1つの文節が正しく表示されたところで [Enter] キーを押してしまいますが、これでは入力した文字がすべて確定してしまいます。

次の操作のために入力した文字をすべて削除します。

文節ごとに変換することは、最初難しいと思われるかもしれません。でも慣れてくるとそんなに難しいものでもありません。私だって理解できたのだから…パソコンを使うには、文節ごとに区切って変換しないといけないと思わないでください。自分が区切りたいところで区切って変換すればいいのですから。ただ、少しでも早く文章を入力したい方は、文章をできるだけ長く打ってから変換すると、パソコンは前後の文章を判断して最適な文字を表示してくれるようになっているため、長く入力してから変換するように心がけた方がいいのです。単語ごとに変換して文字を入力することがいけないわけではありませんし、私はそれで十分という方は、無理やり覚える必要はありません。

(難しいと思う方へ)

「そこの」を入力 [Enter]、 「はしを」を入力 [変換] + [Enter]、 「とおる」を入力 [変換] + [Enter]、 これで十分です。

☆☆ここまでくれば、練習問題11で理解度を試してください。☆☆



### (3) 文節の区切りを変更する

## こんな機能、わたしたち覚える必要があるのかしら？

ウメさん「こんなのわたしたち、覚える必要があるのかしら？」



タケさん「そうじゃのお～。わたしたちは1つ文節を入力しては変換するという方がいいと思うんじゃがのお～。」

くじら先生「文節で区切ったからと言って、パソコンが認識する文節と同じとは限らないのです。たとえば、下の例でいくと、ウメさんやタケさんは『いま』で区切って変換しますよね。でも、パソコンは『い』と『ま』を別々に区切ってしまう可能性だってあります。そのような時は、文節の区切りを正してやらないとわたしたちが思ったように変換してくれません。おふたりとも頑張って、チャレンジしましょう。」



入力したい文字が「今歯医者に着いた」だったのに、「今は医者に就いた」と表示されてしまうことがあります。このようなことは、変換するときの文節の区切りが、自分が思ったものとパソコンが思ったものが食い違ったために起こります。

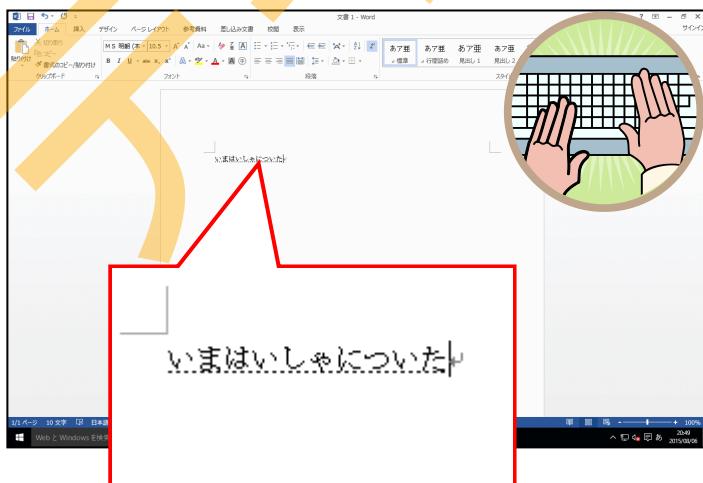
#### 文節ごとに変換するときのポイント

パソコンが認識した文節と違う区切りで変換したい場合は、正しく文節を区切りなおしてから再度変換することです。

区切る場所が違うとこのように変換される

今	歯医者に	着いた
今は	医者に	就いた

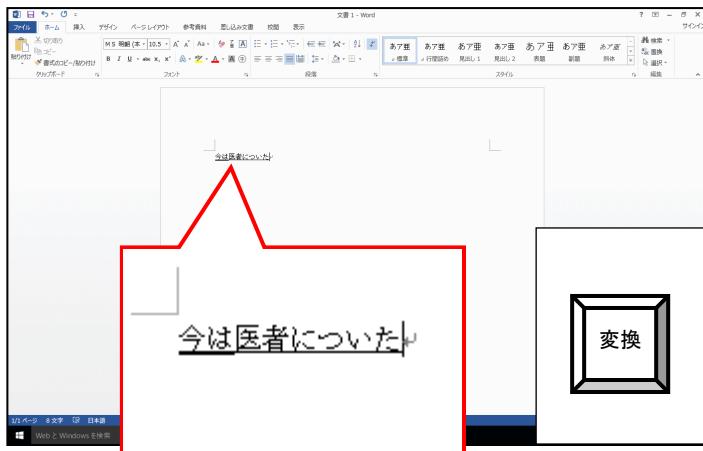
「いまはいしゃについた」と入力します。



● エンター [Enter] キーを押してしまうと、文字が確定してしまうので、エンター [Enter] キーを押さないようにしましょう。

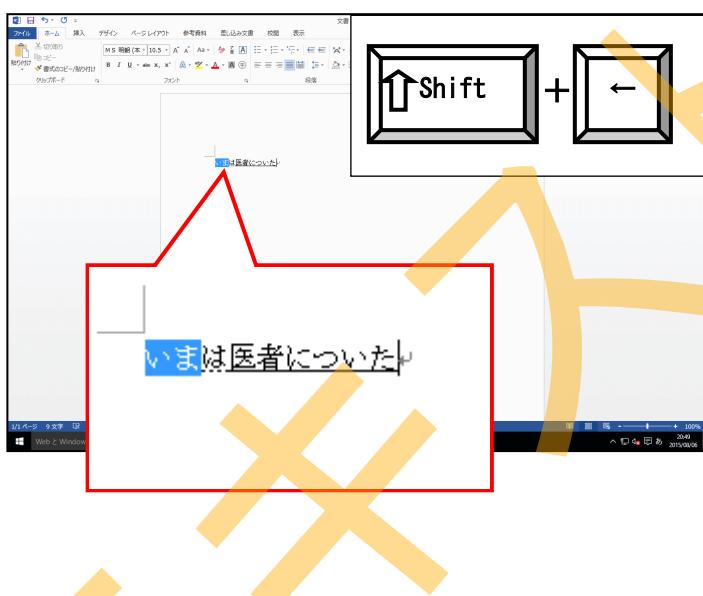


## [変換] キーを 1 回押します。



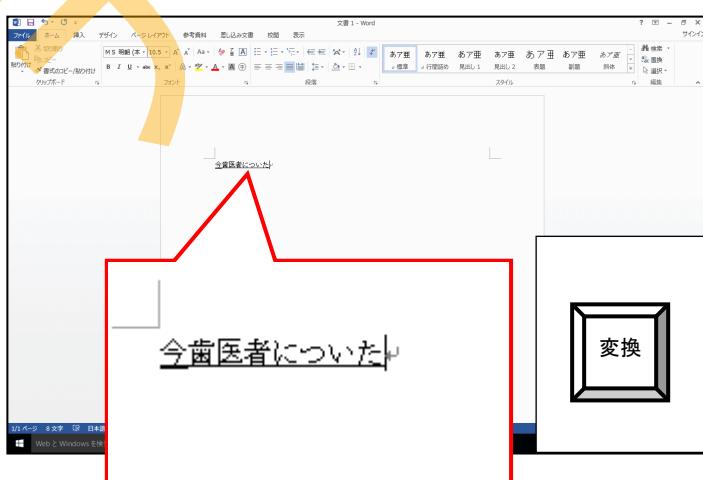
- 表示された文字が同じとは限りません。
- パソコンは機械であり、人間のように感情を持っていません。人間なら、そのときの人の表情や発音などから、判断できますが、パソコンはそれができないため、勝手に文節を区切ってしまいます。
- 左の場合、「今は」、「医者に」、「ついた」がパソコンが認識した文節の区切りを表しています。そして、「今は」だけが太い実線になっているのは、「今、変換の対象になっているのが、この文字ですよ」と教えてくれている証拠です。

## 文節の区切りが「いま」になるまで、[Shift] キーを押した状態で、[←] キーまたは [→] キーを押します。



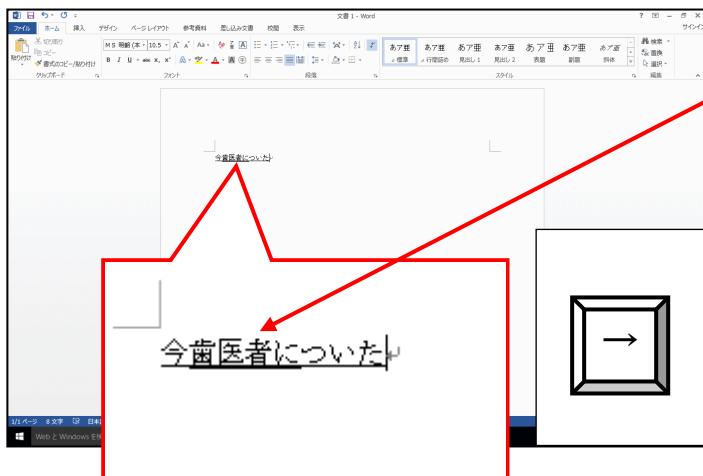
- 反転表示された部分が、文節の区切りです。「いま」に文節の区切りが変更されたことを表します。
  - 上の段と同じ区切りの場合は、[Shift] キーを押した状態で、[←] キーを 1 回押します。
- 注意!**
- 文節を区切る際、[→] キーや [←] キーは、必ず [Shift] キーを押したまま押さないといけません。

## 「今」が反転表示されるまで [変換] キーを押します。



- 反転していた文字の下に太い実線が入りました。変換の対象が「今」に変わったことを意味します。表示されている文字が「今」と同じとは限りません。
- 何回 [変換] キーを押すかはわかりません。1 回で表示されるかもしれないし、2、3回押さないといけないかもしれません。

「今」がうまく変換されたところで、[→]キーを押します。



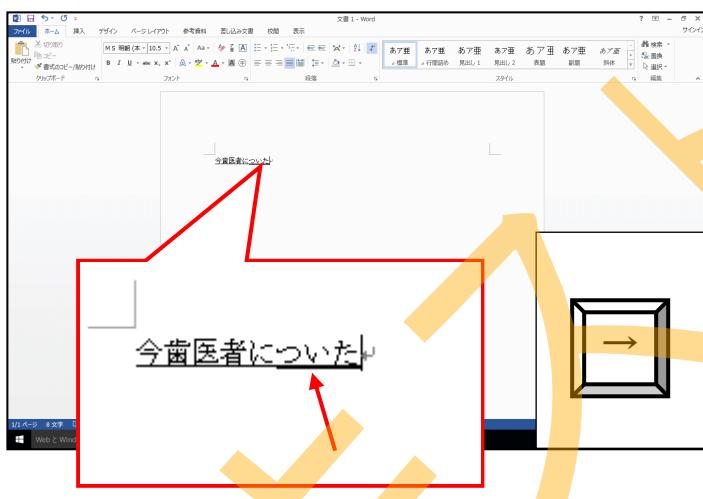
- [→]キーを押すと、左のように変換の対象が切り替わります。



- この状態でよく [Enter] キーを押してしまう方がいらっしゃいますが、[Enter] キーを押すと、すべての文字が確定してしまうので、押さないように注意しましょう。

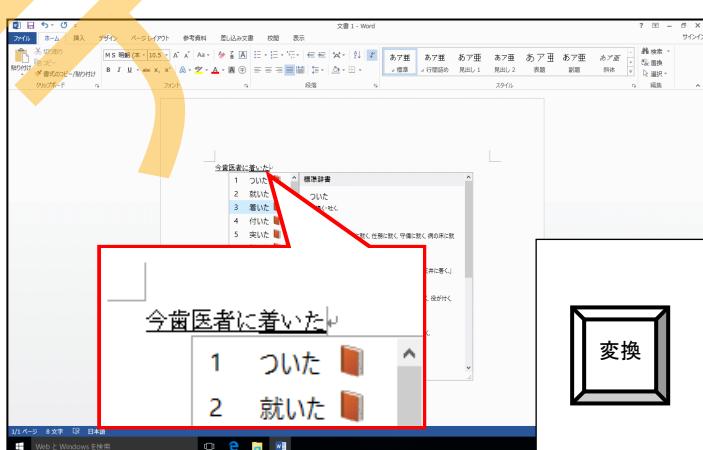


もう一度 [→] キーを押し、変換対象を「ついた」の文節へ移動します。

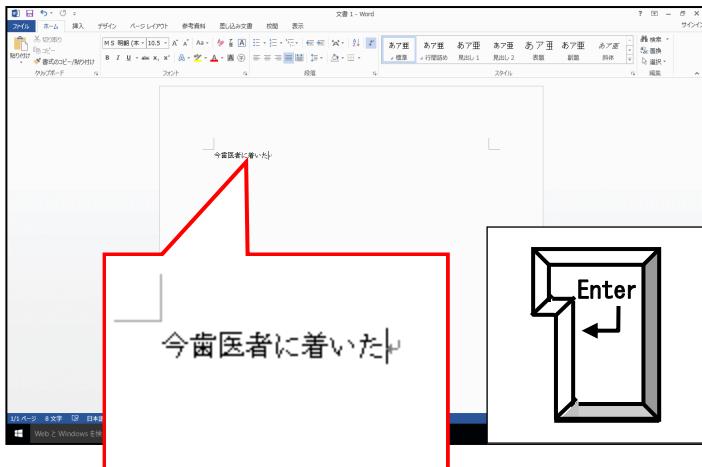


- 「ついた」の文字の下が太い実線になりました。変換の対象が「ついた」に変わったことを意味します。表示されている文字が「ついた」と同じとは限りません。

「ついた」を「着いた」に変換するため、「着いた」が反転表示されるまで [変換] キーを押します。



「着いた」が反転表示された時点での、すべての文字が正しく表示されたので、[Enter]キーを押してすべての文字を確定します。



次の操作のために入力した文字をすべて削除します。

### 文節区切りのまとめ

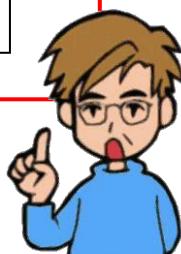
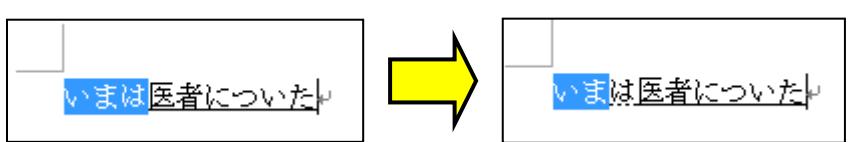
■ 文節の移動 …… [→] キーを押す（または [←] キー）



■ 文節を伸ばす … [Shift] キー + [→] キー



■ 文節を縮める … [Shift] キー + [←] キー



☆☆ここまでくれば、練習問題12で理解度を試してください。☆☆

#### (4) 文字の入力中に誤字に気づいたら

**打つのが遅いから、たくさんの文字を消すのだけは避けたいわね。**

ウメさん「わたしたち、打つのが遅いからせっかく打った文字をたくさん消すことだけは避けたいわね。」



タケさん「20文字も30文字も打った後で、文字を消すとなると10分以上かかるてしまうなあ～。ここは、自分が楽をするためにもよくマスターしておかないと困るなあ～。」

くじら先生「おふたりとも、楽をしたいならマスターしてくださいね。」



ポイントは変換前の状態にして、間違った文字までカーソルを移動させる操作にあります。

文字の確定前に誤字・脱字に気づいたとき、大部分の方は間違ったまま一度文字を確定して、間違った文字まで 【Back Space】キーで削除して正しい文字を入力されています。これでも間違いではありません。しかし、せっかく打ち込んだ文字がもったいないと思いませんか？ そこで次のことをマスターしてもらえば、少しでも操作が減ります。誤字・脱字に気づいたときが 【変換】キーを押す前か、押した後かにより次の2つの方法に分かれます。

**【変換】キーを押す前か、押した後かの判断は、次のとおりです。**

■ **【変換】キーを押す前の状態**

ばそこんおかう

点線の下線

■ **【変換】キーを押した後の状態**

ばそこんおかう

実線の下線

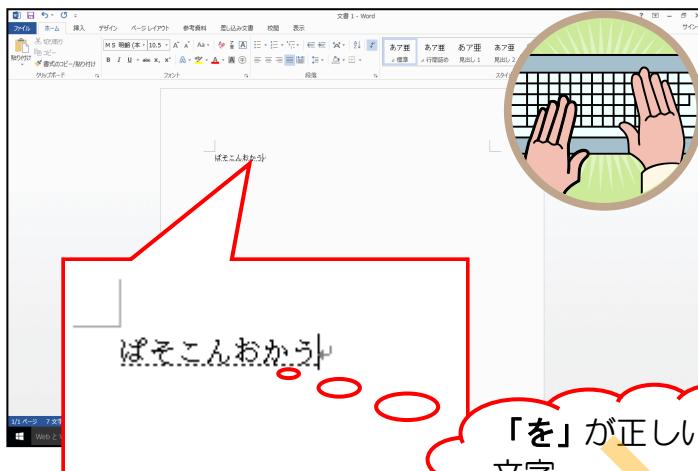
※…画面に同じ文字が表示されていたとしても、下線が実線か点線かにより区別します。

## ① 変換キーを押す前の修正

【変換】キーを押す前は、入力した文字の範囲内でカーソルが自由に動くため、【←】キーまたは【→】キーでカーソルを移動して、間違った文字を修正します。

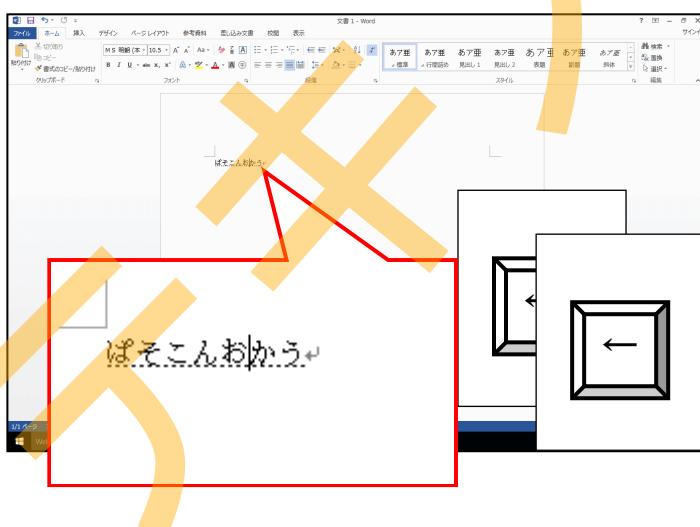
「ぱそこんおかう」と入力して、「ぱそこんをかう」に修正し「パソコンを買う」に変換してみましょう。

「ぱそこんおかう」と入力します。



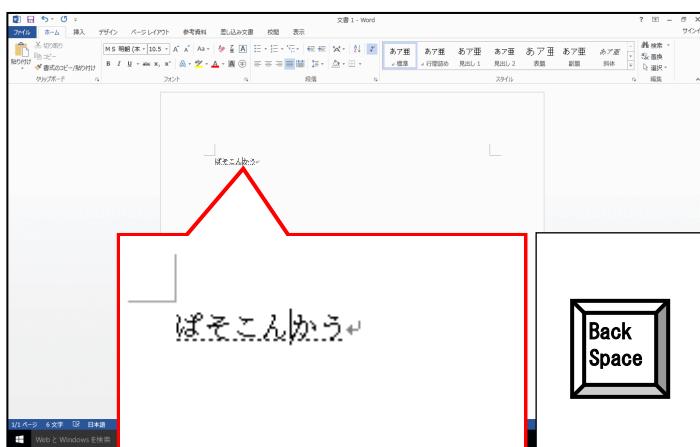
●左に示した誤字は、ローマ字入力の方がよく間違う誤字です。かな入力の方だと、濁点(̄)と半濁点(̄)の押し間違いがよくあります。修正方法はどちらも同じなので、ここでは左のように入力してみましょう。

「お」の後にカーソルを移動するため、【←】キーを2回押します。



●カーソルが別の場所に行っても、あわてず下記のように対処しましょう。【←】キーを押し過ぎたときは、【→】キーを押して「お」の後にカーソルを戻しましょう。

## バックスペース [Back Space] キーを押して、「お」という文字を削除します。

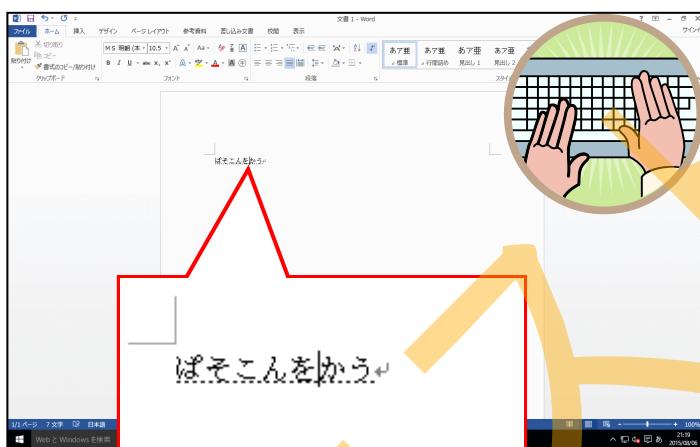


注意!

- 「お」の前にカーソルがある場合は、[Delete] キーで同じように「お」が削除できます。

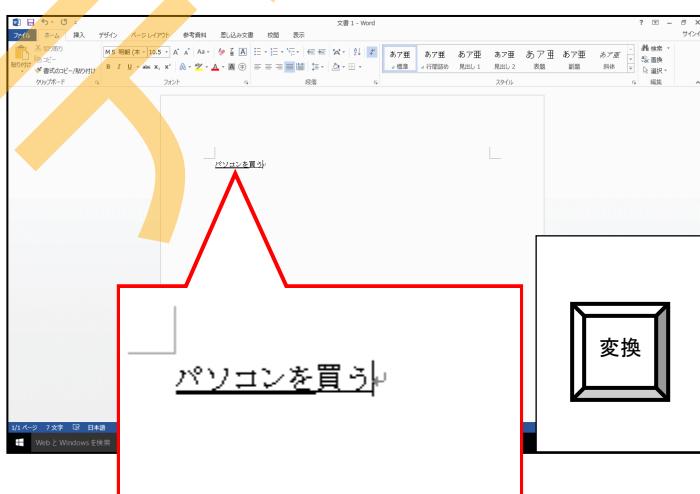
- [Back Space] キーおよび [Delete] キーの使い分けを忘れた方は P136 (9) 間違って入力した文字の消し方に戻って復習しましょう。

## 正しい文字「を」を入力します。



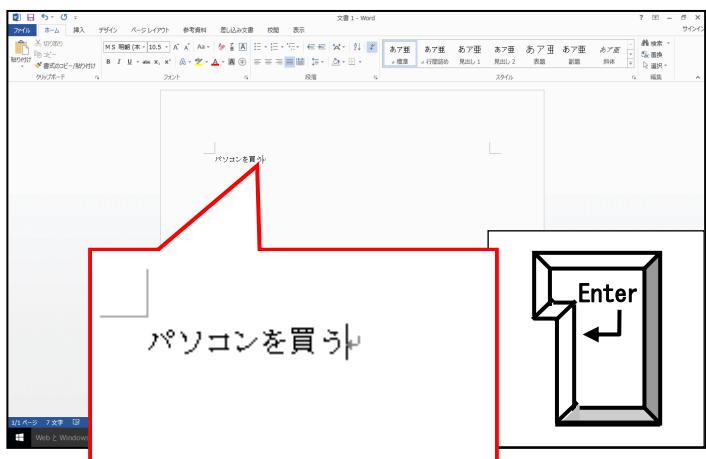
- 「を」という文字を入力すると、今まであった文字が右に移動して入力した文字が挿入されるので、「せっかく入力した文字が消えてしまう」という心配は要りません。

## 正しく入力できたところで [変換] キーを押して文字を変換します。

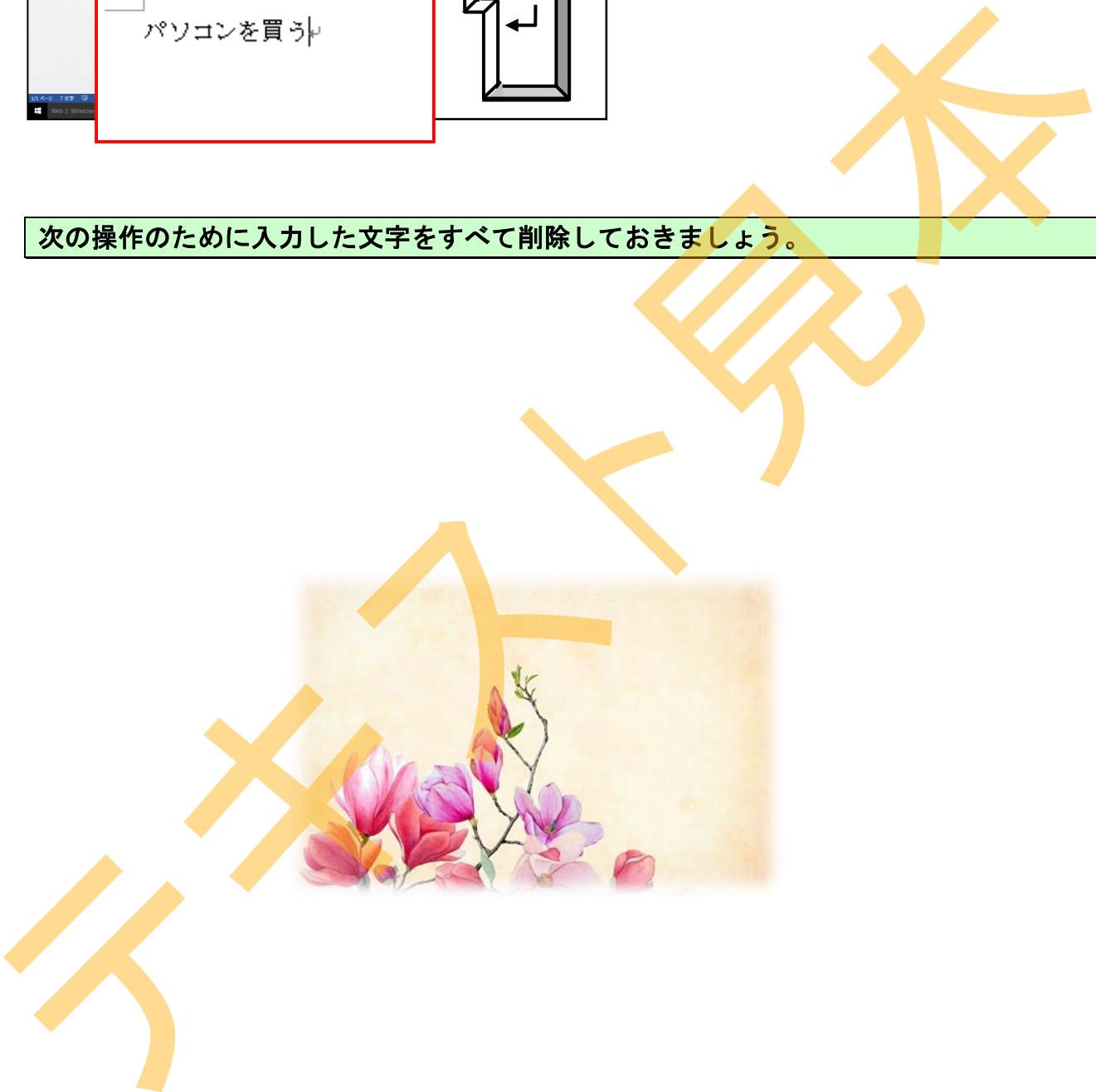


- 目的の文字が表示されなかったら、文節の区切りと変換を繰り返します。文節の区切りの調整方法について忘れた方は P193 (3) 文節の区切りを変更するを再度復習しましょう。

目的の文字が表示されたところで [Enter] キーを押して文字を確定します。



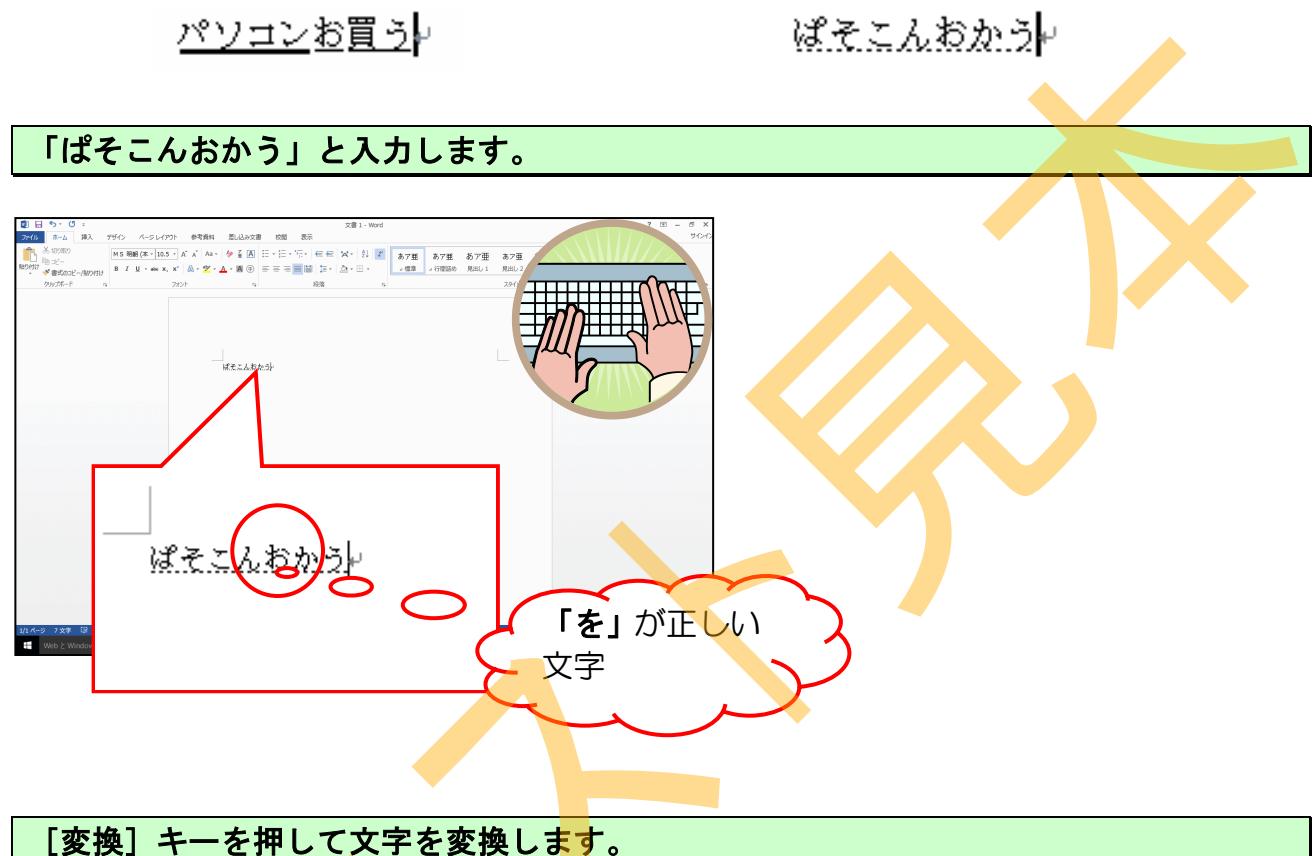
次の操作のために入力した文字をすべて削除しておきましょう。



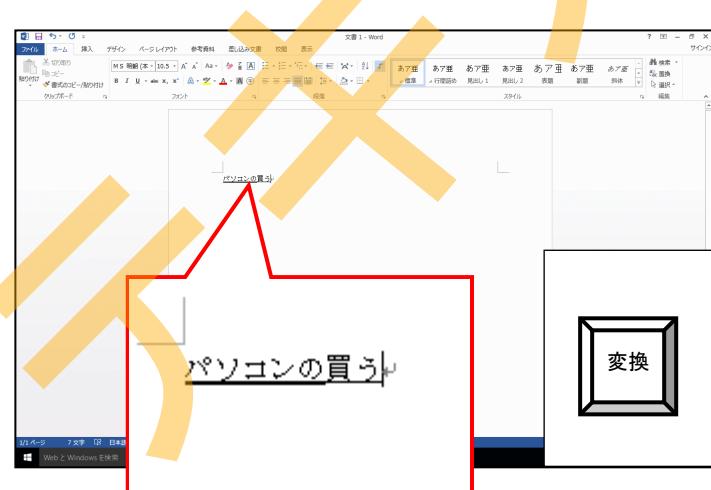
## ② 変換キーを押した後の修正

一度、すべての文字を【変換】キーを押す前の状態に戻したほうが修正しやすくなります。  
(部分的に変換前の状態に戻す方法もあります)  
「ぱそこんおかう」と入力して、「ぱそこんをかう」に修正してみましょう。

### ■ [変換] キーを押した後の状態

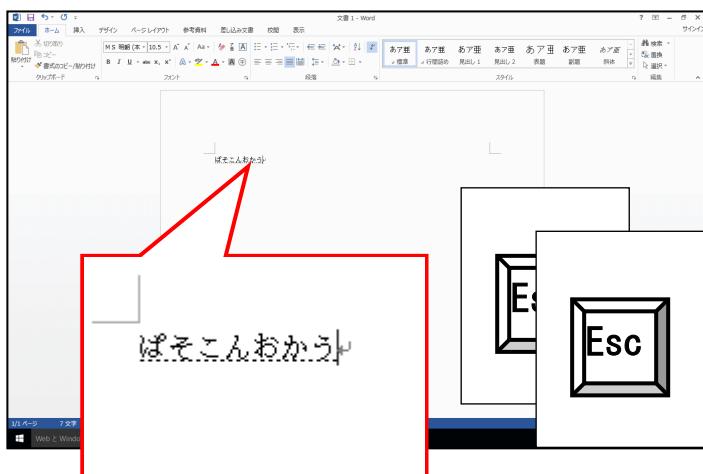


### ■ [変換] キーを押す前の状態



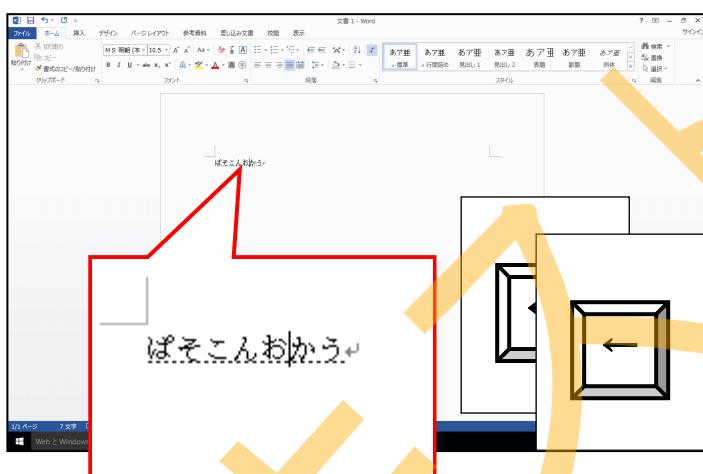
●お使いのパソコンの判断によって、左記と同じ変換にならないかもしれません、気にせずに次へお進みください。

下記のように文字の下に点線が表示されるまで [Esc] キーを押すと、すべての文字がひらがなに戻ります。

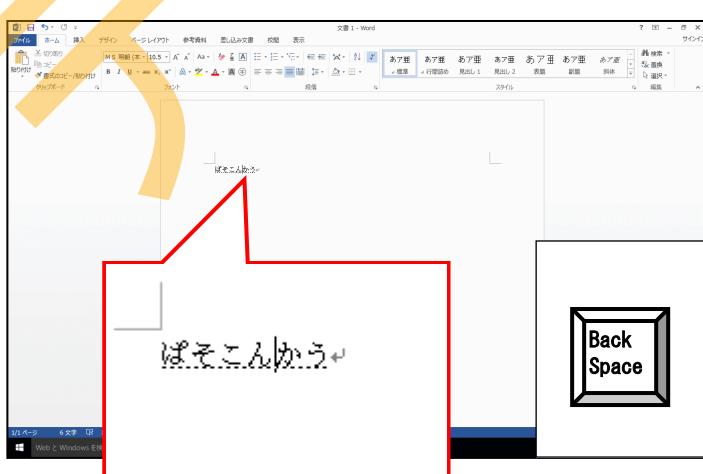


●文節が区切られなかった場合は、  
エスケープ [Esc] キーを1回押すと、ひらが  
なに戻りますが、前頁のように文節  
が区切られた場合は、再度 エスケープ [Esc]  
キーを押しましょう。  
点線が表示されているのに再度  
エスケープ [Esc] キーを押すと文字が消え  
しまうので注意しましょう。

[←] キーを2回押して、カーソルを「お」の後ろに移動します。

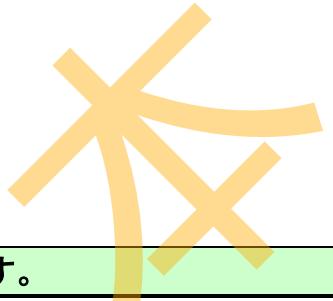
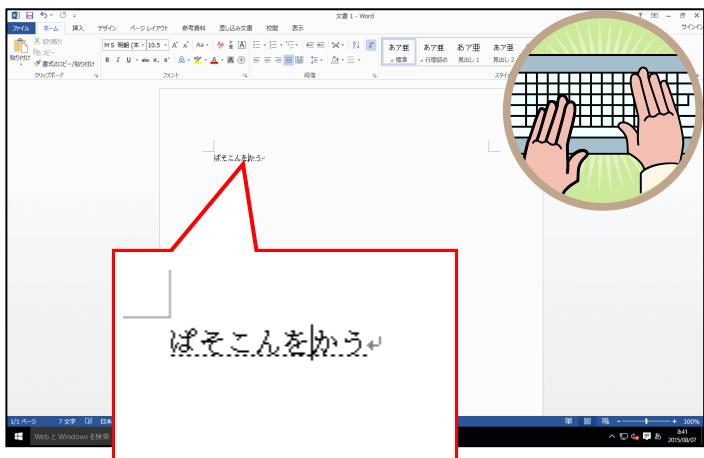


バックスペース [Back Space] キーを押して、「お」という文字を削除します。

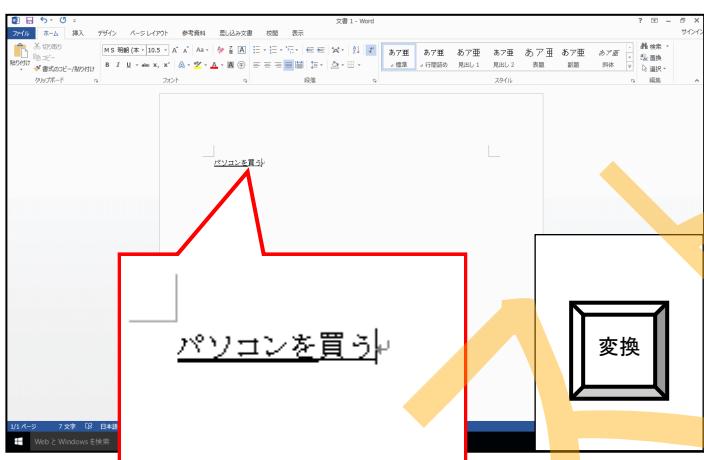


● [Back Space] キーを使うときは、  
必ずカーソルを消したい文字の後ろ  
に移動しておきましょう。

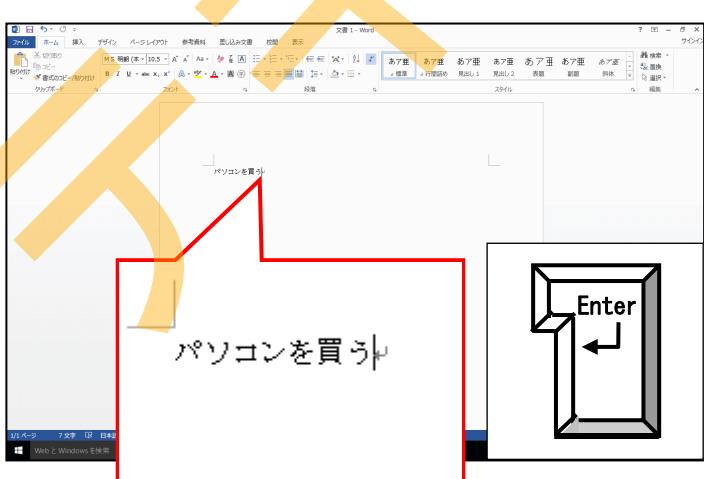
正しい文字「を」を入力します。



正しく入力できたところで [変換] キーを押して文字を変換します。



エンター [Enter] キーを押して文字を確定します。



次の操作のためにワードを終了しましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題13で理解度を試してください。☆☆

## 8. 文書の作成・保存・印刷

パソコンで作成した文書は「**保存**」という操作でパソコンに覚えてもらわないと、後日その続きを入力したり、編集・印刷したりすることができません。

ここでは、簡単な文書を作成して、「**保存する**」という操作と、保存した文書を「**開く**」という操作、画面に表示された文書を「**印刷する**」という操作について説明します。

### (1) 文書の作成と保存

**いよいよ文書を作成するのね。楽しみだわ～。**

**ウメさん**「いよいよ、わたしたちも文書を作成できる段階まできたわね。楽しみだわ～。」

**タケさん**「でも、長い文章を打たないといけないみたいで、大変そうじゃ！」

**くじら先生**「これから行う操作は、『パソコンに記憶させる、記憶させた情報を読み込む、表示している情報を印刷する』といったもので、パソコンを利用する人が必ず行う操作になります。どんなものを作るにしても、必ず行う操作でいろいろなものに共通しています。頑張って、チャレンジしましょう。」

#### ① 文書の作成

ワードを起動した時点では、真っ白な四角が表示されています。これはすぐに入力作業に入れるように、ワードが文書を入力するためのウィンドウ（文書ウィンドウ）を準備してくれているのです。

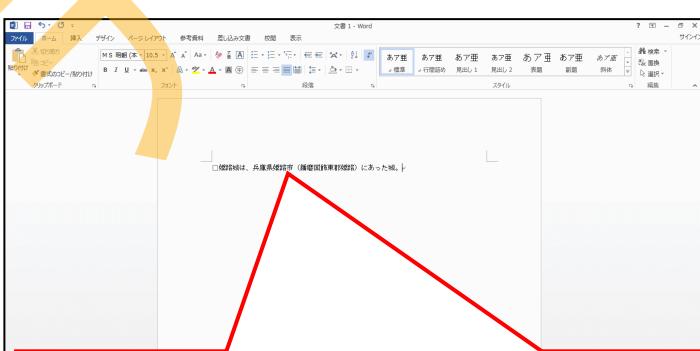
**ワードを起動して、次の文書を入力します。**

##### ■入力時の注意点

●  はスペースを空けましょう。

● 読みがわからない文字はIMEパッドを使用しましょう。

（操作方法を忘れた方はP160 (13) 難しい文字の入力を参照してください）



姫路城は、兵庫県姫路市（播磨国飾東郡姫路）にあった城。|

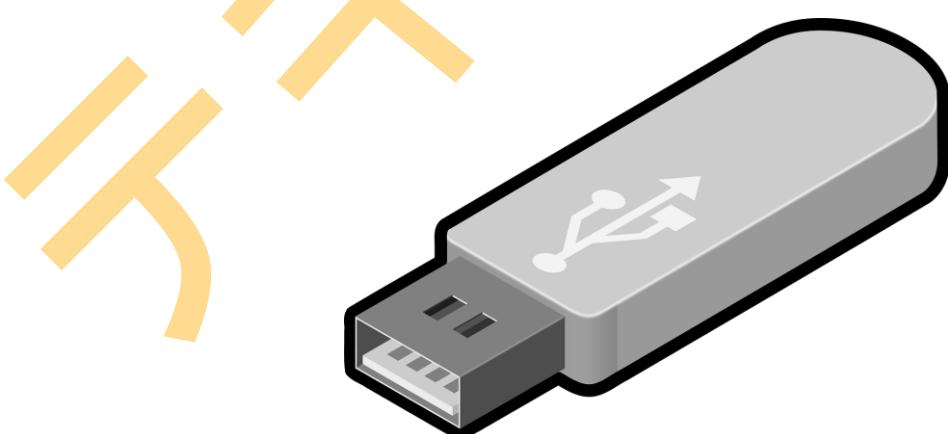
## ② 文書の保存

前ページと同じように入力できましたか？ 入力が終わったところで、**USBメモリー**に保存してみましょう。せっかく入力した文書も、「保存」という操作をせずにワードを終了すると、すべて消えてなくなってしまいます。

「保存」という操作は、後日同じものを画面に表示できるように、どこかに記憶させる操作です。保存するためには、「どこに」、「なんという名前」で保存するかを、パソコンに対して指示しなければなりません。この操作は、後述する「開く」という操作とともに、初心者の方には難しい操作ですが、パソコンを扱う場合は必要となる操作なので、何回も同じ操作を繰り返しマスターしましょう。



次ページから保存するための手順を記載していますので、保存する場所、保存する名前に注意して操作してみましょう。



ユーエスピー ユーエスピー  
USB差込口にUSBメモリーを差し込みます。



● USBメモリーを差し込む方向を間違えないように、注意しましょう。間違えると、故障の原因になります。

● ノートパソコンのUSBの差込口は、横や後でまちまちです。数もパソコンによってまちまちです。

ノートパソコン  
の裏側

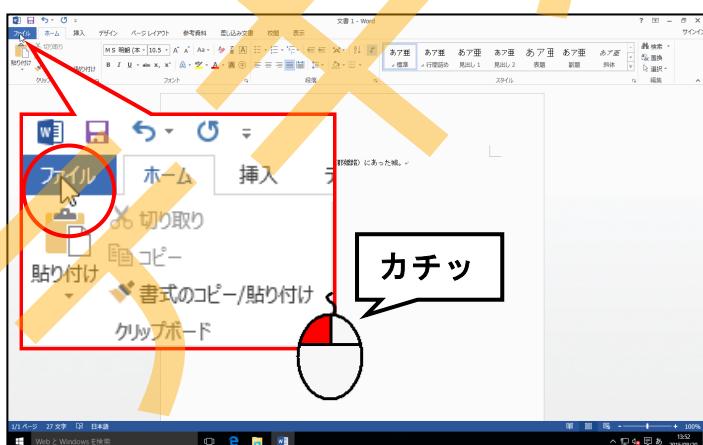
ノートパソコン  
の側面



USBメモリーを差込口から抜く方法 P227

自動再生機能 P228

左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。



● USBメモリーを挿入すると、画面右下に下の図のような画面が出てきますが、そのまま左のように操作を続けましょう。

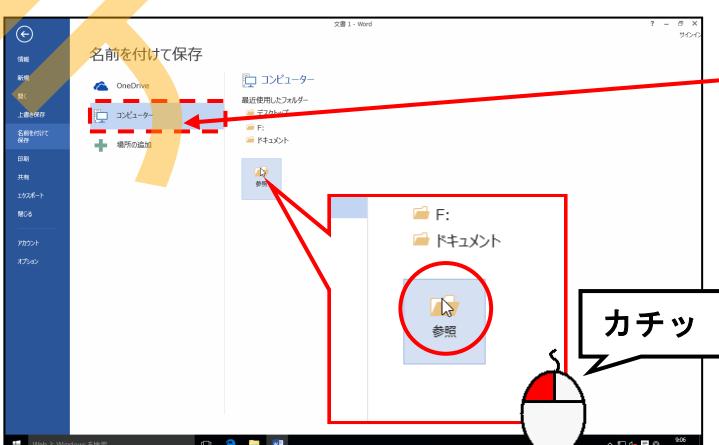
■ USB ドライブ (G:)  
選択して、リムーバブル ドライブに対して行う操作を選んでください。



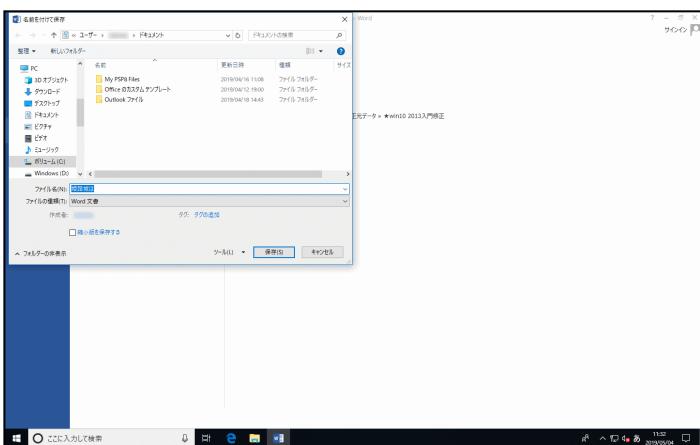
【名前を付けて保存】にポイントし、クリックします。



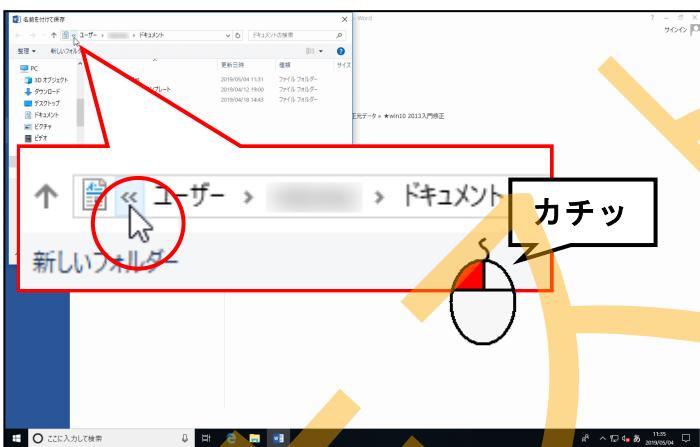
【名前を付けて保存】の下が「コンピューター」になっていることを確認して、「参照」にポイントし、クリックします。



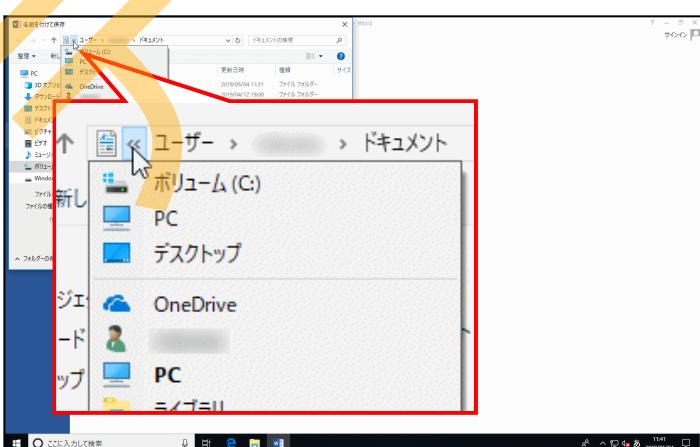
● 「コンピューター」になっていない方は、「コンピューター」をクリックしておきましょう。



アドレスバーの左にある  にポイントし、クリックします。

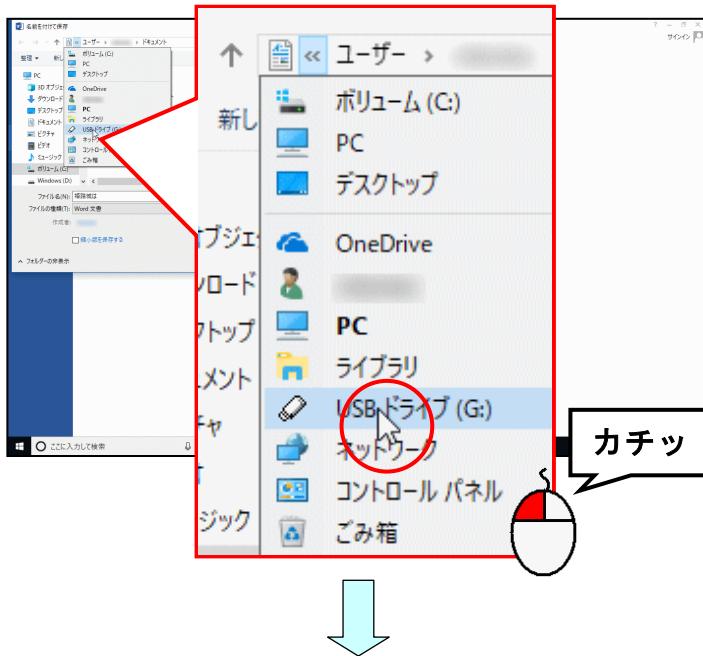


- 間違えて下記の赤丸の部分をクリックしてしまうと、『<<』が消えてしまい、押せなくなるので、[名前を付けて保存]ダイアログボックス右上にある『閉じる』ボタンをクリックして、もう一度最初から操作を行いましょう。



- « をクリックすると、保存場所のリスト（ドロップダウンリスト）が表示されます。

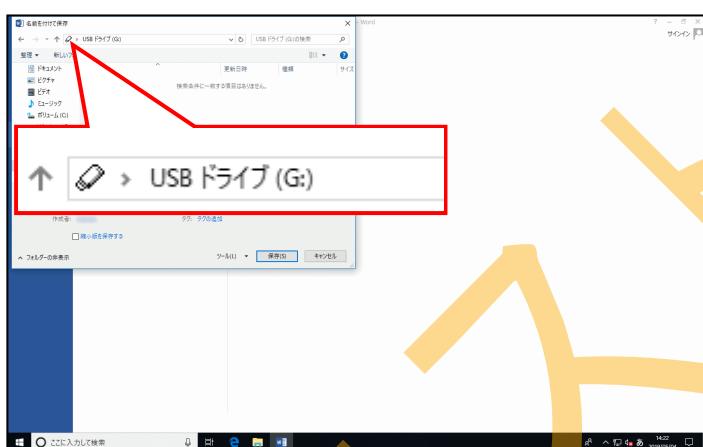
ユーズビー  
[USB ドライブ(G:)] にポイントし、クリックします。



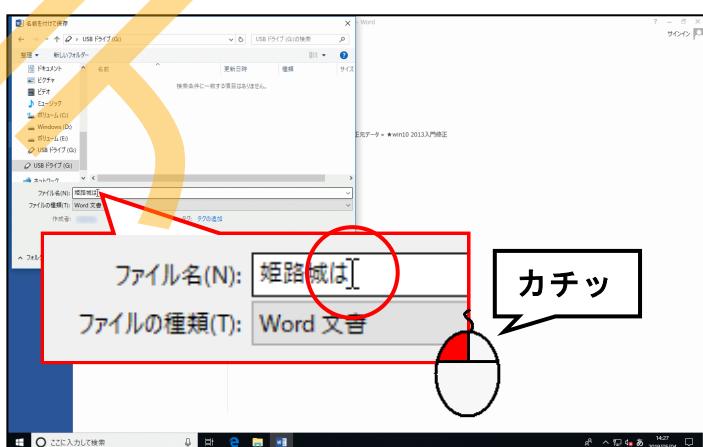
- ここまで行った操作が保存先の指定方法です。自分がどこに保存するかを指定する操作は、このようにして行います。

注意!

- ユーズビー  
USB ドライブの後ろの(G:)は、パソコンによって異なります。
- お使いのUSBメモリーによっては、別の名前で表示される場合があります。

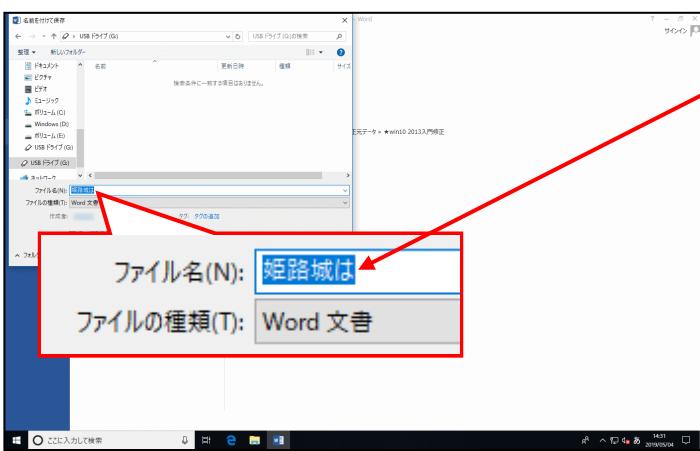


「姫路城は」の後ろにポイントし、クリックします。



- 文字が入力できる場所にマウスpointerを移動するとマウスpointerが「」の状態になります。

- [ファイル名(N):] ボックスに勝手に文字が入っている場合があります。これは入力した文書の最初の文節が、自動的に入っているためです。



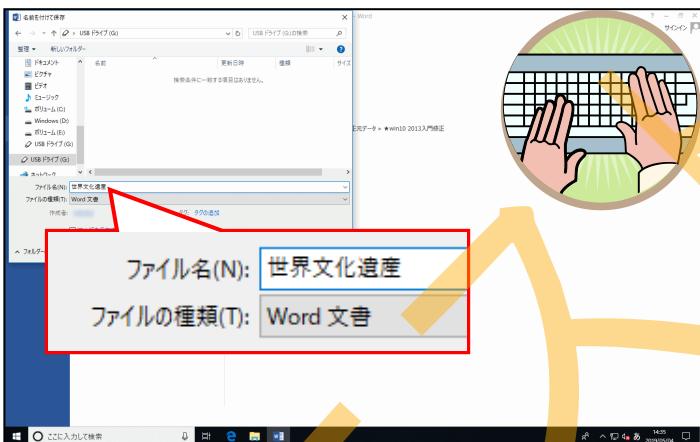
- クリックすると、文字全体が白抜き文字で、青く表示されます。

注意!

- 2回クリックして、カーソル（点滅した縦棒）が表示された場合は、**[Back Space]** キーを4回押して、文字をすべて消しておきましょう。



カーソルが [ファイル名 (N):] と書かれた右側の白いボックスにあることを確認して「世界文化遺産」と入力し、確定します。

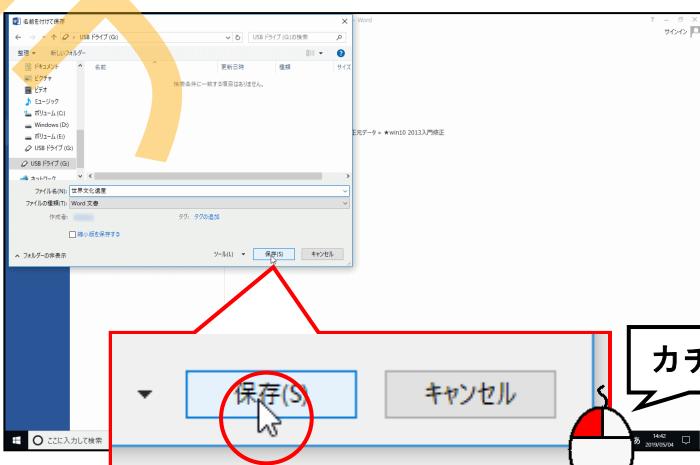


- [Enter] キーを押して確定すると、「世界文化遺産」の下の点線が消えます。

注意!

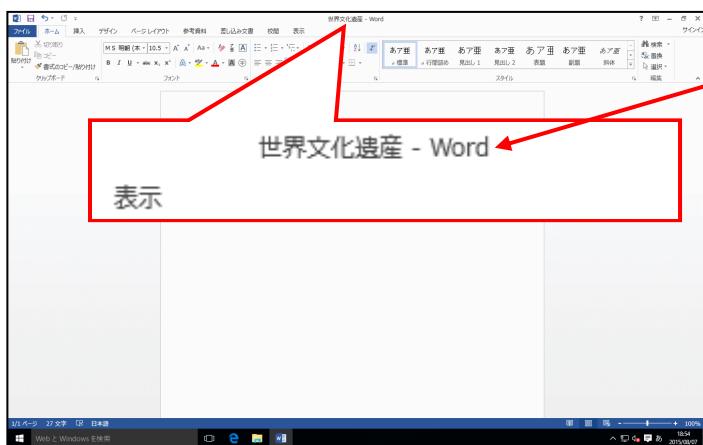
- 入力するときにカーソルの位置をよく確認してから入力しましょう。「世界文化遺産」を入力後 [Enter] キーを1回押して入力した文字を確定してください。[Enter] キーを2回押してしまうと [保存] という操作を開始してしまいます。

右下にある [保存 (S)] ボタンにポイントし、クリックします。



- この操作が、指定された場所に指定された名前で保存しなさいという命令にあたります。

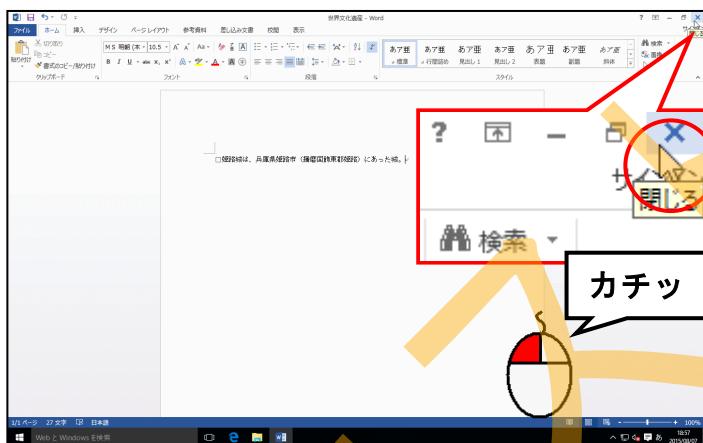
カチッ



●保存操作が完了すると、画面上に指定した名前「世界文化遺産」が表示されるので、ここで確認することができます。

●USBメモリーの保存中には、マウスポインターが の状態に変わります。この状態の間は何も操作することができません。

ワードを終了するため右上の [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



●保存をしたため、保存の確認を促すメッセージは表示されません。



保存場所の補足説明

P229

## (2) 保存した文書を開く

### USBメモリーに保存できているか心配じゃの～。

タケさん「わしの打った文書がUSBメモリーに保存できているか心配じゃの～。」



ウメさん「わたしは、たぶん大丈夫だと思うわ！」

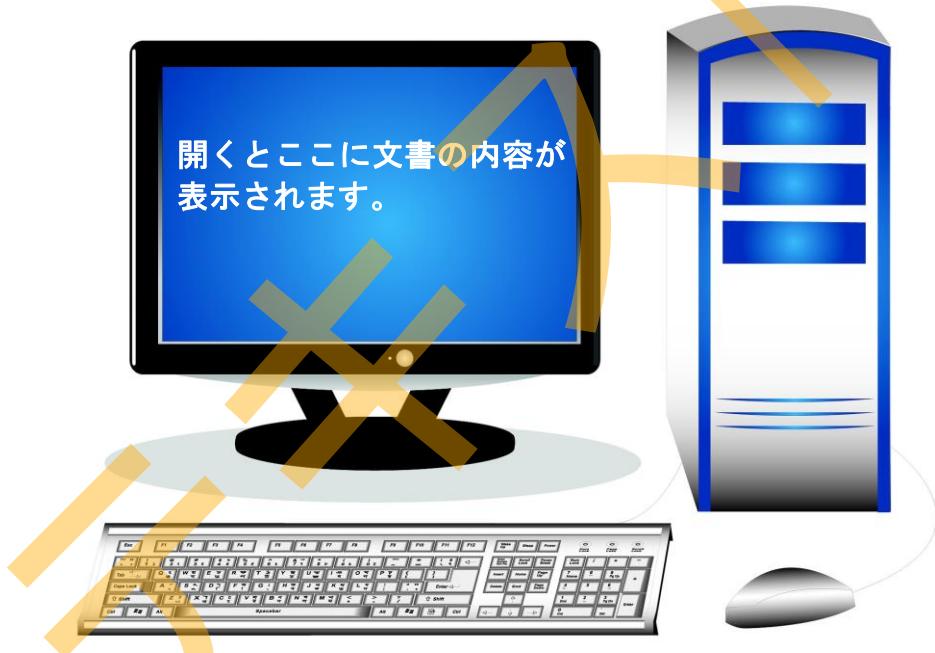
くじら先生「この操作は、自分で保存したものを画面上に開くことができるようになってほしいための練習です。

何回も同じことを反復して練習してください。

まず、『どこにある』という場所を指定し、次に『どの文書』という名前を指定し、最後に『開きなさい』という指示を出します。」



前にも説明しましたが、せっかく作成した文書も保存しないと、すべて消えてしまいます。また、保存した文書も開き方が分からぬ場合は、「宝の持腐れ」になってしまって利用できません。ここでは、P204 (1) 文書の作成と保存で保存した文書が本当にUSBメモリーに保存されているかの確認と、保存した文書の開き方について説明します。

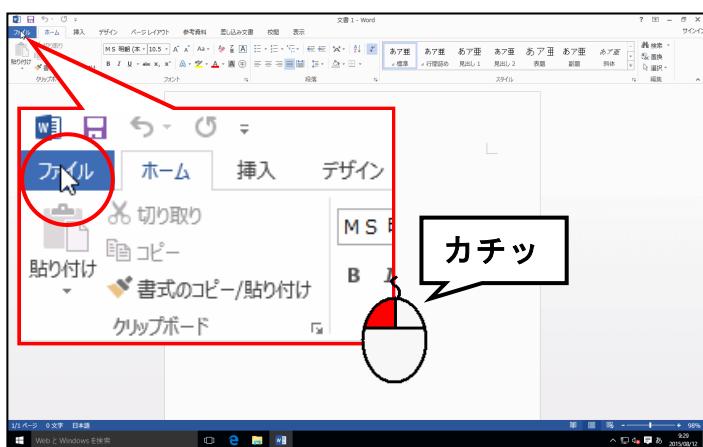


保存できる場所は、USBメモリーだけではありません。したがって、自分が「どこ」に保存したか、なんという「名前」で保存したかを覚えておくことが必要となります。

## ① 保存した文書の確認

(1)で保存した文書が実際にUSBメモリーに保存されているかどうかを確認してみましょう。

ワードを起動して、左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。



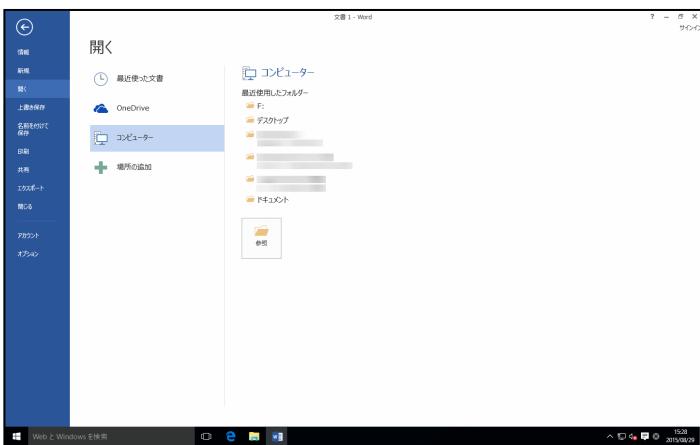
● 【ファイル】タブをクリックすると、左のように【開く】の画面が表示されます。

【開く】の画面が表示されていない方は、画面左の【開く】をクリックしておきましょう。

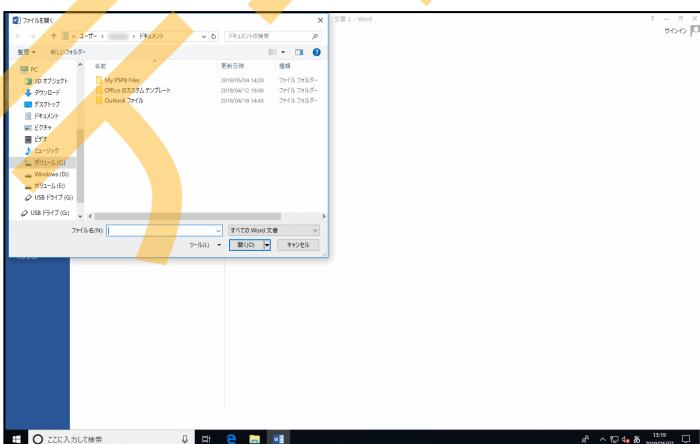
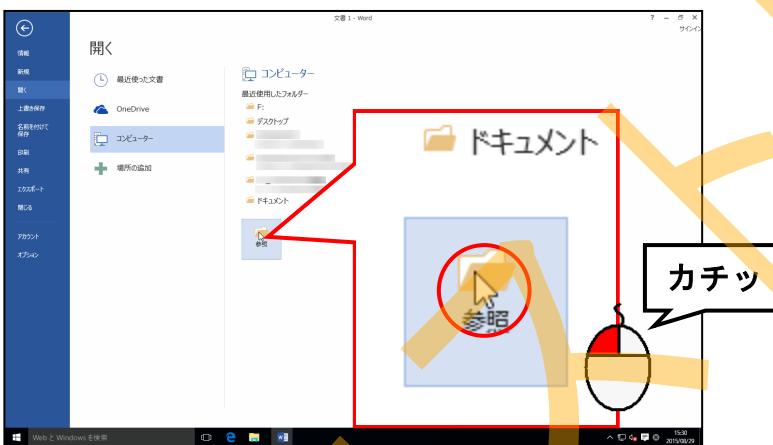


「コンピューター」にポイントし、クリックします。





「参照」にポイントし、クリックします。

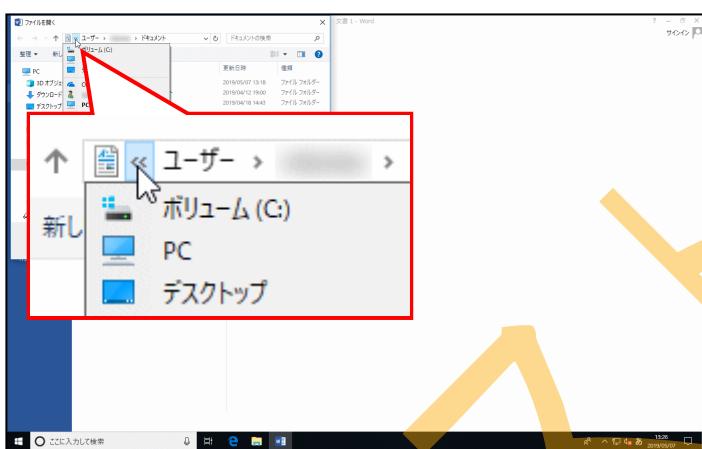
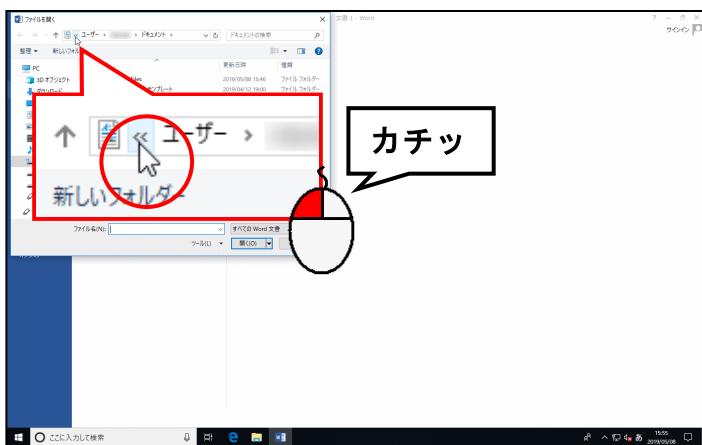


●「参照」をクリックすると、左のように【ファイルを開く】ダイアログボックスが表示されます。

●お使いのパソコンによって、【ファイルを開く】ダイアログボックス内のファイルやフォルダーの表示方法が左の図と違う場合があります。

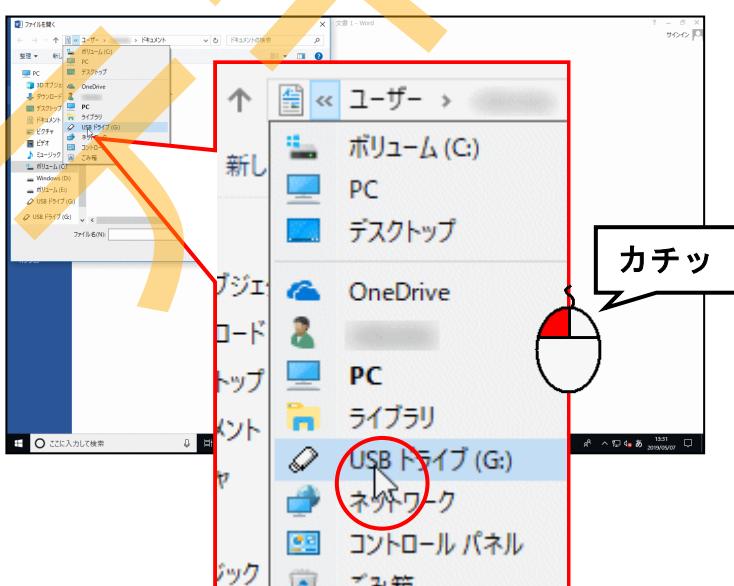
●左のように文書を開くときには、ファイルを開くための指示画面を使って「どこにある」、「なんというファイル」を開くのかを指示しなければなりません。

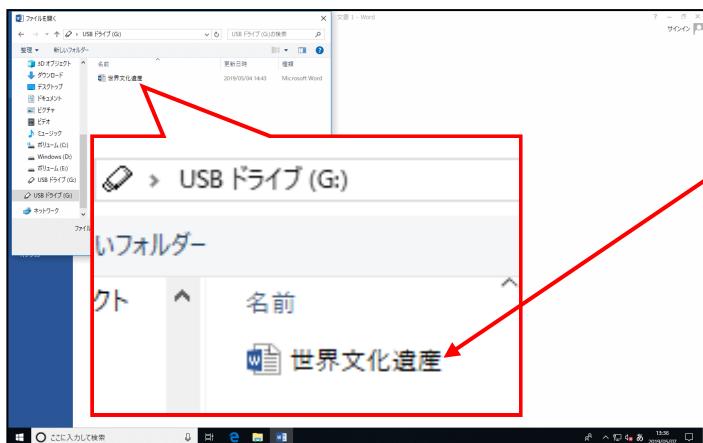
アドレスバーの左にある « にポイントし、クリックします。



● « をクリックすると、保存場所の一覧が表示されます。

ユーエスピー  
[USB ドライブ(G:)] にポイントし、クリックします。





- ユーエスピード文書名が画面に表示されます。  
これでUSBメモリーの中に「世界文化遺産」が保存されていたことが確認できました。

次の操作のために、表示された画面はそのままにしておきましょう。

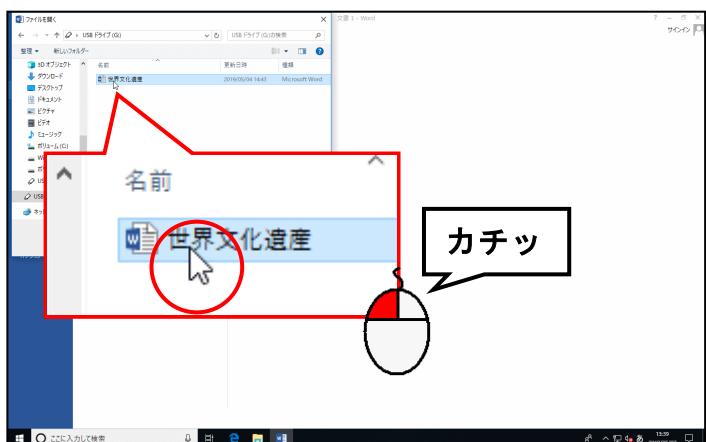


## ② 保存した文書を開く

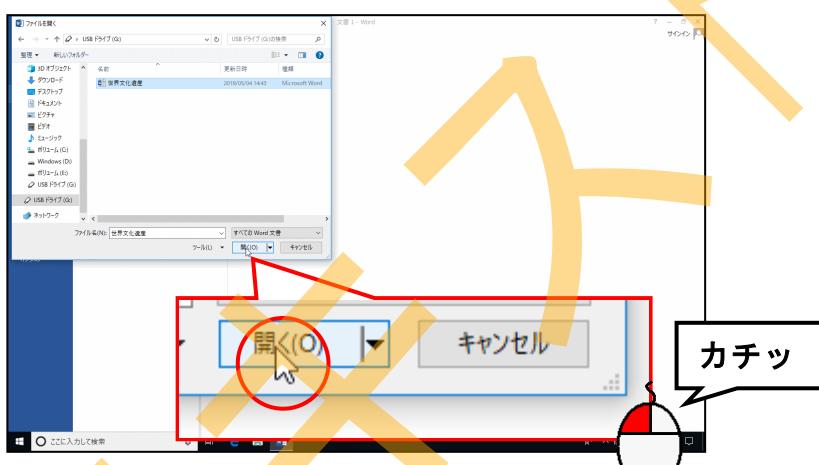
保存した文書を「開く」という操作は、作成した文書を「保存」するという操作以上に大切です。だって、せっかく保存した文書も開けないことには、次に利用できないのですから…。

①で確認できた文書を「開く」という操作を行って画面に表示してみましょう。

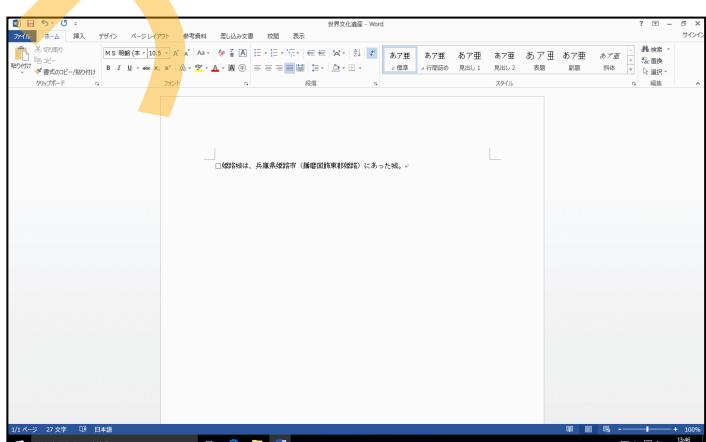
表示された「世界文化遺産」にポイントし、クリックします。



画面右下にある【開く(0)】ボタンにポイントし、クリックします。



●左のように画面に保存した「世界文化遺産」という文書が表示されました。



### (3) 開いた文書の上書き保存

一度保存したのに、また保存しないといけんのかあ～。



タケさん「一度保存したのに、また保存しないといけんのかあ～？」

ウメさん「何度も保存する必要があるのは、文書を開いたからですか？」

くじら先生「画面を開いただけでは、保存する必要はありません。

開いた文書に手を加えた時に、保存の必要が出てきます。

誤字・脱字を修正したり、開いた文書に文字を追加したりすると  
保存しないといけません。」

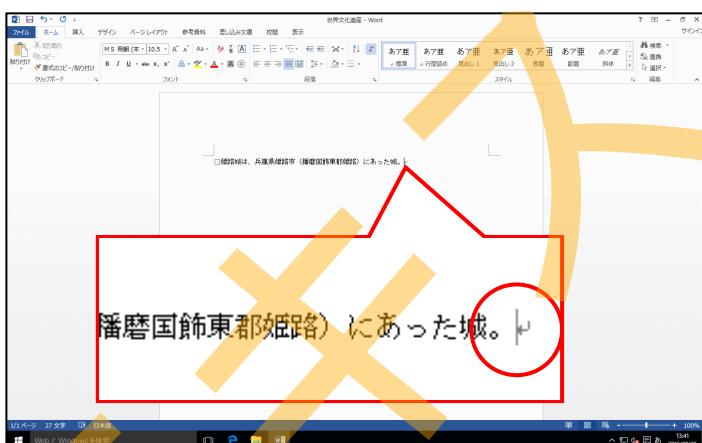


画面に表示された文書に、少し文章を追加して上書き保存という操作をしてみましょう。

#### ① 開いた文書を修正する

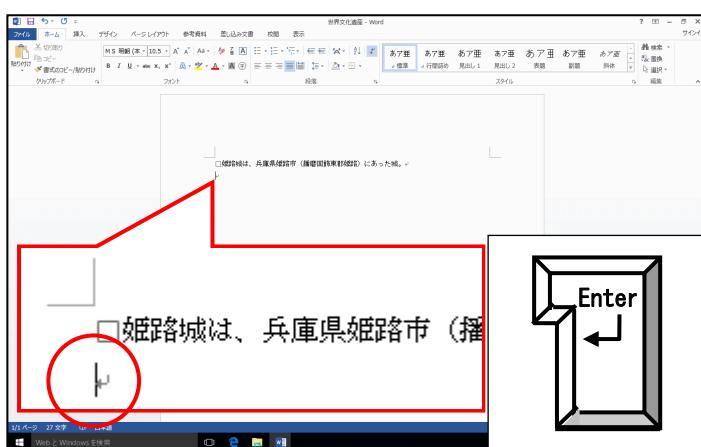
ここでは、(2)で画面上に開いた文書に対して、文章の最後に新たな文章を追加します。

カーソルを文書の最後に移動します。



ワード文書を開くとカーソルは、文書の先頭に表示されるので、文書を追加したい位置（文章の最後）へ移動する必要があります。

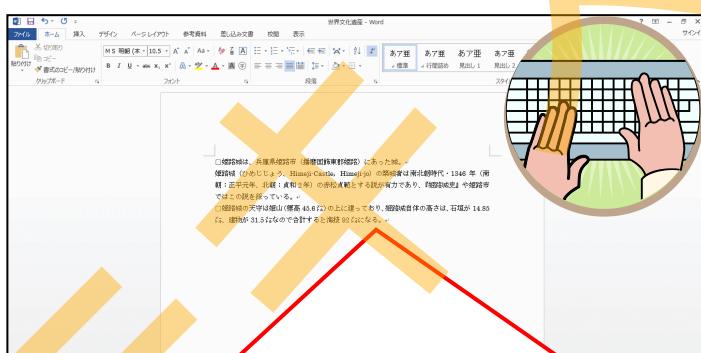
## エンター [Enter] キーを押して改行します。



下図の赤枠の中の「姫路城～海拔 92 メートルになる。」までの文章を入力します。

### ■入力時の注意点

- 英数字はファンクションキーを利用しましょう。  
(操作方法を忘れた方は P172 (15) 英数字の入力を参照してください)
- 読みがわからない文字はIMEパッドを使用しましょう。  
(操作方法を忘れた方は P160 (13) 難しい文字の入力を参照してください)
- 「～探っている。」まで入力が終わった時点で [Enter] キーで改行します。
- はスペースを空けましょう。



姫路城は、兵庫県姫路市（播磨国飾東郡姫路）にあった城。

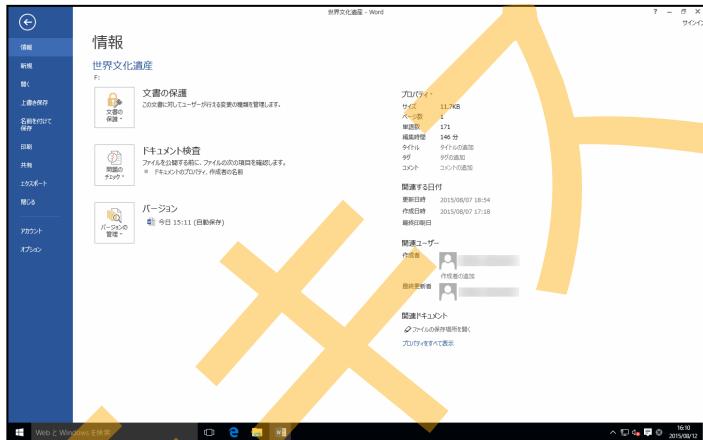
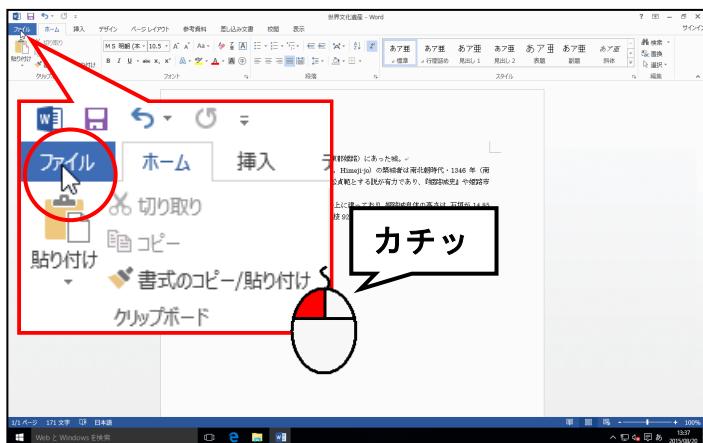
姫路城（ひめじじょう、 Himeji-Castle, Himeji-jo）の築城者は南北朝時代・1346年（南朝：正平元年、北朝：貞和2年）の赤松貞範とする説が有力であり、『姫路城史』や姫路市ではこの説を探っている。

姫路城の天守は姫山（標高 45.6 メートル）の上に建っており、姫路城自体の高さは、石垣が 14.85 メートル、建物が 31.5 メートルなので合計すると海拔 92 メートルになる。

## ② 文書を上書き保存する

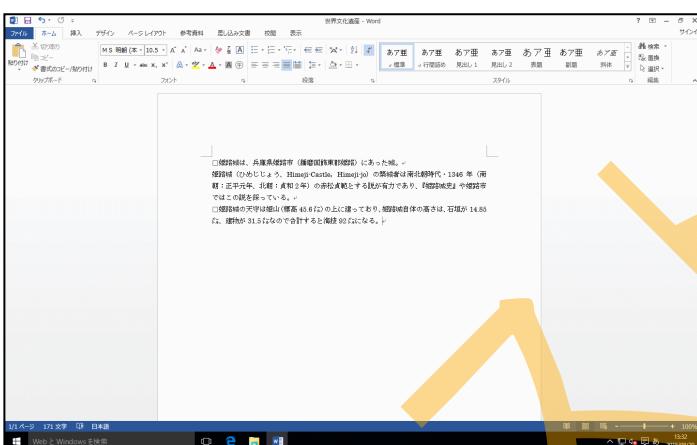
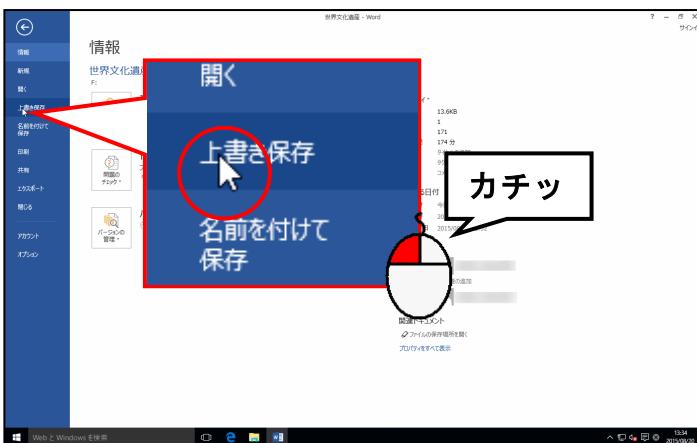
一度保存した文書の一部または全部を変更したり、追加したりした場合は、「上書き保存」という操作を行います。上書き保存とは、一度保存した文書を「同じ場所」に「同じ名前」で、「今の状態」を保存する操作をいいます。

画面左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。



●お使いのパソコンによっては、【ファイル】タブをクリックした際に表示される左側のメニューで、選択されている項目が違う場合があります。

【上書き保存】にポイントし、クリックします。



余裕があれば読んでね

- [Ctrl] キーを押した状態で [S] キーを押しても上書き保存することができます。
- [上書き保存] をクリックすると、マウスポインターが  に変わり、戻ると上書き完了です。

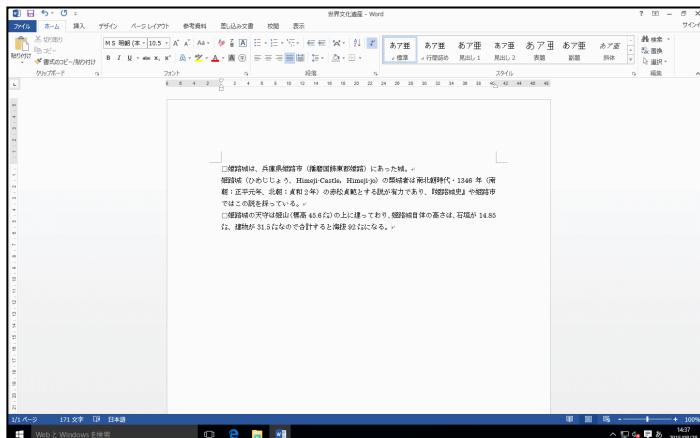
保存方法の違い

P231

次の操作のためにワードを終了しましょう。

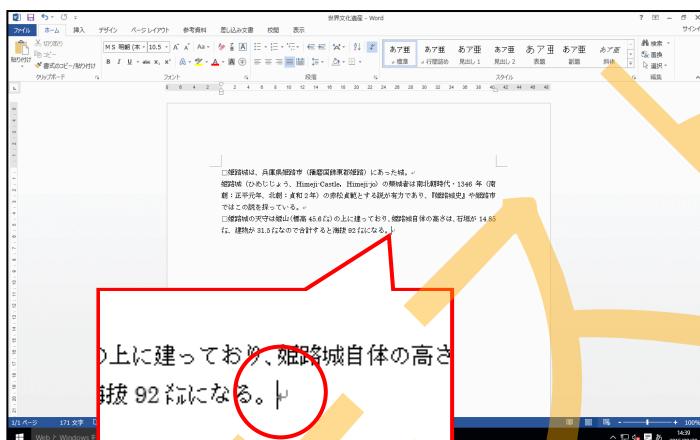


## 再度文書を追加入力する為に、ワードを起動し、USBメモリーから「世界文化遺産」を開きましょう。

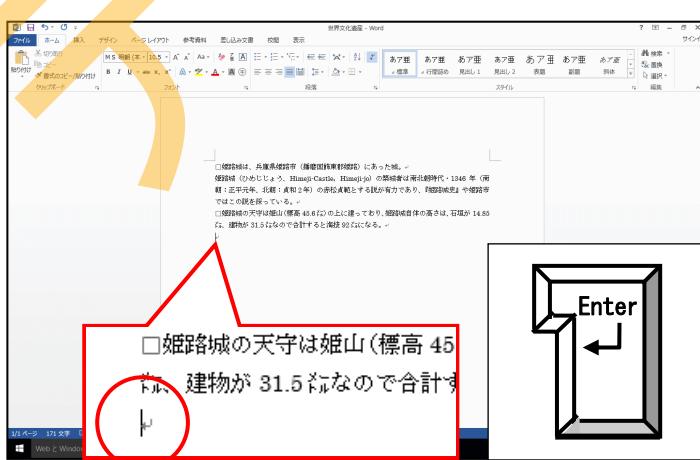


●文章を開く方法を忘れた方は、P212  
(2)保存した文書を開くを参照してください。

## カーソルを文書の最後に移動します。



## エンター [Enter] キーを押して改行します。

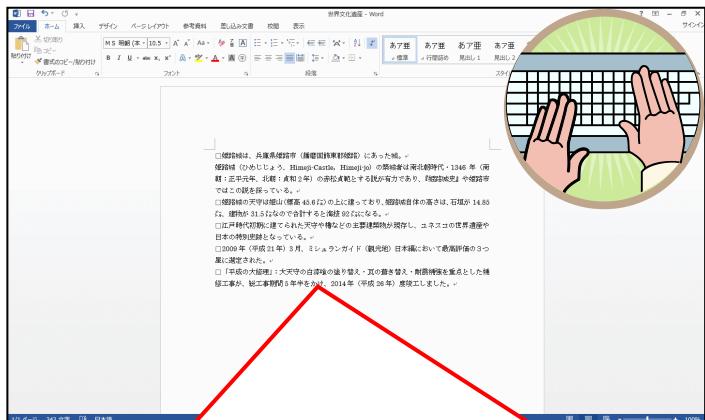


下記の赤枠の中の「江戸時代初期～竣工しました。」までの文章を入力します。

## ■入力時の注意点

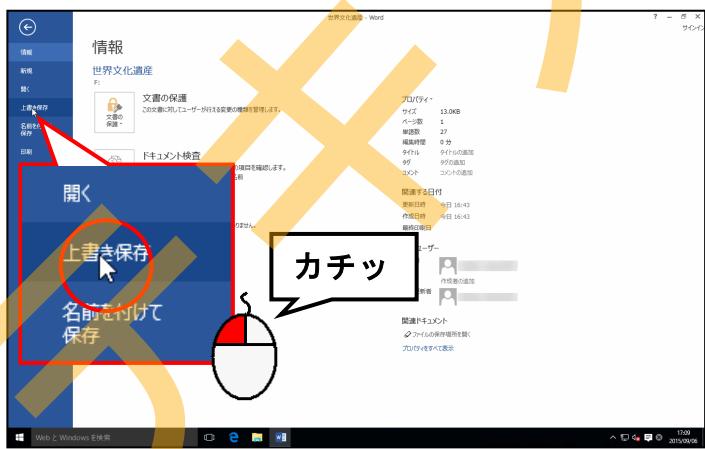
「～特別史跡となっている。」まで入力が終わった時点で、[Enter]キーで改行します。

同じように「～3つ星に選定された。」まで入力が終わった時点で、[Enter]キーで改行します。



- 江戸時代初期に建てられた天守や櫓などの主要建築物が現存し、ユネスコの世界遺産や日本の特別史跡となっている。
- 2009年（平成21年）3月、ミシュランガイド（観光地）日本編において最高評価の3つ星に選定された。
- 「平成の大修理」：大天守の白漆喰の塗り替え・瓦の葺き替え・耐震補強を重点とした補修工事が、総工事期間5年半をかけ、2014年（平成26年）度竣工しました。

入力完了後、再度上書き保存しましょう。



●上書き保存の方法を忘れた方は、P220② 文書を上書き保存するを参照してください。

## (4) 文書を印刷する

やっと、紙に印刷するところまで来たんじゃなあ～。



タケさん「やっとここまで来たわい、印刷するのが楽しみじゃ～。」

ウメさん「わたしもパソコンしている以上、印刷というのが目標だったから少し進歩したかな？って思えるわ。」

くじら先生「進歩どころか、おふたりとも、大変上手にパソコンを操作できるようになったじゃないですか。」

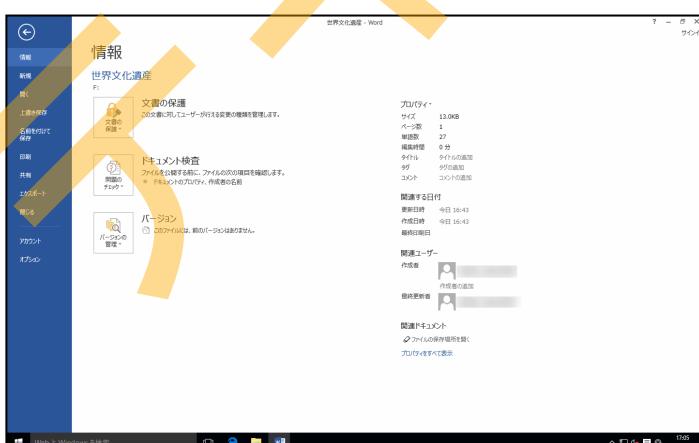
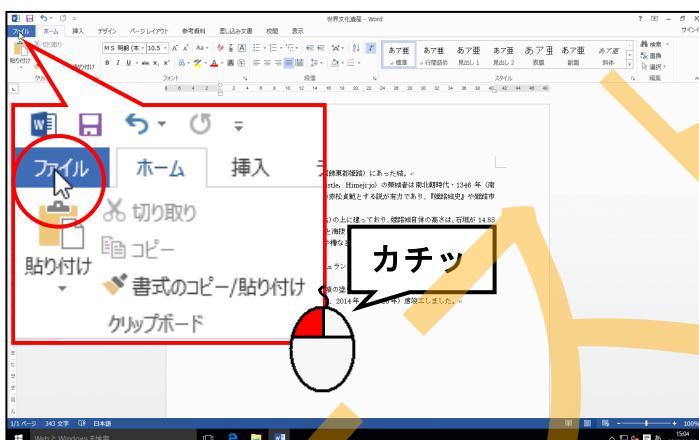


印刷なんて簡単にできるのですから、さらにもっと高い目標を設定してチャレンジしてください。」

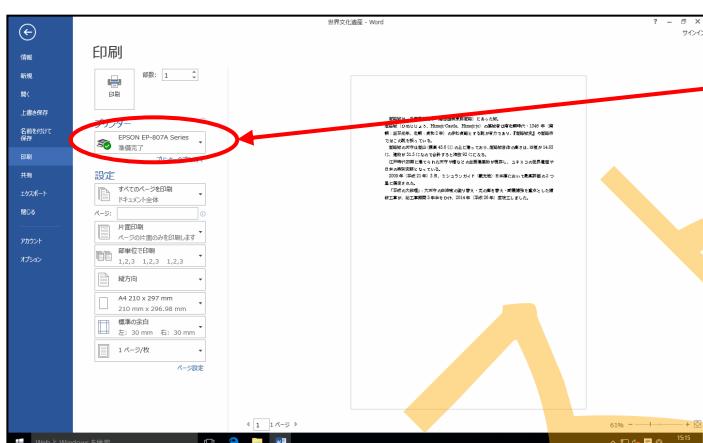
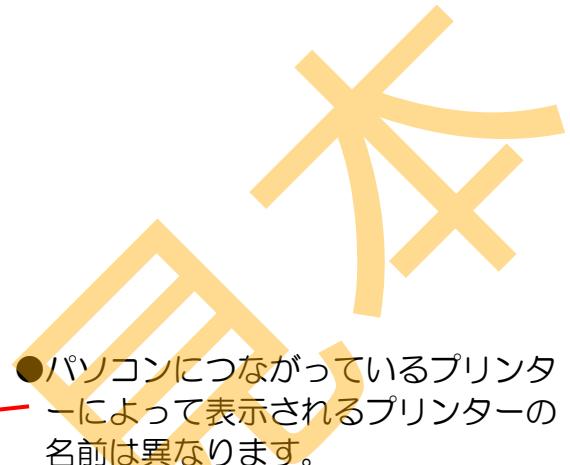
「印刷」とは、今画面に表示されている内容を紙に印刷することをいいます。

先ほど上書き保存した文書を印刷してみましょう。

画面左上にある【ファイル】タブにポイントし、クリックします。

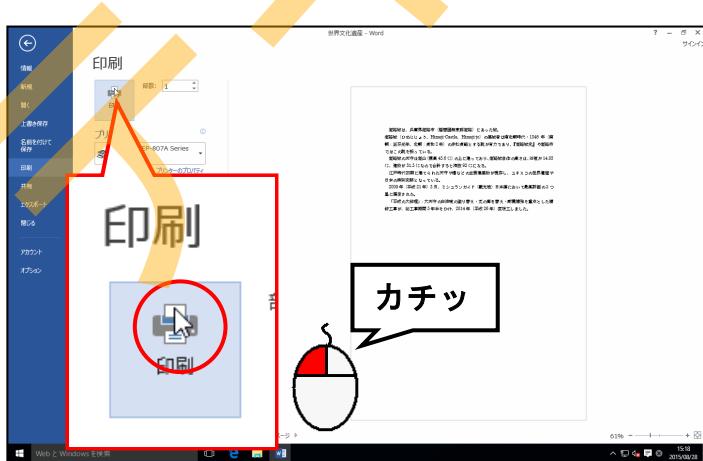


表示されたメニューから [印刷] にポイントし、クリックします。

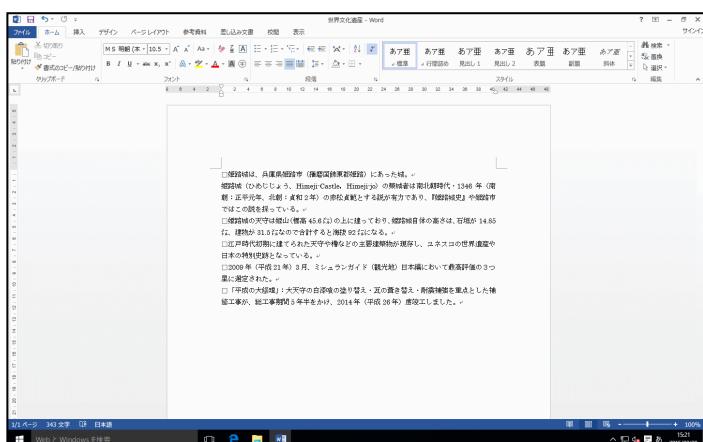


● パソコンにつながっているプリンターによって表示されるプリンターの名前は異なります。

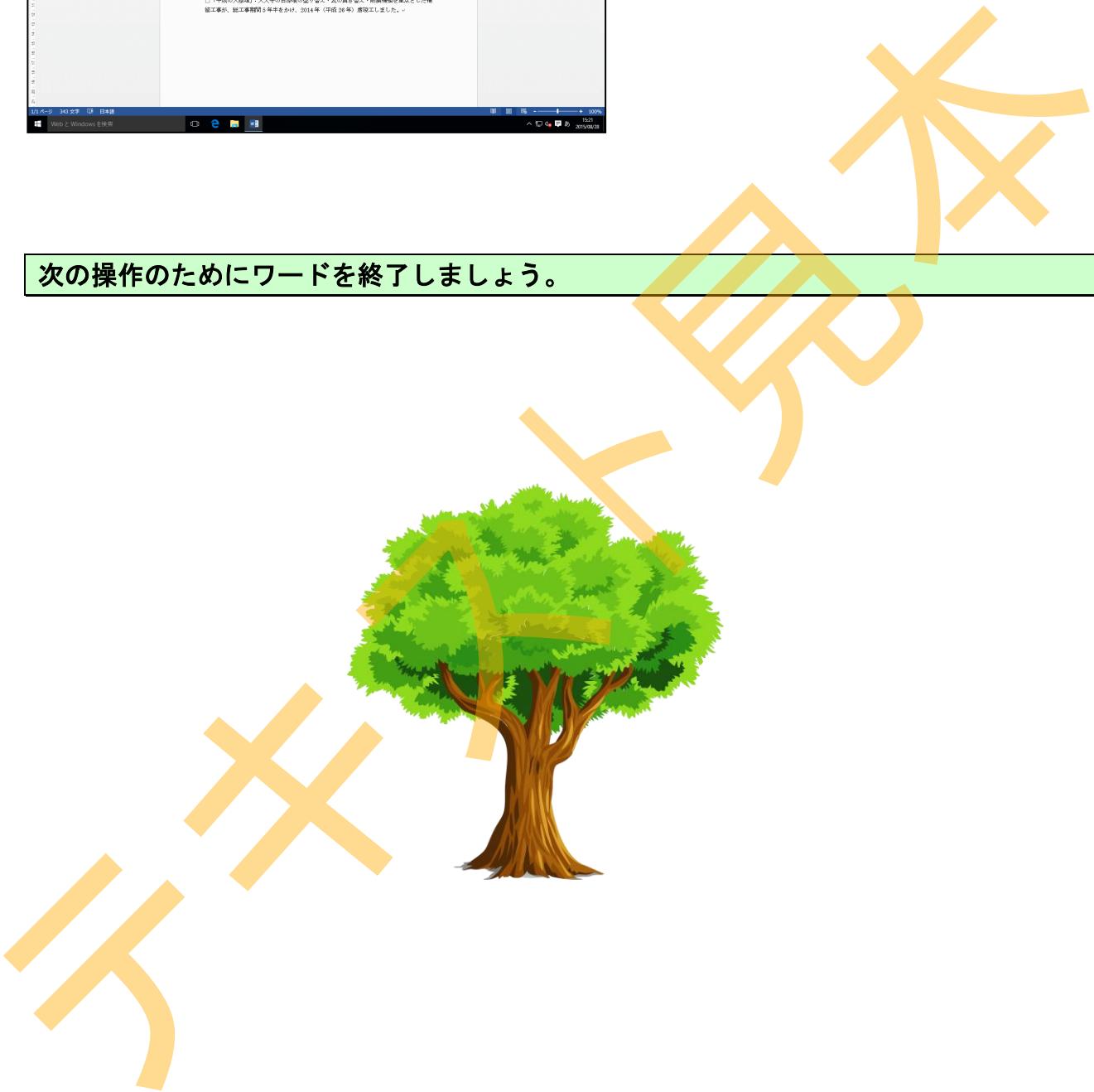
表示された画面の [印刷] ボタンにポイントし、クリックします。



● [印刷] ボタンをクリックすると、接続されたプリンターで内容が印刷されます。



次の操作のためにワードを終了しましょう。



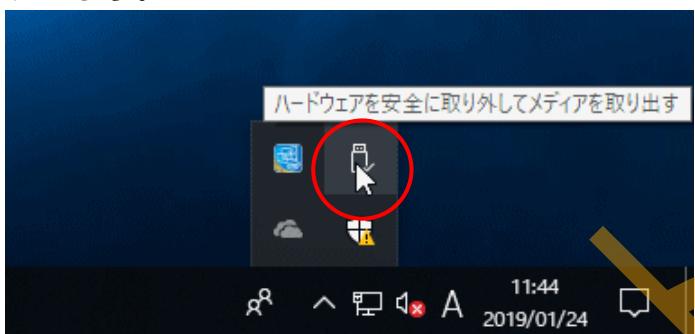
## ●補足説明（その8）P227～P231

### ●P206 ユーエスピー USBメモリーを差込口から抜く方法

- 画面右下にあるタスクバーの  をクリックします。



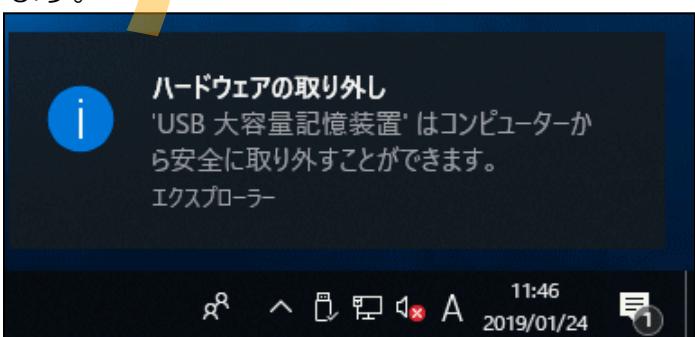
- 表示される  [ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す] ボタンをクリックします。



- 表示される「Flash Diskの取り出し」をクリックします。



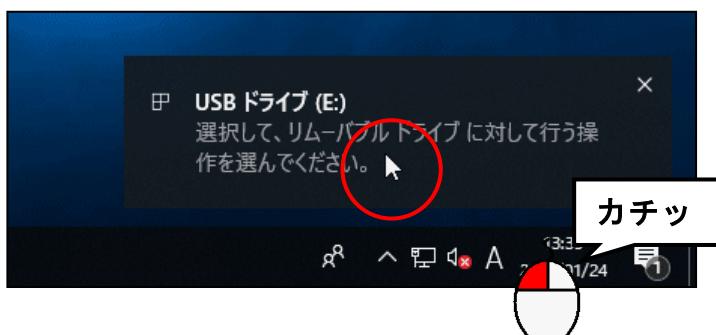
- 【ハードウェアの取り外し】が表示されるので、その後USBメモリーを差込口から抜きます。



■自動再生

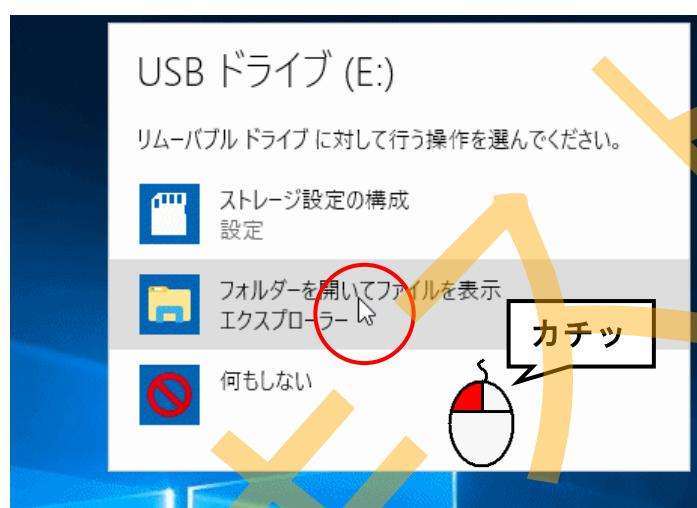
USBメモリーをUSBメモリー差込口に差し込んで、自動的にUSBメモリーが開くようにするには、次のように設定します。

画面右下に表示された部分にポイントし、クリックします。



●しばらくすると、消えますので、気を付けましょう。

[フォルダーを開いてファイルを表示] をクリックします。

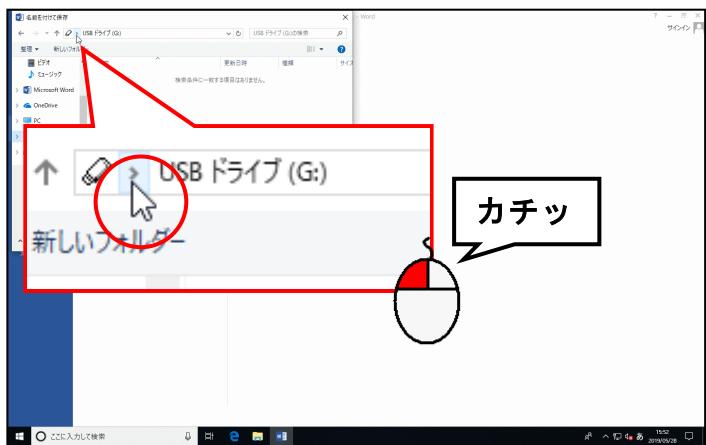


## ●P211 保存場所の補足説明

USBメモリー以外の場所に保存するためには、どのように操作すればよいのでしょうか？ ここでは、USBメモリーの代わりにパソコン本体の記憶領域であるドキュメントに保存先を指定する方法を記載します。

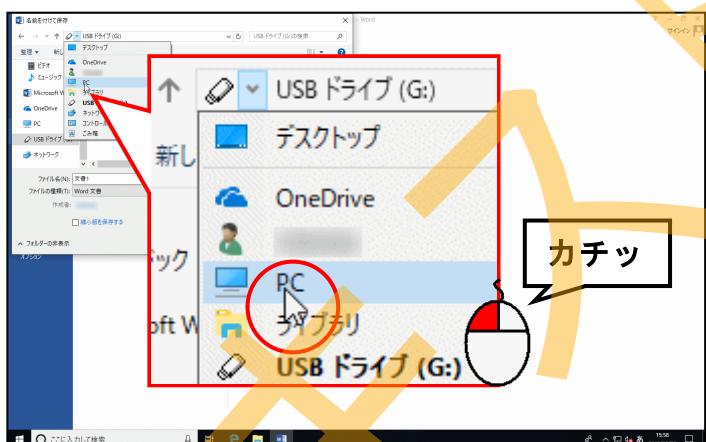
### ■ ドキュメントに保存する場合

【USBドライブ(G:)】の左側にある ➤ にポイントし、クリックします。

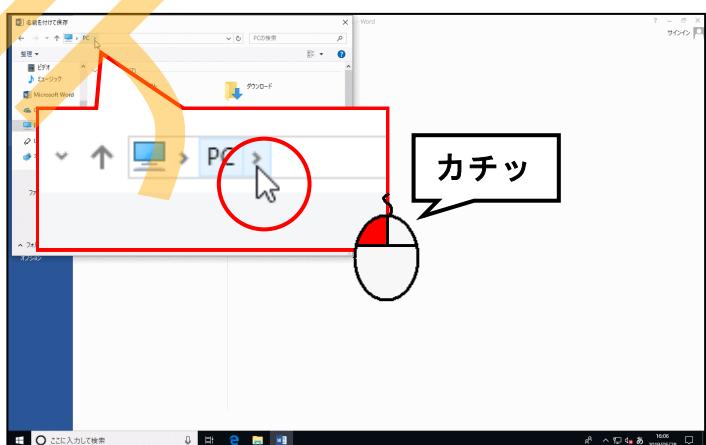


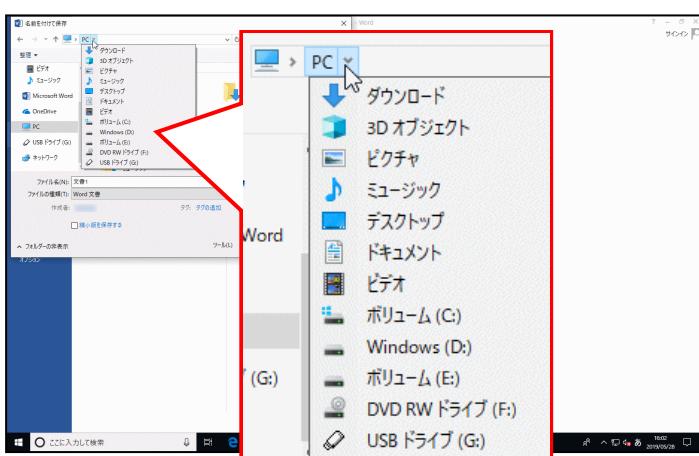
● ➤ をクリックすると、▼ に変わります。

表示された一覧から [PC] にポイントし、クリックします。

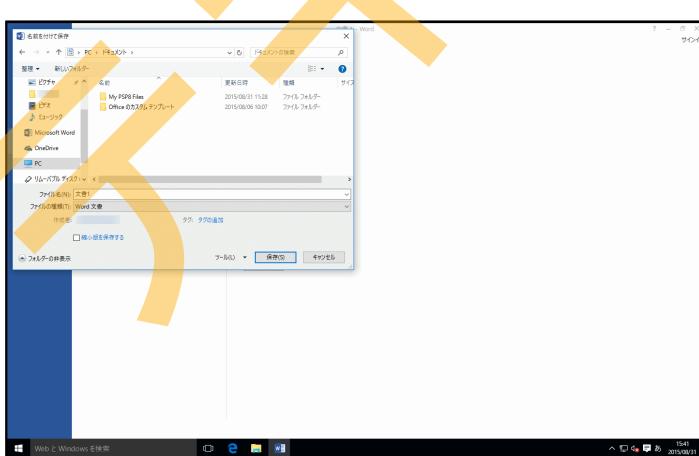
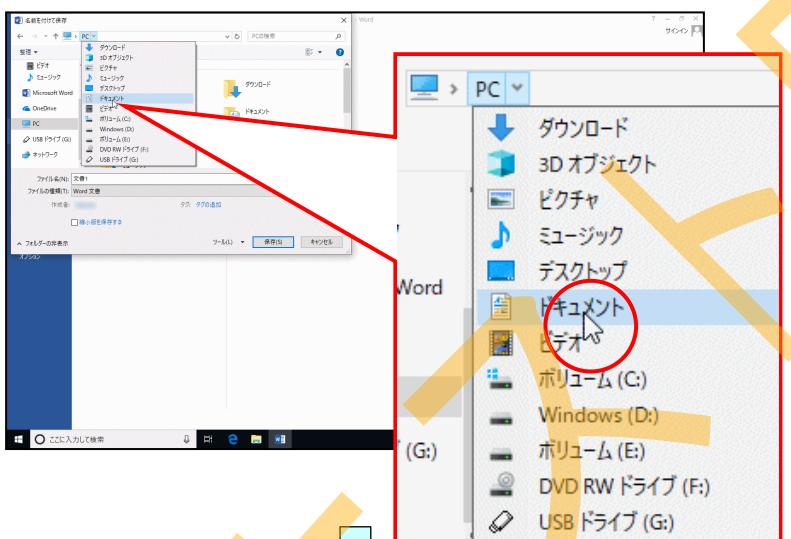


【PC】の右側にある ➤ にポイントし、クリックします。





表示された一覧から [ドキュメント] にポイントし、クリックします。



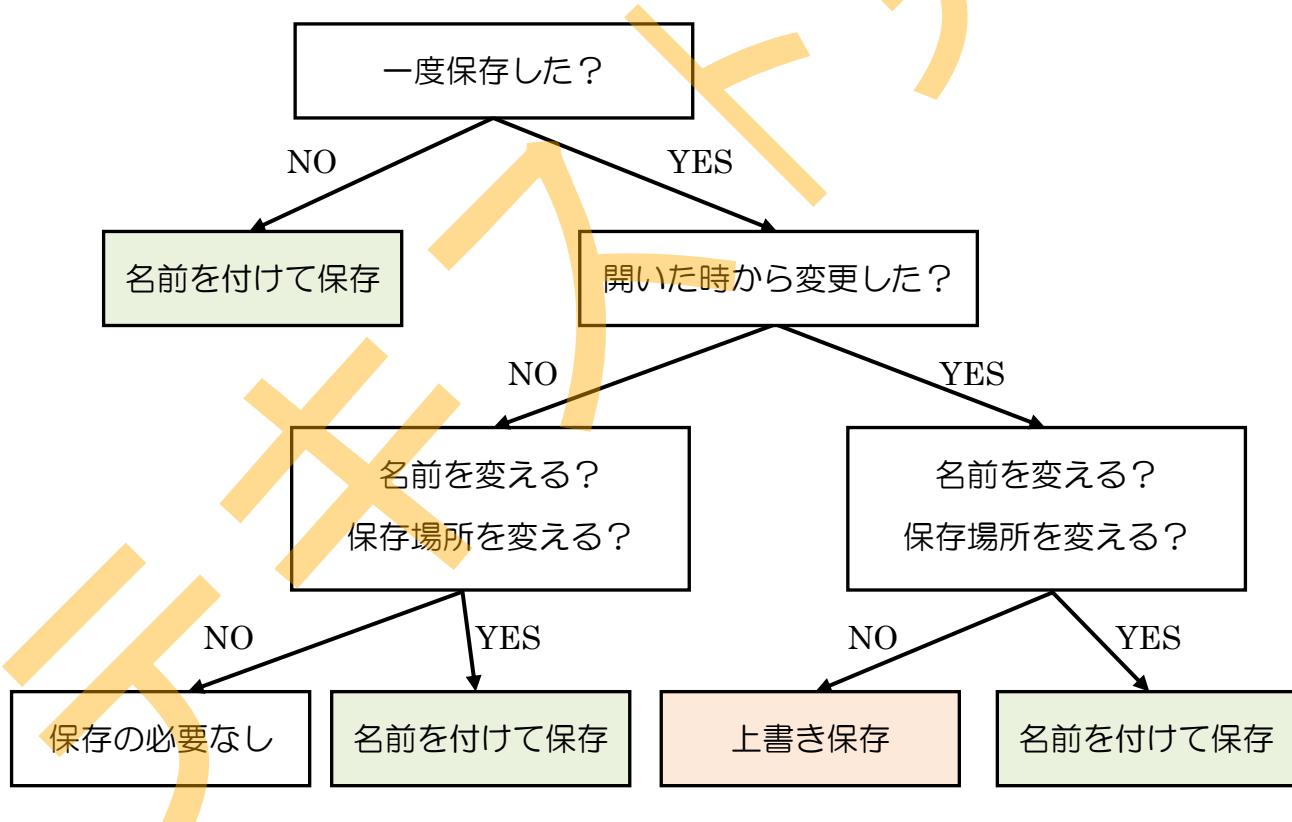
## ●P221 保存方法の違い

### ●「名前を付けて保存」と「上書き保存」の違いについて

**名前を付けて保存**…昔のアルバムを大切に保管するようなもので、これまでの作業を残しておきたい場合は、名前を付けて保存という操作で保存します。アルバムの中から10歳の時の写真を開いて、20歳の時の写真を上に貼り付けてしまうと、10歳の時の状態は消えてしまいます。10歳の時は10歳の状態で、20歳の時は20歳の状態で保存したければ、それぞれ別々の名前を付けておかないといけないということです。

**上書き保存**…昔のアルバム写真を燃やしてしまって、今だけを大切にするようなものです。上の例でいうと、10歳の時の写真を開いて、20歳の時の写真を上に貼り付けて保存するようなもので、現在の状態しか残りません。過去は不要で、今だけを大切にしたければ上書き保存をしましょう。

※…上記の説明以外に、例えばパソコンのハードディスクという入れ物から、USBメモリーという入れ物に保存場所を変えたい場合などにも、「名前を付けて保存」という操作を使います。



☆☆ここまでくれば、練習問題14で理解度を試してください。☆☆

大変お疲れ様でした。

このテキストを読み飛ばさずに、ここまで読み進めてくださったということは、これからパソコンを楽しく活用するための基本的な操作を習得されたことだと思います。

これから案内状や年賀状、請求書、インターネット、電子メールなど、パソコンを使ってより便利で、楽しいことを学んでいきましょう！

## ここまでテキストを読み進めてください、 誠にありがとうございました。

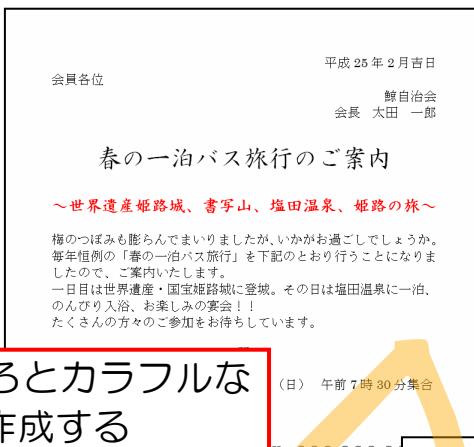


なんとか、最後まできたわい！  
これも先生のおかげじゃ！

そんなことないですよ。これもみんなさんの頑張りです。  
次のテキストでもこの調子で楽しくやりましょう！



### ◆次のテキストでできること



お小遣い帳					
日付	費目	摘要	収入	支出	残高
6月1日	繕工賃	繕工賃	17,892		17,892
6月1日	収入		30,000		47,892
6月3日	食費	昼食代		850	47,042
6月5日	書類費	雑誌代		650	46,392
6月5日	雑費	温泉入浴代		600	45,792
6月5日	食費	和菓子代		950	44,842
6月8日	衣服費	Tシャツ代		2,900	41,942
6月10日	交通費	タクシー代		3,420	38,522
6月10日	交際費	手土産代		1,260	37,262
6月20日	交通費	電車代		420	36,842
6月20日	雑費	文房具代		735	36,107
6月23日	衣服費	スラックス代		7,800	28,307
					26,507
					25,907



商品別売上報告							
日付 7月5日							
商品番号	商品名	単価	4月	5月	6月	合計	金額
A-001	きつねうどん	500	52	51	60	163	81,500
A-002	炊き込みごはん	150	60	71	63	194	29,100
A-003	ざるそば	400	25	35	40	100	40,000
A-004	肉じゃが	350	43				
A-005	天ぷら	450	32	33	34	100	45,000
合計		212	232	233	234	600	250,607



# 次のテキストもお楽しみに！

## (参考資料)

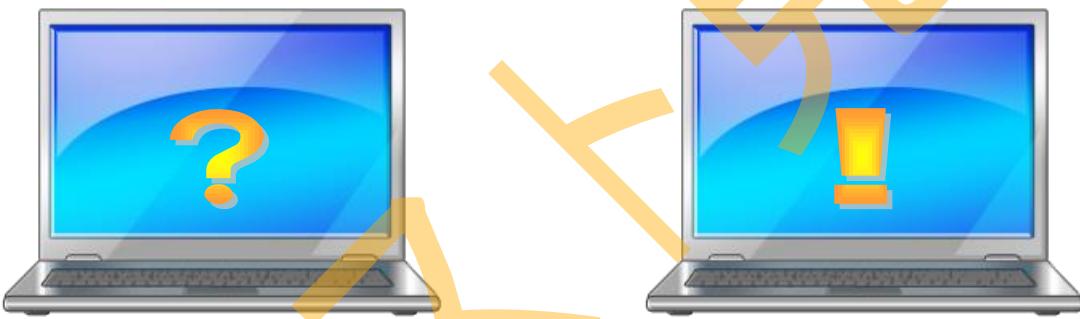
### ◆ファイルやフォルダー

「ファイル」や「フォルダー」という言葉を説明する前に、パソコンとはいっていい何なのでしょう？パソコンとは、コンピューターの一種であることは間違ひありません。パソコンとは、簡単にいうと、「あなたのしなければいけない手作業を代わりに行ってくれる便利な機械」だと思ってください。

あなたにとって役立つ情報を検索して加工したり、人に情報を伝達したりできる、比較的小規模の処理に適しているコンピューターなのです。

パソコンに何をさせたいのか分からないと、パソコンは悩んでしまって、答えを出してくれません。

パソコンに正しい命令を与えてやると、即座に答えを出してくれます。



パソコンは使って初めて役に立ちます。  
飾っていても邪魔になるだけ！！

## (1) パソコンの大きな機能

パソコンには、大きく分けて3つの機能があります。まず、通常の人が一番嫌いな**計算**（演算）するという機能、それから作成したデータ（文書や表、写真など）を**保存**（記憶）するという機能、後は完成したものを**印刷**するという機能です。

### ① 計算と印刷

ご商売をされている方は分かると思いますが、決算期にはたいへんな量の帳票を作成しないといけません。いろいろな集計表から決算書まですべて手作業ですると、多くの時間と労力が必要となります。

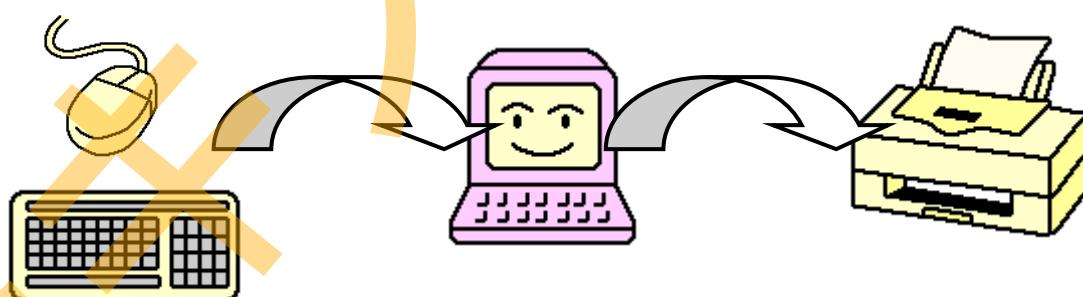
しかし、データ（日々の動き）だけ入力しておけば、後はパソコンに「**計算して結果を表示しなさい**」と命令を与えてやれば、瞬時に結果を出してくれます。通常はパソコンの画面上で数字を判断するだけでは事足りません。

どこかに提出しないといけない資料や、いつでも目の届くところに置いておきたい資料などは紙に印刷しておく方がよいでしょう。

このような場合は、プリンターという装置をパソコンに接続して、パソコンの画面に表示されている「**内容を印刷しなさい**」と命令を与えてやると、プリンターで印刷してくれます。

「計算してください」  
「印刷してください」

任せなさい！！



## ② 保存とは

「保存」とは、パソコンで作成した文書や表、あるいはデジタルカメラで撮影した写真などを特定の場所に、特定の名前を付けて残す事をいいます。また、それをファイルと言います。

そしてその特定の場所を表す場合に、一番大きな入れ物の単位を「ドライブ(記憶装置)」といい、その中の仕切りにフォルダーという言葉が使われます。

### ■ ドライブについて

一番大きな入れ物がドライブです。

そのドライブにはハードディスクドライブ・DVD ドライブ・USB ドライブなどの種類があります。

### ■ フォルダーとは

整理箱のようなものです。

パソコンで作った物を保存して残した物を「ファイル」と言います。

ファイルはパソコンの保存容量の許す限りでいくつも作成することができます。

しかし、ファイルが増えすぎると、目的のファイルを探すことが困難になってきます。そこで、「フォルダー」を使います。

例えば「自治会の資料ファイル」「子供の写真ファイル」を、一か所にどんどん保存していくと、仕事とプライベートのファイルが入り乱れて、利用するファイルを探すことが困難になります。

こういった場合に「仕事」「プライベート」などと、ファイルを分類して管理するための「入れ物」があると便利です。

その役目をするのが「フォルダー」なのです。

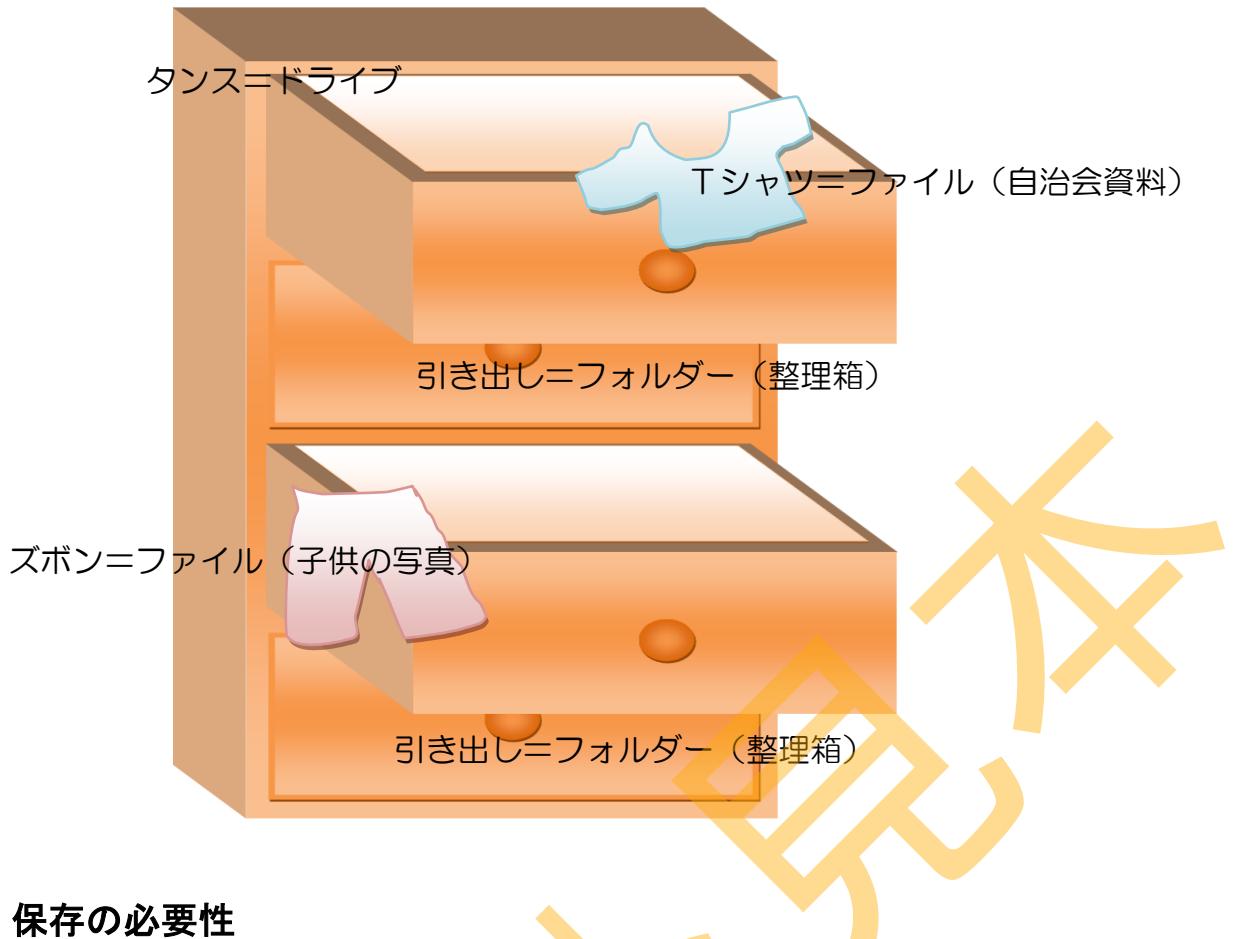
フォルダー(整理箱)を身近なもので例えるなら、タンスの引き出しです。

タンスの引き出しに、洋服を仕分け片付けることと同じです。

引き出しが別々になっていることにより、すぐに欲しい洋服が探し出せます。

フォルダーを使い分けることによって、自分で作った文書や表を保存したもの(ファイル)をキレイに整理することができるのです。

→ 次ページに続く



### ③ 保存の必要性

なぜ「保存」という操作をする必要があるのか、それがパソコン初心者にとって最大の悩みになっているようです。

「保存」という操作の最大の目的は、保存したデータ（文書や表、写真など）を再度画面に読み出して使うことになります。一度きりしか使わないデータは、保存する必要もありませんが、次に同じような事をする必要がある場合、データを保存しておくと、一から作成する場合に比べて非常に効率的に作業を進める事ができます。

保存するかしないかは、同じようなことを再度する必要性があるかないかによります。そして、再度利用する場合に、どこに保存しておいたどのデータを使うかをパソコンに教えてやらないと、パソコンはわかりません。

タンスの例でいうと、「タンス」という大きなくくりの中にはいくつかの引き出しがあります。衣服を片付ける時には、どこの引き出しにしまったのかが分かるようにしないといけません。

### ④ 読み出し

一度保存したデータ（文書や表、写真など）は、読み出してやらないと再度利用することはできません。パソコンでは、特定の場所から特定のデータを読み出す操作を「開く」といいます。

その時にパソコンに対して「どこ」にある「どの」データを開いてください。とお願いすることになります。

私もよくある失敗ですが、「どこ」に保存したのか、「名前」は何だったのかを忘れてしまい、開くときに苦労することがあります。そうならないためにも、後で見てもわかりやすい引き出し（フォルダー）を作成し、その中を常に整理しておくことが必要です。

## (2) ファイルの存在を確認する

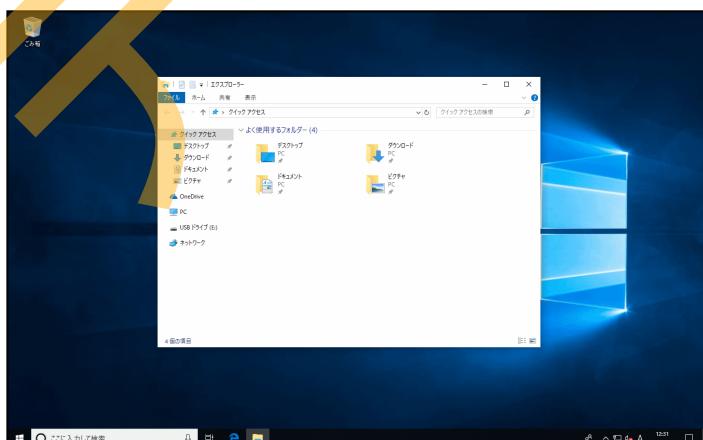
これまで、扱ってきた文書が実際にファイルという単位で保存されていることを確認してみましょう。ここでは「PC」のウィンドウを開いて、USBメモリーの中にある「ファイル」を確認してみます。

まずは、USB差込口にUSBメモリーを差し込みます。



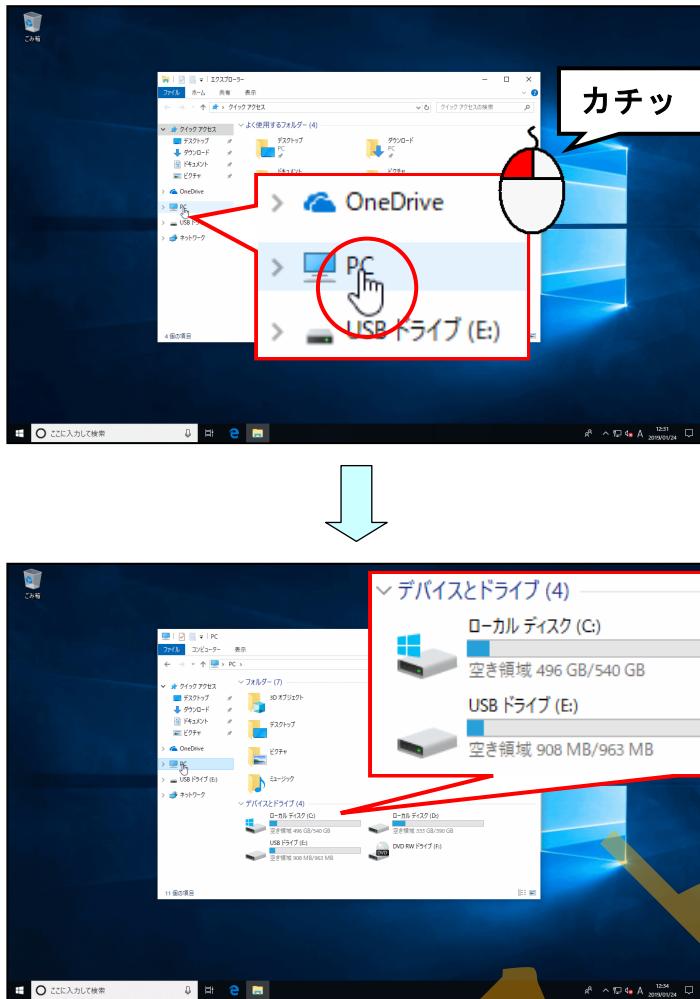
●USBメモリーの差し込み方法を忘れた方は P206 を参照してください。

画面下中央付近にある [エクスプローラー] にポイントし、クリックします。

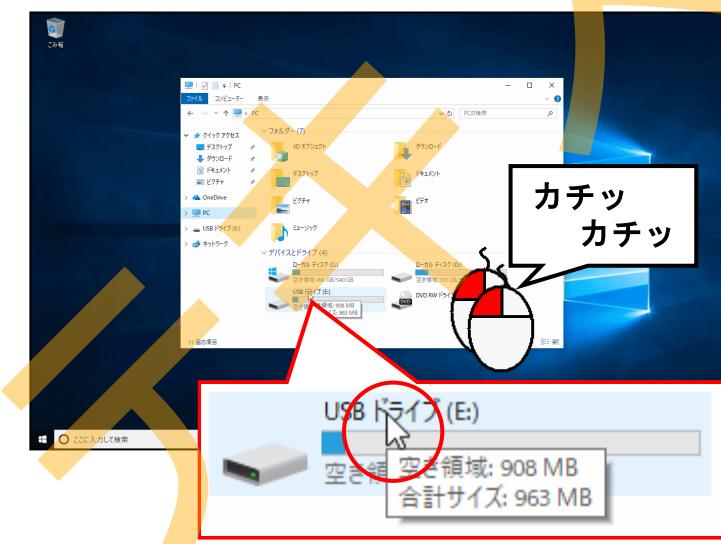


→ 次ページに続く

[PC] にポイントし、クリックします。



[USB ドライブ(E:)] にポイントし、ダブルクリックします。



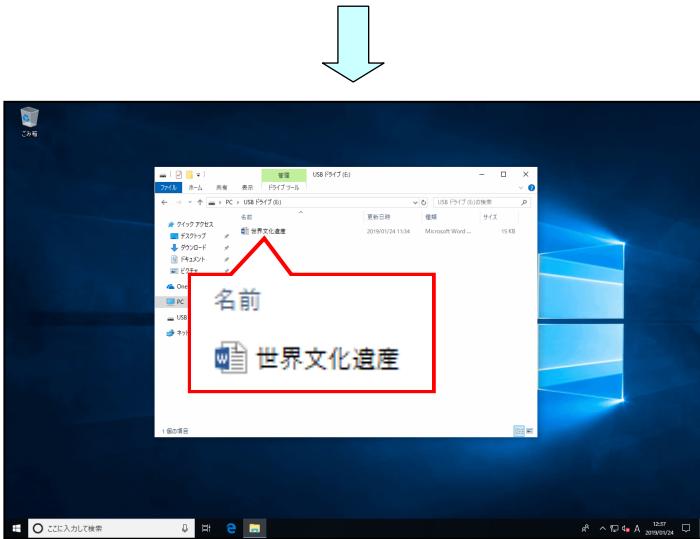
●お使いのパソコンによっては、  
[(E:)] とだけ表示されることもあります。

注意!

●ここで表示されているローカルディスク (C:)、DVD RW ドライブ (F:) などは、USB ドライブ(E:)と同じレベルの入れ物です。このレベルの入れ物の単位を「ドライブ」といいます。下に表示したマークすべてがドライブという単位の入れ物です。



次ページに続く



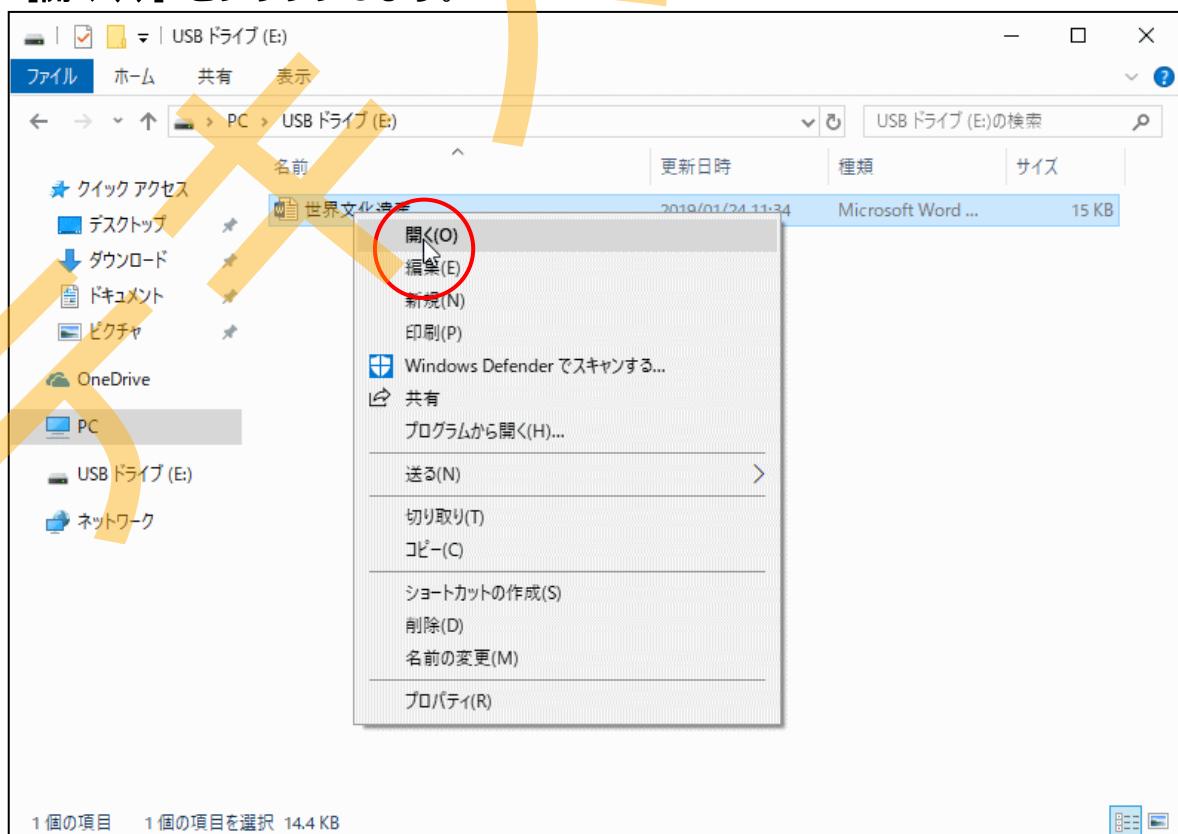
● 左に表示された画面がUSBメモリーの中を覗いた状態です。

● USBメモリーの中に「世界文化遺産」の文書が保存されていることが確認できます。

● 「世界文化遺産」はファイルという単位です。

余裕があれば読んでね

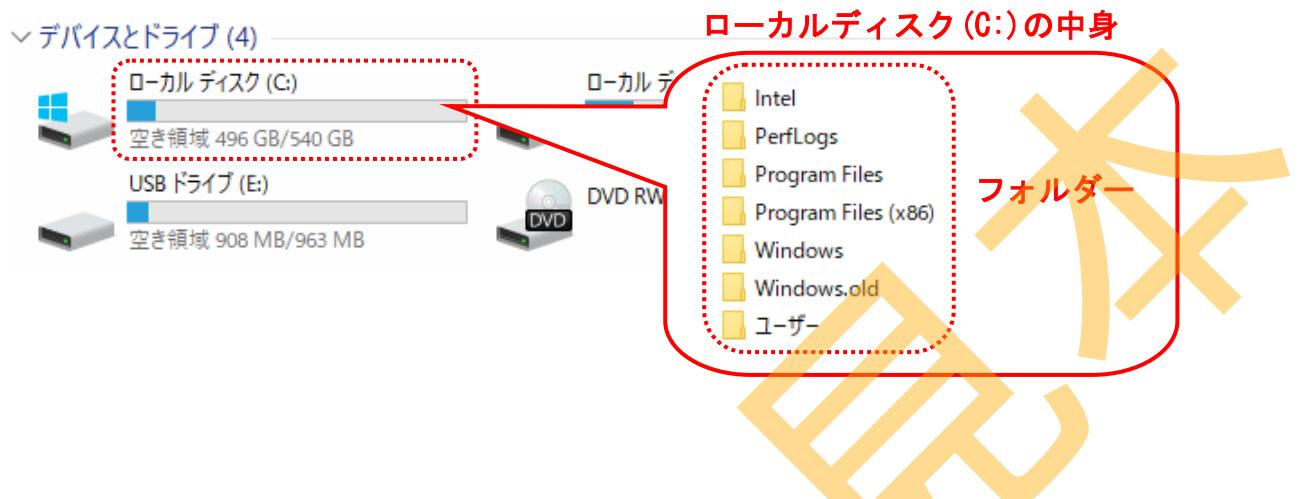
USBメモリー内のファイルを直接開くには、P237からの操作をし、開きたいファイルをダブルクリック、またはファイル上で右クリックし、ショートカットメニュー内の【開く(0)】をクリックします。



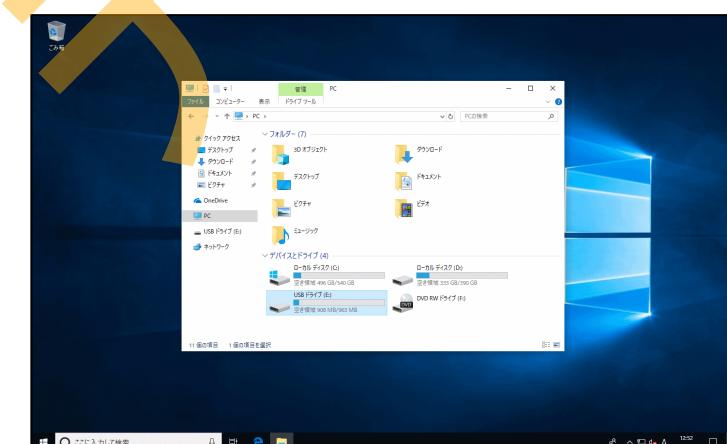
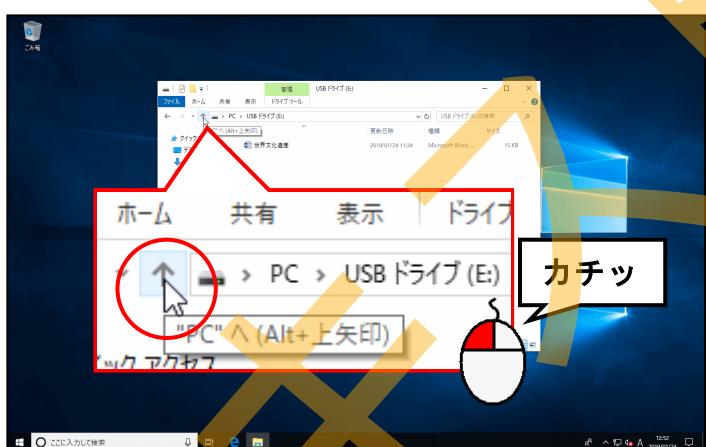
1 個の項目 1 個の項目を選択 14.4 KB

### (3) フォルダーの存在を確認する

「ファイル」を入れておく入れ物（タンスの引き出しだと思ってください）である「フォルダー」は、ハードディスクなどに設定されるファイルの収納庫です。フォルダーの中に別のフォルダーを作ることもできるので、大きなまとまりから小さなまとまりまで階層的に管理できます。



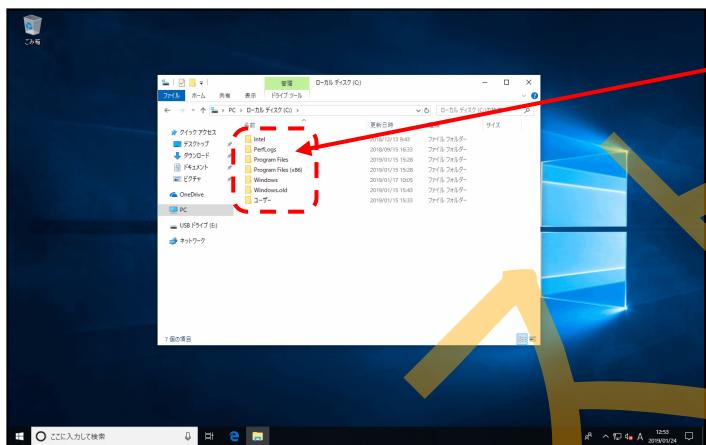
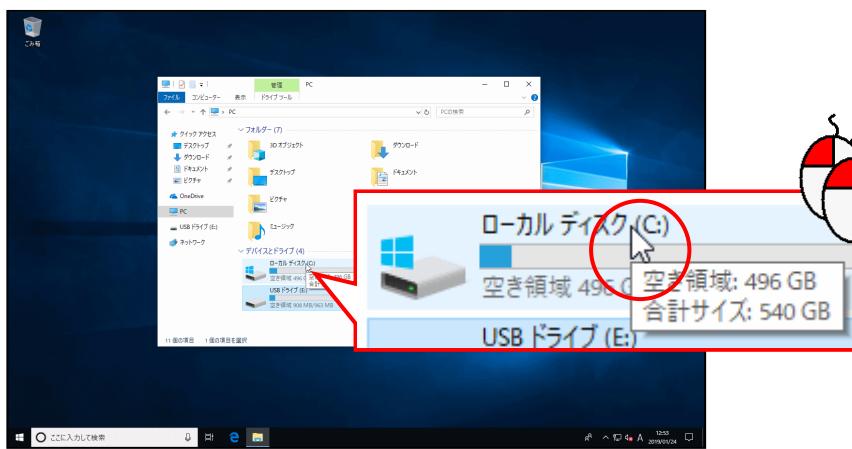
↑ にポイントし、クリックします。



- 左のように [PC] の中を表示した画面に戻ります。

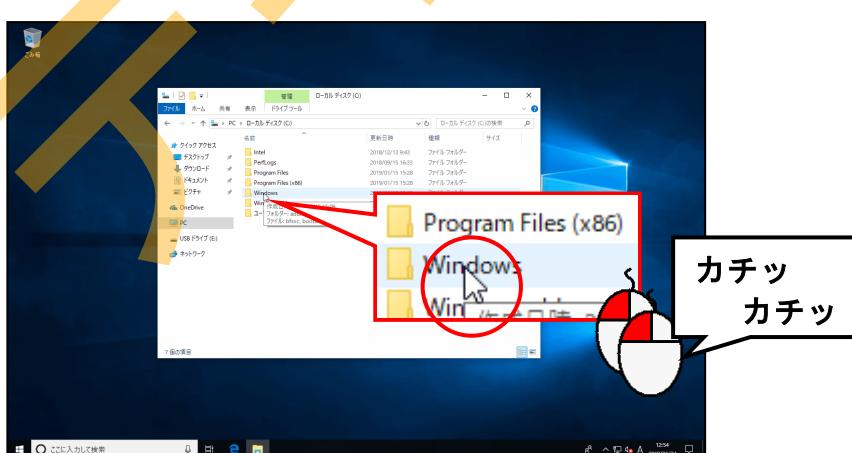
→ 次ページに続く

[ローカルディスク(C:)】にポイントし、ダブルクリックします。

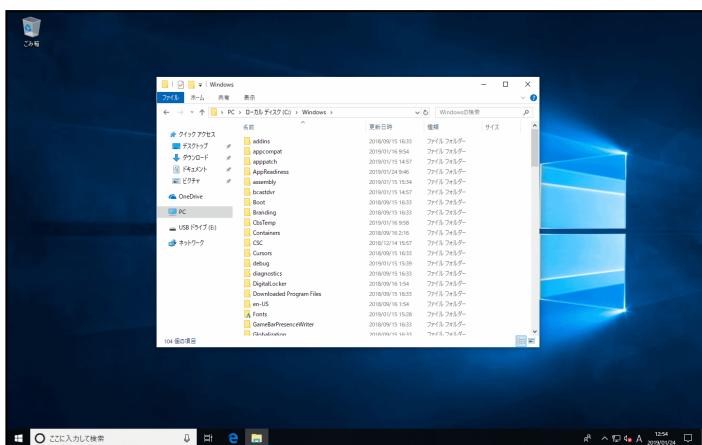


● フォルダー  
フォルダーのアイコン(絵柄)には、通常、黄色の絵柄が使われています。

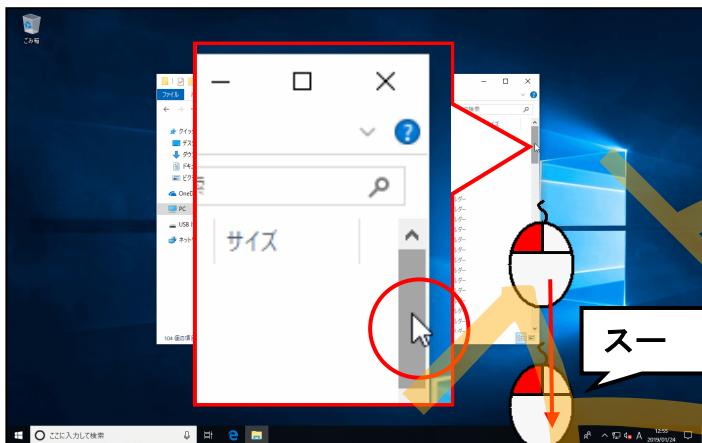
[Windows] にポイントし、ダブルクリックします。



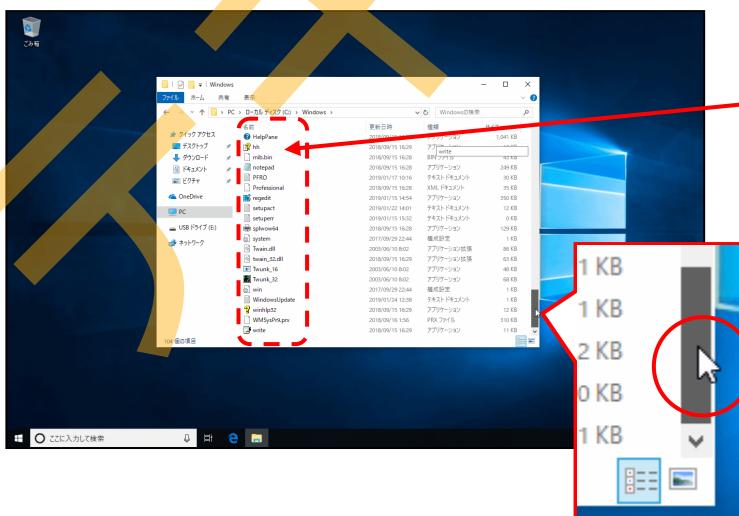
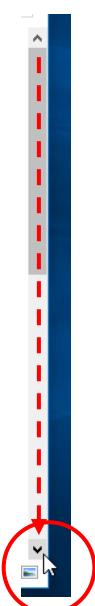
→ 次ページに続く



スクロールバーにポイントし、一番下までドラッグします。



●右の図をスクロールバーとい  
い、 を上下にドラッグして  
画面を移動します。 を  
クリックしても画面を移動す  
ることができます。

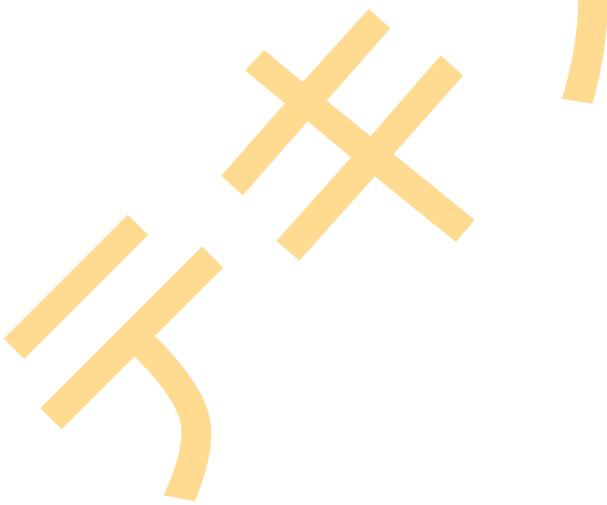
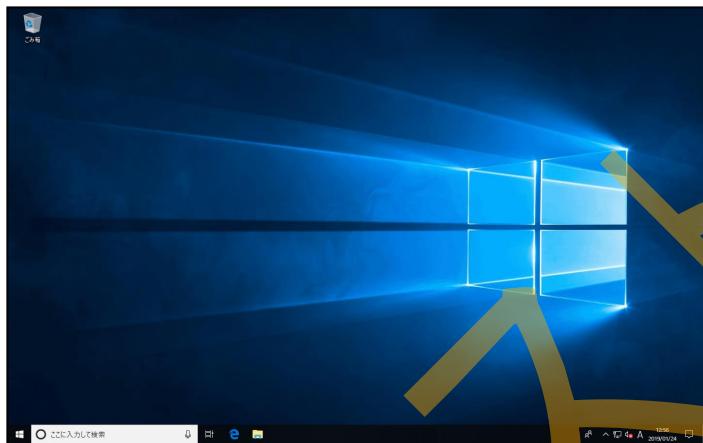
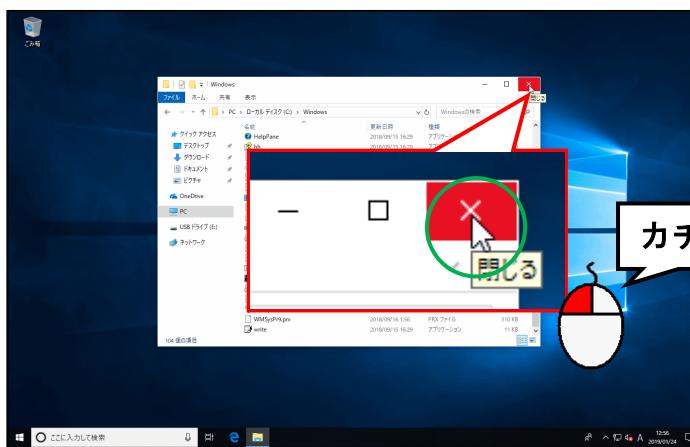


## ●ファイル

ファイルのアイコンには、いろいろ  
な絵柄があり、フォルダーのアイコ  
ン以外はすべてファイルのアイコ  
ンを表します。

次ページに続く

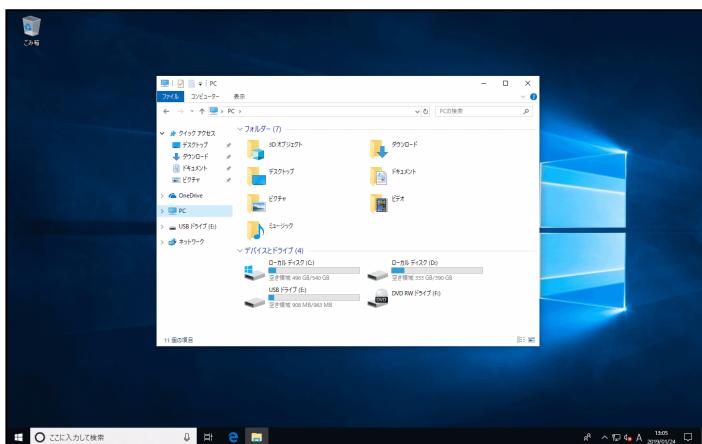
× [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



## （4）USBメモリーのファイルをコピーする

PCで確認したUSBメモリーに入っている「世界文化遺産」というファイルを画面上（デスクトップ上）にコピーしてみましょう。

もう一度、PCの画面を開きます。

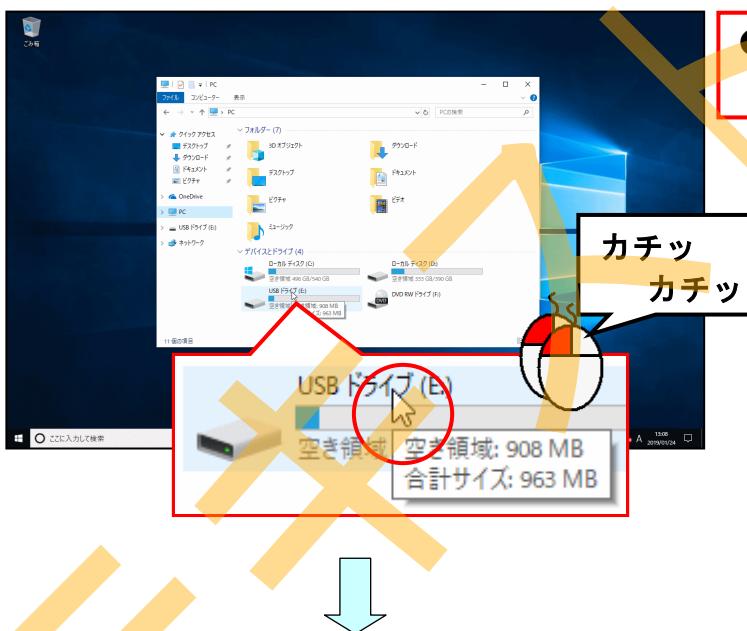


ユーズピー

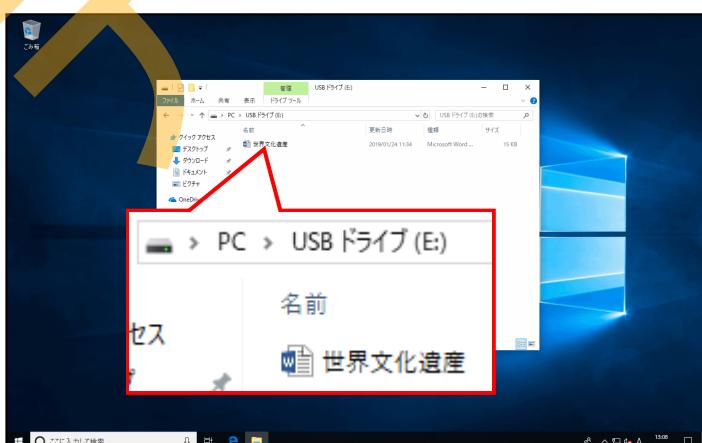
●USBメモリーは、あらかじめ差しておきましょう。

●「PC」の画面の開き方を忘れた方は、P237を参照してください。

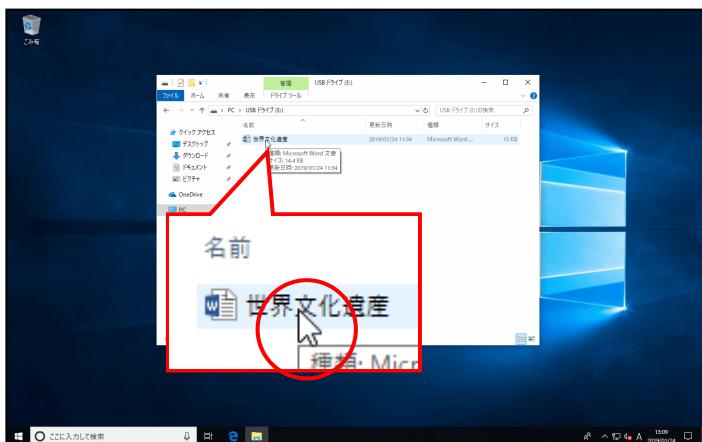
[USB ドライブ(E:)]にポイントし、ダブルクリックします。



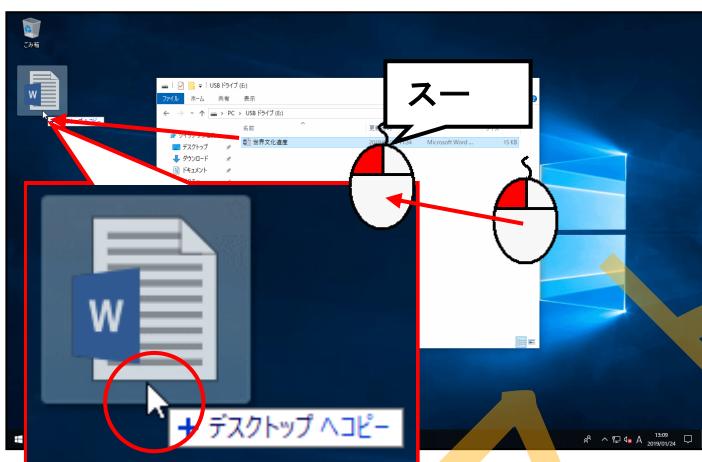
●お使いのパソコンによっては(E:)と表示されるとは限りません。



「世界文化遺産」にポイントします。



そのまま、PCの画面の外へドラッグします。

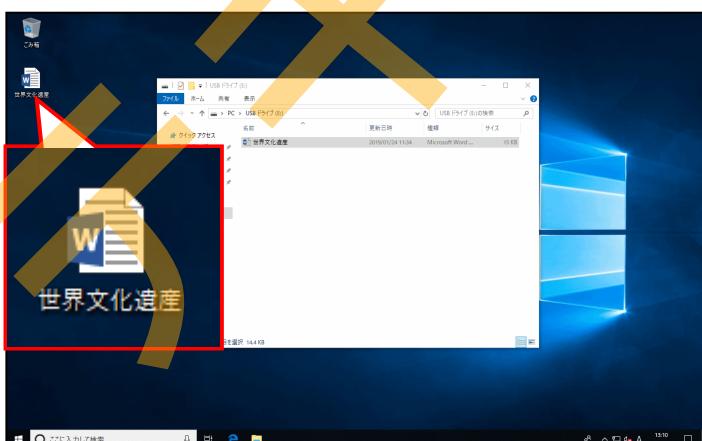


●USB ドライブ (E ドライブ) からデスクトップ (C ドライブ) にドラッグするとコピーされます。同ードライブ間でドラッグすると移動します。(デスクトップは、下の「余裕があれば読んでね」に記載したようにC ドライブの中にある入れ物です)

●お使いのパソコンによっては (E:) と表示されるとは限りません。



マウスの左ボタンから指を離します。



余裕があれば読んでね

●画面上 (デスクトップ上) にコピーした文書の実際のありかは、下の場所です。

C ドライブ

└ ユーザー

└ user

└ デスクトップ

(C:\ユーザー\user\デスクトップ)

※表示される user はパソコンによって異なります

上記の状態になった時点でUSBメモリーの中のファイルが画面上にコピーできました。

ユーザースピード

## (5) ファイルの削除と確認

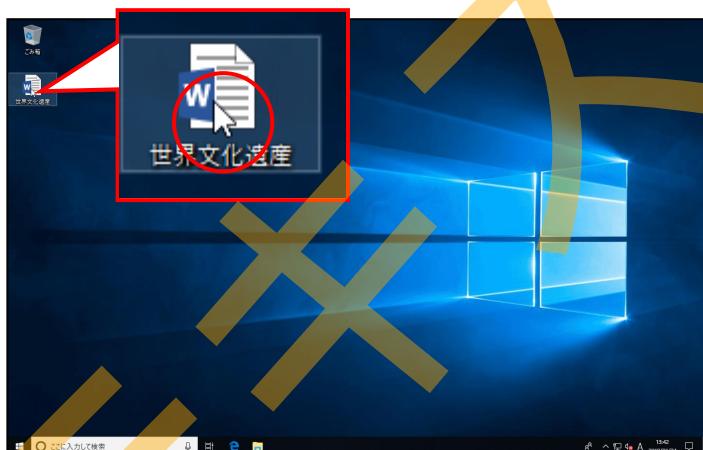
画面上（デスクトップ上）にコピーしたファイルを、次の人のために削除して、削除できたら確認してみましょう。

### ① ファイルの削除

PCの画面（ウィンドウ）を閉じておきましょう。

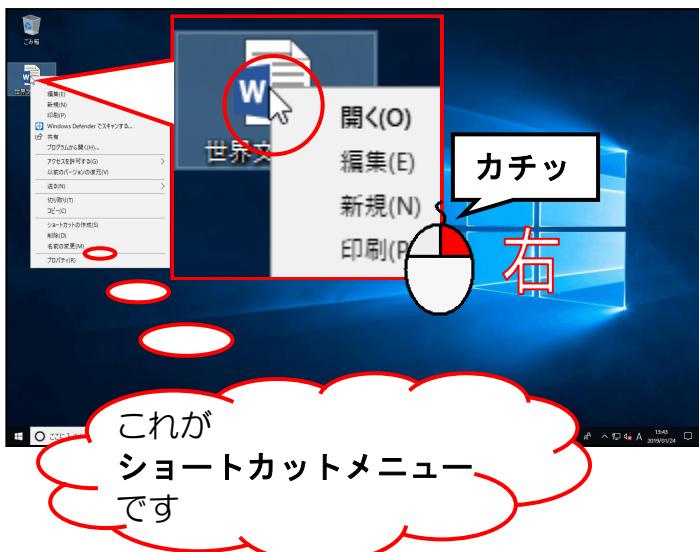


デスクトップ上にコピーした「世界文化遺産」にポイントします。



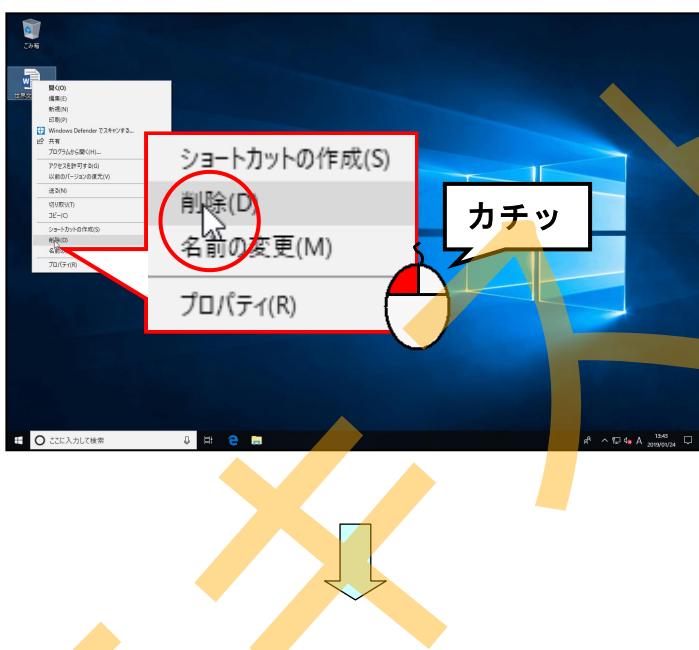
→ 次ページに続く

そのまま「世界文化遺産」を右クリックします。



- 右クリックという操作は、左の画面のようなメニュー(ショートカットメニュー)を表示するための操作になります。

[削除(D)] にポイントし、クリックします。



- [削除(D)] をクリックした時点で画面上(デスクトップ上)から「世界文化遺産」が消えますが、この時点では「ごみ箱」という入れ物(フォルダー)に移動しただけで、削除されたわけではありません。

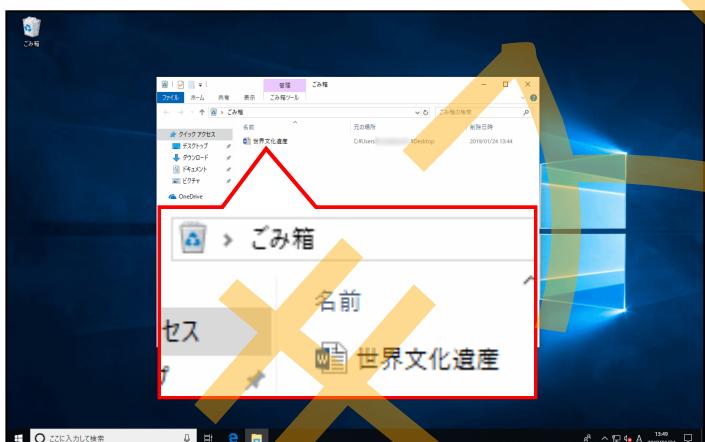
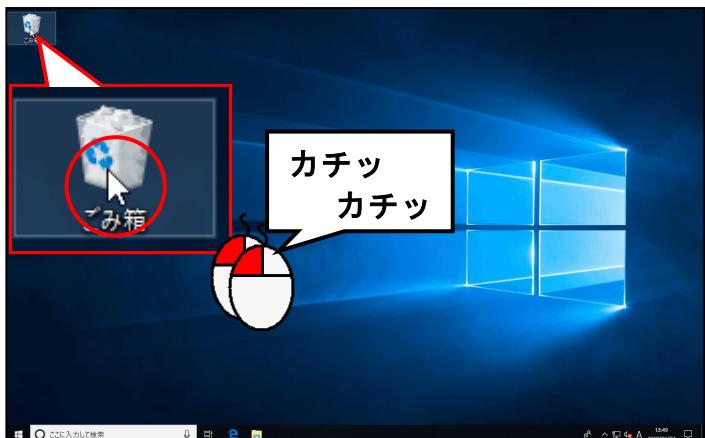
余裕があれば読んでね

- 「世界文化遺産」をクリックして、  
[Delete] キーを押しても削除で  
きます。

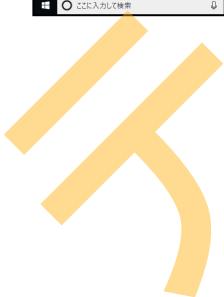
## ② ファイルの削除を確認する

ファイルを削除すると、画面上（デスクトップ上）の「ごみ箱」に移動します。①で削除したファイルが「ごみ箱」にあるかを確認してみましょう。

画面上にある【ごみ箱】にポイントし、ダブルクリックします。

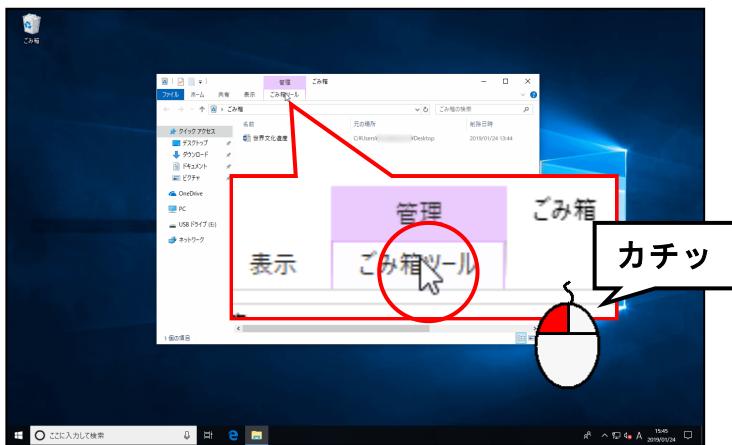


●左の画面のように「ごみ箱」の中  
が表示されて、画面上（デスクトップ上）にあった「世界文化遺産」が  
「ごみ箱」に移動したことが確認  
できました。

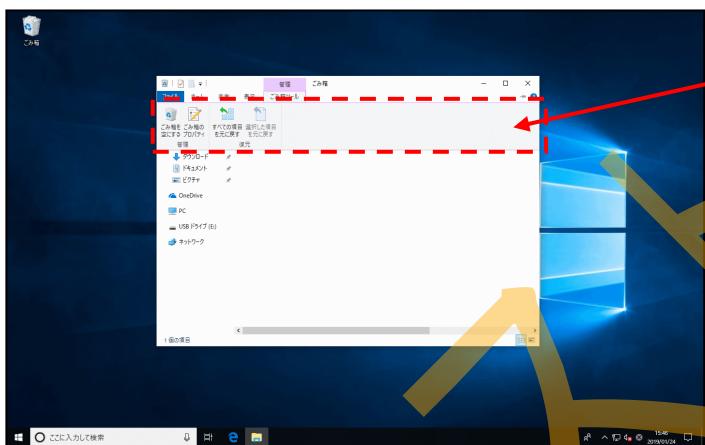


→ 次ページに続く

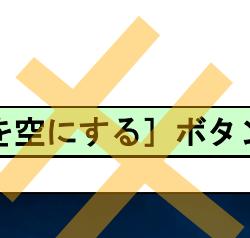
[ごみ箱ツール] にポイントし、クリックします。



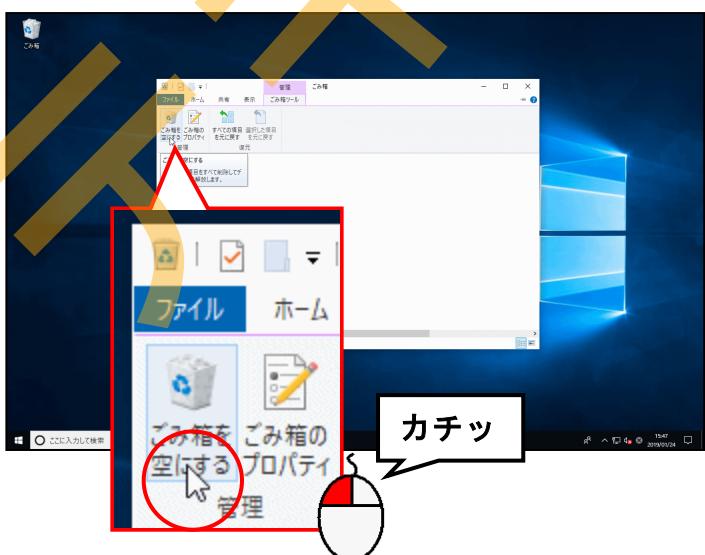
● 「ごみ箱」の管理画面が開きました。最初から [ごみ箱ツール] が選択されている場合は、画面に変化はありません。



● [ごみ箱ツール] をクリックすると、リボンと呼ばれる項目が表示されます。



[ごみ箱を空にする] ボタンにポイントし、クリックします。

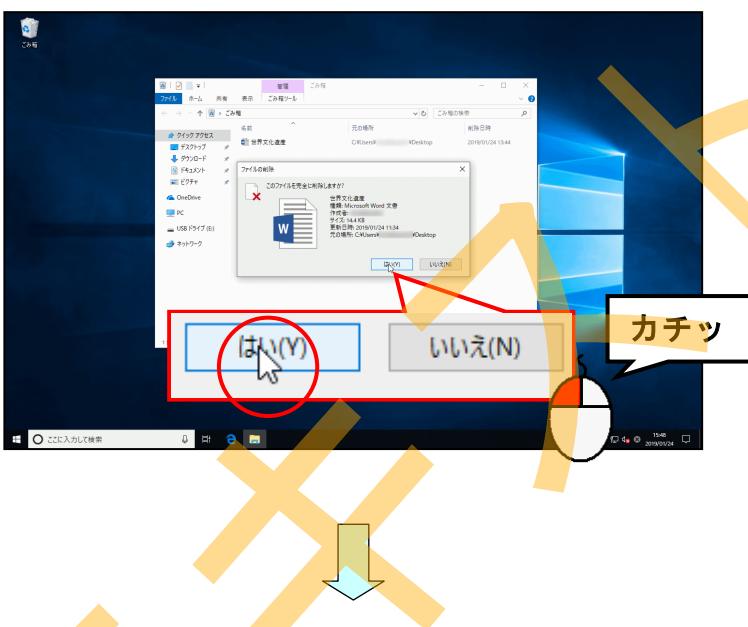


→ 次ページに続く

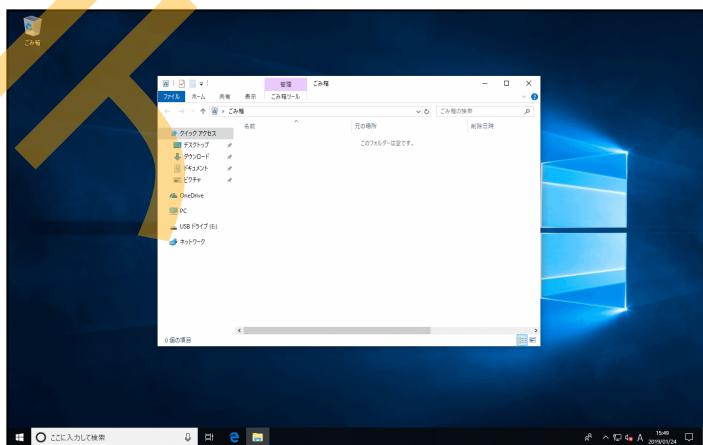


●間違ってクリックされた場合もあるので、削除の確認メッセージを表示するようになっています。

「ファイルの削除」の確認画面が表示されるので、[はい(Y)] ボタンにポイントし、クリックします。

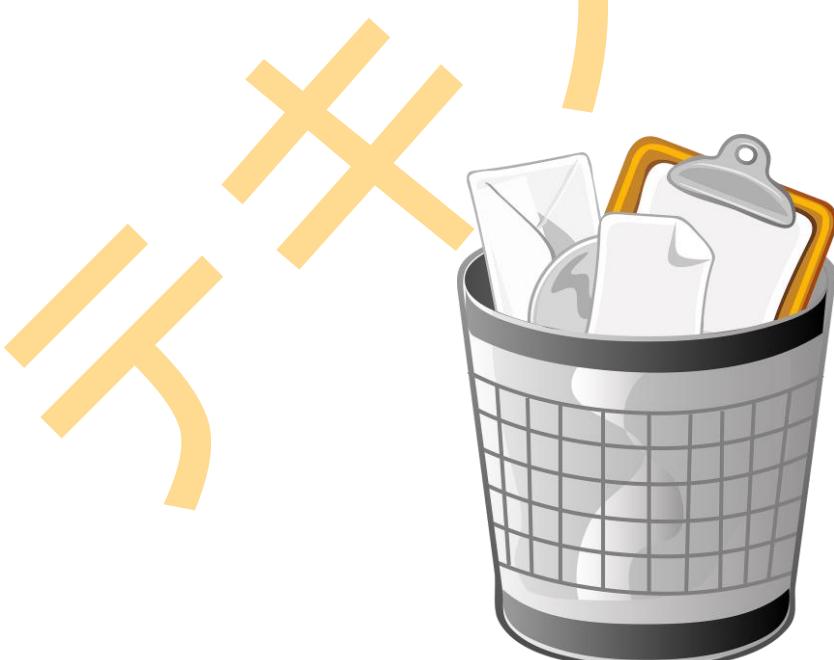
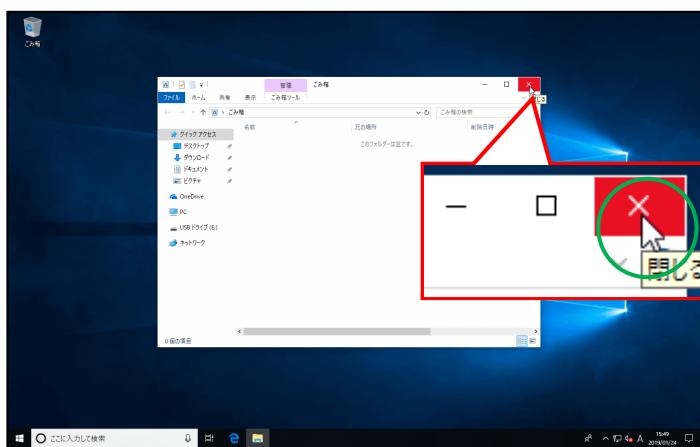


● [はい(Y)] ボタンをクリックすると、削除してしまったファイルを元に戻すことはできません。



→ 次ページに続く

× [閉じる] ボタンにポイントし、クリックします。



## ◆索引

### 数字

2D 図形を描く (ペイント 3D) . . . . .	64
3D 図形を描く (ペイント 3D) . . . . .	85
3D 図形を回転する (ペイント 3D) . . . . .	88

### アルファベット

Back Space キーで文字を削除する . . . . .	137
Back Space キーと Delete キーの使い分け . . . . .	136
Delete キーで文字を削除する . . . . .	138
DVD ドライブ . . . . .	9
IME パッドのその他の機能 . . . . .	166
IME パッドの表示方法 . . . . .	161, 166
Microsoft-IME . . . . .	110
OS . . . . .	2, 10
PC のウィンドウを開く . . . . .	51, 237
USB メモリーの ファイルをコピーする . . . . .	244
USB メモリー内の ファイルを直接開く方法 . . . . .	239
USB メモリーを差込口から抜く方法 . . . . .	227

### あ行

アイコン . . . . .	12, 16
アクションセンター . . . . .	34
アクティブウィンドウ . . . . .	125
アドレスバー . . . . .	53
移動 (ペイント 3D) . . . . .	68
印刷 (ペイント 3D) . . . . .	97
英数字の種類 . . . . .	172
英数字の入力 . . . . .	172
エクスプローラー . . . . .	51, 237
大きさの変更 (ペイント 3D) . . . . .	69

### か行

カーソルと画面の状態 . . . . .	124
カーソル (点滅している縦棒) の移動方法 . . . . .	134
改行する (行を変える) 方法 . . . . .	132
かな入力 . . . . .	106
カタカナの種類 . . . . .	167
カタカナの入力 . . . . .	167
画面 (ウィンドウ) サイズ変更 (ボタン) . . . . .	54
画面 (ウィンドウ) サイズ変更 (ドラッグ) . . . . .	58
画面の名称 . . . . .	53
から 「～」の入力方法 . . . . .	184
漢字の入力 . . . . .	156
キーの配置 . . . . .	107
キーボード操作によるカーソル移動 . . . . .	153

機械の名称 . . . . .	9
記号の入力 . . . . .	182
クイックアクセスツールバー . . . . .	53
句読点やかっこの入力 . . . . .	185
クリック . . . . .	23
クリックの補足説明 . . . . .	36
計算と印刷 . . . . .	234

### さ行

最小化ボタン . . . . .	56
最大化ボタン、元に戻すボタン . . . . .	54
下に表示される線について . . . . .	133
自動再生機能 . . . . .	228
上下に文字があるキー . . . . .	123
数字の入力 . . . . .	178
スキャナー . . . . .	9
図形の確定 (ペイント 3D) . . . . .	6
スタート画面 . . . . .	17
スタートメニュー . . . . .	17
ステッカーで装飾する (ペイント 3D) . . . . .	91
スペースの入力 . . . . .	145
スペース (空白) の入力方法 . . . . .	144
スリープで終了する方法 . . . . .	37
全角英字の入力 . . . . .	174
全角カタカナの入力 . . . . .	169
線の色の変更 (ペイント 3D) . . . . .	169
線の太さの変更 (ペイント 3D) . . . . .	75
挿入モードについての補足説明 . . . . .	155

### た行

タイル . . . . .	12, 17
タスクバー . . . . .	12, 16
タッチキーボード . . . . .	151
タッチパネルの基本操作 . . . . .	33
タッチパネル操作 (タップ) . . . . .	33
タッチパネル操作 (ダブルタップ) . . . . .	33
タッチパネル操作 (ドラッグ) . . . . .	33
タッチパネル操作 (ピンチアウト) . . . . .	33
タッチパネル操作 (ピンチイン) . . . . .	33
タッチパネル操作 (フリック) . . . . .	33
タッチパネル操作 (ロングタップ) . . . . .	33
タッチパネルに関する補足説明 . . . . .	34
タブ . . . . .	53
ダブルクリックが苦手な方のために . . . . .	36
ダブルクリック . . . . .	25
タブレットモード . . . . .	34
デジタルカメラ . . . . .	9
デスクトップ . . . . .	16
手書きで文字を検索する . . . . .	163
テンキー . . . . .	180
電源の入れ方 . . . . .	13
電源の切り方 . . . . .	30

電卓を動かす	46
電卓を閉じる	50
特殊文字の補足説明	186
特殊文字の読み方	184
ドライブについて	235
ドラッグ	27
ドラッグする方法 (ウィンドウのサイズ変更)	58

## な行

日本語入力システム	110
日本語入力の準備まとめ	121
入力した文字すべてを削除する	139
入力するときに注意する文字	131
入力できる文字の種類	123
入力方法の種類	106
入力方法の比較	106
入力モードの変更	117
入力モードの切り替えの補足説明	150
入力モードを確認する	116
入力を漏らしてしまった	142
塗りつぶしの色の変更 (ペイント <sup>スリーディー</sup> 3D)	75

## は行

パソコンについての補足説明	10
半角英字の入力	176
半角カタカナの入力	170
半角スペース	146, 178
開いた文書を修正する	218
ひらがなの入力	124, 125
ピン留めの設定をする	148
ピン留めを外す	149
ファイルの削除	246
ファイルの削除を確認する	248
ファイルの存在を確認する	237
ファイルやフォルダー	233
フォルダーとは	235
フォルダーの存在を確認する	240
プリンター	9
文章を変換する	190
文書の作成	204
文書の保存	205
文書を印刷する	224
文書を上書き保存する	220
文節区切りのまとめ	196
文節の区切りを変更する	193
文節を変換する	187
ペイントから印刷をする	97
ペイントを起動する	61
ペイントを終了する	103
変換キーを押した後の修正	201
変換キーを押す前の修正	198
変則的な入力文字	186
ホイール	18

ポイントしてみよう	22
保存した文書の確認	213
保存した文書を開く	212, 217
保存とは	235
保存の必要性	236
保存場所の補足説明 (ドキュメントに保存する場合)	229
保存方法の違い	231
ボタンをクリックして画面を最大化	54
本体 (パソコン)	9

## ま行

マウスの動かし方	20
マウスの大切な基本操作	21
マウス操作の補足説明	37
マウスの名前	18
マウスの持ち方	19
マウスポインター	12, 16, 20
間違って改行してしまった	140
間違って確定してしまった	158
間違って入力した文字の消し方	136
右クリック	24
難しい文字の入力	160
文字の確定を省略する方法	189
文字の入力中に誤字に気づいたら	197
文字を描く (ペイント <sup>スリーディー</sup> 3D)	80
元に戻す	67
元に戻す (縮小) ボタン	54

## や行

予測入力	143
読み出し	236

## ら行

ローマ字かな対応表	108
ローマ字入力	106
ローマ字入力、かな入力による キーの違い	122
ローマ字入力、かな入力の 切り替え方法	119, 150
ローマ字入力の方にありがたい機能	181

## わ行

ワードの終了についての補足説明	150
ワードを起動する	111
ワードを終了する	115

# パソコン入門編

2015年9月15日  
2019年8月2日

初版  
第2版

第1刷発行  
第1刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者の権利侵害になります。

連絡先



- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。
- 本文中では、®や TM などのマークは省略しています。
- 本文中での挿絵は、フリーイラスト素材集「いらすとや」または「Pixabay」の、パブリックドメインのライセンスのものを利用しています。